

JYOGAO

# 城ヶ尾遺跡 II

東九州自動車道建設(末吉IC～国分IC間)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 II

縄文・古墳時代編

2003年3月

鹿児島県立埋蔵文化財センター

(見返し)

(合紙)

(合紙)

# 本 文 目 次

## I 旧石器時代編

### 第I章 発掘調査の経過

第1節 調査に至るまでの経過	1
第2節 調査の組織	1
第3節 発掘調査の概要と経過	2

### 第II章 遺跡の位置と環境

第1節 地理的環境	5
第2節 歴史的環境	5
第3節 遺跡の層位	11

### 第III章 旧石器時代の調査

第1節 第I文化層の調査	
1 調査の方法と概要	18
2 遺構	19
3 遺物	20
第2節 第II文化層の調査	
1 調査の方法と概要	31
2 遺構	31
3 遺物	41
第3節 第III文化層の調査	
1 調査の方法と概要	123
2 遺構	126
3 遺物	131
第4節 第IV文化層の調査	
1 調査の方法と概要	199
2 遺構	200
3 遺物	206
第5節 第V文化層の調査	
1 調査の方法と概要	230
2 遺物	230

## II 縄文・古墳時代編

### 第IV章 縄文時代の調査

第1節 調査の方法と概要	1
第2節 縄文時代の遺構	1
1 VIII層の遺構	1
2 VII層の遺構	43
3 VI層の遺構	79
4 V層の遺構	86
5 IV層の遺構	91
第3節 縄文時代の土器	95
1 I類土器 前平式土器	97
2 II類 吉田式土器	98
3 III類 石坂式土器	108
4 IV類 円筒形土器	119
5 V類 押型文土器	121
6 VI類 下剥峯式土器	123
7 VII類 手向山式土器	126
8 VIII類 平橋式土器	126
9 IX類 塞ノ神A式土器	129
10 X類 塞ノ神B式土器	145
11 資料別接合状況および碎片化について	180
12 XI類 轟式土器	194
13 XII類 曾畑式土器	194
14 XIII類 深浦式土器	194
15 XIV類 春日式土器	196
16 XV類 晩期土器	196
第4節 縄文時代の石器	201
1 VIII層出土石器	201
2 VI～VII層出土石器	209
3 V層出土石器	290
4 IV層出土石器	297
5 時期不明石器	298

### 第V章 古墳時代の調査

第1節 調査の方法と概要	302
第2節 古墳時代の遺構と遺物	302
第3節 古墳時代の遺物	307

### 付編 自然科学分析報告

城ヶ尾遺跡出土の耳栓に付着した赤色顔料について	323
城ヶ尾遺跡出土炭化材の樹種同定	325
城ヶ尾遺跡出土炭化物の放射性炭素年代測定	326
城ヶ尾遺跡の古植生と遺構内容物について	328

### 第VI章 まとめ

第VI章 まとめ	334
----------	-----

## 挿 図 目 次

第234図	VII層 遺構位置及び散石検出状況図	2	第298図	VII層 遺構内出土遺物 (3)	74
第235図	VII層集石 (1)	3	第299図	VII層 遺構内出土遺物 (4)	75
第236図	VII層集石 (2)	5	第300図	VII層 遺構内出土遺物 (5)	76
第237図	VII層集石 (3)	6	第301図	VII層 遺構内出土遺物 (6)	77
第238図	VII層集石 (4)	7	第302図	VII層 遺構内出土遺物 (7)	78
第239図	VII層集石 (5)	8	第303図	VI層 遺構位置及び散石検出状況図	79
第240図	VII層集石 (6)	9	第304図	VI層集石 (1)	80
第241図	VII層集石 (7)	10	第305図	VI層集石 (2)	81
第242図	VII層集石 (8)	11	第306図	VI層集石 (3)	82
第243図	VII層集石 (9)	12	第307図	VI層集石 (4)	83
第244図	VII層集石 (10)	13	第308図	VI層集石 (5)	84
第245図	VII層土坑 (1)	14	第309図	V層 遺構位置図	86
第246図	VII層土坑 (2)	15	第310図	V層集石	87
第247図	VII層土坑 (3)	16	第311図	V層土坑 (1)	88
第248図	VII層土坑 (4)	18	第312図	V層土坑 (2)	89
第249図	VII層土坑 (5)	19	第313図	V層 遺構内出土遺物	90
第250図	VII層土坑 (6)	20	第314図	IV層 遺構位置図	91
第251図	VII層土坑 (7)	21	第315図	IV層土坑 (1)	92
第252図	VII層土坑 (8)	22	第316図	IV層土坑 (2)	93
第253図	VII層土坑 (9)	23	第317図	IV層 遺構内出土遺物	94
第254図	VII層土坑 (10)	25	第318図	I類～III類土器出土状況図	95
第255図	VII層土坑 (11)	26	第319図	I類土器実測図 (1)	96
第256図	VII層土坑 (12)	27	第320図	I類土器実測図 (2)	97
第257図	VII層土坑 (13)	28	第321図	II類土器実測図 (1)	99
第258図	VII層土坑 (14)	29	第322図	II類土器実測図 (2)	100
第259図	VII層土坑 (15)	30	第323図	II類土器実測図 (3)	101
第260図	VII層土坑 (16)	32	第324図	II類土器実測図 (4)	102
第261図	VII層土坑 (17)	33	第325図	II類土器実測図 (5)	103
第262図	VII層土坑 (18)	34	第326図	II類土器実測図 (6)	104
第263図	VII層土坑 (19)	35	第327図	II類土器実測図 (7)	105
第264図	VII層土坑 (20)	36	第328図	III類土器実測図 (1)	109
第265図	VII層土坑 (21)	37	第329図	III類土器実測図 (2)	110
第266図	VII層土坑 (22)	38	第330図	III類土器実測図 (3)	111
第267図	VII層土坑 (23)	39	第331図	III類土器実測図 (4)	112
第268図	VII層土坑 (24)	40	第332図	III類土器実測図 (5)	113
第269図	VII層土坑 (25)	41	第333図	III類土器実測図 (6)	114
第270図	VII層 遺構内出土遺物	42	第334図	III類土器実測図 (7)	115
第271図	VII層 遺構位置及び散石検出状況図	43	第335図	IV類～VIII類土器出土状況図	119
第272図	VI, VII層遺構配置及び散石検出状況	44	第336図	IV類土器実測図	120
第273図	土器埋設遺構検出状況	46	第337図	V類土器実測図	122
第274図	土器埋設遺構検出状況	47	第338図	VI類土器実測図	124
第275図	VII層集石 (1)	49	第339図	VII類土器実測図	126
第276図	VII層集石 (2)	50	第340図	VIII類土器実測図	127
第277図	VII層集石 (3)	51	第341図	IX類、X類土器出土状況図	129
第278図	VII層集石 (4)	52	第342図	IX類土器実測図 (1)	130
第279図	VII層集石 (5)	53	第343図	IX類土器実測図 (2)	131
第280図	VII層集石 (6)	54	第344図	IX類土器実測図 (3)	132
第281図	VII層集石 (7)	55	第345図	IX類土器実測図 (4)	133
第282図	VII層集石 (8)	57	第346図	IX類土器実測図 (5)	134
第283図	VII層集石 (9)	58	第347図	IX類土器実測図 (6)	135
第284図	VII層集石 (10)	59	第348図	IX類土器実測図 (7)	136
第285図	VII層集石 (11)	60	第349図	IX類土器実測図 (8)	137
第286図	VII層土坑 (1)	61	第350図	IX類土器実測図 (9)	138
第287図	VII層土坑 (2)	62	第351図	X類土器実測図 (1)	146
第288図	VII層土坑 (3)	63	第352図	X類土器実測図 (2)	147
第289図	VII層土坑 (4)	64	第353図	X類土器実測図 (3)	148
第290図	VII層土坑 (5)	65	第354図	X類土器実測図 (4)	149
第291図	VII層土坑 (6)	66	第355図	X類土器実測図 (5)	150
第292図	VII層土坑 (7)	67	第356図	X類土器実測図 (6)	151
第293図	VII層土坑 (8)	68	第357図	X類土器実測図 (7)	152
第294図	VII層土坑 (9)	69	第358図	X類土器実測図 (8)	153
第295図	VII層土坑 (10)	70	第359図	X類土器実測図 (9)	154
第296図	VII層 遺構内出土遺物 (1)	71	第360図	X類土器実測図 (10)	155
第297図	VII層 遺構内出土遺物 (2)	72	第361図	X類土器実測図 (11)	156

# 挿 図 目 次

第362図	X類土器実測図(12)……………	157	第424図	VI～VII層層出土石器実測図(楔形石器4)……………	244
第363図	X類土器実測図(13)……………	158	第425図	VI～VII層層出土石器実測図(二次加工痕のある剥片1)……	245
第364図	X類土器実測図(14)……………	159	第426図	VI～VII層層出土石器実測図(二次加工痕のある剥片2)……	246
第365図	X類土器実測図(15)……………	160	第427図	VI～VII層層出土石器実測図(二次加工痕のある剥片3)……	247
第366図	X類土器実測図(16)……………	161	第428図	VI～VII層層出土石器実測図(微細剥離痕のある剥片1)……	248
第367図	X類土器実測図(17)……………	162	第429図	VI～VII層層出土石器実測図(微細剥離痕のある剥片2)……	249
第368図	X類土器実測図(18)……………	163	第430図	VI～VII層層出土石器実測図(石核1)……………	252
第369図	X類土器実測図(19)……………	164	第431図	VI～VII層層出土石器実測図(石核2)……………	253
第370図	X類土器実測図(20)……………	165	第432図	VI～VII層層出土石器実測図(石核3)……………	254
第371図	X類土器実測図(21)……………	166	第433図	VI～VII層層出土石器実測図(石核4)……………	255
第372図	X類土器実測図(22)……………	167	第434図	VI～VII層層出土石器実測図(石核5)……………	256
第373図	X類土器実測図(23)……………	168	第435図	VI～VII層層出土石器実測図(石核6)……………	257
第374図	X類土器実測図(24)……………	169	第436図	VI～VII層層出土石器実測図(石核7)……………	258
第375図	接合状況図及び碎片化図分析対象資料……………	181	第437図	VI～VII層層出土石器実測図(石核8)……………	259
第376図	X類574土器接合状況図及び碎片化図(1)……………	182	第438図	VI～VII層層出土石器実測図(石核9)……………	260
第377図	X類579土器接合状況図及び碎片化図(2)……………	184	第439図	VI～VII層層出土石器実測図(石核11)……………	261
第378図	X類612土器接合状況図及び碎片化図(3)……………	186	第440図	VI～VII層層出土石器実測図(原礫)……………	262
第379図	X類605土器接合状況図及び碎片化図(4)……………	188	第441図	VI～VII層層出土石器実測図(剥片1)……………	263
第380図	X類653土器接合状況図及び碎片化図(5)……………	190	第442図	VI～VII層層出土石器実測図(剥片2)……………	264
第381図	X類657土器接合状況図及び碎片化図(6)……………	192	第443図	VI～VII層層出土石器実測図(剥片3)……………	265
第382図	X I類～X V類土器出土状況図……………	194	第444図	VI～VII層層出土石器実測図(剥片4)……………	266
第383図	X I類土器実測図……………	195	第445図	VI～VII層層出土石器実測図(剥片5)……………	267
第384図	X III類土器実測図……………	196	第446図	VI～VII層層出土石器実測図(剥片6)……………	268
第385図	X II類土器実測図(1)……………	197	第447図	VI～VII層層出土石器実測図(剥片7)……………	269
第386図	X II類土器実測図(2)……………	198	第448図	VI～VII層層出土石器実測図(石斧1)……………	272
第387図	X IV～X V類土器実測図……………	200	第449図	VI～VII層層出土石器実測図(石斧2)……………	273
第388図	VIII層出土石器分布図……………	201	第450図	VI～VII層層出土石器実測図(大型削器)……………	274
第389図	VIII層出土石器実測図(石鏃)……………	202	第451図	VI～VII層層出土石器実測図(ハンマーストーン)……………	275
第390図	VIII層出土石器実測図(石核)……………	204	第452図	VI～VII層層出土石器実測図(磨石/敲石1)……………	276
第391図	VIII層出土石器実測図(剥片)……………	205	第453図	VI～VII層層出土石器実測図(磨石/敲石2)……………	277
第392図	VIII層出土石器実測図(磨製石斧, 大型削器, ハンマー, 磨石/敲石1)……………	206	第454図	VI～VII層層出土石器実測図(磨石/敲石3)……………	278
第393図	VIII層出土石器実測図(磨石/敲石2)……………	207	第455図	VI～VII層層出土石器実測図(磨石/敲石4)……………	279
第394図	VIII層出土石器実測図(石皿)……………	208	第456図	VI～VII層層出土石器実測図(磨石/敲石5)……………	280
第395図	VI層～VII層層出土石器分布図……………	209	第457図	VI～VII層層出土石器実測図(磨石/敲石6)……………	281
第396図	VI層～VII層層出土石器実測図……………	210	第458図	VI～VII層層出土石器実測図(石皿/台石1)……………	283
第397図	VI～VII層層出土石器実測図(石鏃1)……………	212	第459図	VI～VII層層出土石器実測図(石皿/台石2)……………	284
第398図	VI～VII層層出土石器実測図(石鏃2)……………	213	第460図	VI～VII層層出土石器実測図(石皿/台石3)……………	285
第399図	VI～VII層層出土石器実測図(石鏃3)……………	214	第461図	VI～VII層層出土石器実測図(石皿/台石4)……………	286
第400図	VI～VII層層出土石器実測図(石鏃4)……………	215	第462図	VI～VII層層出土石器実測図(石皿/台石5)……………	287
第401図	VI～VII層層出土石器実測図(石鏃5)……………	216	第463図	VI～VII層層出土石器実測図(石皿/台石6)……………	288
第402図	VI～VII層層出土石器実測図(石鏃6)……………	217	第464図	VI～VII層層出土石器実測図(石皿/台石7)……………	289
第403図	VI～VII層層出土石器実測図(石鏃7)……………	218	第465図	V層層出土石器分布図……………	290
第404図	VI～VII層層出土石器実測図(石鏃8)……………	219	第466図	V層層出土石器実測図(石鏃)……………	291
第405図	VI～VII層層出土石器実測図(石鏃9)……………	220	第467図	V層層出土石器実測図(石鏃・石匙・スクレイパー1)……	292
第406図	VI～VII層層出土石器実測図(石鏃10)……………	221	第468図	V層層出土石器実測図(スクレイパー2)……………	293
第407図	VI～VII層層出土石器実測図(石鏃11)……………	222	第469図	V層層出土石器実測図(微細剥離痕のある剥片・石核・ 剥片1)……………	294
第408図	VI～VII層層出土石器実測図(大型石鏃, 尖頭状石器, 石槍) ……………	223	第470図	V層層出土石器実測図(剥片2・磨製石斧・磨石/敲石)……	295
第409図	VI～VII層層出土石器実測図(石鏃未製品1)……………	224	第471図	IV層層出土石器実測図(石鏃・スクレイパー・石核)……………	297
第410図	VI～VII層層出土石器実測図(石鏃未製品2)……………	225	第472図	IV層層出土石器実測図(剥片・磨製石斧)……………	298
第411図	VI～VII層層出土石器実測図(石鏃未製品3)……………	226	第473図	時期不明石器実測図(石鏃・スクレイパー・剥片)……………	299
第412図	VI～VII層層出土石器実測図(石匙)……………	232	第474図	時期不明石器実測図(磨製石斧)……………	300
第413図	VI～VII層層出土石器実測図(石錐)……………	233	第475図	時期不明石器実測図(旧石器)……………	300
第414図	VI～VII層層出土石器実測図(抉入石器)……………	234	第476図	古墳時代遺物分布図及び遺構位置図……………	303
第415図	VI～VII層層出土石器実測図(スクレイパー1)……………	235	第477図	1号住居検出状況……………	304
第416図	VI～VII層層出土石器実測図(スクレイパー2)……………	236	第478図	1号住居完掘状況……………	305
第417図	VI～VII層層出土石器実測図(スクレイパー3)……………	237	第480図	1号住居内出土遺物……………	306
第418図	VI～VII層層出土石器実測図(スクレイパー4)……………	238	第479図	1号住居内遺物集中部……………	306
第419図	VI～VII層層出土石器実測図(スクレイパー5)……………	239	第481図	1号住居内出土遺物……………	307
第420図	VI～VII層層出土石器実測図(スクレイパー6)……………	240	第482図	2号住居検出状況及び住居内出土遺物……………	308
第421図	VI～VII層層出土石器実測図(楔形石器1)……………	241	第483図	3号住居検出状況及び住居内出土遺物……………	309
第422図	VI～VII層層出土石器実測図(楔形石器2)……………	242	第484図	4号住居検出状況……………	310
第423図	VI～VII層層出土石器実測図(楔形石器3)……………	243	第485図	4号住居内出土遺物……………	311
			第486図	古墳時代出土遺物(1)……………	312

## 插 圖 目 次

第487圖	古墳時代出土遺物(2)……………	313
第488圖	古墳時代出土遺物(3)……………	314
第489圖	古墳時代出土遺物(4)……………	315
第490圖	古墳時代出土遺物(5)……………	316

## 表 目 次

第70表	Ⅷ層遺構内出土石器觀察表……………	42	第120表	X V類土器觀察表……………	200
第71表	Ⅷ層遺構内出土土器觀察表……………	42	第121表	Ⅷ層出土石器觀察表(1)……………	203
第72表	Ⅶ層遺構内出土土器觀察表……………	78	第122表	Ⅷ層出土石器觀察表(2)……………	205
第73表	Ⅶ層遺構内出土土製品觀察表……………	78	第123表	Ⅷ層出土石器觀察表(3)……………	207
第74表	Ⅶ層遺構内出土石器觀察表……………	78	第124表	Ⅷ層出土石器觀察表(4)……………	208
第75表	V層遺構内出土土器觀察表……………	90	第125表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(1)……………	226
第76表	Ⅳ層遺構内出土土器觀察表……………	94	第126表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(2)……………	227
第77表	I類土器觀察表(1)……………	97	第127表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(3)……………	228
第78表	I類土器觀察表(2)……………	98	第128表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(4)……………	229
第79表	Ⅱ類土器觀察表(1)……………	101	第129表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(5)……………	230
第80表	Ⅱ類土器觀察表(2)……………	102	第130表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(6)……………	231
第81表	Ⅱ類土器觀察表(3)……………	105	第131表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(7)……………	232
第82表	Ⅱ類土器觀察表(4)……………	106	第132表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(8)……………	237
第83表	Ⅱ類土器觀察表(5)……………	107	第133表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(9)……………	239
第84表	Ⅱ類土器觀察表(6)……………	108	第134表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(10)……………	240
第85表	Ⅲ類土器觀察表(1)……………	110	第135表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(11)……………	250
第86表	Ⅲ類土器觀察表(2)……………	115	第136表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(12)……………	251
第87表	Ⅲ類土器觀察表(3)……………	116	第137表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(13)……………	256
第88表	Ⅲ類土器觀察表(4)……………	117	第138表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(14)……………	257
第89表	Ⅲ類土器觀察表(5)……………	118	第139表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(15)……………	258
第90表	Ⅳ類土器觀察表……………	121	第140表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(16)……………	259
第91表	V類土器觀察表……………	123	第141表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(17)……………	260
第92表	Ⅵ類土器觀察表……………	125	第142表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(18)……………	262
第93表	Ⅶ類土器觀察表……………	126	第143表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(19)……………	270
第94表	Ⅷ類土器觀察表……………	128	第144表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(20)……………	271
第95表	Ⅸ類土器觀察表(1)……………	139	第145表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(21)……………	273
第96表	Ⅸ類土器觀察表(2)……………	140	第146表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(22)……………	275
第97表	Ⅸ類土器觀察表(3)……………	141	第147表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(23)……………	281
第98表	Ⅸ類土器觀察表(4)……………	142	第148表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(24)……………	282
第99表	Ⅸ類土器觀察表(5)……………	143	第149表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(25)……………	286
第100表	Ⅸ類土器觀察表(6)……………	144	第150表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(26)……………	287
第101表	Ⅸ類土器觀察表(7)……………	145	第151表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(27)……………	288
第102表	X類土器觀察表(1)……………	147	第152表	Ⅵ～Ⅶ層出土石器觀察表(28)……………	289
第103表	X類土器觀察表(2)……………	149	第153表	V層出土石器觀察表……………	296
第104表	X類土器觀察表(3)……………	150	第154表	Ⅳ層出土石器觀察表……………	301
第105表	X類土器觀察表(4)……………	151	第155表	時期不明石器觀察表……………	301
第106表	X類土器觀察表(5)……………	170	第156表	古墳時代出土土器觀察表(1)……………	317
第107表	X類土器觀察表(6)……………	171	第157表	古墳時代出土土器觀察表(2)……………	318
第108表	X類土器觀察表(7)……………	172	第158表	古墳時代出土土器觀察表(3)……………	319
第109表	X類土器觀察表(8)……………	173	第159表	古墳時代出土土器觀察表(4)……………	320
第110表	X類土器觀察表(9)……………	174	第160表	古墳時代出土石器觀察表……………	320
第111表	X類土器觀察表(10)……………	175	第161表	古墳時代出土鉄器觀察表……………	320
第112表	X類土器觀察表(11)……………	176			
第113表	X類土器觀察表(12)……………	177			
第114表	X類土器觀察表(13)……………	178			
第115表	X類土器觀察表(14)……………	179			
第116表	X I類土器觀察表……………	195			
第117表	X III類土器觀察表……………	196			
第118表	X II類土器觀察表……………	199			
第119表	X IV類土器觀察表……………	200			



## 第IV章 縄文時代の調査

### 第1節 調査の方法と概要

縄文時代の調査は10m四方のグリッドを設定し、調査区全体にわたり全面発掘調査を行った。

遺跡の所在する周辺一帯は、噴出源や噴出時期の異なる火山噴出物が良好に堆積していることが知られていた。本遺跡でもそれに違わず条件の良い部分では、各種の火山噴出物が堆積し、それらの層を間層に、その上下に遺構、遺物が包含されていたが、台地面の先端部や、傾斜面等では削平や流失等により減少、消失している部分も見られた。

本遺跡の代表的火山噴出堆積層は、IV層に縄文時代中期から後期の目安とされる御池軽石層、Vb層にアカホヤ火山灰層、VI層にP-11黄褐色軽石層、IX層に薩摩火山灰層である。したがって、遺構、遺物はその間の腐植土層に発見されることとなる。

縄文時代の遺構、遺物は、X層～IV層にかけて検出している。遺構では、集石、土坑、土器埋設土坑が発見されている。

集石遺構はVIII層(24基)、VII層(28基)、VI層(14基)、V層(3基)の69基が検出され、土坑はVIII層(54基)、VII層(19基)、V層(5基)、IV層(4基)の82基を検出している。さらにVII層では、3個の耳栓状土製品と石器等を出土した土坑も検出している。

集石遺構のうち、VII層、VI層の集石は、半円形状(環状)に検出され、特徴的な配置、分布状況を示していた。また、VII層での集石と土坑の分布は、分布域を異にする状況が見られ、遺構の違い(機能)による場の占地が異なる可能性を示していた。

特殊遺構として、VII層で完形の土器を埋設した土器埋設土坑も4基が発見されている。4基の土坑には、極めて完形品に近い状態の土器を1点ずつ設置したであろう状況が観察されている。

遺物は、X層～IV層にかけて多量に出土した。特にVI層、VII層の出土が顕著で、全体量の約6割を越している。特に、VI層が主要包含層のX類土器は、集石遺構を環状に取り巻くように分布し、遺構との関連性を示すとともに、特異な出土状況を提示していた。

### 第2節 縄文時代の遺構

#### 集石遺構

検出した69基の集石については、各集石の検出面を基本に該当する文化層を判断し、文化層毎にまとめて記載した。また、礫の集中度合いから大きく3種に区分できるが、それぞれが複合するパターンを見られることから最終的に5つに分類した。

#### 集石遺構の分類

- 集石Ⅰ類 土坑状の掘り込みに礫が集中するもの及びその可能性が高いもので、いわゆる典型的な集石遺構
- 集石Ⅱ類 礫は集中するが掘り込み遺構が確認されないもので、礫の底面配置が水平に観察されたもの
- 集石Ⅲ類 まばらに散在する礫が一定のエリアを確保するもの、集石の拡散化?
- 集石Ⅳ類 掘り込みを持つ集石と、掘り込み外に散在しながら集石を構成するものとの組み合わせ(Ⅰ類+Ⅲ類)
- 集石Ⅴ類 掘り込みを伴わない集中と、その周辺に散在しながら集石を構成するものとの組み合わせ(Ⅱ類+Ⅲ類)

#### 土坑状遺構

検出した82基の土坑についても、土坑内の埋土堆積状況から該当する文化層を推定し、文化層毎にまとめて記述を行った。また、形状や底面に追加された掘り込み・杭痕も確認できるため、6分類した。

#### 土坑状遺構の分類

- 土坑Ⅰ類 掘り込み底面がほぼ平坦をなすもの
- 土坑Ⅱ類 掘り込み壁際に小穴がひとつあるもの
- 土坑Ⅲ類 掘り込み壁際に小穴が複数あるもの
- 土坑Ⅳ類 掘り込み壁際以外に小穴をもつもの
- 土坑Ⅴ類 掘り込みが鋭角なすり鉢状を呈するもの
- 土坑Ⅵ類 掘り込みが2段掘りを呈し、底面がほぼ平坦なもの

VIII層～IV層にかけて、15基の遺構内から遺物が確認された。土器の類別については後述の第IV章第3節において行われた設定に基づき記述した。

### 1 VIII層の遺構

#### 集石遺構

VIII層では24基の集石を検出した。集石は、A地区西側傾斜面よりと、B地区及びC地区に散在する。E、F-15、16区には土坑を含め、やや遺構が集中する傾向がある。

#### 1号集石(第235図)

D-17区で検出した。安山岩と砂岩を使用し、10～15cmの大型の礫が多い。礫は約60cmの円形状に密集し、一部の礫には黒いスス状の付着物がみられ、また、被熱により赤化し、熱破碎した小礫もみられる。

掘り込みラインは確認していないが、礫の底面配置観察からは土坑状の掘り込み遺構を有した可能性が高い。また、中央部がやや窪み礫が整然と配置されることから、集石炉の可能性も伺える。

(集石Ⅰ類)

### 2号集石 (第235図)

F-15区で検出した。安山岩主体の礫を使用し、一部花崗岩らしき礫も混じる。10cm以下の小型の礫が多く、礫は約60cmの円形状に集中し、中心部に被熱により赤化し、熱破碎した小礫がみられる。

掘り込みラインは確認できないが、礫集中度合いや礫の底面配置や断面観察から掘り込みを有した可能性は高い。

(集石Ⅰ類)

### 3号集石 (第235図)

F-10区で検出した。砂岩主体の礫を使用し、若干安山岩が混じる。10cm前後の中型の礫と大型の礫が多い。中心部の礫は被熱により赤化がみられる。

長径65cm、短径62cmのほぼ円形で、礫上面からの深さ20cmの掘り込みが確認された。礫は数段に重なり合い、非常に良好な残存状況を示す。

(集石Ⅰ類)

### 4号集石 (第235図)

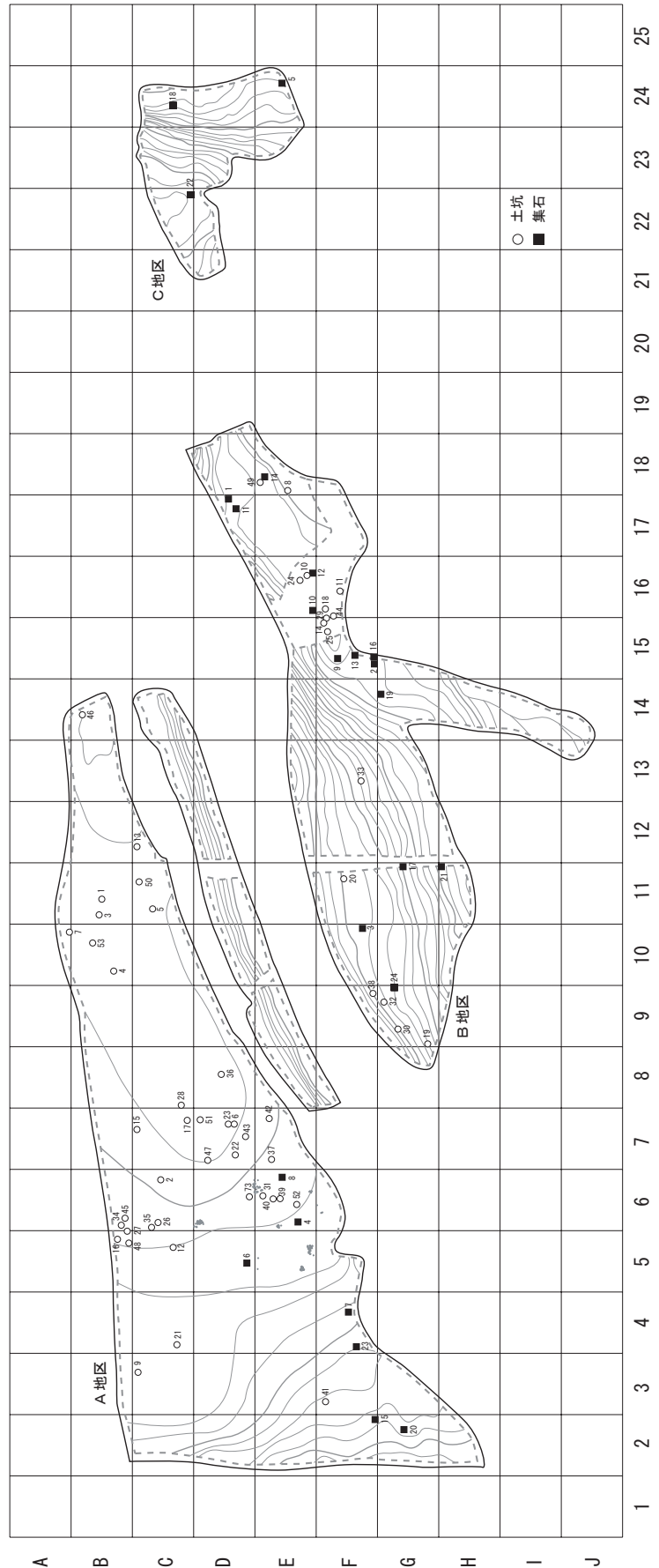
E-6区で検出した。安山岩主体の礫を使用し、一部砂岩も混じる。小型の角礫が多く、わずかに被熱による赤化した礫がみられ、中心部には小礫が集中する。

土坑は、長径87cm、短径63cmの楕円形で、Ⅸ層中に黒褐色土を埋土とする。礫上面からの深さ15cmで土坑の床面を確認し、礫のほとんどは土坑を被覆するような状態で床面より上位で検出し、底面付近には数点の礫が確認された。

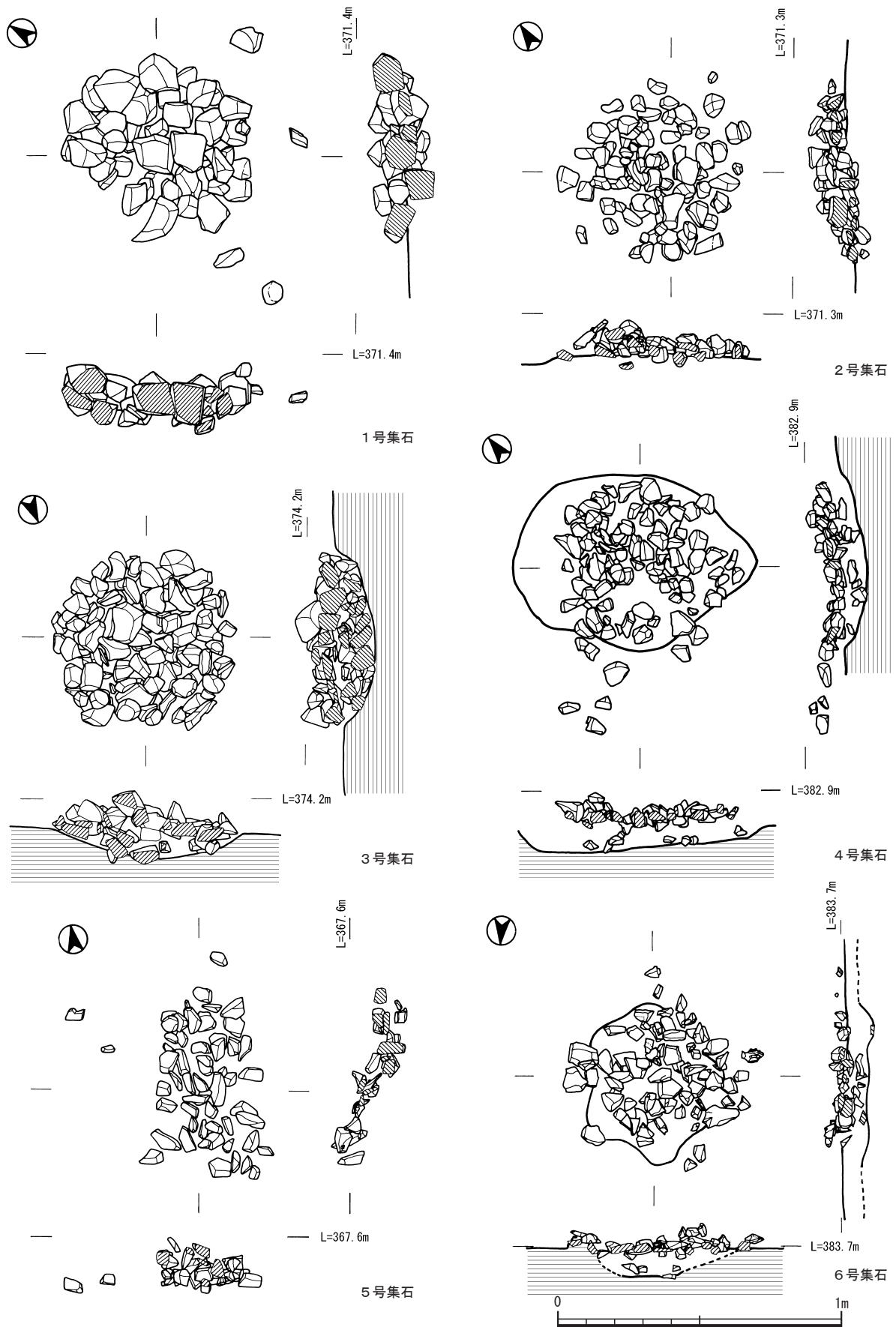
(集石Ⅰ類)

### 5号集石 (第235図)

E-24区で検出した。安山岩主体の礫を使用し、中型から大型の礫が多い。被熱により黒変した礫がみられる。礫集中部の南側にみられる礫は、やや盛り上がりをもせ、雑多に積み上げたような状況であった。北側の礫集中部は断面観察で中心部が窪むことから、明確なラインは確認できていないが掘り込みを



第234図 Ⅷ層 遺構位置及び散石検出状況図



第235图 VIII层集石 (1)

伴った可能性が高い。

(集石Ⅰ類)

#### 6号集石 (第235図)

D-5区で検出した。安山岩主体の礫を使用し、一部砂岩、頁岩が混じる。小型の礫が多く、一部には被熱による赤化がみられる。

IX層中に暗褐色土を埋土とする、長径57cm、短径47cm、礫上面からの深さ13cmの掘り込みを確認した。礫は掘り込みを被覆する状態で検出され、掘り込み内には数点の小礫がみられるのみである。

(集石Ⅰ類)

#### 7号集石 (第236図)

F-4区で検出した。安山岩が使用され、小型の礫が多い。一部の礫は被熱により赤化がみられる。

20数点の礫が集中するが、掘り込み等を伴った痕跡はみられない。

(集石Ⅱ類)

#### 8号集石 (第236図)

E-6区で検出した。安山岩が使用され、中型から小型の礫が多い。礫は被熱により赤化している。礫がコンパクトにまとまる。

40cm×30cmの範囲に礫が集中し、ほぼ水平に接地することから掘り込み等は無いと判断される。

(集石Ⅱ類)

#### 9号集石 (第236図)

F-15区で検出した。堆積岩系の礫と安山岩を使用し、わずかに砂岩が混じる。礫は被熱により赤化し、一部は熱破碎している。

70cm×60cmの範囲に散在する。

(集石Ⅲ類)

#### 10号集石 (第236図)

E-16区で検出した。安山岩、砂岩を使用し、中型から大型の礫が多い。被熱の状況はほとんどうかがえない。

15cmを越す礫が集まるが、接地は水平とみられる。

(集石Ⅱ類)

#### 11号集石 (第236図)

D-17区で検出した。安山岩を使用し、砂岩がわずかに混じる。中型から小型の礫が多い。礫は被熱により赤化、黒変するものがみられる。砂岩製の磨石 (第270図) が共伴する。

検出では、礫の接地は水平と判断した。

(集石Ⅲ類)

#### 12号集石 (第236図)

E-16区で検出した。砂岩、安山岩を使用し、大型の礫と小型の礫が多い。中心部の礫は被熱により赤化がみられ、一部熱破碎した礫もみられる。

50cm×70cmの範囲に集中する。

(集石Ⅱ類)

#### 13号集石 (第237図)

F-15区で検出した。安山岩、砂岩を使用し、大型から中型の礫が多い。礫の半数程度は被熱により赤化し、一部は熱破碎している。

中央部がわずかに窪む東側の礫集中部は、断面から掘り込みを有した可能性がうかがえる。西側にみられる礫はわずかに集中部より高く、傾斜に沿って流れたような状況を呈している。

(集石Ⅰ類)

#### 14号集石 (第237図)

E-18区で検出した。安山岩を使用し、わずかに砂岩が混じる。中型の摩滅した角礫が多い。被熱の様子はあまりうかがえない。調査時の標高計算に誤りがあり実際のデータは不明である。

150cm×150cmの範囲に散在する。

(集石Ⅲ類)

#### 15号集石 (第238図)

F-2区で検出した。安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。礫集中部の礫に被熱により赤化しているものがみられる。

集石と、それを取り巻く散在礫で構成する。15号集石(50cm×50cm)は中央付近が窪み、断面観察等から掘り込みを有した可能性が高い。集石周辺の礫は、水平状に散在する。

(集石Ⅳ類)

#### 16号集石 (第239図)

F-15区で検出した。安山岩を使用し、中型から大型の礫が多い。中心付近の礫は被熱により赤化している。

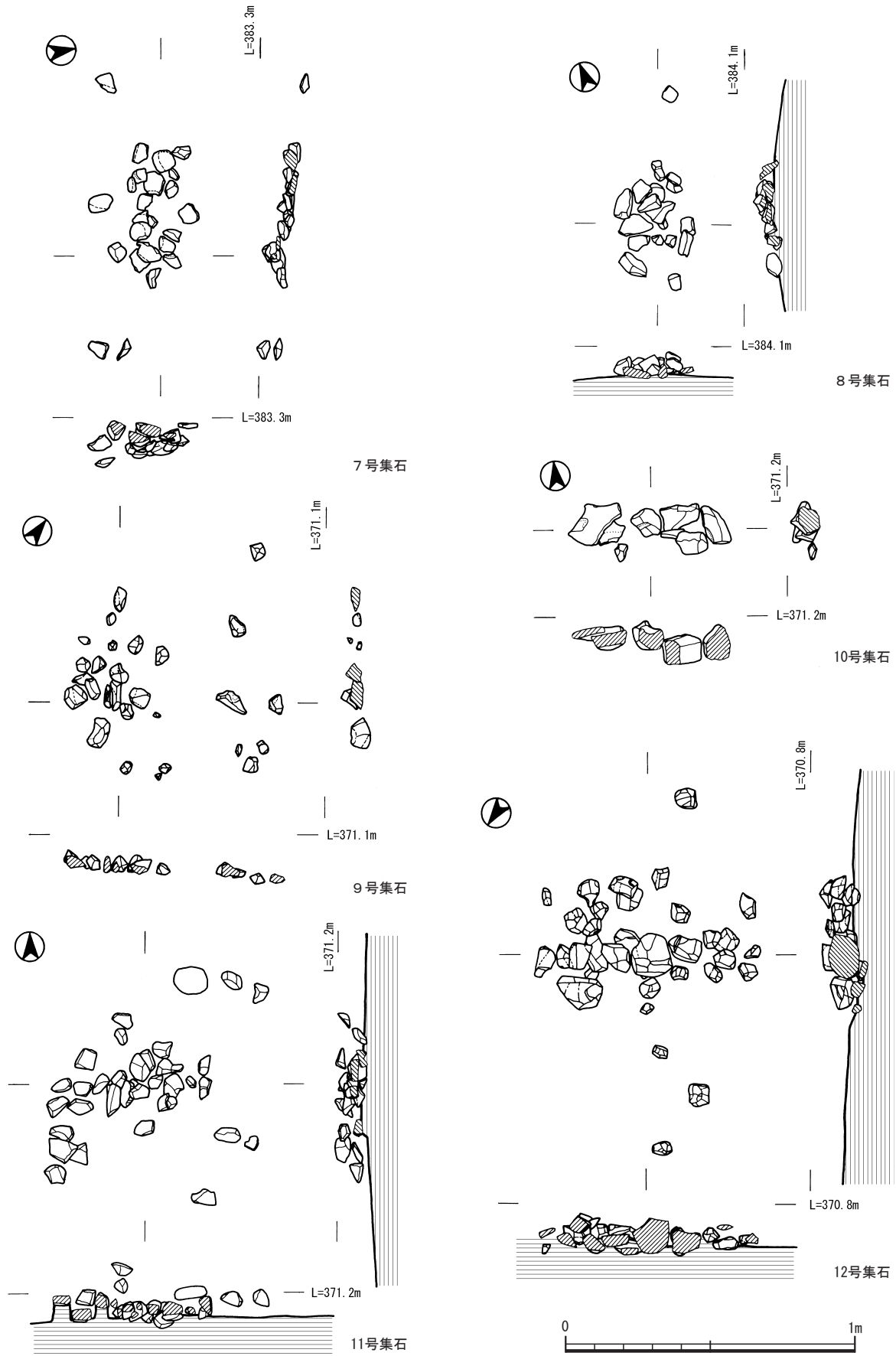
平面図と図面注記に掘り込みの記載があるが、断面図に反映されず礫との関係が不明である。礫分布も上下2枚に分かれるように見える部分があり、2基の礫群が重なり合っている可能性も考えられる。今回は1基と判断した。

(集石Ⅱ類?)

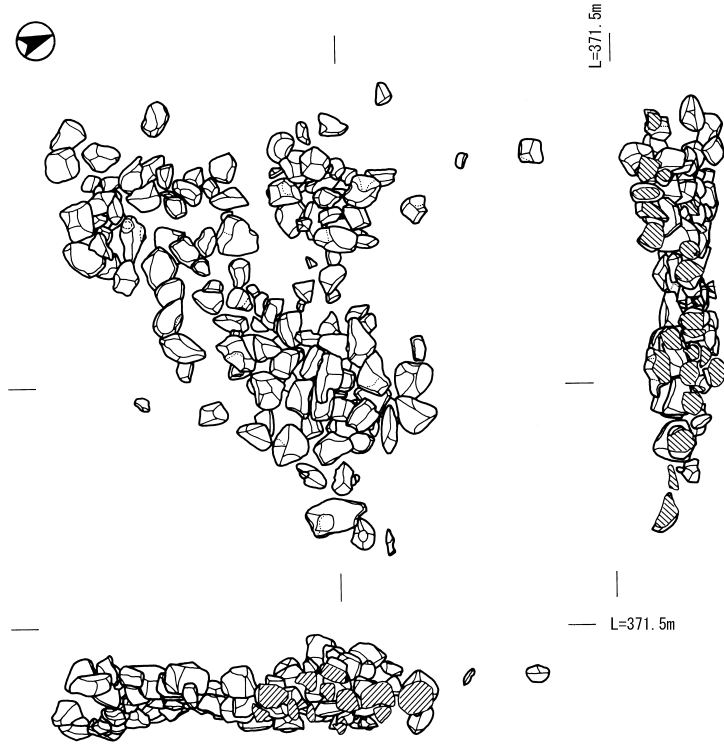
#### 17号集石 (第239図)

G-11区で検出した。安山岩を使用し、中型から大型の角礫が多い。礫は被熱により赤化していて、中心部には炭化物粒も認められる。

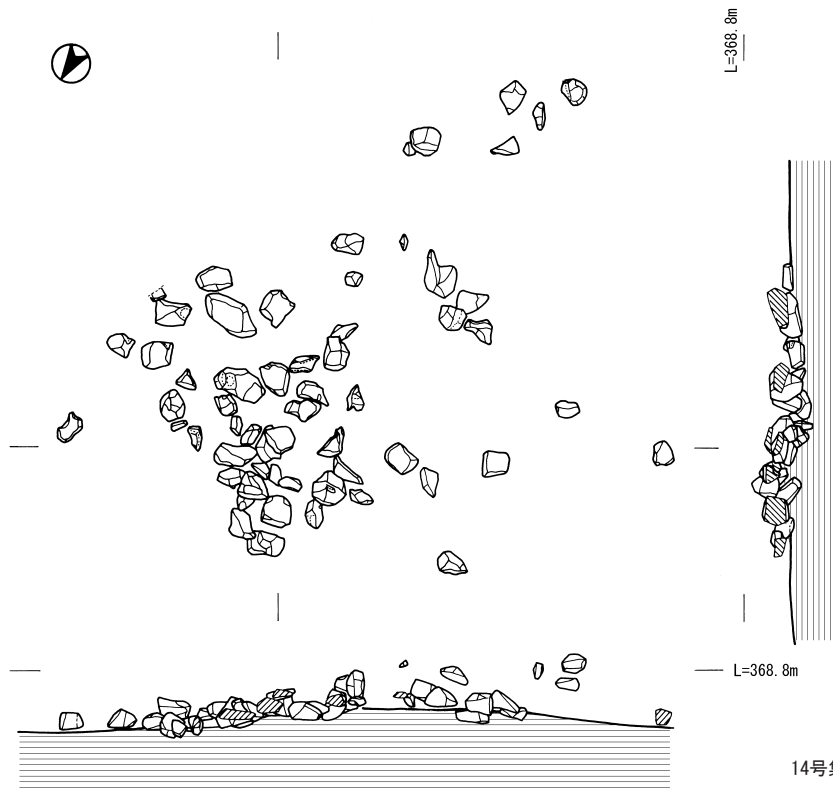
集石部(60cm×70cm)と周辺部から成り、集石部は円形



第236図 VIII層集石 (2)



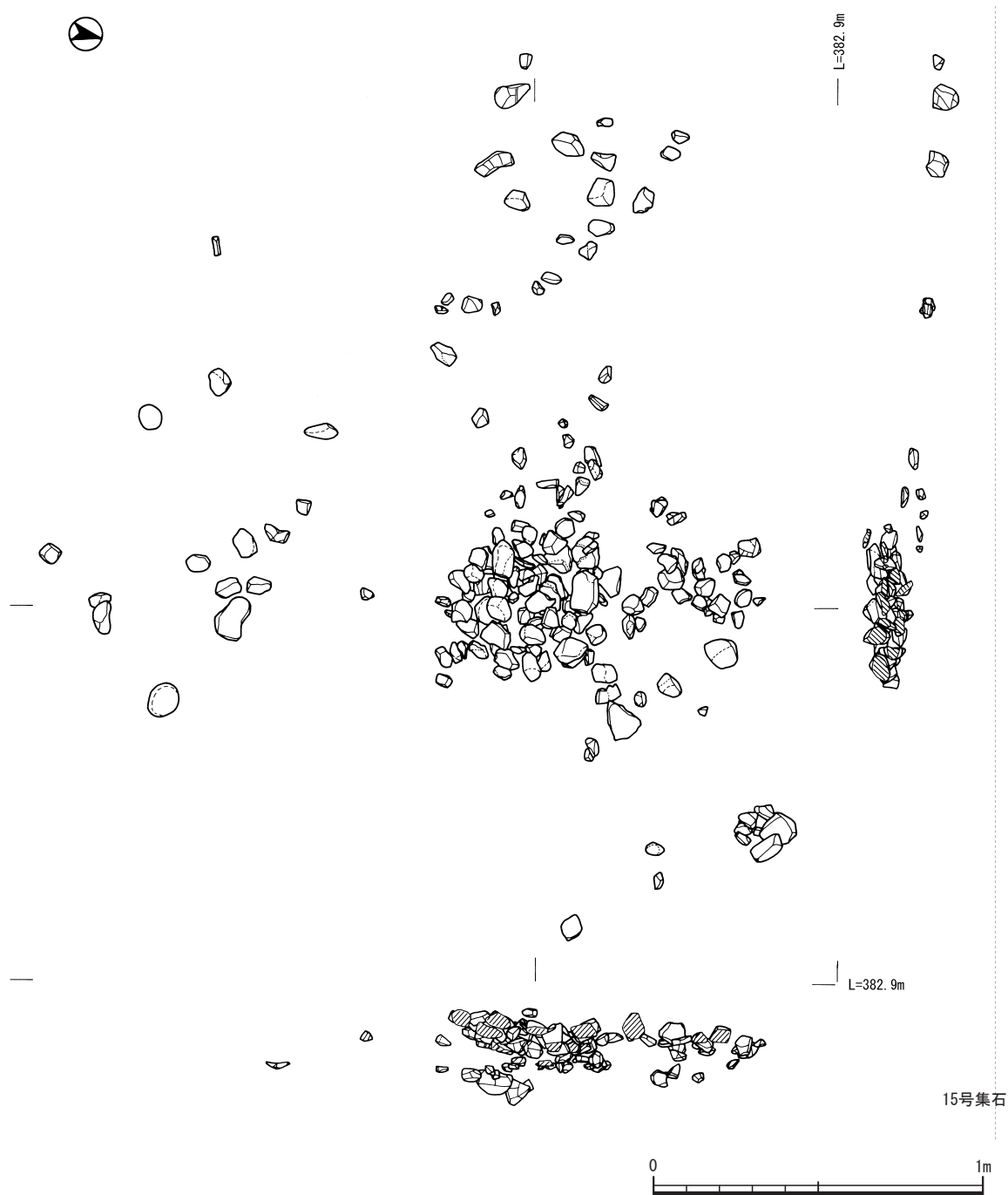
13号集石



14号集石



第237图 VIII層集石 (3)



第238図 VIII層集石 (4)

状の配置が見られ、南北方向の接地状況からは掘り込みの可能性を示している。集石部からはみ出した南側の礫は水平に接地する。

(集石IV類)

18号集石 (第240図)

C-24区で検出した。安山岩を使用し、中型から大型の

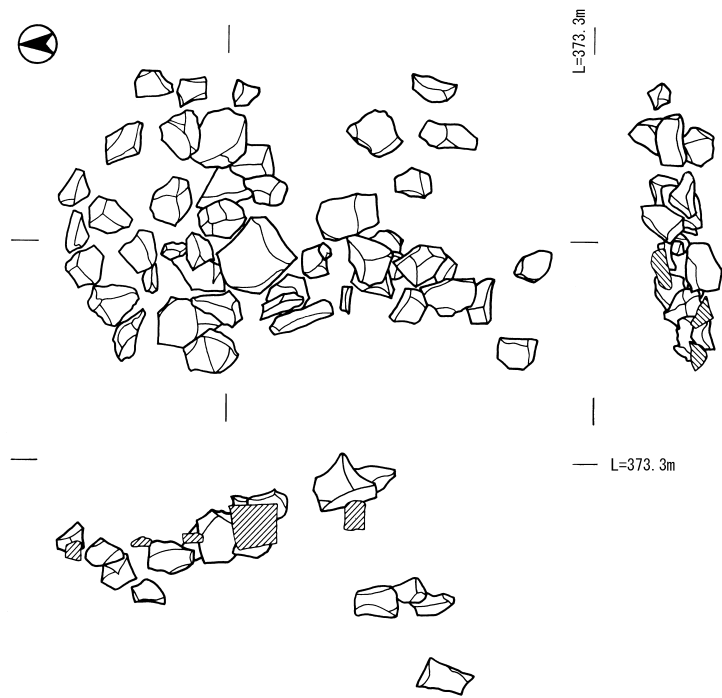
角礫が多い。一部の礫には被熱による赤化、黒変がみられる。

300cm×300cmの広範囲に、南東方向に緩やかに傾斜しながら礫が散在する。中央部付近では、集中する傾向も見られるが希薄である。

(集石III類)



16号集石

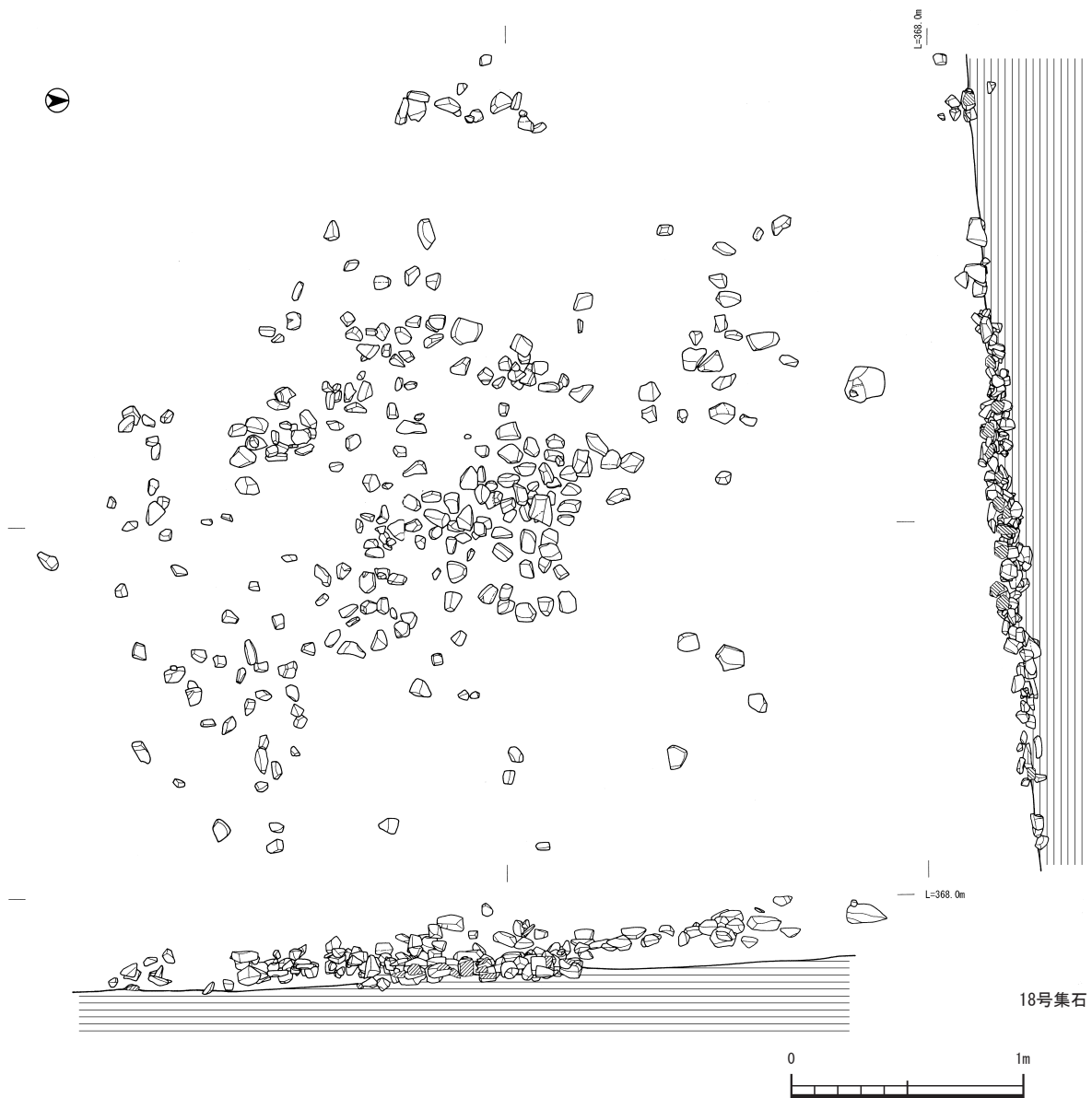


17号集石



第239图 VIII層集石 (5)





第240図 VIII層集石 (6)

19号集石 (第241図)

G-14区で検出した。安山岩を使用し、若干砂岩が混じる。小型から中型の礫が多い。集中部の礫は被熱により赤化しているものが多い。周辺に若干炭化物粒がみられる。

IX層上面で長径85cm、短径80cm、礫上面からの深さ25cmの掘り込みが確認された。掘り込みはX層まで達している。掘り込み内には礫が集中し、集石を構成する。この集石部と、集石外の南から東に水平に散在する礫で構成する。

(集石IV類)

20号集石 (第242図)

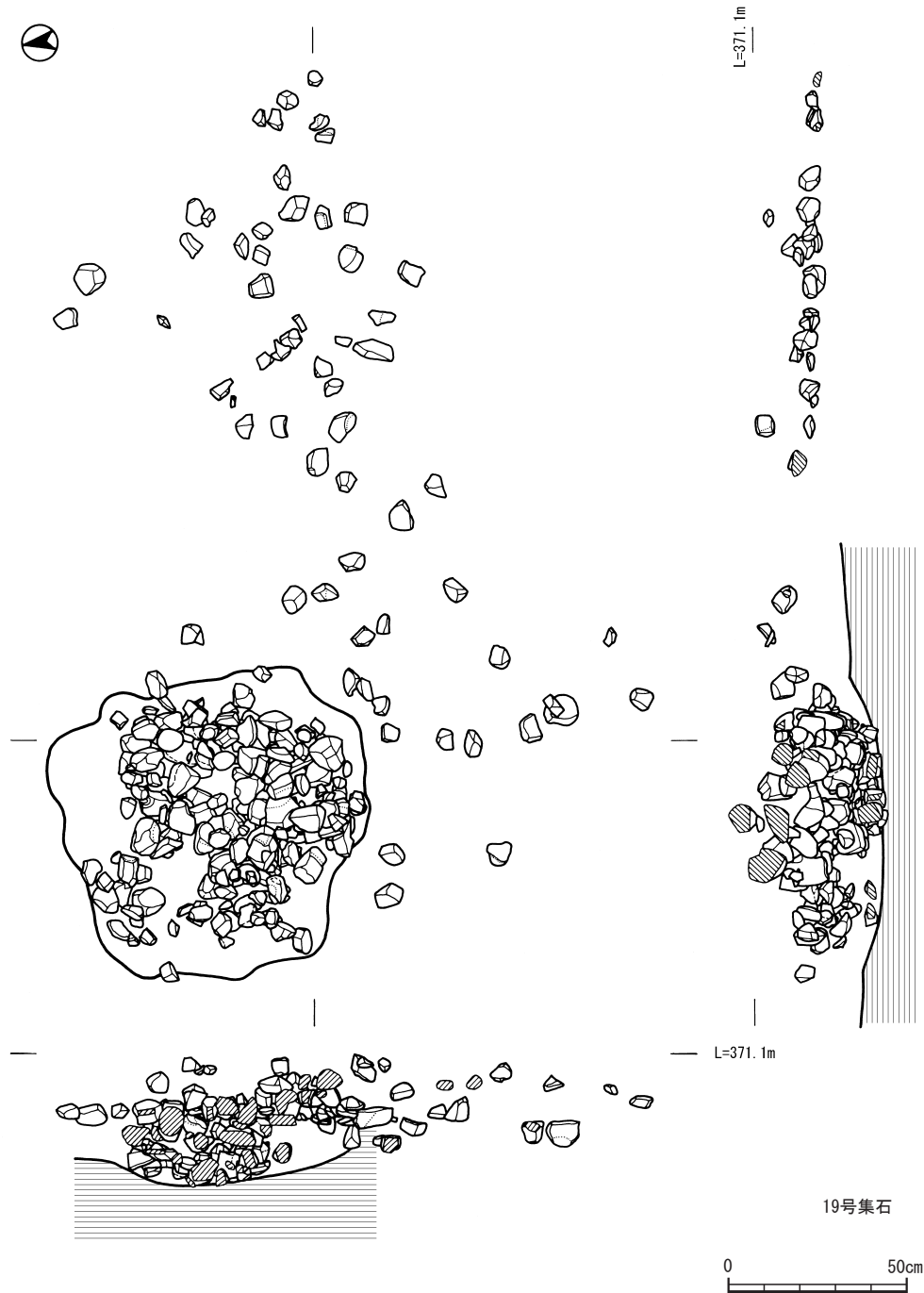
G-2区で検出した。安山岩の小型礫を使用する。礫は被熱により赤化し、熱破碎した礫も多い。礫周辺には焼土と若干の炭化物粒が確認された。

1基の集石として取り扱ったが、元来2基で、2基とも掘り込みを伴う集石の可能性が高い。特に、南側の集石は掘り込み中に整然と収まる。

(集石I類)

21号集石 (第242図)

H-11区で検出した。砂岩、安山岩を使用する。礫は被



第241図 Ⅷ層集石 (7)

熱による赤化，黒変がみられ，一部は熱破碎している。  
(集石Ⅲ類)

**22号集石 (第243図)**

C-22区で検出した。安山岩を使用し，若干砂岩が混じる。中型の礫が多い。一部の礫は被熱により赤化している。  
(集石Ⅲ類)

**23号集石 (第243図)**

F-4区で検出する。小型の礫を使用し，一部は被熱により赤化している。  
(集石Ⅲ類)

**24号集石 (第244図)**

G-9区で検出した。砂岩，安山岩を使用する。礫は被熱により赤化し，一部は熱破碎している。  
(集石Ⅲ類)



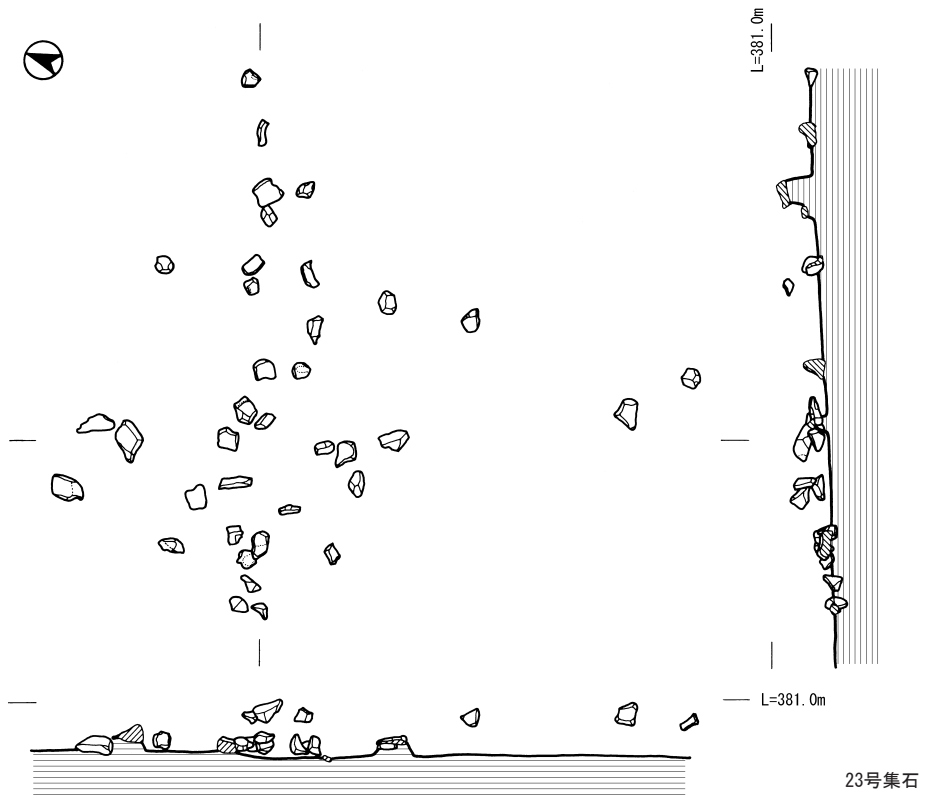
20号集石



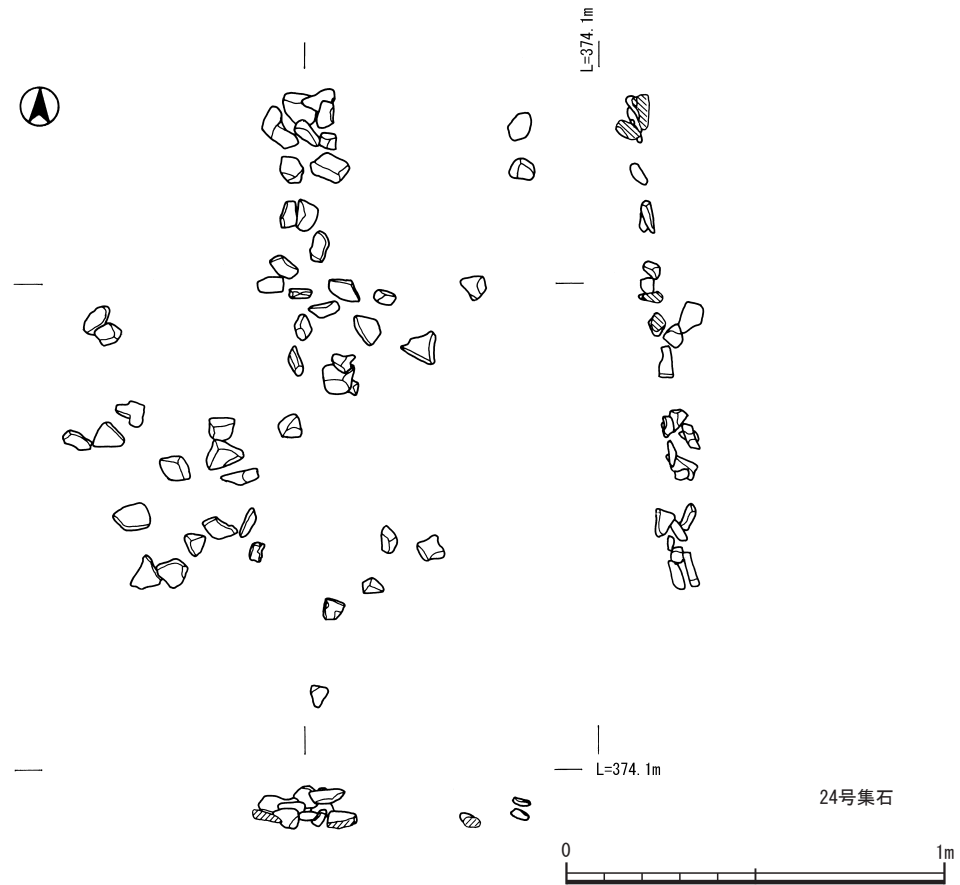
21号集石



第242图 VIII層集石 (8)



第243图 VIII層集石 (9)



第244図 VIII層集石 (10)

### 土坑

VIII層では54基の土坑を検出した。土坑の分布はA地区、B地区に見られ、A地区においては東よりに偏在する。B地区においては散在するが、F-15、16区に集中する傾向が見られる。

#### 1号土坑 (第245図)

B-11区、IX層上面で検出した。平面プラン円形で長軸88cm、短軸82cm、深さは検出面から33cmである。底面はほぼ平坦である。

(土坑I類)

#### 2号土坑 (第245図)

C-6区、IX層上面で検出した。平面プラン円形で長軸113cm、短軸93cm、深さは検出面から26cmである。底面はほぼ平坦で、掘り込み西側壁の立ち上がりが緩やかなのは崩壊したためと考えられる。

(土坑I類)

#### 3号土坑 (第246図)

B-11区、IX層上面で検出した。平面プラン楕円形で長軸73cm、短軸53cm、深さは検出面から44cmである。底面はほぼ平坦で、掘り込み壁はほぼ垂直に立ち上がる。

(土坑I類)

#### 4号土坑 (第246図)

B-10区、IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸108cm、短軸66cm、深さは検出面から20cmである。底面は平坦で掘り込み壁はほぼ垂直に立ち上がる。

(土坑I類)

#### 5号土坑 (第246図)

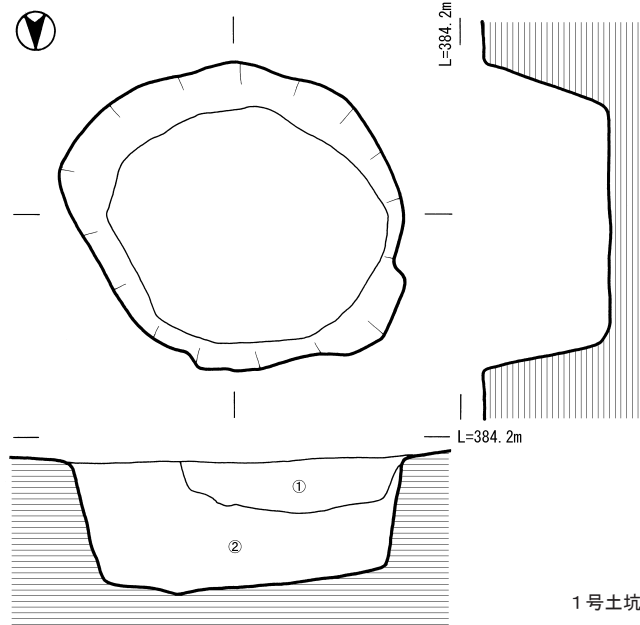
C-11区、IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸110cm、短軸69cm、深さは検出面から22cmである。底面は平坦で掘り込み壁東側の立ち上がりは緩やかである。

(土坑I類)

#### 6号土坑 (第247図)

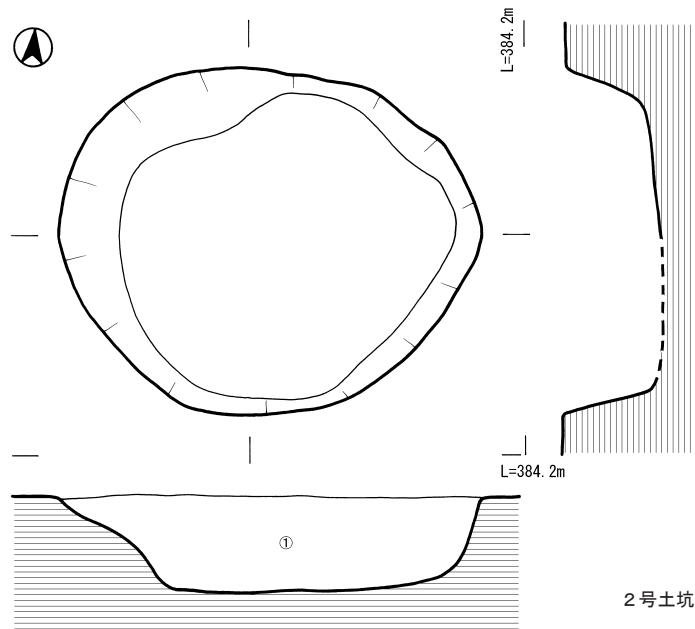
D-7区、IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸109cm、短軸62cm、深さは検出面から16cmである。底面は平坦で掘り込み壁はほぼ垂直に立ち上がる。

(土坑I類)



1号土坑

①	暗茶褐色土。10mm ほどの黄橙色バミスが混じる。
②	黒褐色土。5mm ほどの黄橙色バミスが混じる。

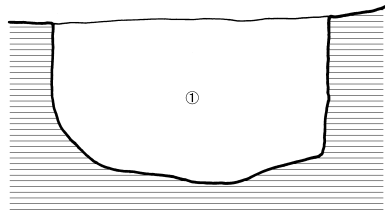
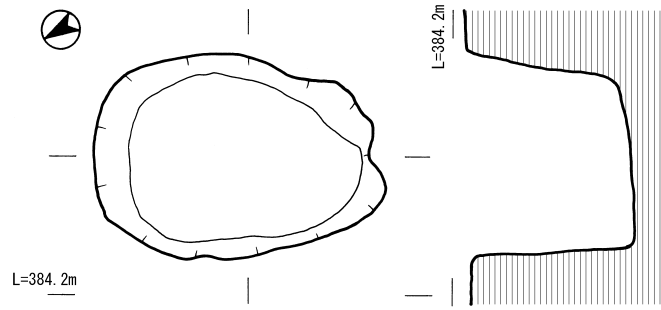


2号土坑

①	黒褐色土。2~5mm の橙色バミスが点在する。
---	-------------------------

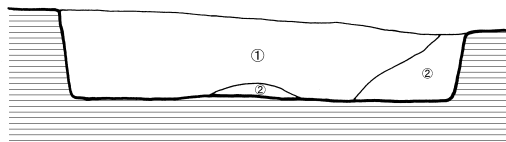
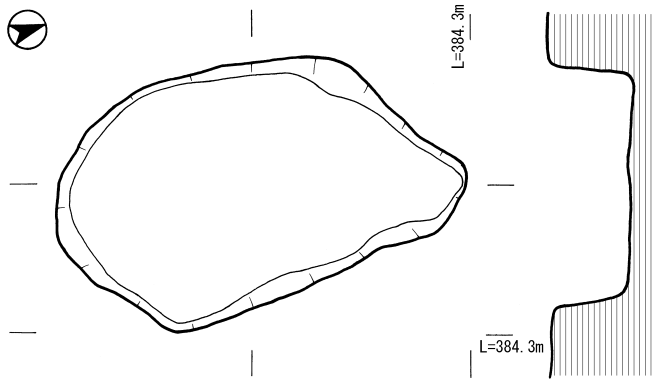


第245図 VIII層土坑 (1)



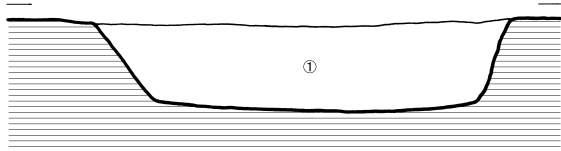
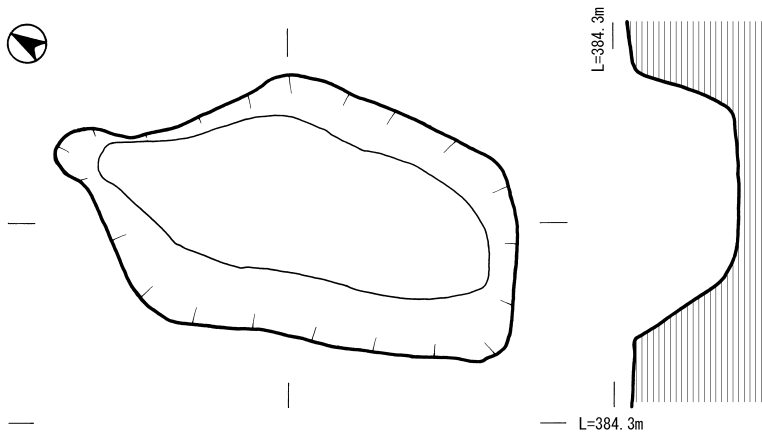
3号土坑

①	黒褐色土。2~3mmの黄橙色バミスが上部に多く、下部に少量混じる。
---	-----------------------------------



4号土坑

①	黒褐色土。黄色バミスが少量混じる。
②	暗茶褐色土。バミスが混じる。

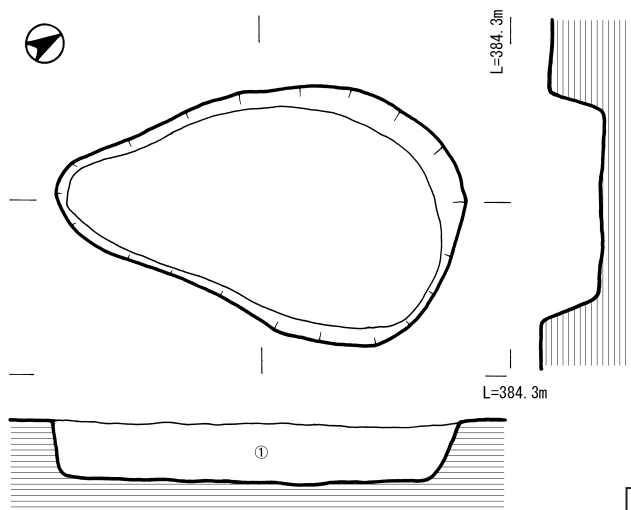


5号土坑

①	黒褐色土。2~5mmの黄白色バミスが少量混じる。
---	--------------------------

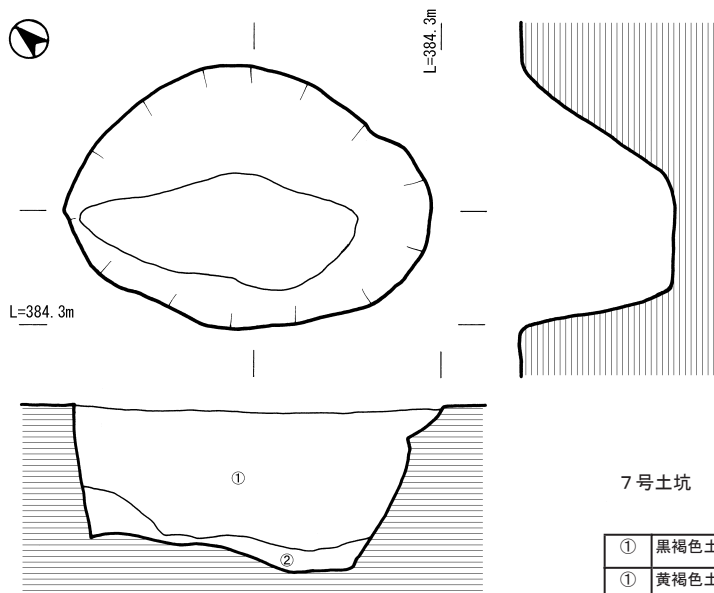


第246図 VIII層土坑(2)



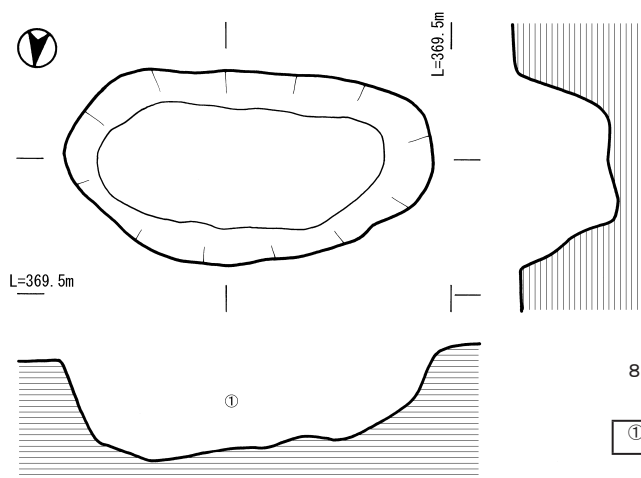
6号土坑

①	黒褐色土。3cmほどのサツマブロックが混じり、2mmほどの黄色バミスも点在する。
---	--



7号土坑

①	黒褐色土。黄色バミスが混じる。
②	黄褐色土。腐植による泥質化が進んだものと思われる。



8号土坑

①	黒色土。5~20mmのサツマバミスが点在する。
---	-------------------------



第247図 VIII層土坑 (3)



#### 7号土坑 (第247図)

A-10区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸97cm, 短軸69cm, 深さは検出面から39cmである。底面はやや傾斜をもっている。  
(土坑Ⅰ類)

#### 8号土坑 (第247図)

E-18区, XⅢ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸97cm, 短軸52cm, 深さは検出面から25cmである。底面には凹凸がみられる。  
(土坑Ⅰ類)

#### 9号土坑 (第248図)

C-3区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸109cm, 短軸42cm, 深さは検出面から38cmである。底面北側にはわずかな窪みがみられ, 掘り込み壁はほぼ垂直に立ち上がる。  
(土坑Ⅰ類)

#### 10号土坑 (第248図)

E-16区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸164cm, 短軸123cm, 深さは検出面から21cmで, やや大型の土坑である。底面はほぼ平坦である。  
(土坑Ⅰ類)

#### 11号土坑 (第249図)

F-16区, XⅠ層で検出した。平面プランはほぼ円形と思われるが一部に突出する部分が見られる。長軸156cm, 短軸125cm, 深さは検出面から23cmである。底面はほぼ平坦で, 埋土中から礫1点と黒曜石チップが6点出土した。  
(土坑Ⅰ類)

#### 12号土坑 (第249図)

C-5区, IX層で検出した。平面プランは不定形で, 長軸108cm, 短軸60cm, 深さは検出面から33cmである。底面はほぼ平坦で, 西側に若干の窪みが見られる。土坑埋土中から黒曜石チップが3点出土した。  
(土坑Ⅰ類)

#### 13号土坑 (第250図)

C-12区, IX層上面で検出した。平面プランは長方形で長軸, 180cm, 短軸70cm, 深さは検出面から27cmである。底面は平坦である。掘り込みが丁寧で, このタイプの土坑は13号1基のみである。  
(土坑Ⅰ類)

#### 14号土坑 (第250図)

F-15区, XⅠ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸81cm, 短軸54cm, 深さは検出面から35cmである。

底面は東側にやや傾斜し, 長軸東端に深さ43cmの小穴がみられる。  
(土坑Ⅱ類)

#### 15号土坑 (第251図)

C-7区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸104cm, 短軸59cm, 深さは検出面から29cmである。底面は南側にやや傾斜し, 長軸南端に深さ75cmの小穴がみられる。  
(土坑Ⅱ類)

#### 16号土坑 (第251図)

B-5区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸96cm, 短軸69cm, 深さは検出面から53cmである。底面は南東側にやや傾斜し, 長軸南東端に深さ55cmの小穴がみられる。  
(土坑Ⅱ類)

#### 17号土坑 (第252図)

C-7区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸76cm, 短軸53cmを, 深さは検出面から20cmである。底面はほぼ平坦で, 長軸東端に深さ28cmの小穴がみられる。  
(土坑Ⅱ類)

#### 18号土坑 (第252図)

F-16区, XⅠ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸端部が一部突出する。長軸134cm, 短軸85cm, 深さは検出面から36cmである。底面は南東側にやや傾斜し, 長軸南東端に深さ76cmの小穴がみられる。埋土中から土器片10点出土した。  
(土坑Ⅱ類)

#### 19号土坑 (第253図)

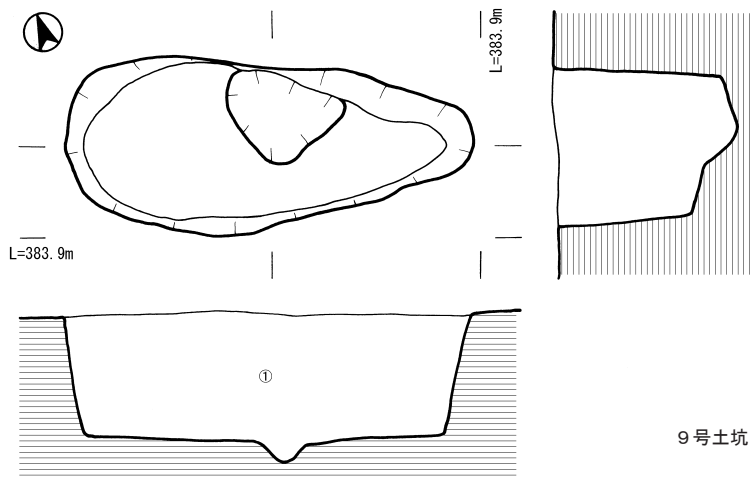
G-9区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸96cm, 短軸52cm, 深さは検出面から35cmである。底面は南側にやや傾斜し, 長軸北端に深さ77cmの小穴がみられる。  
(土坑Ⅱ類)

#### 20号土坑 (第253図)

F-11区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸87cm, 短軸55cm, 深さは検出面から34cmである。底面はほぼ平坦で, 長軸西端に深さ61cmの小穴がみられる。  
(土坑Ⅱ類)

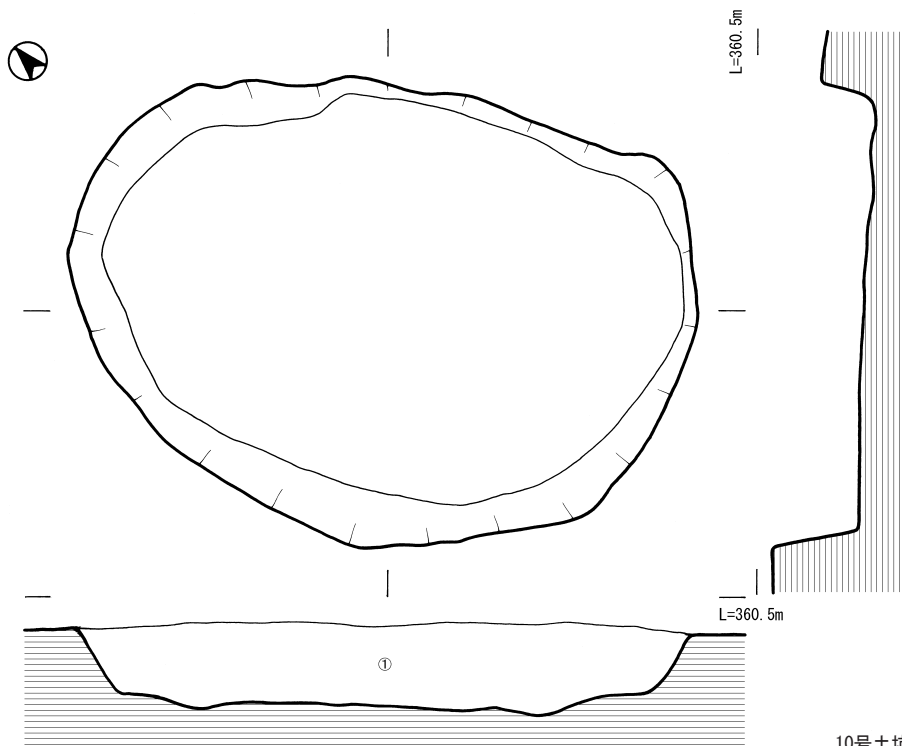
#### 21号土坑 (第254図)

C-4区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸88cm, 短軸50cm, 深さは検出面から30cmである。底面はほぼ平坦で, 長軸北端に深さ30cmの小穴がみられ



9号土坑

① 黒褐色土。1~5mmの橙色バミスが混じる。

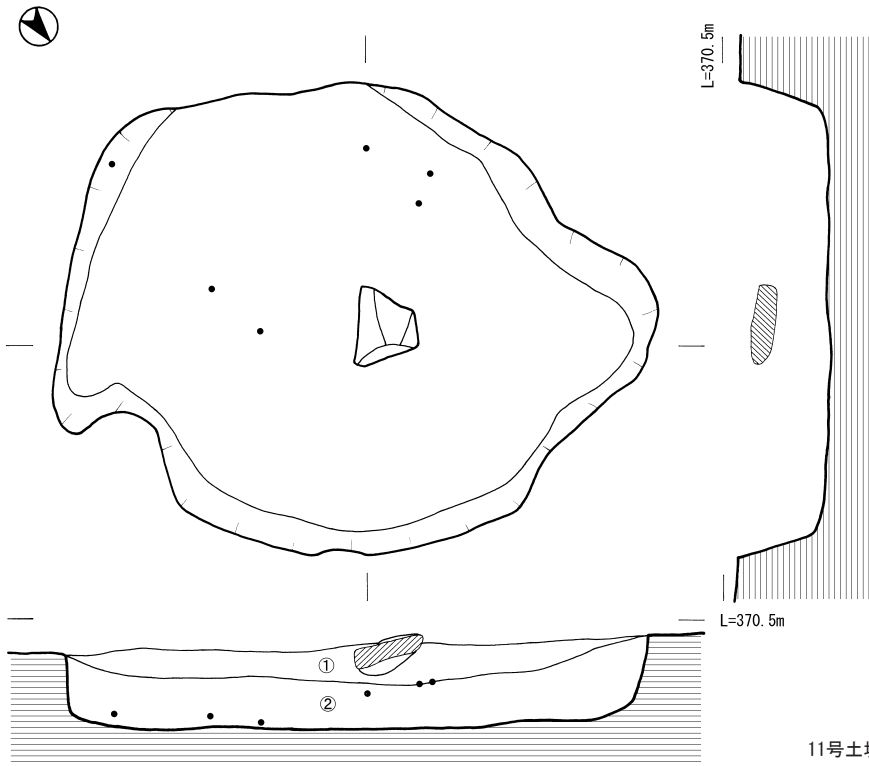


10号土坑

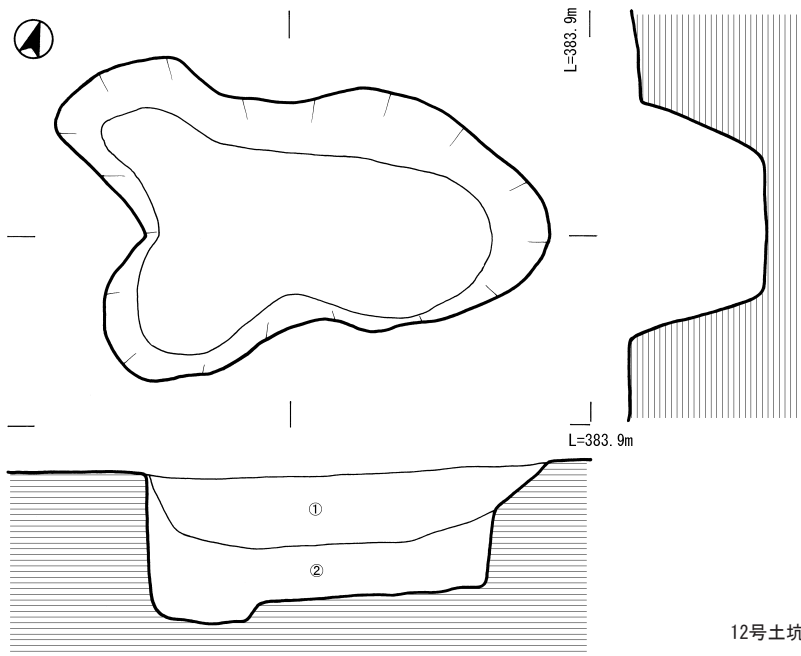
① 黒色土。サツマバミスが混じる。



第248図 VIII層土坑(4)



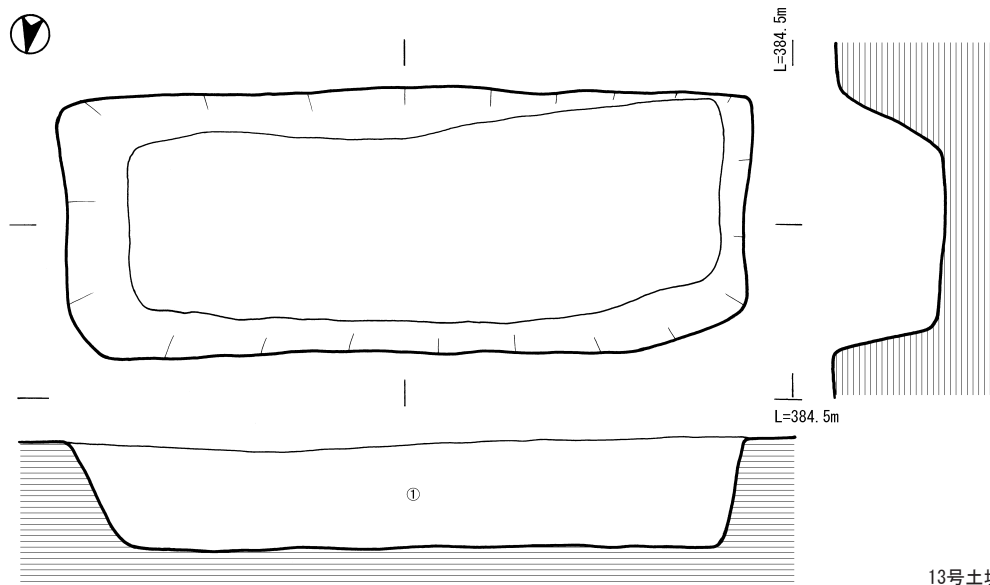
①	黒褐色土。サツマバミスが混じる。
②	黒色土。



①	灰褐色土。2～30mmの橙色バミスが点在し、5mmほどの炭化物がわずかに混じる。
②	黒褐色土。10～50mmの橙色バミスが混じる。

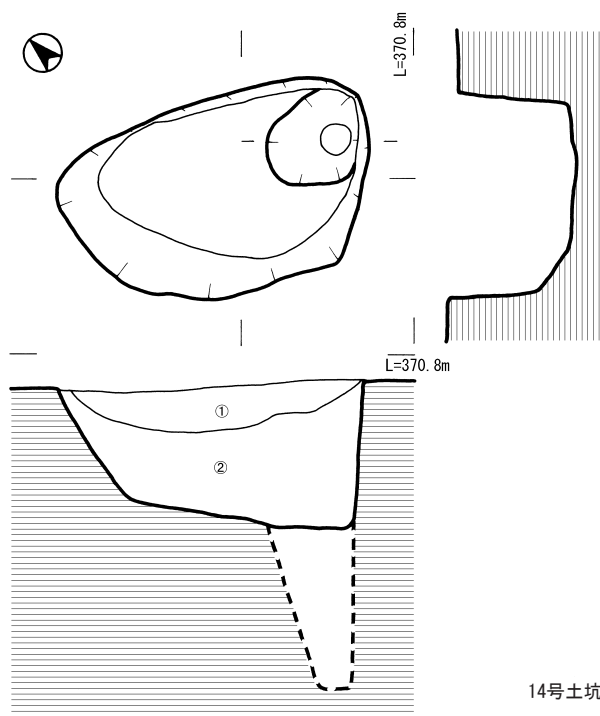


第249図 VIII層土坑 (5)



13号土坑

① 黒褐色土。2~3mmの黄白色バミスが混じる。

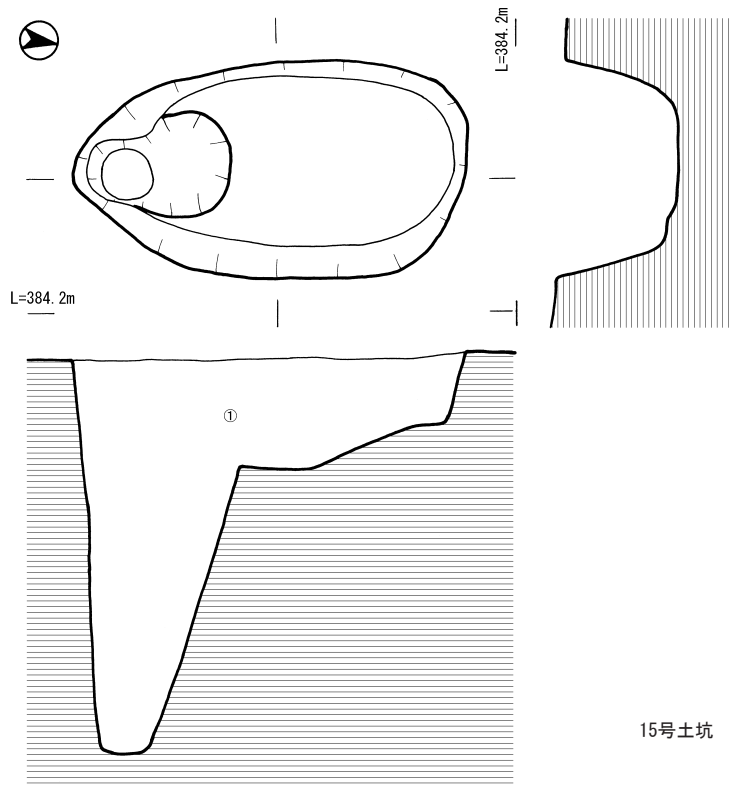


14号土坑

①	黒褐色土。
②	黒色土。

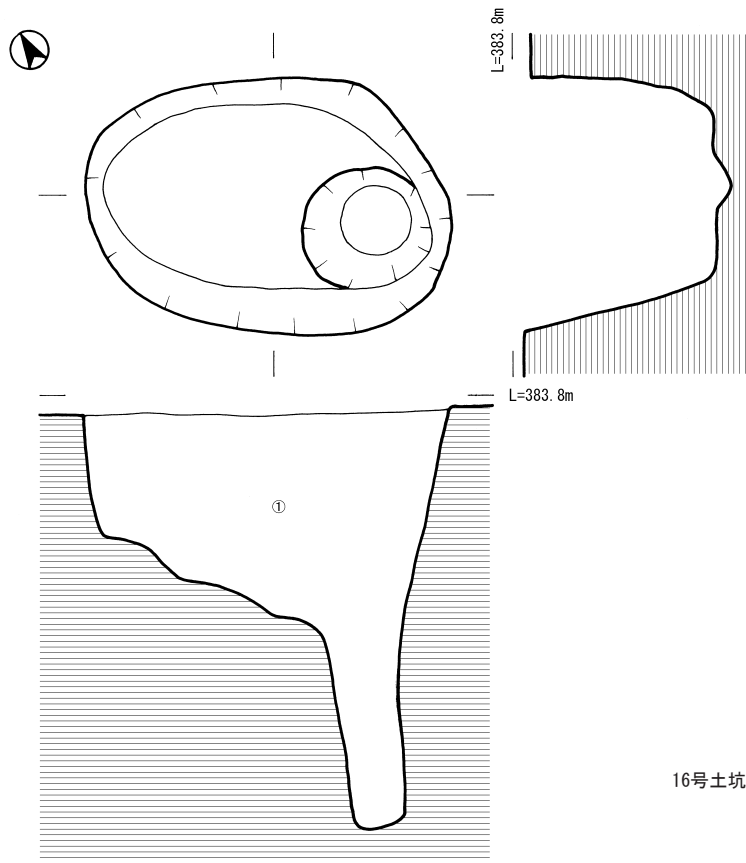


第250図 VIII層土坑 (6)



15号土坑

① 黒褐色土。2~3mmの黄色バミスが点在する。

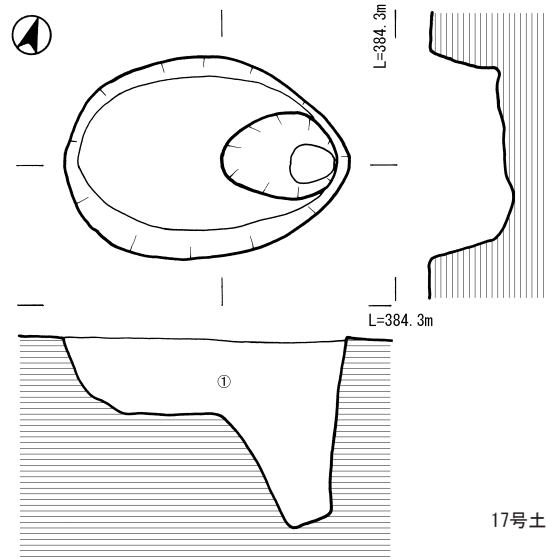


16号土坑

① 黒褐色土。1~3mmの黄色バミスが点在する。

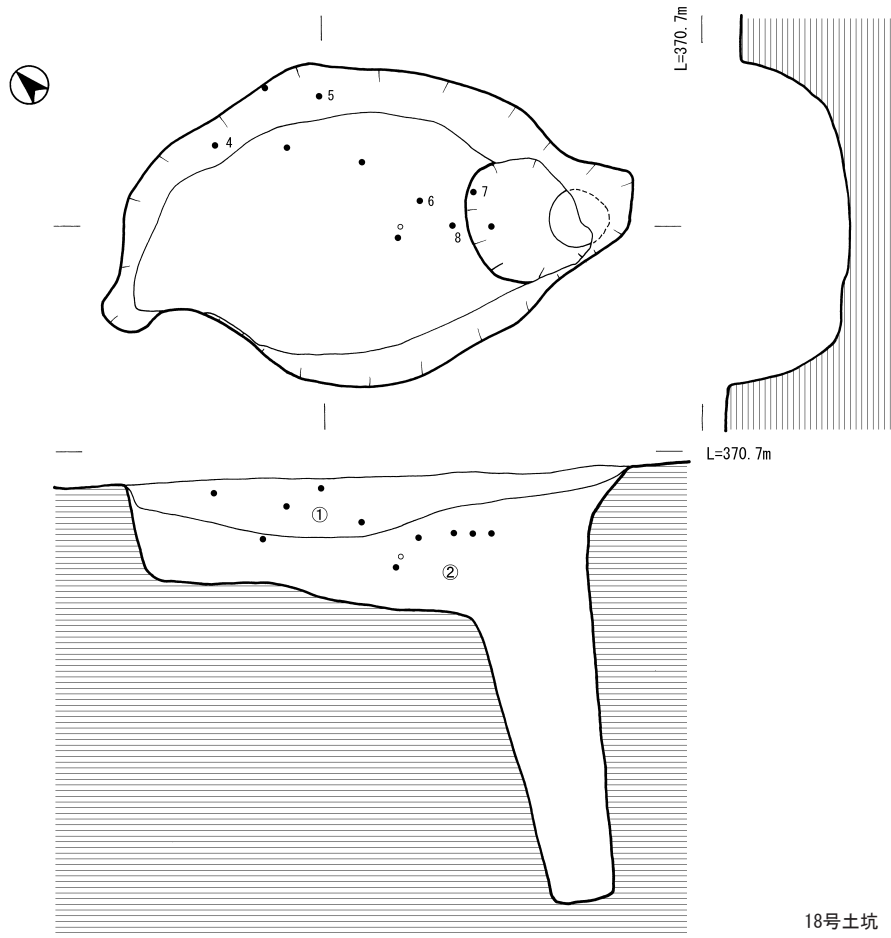


第251図 VIII層土坑 (7)



17号土坑

①	黒褐色土。1~3mmの黄色バミスが点在する。
---	------------------------

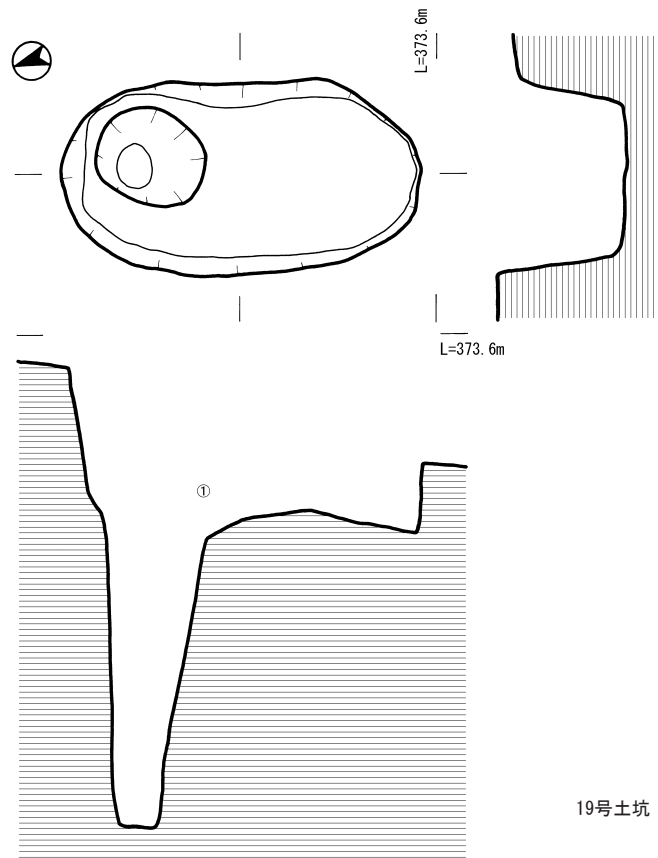


18号土坑

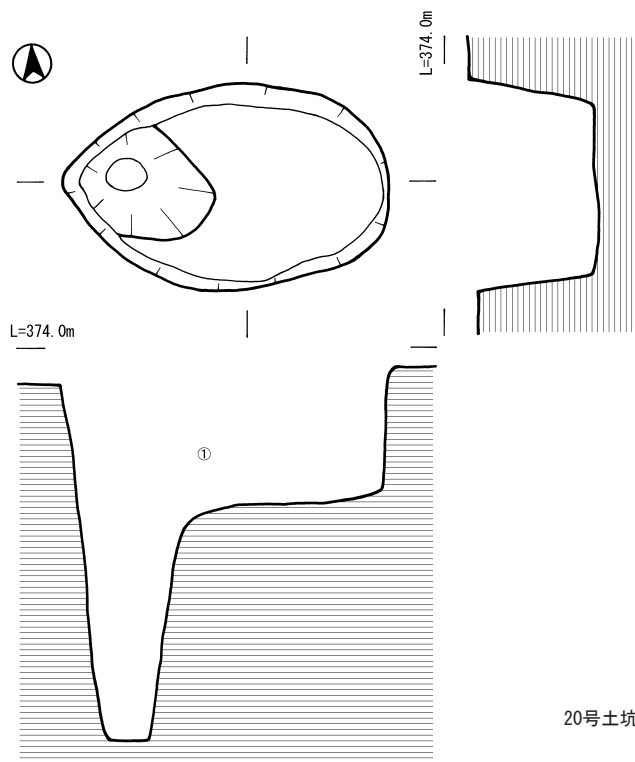
①	黒褐色土。サツマバミスが若干混じる。
②	黒色土。



第252図 VIII層土坑 (8)



① 黒色土。黄色バミスが混じる。



① 黒褐色土。



第253図 VIII層土坑 (9)

る。

(土坑Ⅱ類)

#### 22号土坑 (第254図)

D-7区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸123cm, 短軸79cm, 深さは検出面から28cmである。底面はほぼ平坦で, 長軸西端に平面不定形の内部で段を有する小穴がみられる。小穴の深さは55cmである。

(土坑Ⅱ類)

#### 23号土坑 (第255図)

D-7区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸97cm, 短軸64cm, 深さは検出面から53cmである。底面はほぼ平坦で, 長軸北東端に深さ21cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

#### 24号土坑 (第256図)

E-16区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸93cm, 短軸69cm, 深さは検出面から26cmである。底面は北西側にやや傾斜し, 長軸北西端に深さ64cmの小穴がみられる。埋土中から土器片2点と礫1点が出土した。

(土坑Ⅱ類)

#### 25号土坑 (第256図)

F-15区, X I層上面で検出した。検出時点で一部削平を受けていたため, 平面プランは確定できないがおそらく楕円形であると思われる。長軸92cm, 短軸不明, 深さは検出面から41cmある。底面はほぼ平坦で, 長軸北端に深さ69cmの小穴がみられる。埋土中から土器片2点が出土した。

(土坑Ⅱ類)

#### 26号土坑 (第256図)

C-6区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸103cm, 短軸66cm, 深さは検出面から35cmである。底面は南東側にやや傾斜し, 長軸南東端に深さ21cmの先細りの小穴がみられる。また中央やや北西よりに小さな落ち込みがみられる。類別に苦慮するが掘り込み壁に接して小穴が存在することから, ここではⅡ類と判断した。

(土坑Ⅱ類)

#### 27号土坑 (第257図)

B-5区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸70cm, 短軸37cm, 深さは検出面から21cmである。底面は南西側にやや傾斜し, 長軸南西端に深さ21cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

#### 28号土坑 (第257図)

C-8区, IX層上面で検出した。検出時点で一部削平を受けていたため平面プランは確定できないが, おそらく不定形であると思われる。長軸不明, 短軸59cm, 深さは検出面から41cmである。底面は南西側にやや傾斜し, 南西端に深さ24cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

#### 29号土坑 (第257図)

F-15区, X I層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸113cm, 短軸47cm, 深さは検出面から34cmである。底面はほぼ平坦で, 長軸北東端に深さ26cmの小穴がみられる。埋土中から土器小片1点が出土した。

(土坑Ⅱ類)

#### 30号土坑 (第258図)

G-9区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸93cm, 短軸59cm, 深さは検出面から45cmである。底面はほぼ平坦で, 長軸北西端に深さ55cmの小穴がみられる。小穴は上部径は広いが下部では先細りとなる。

(土坑Ⅱ類)

#### 31号土坑 (第258図)

E-6区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸118cm, 短軸63cm, 深さは検出面から73cmである。底面は南側にやや傾斜し, 長軸南端に深さ37cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

#### 32号土坑 (第259図)

G-9区, IX層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸86cm, 短軸63cm, 深さは検出面から35cmである。底面はほぼ平坦で, 北端に深さ25cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

#### 33号土坑 (第259図)

F-13区, X I層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸119cm, 短軸66cm, 深さは検出面から83cmである。底面はやや傾斜し, 長軸端部に深さ35cmの小穴がみられる。方位記載漏れのため長軸方向等は不明である。

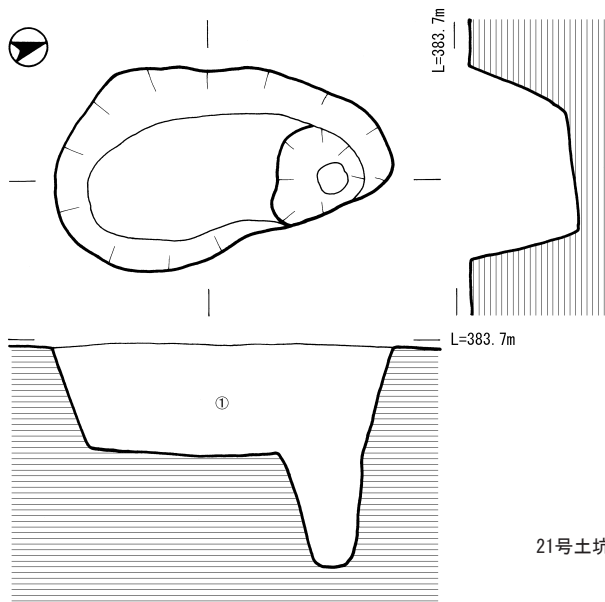
(土坑Ⅱ類)

#### 34号土坑 (第260図)

B-6区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸93cm, 短軸65cm, 深さは検出面から10cmである。底面は南西側にやや傾斜し, 長軸南西端に深さ41cmの小穴がみられる。小穴は他と比較して大型である。

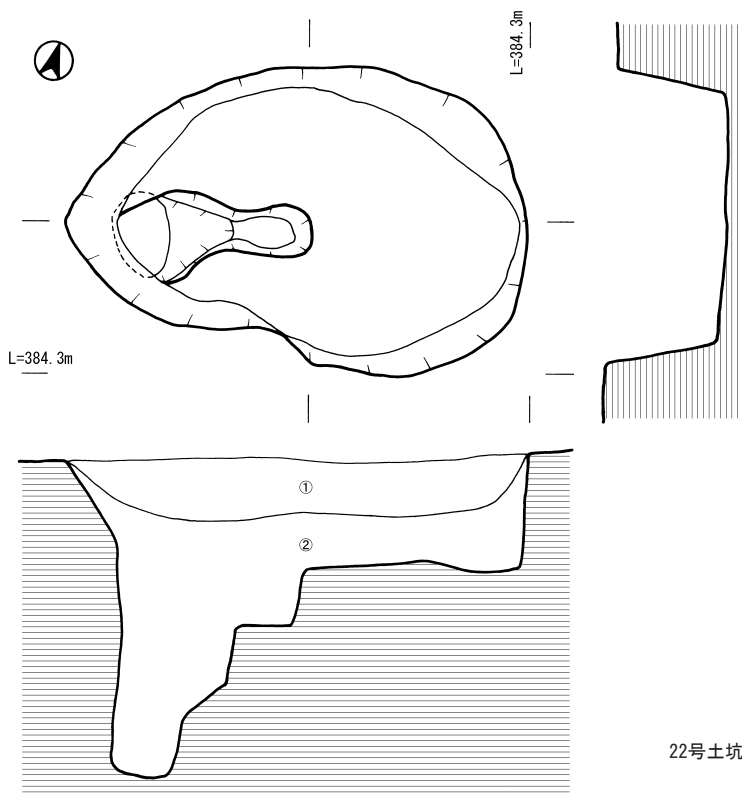
(土坑Ⅱ類)





21号土坑

①	黒褐色土。1~3mmの黄色バミスが点在する。
---	------------------------

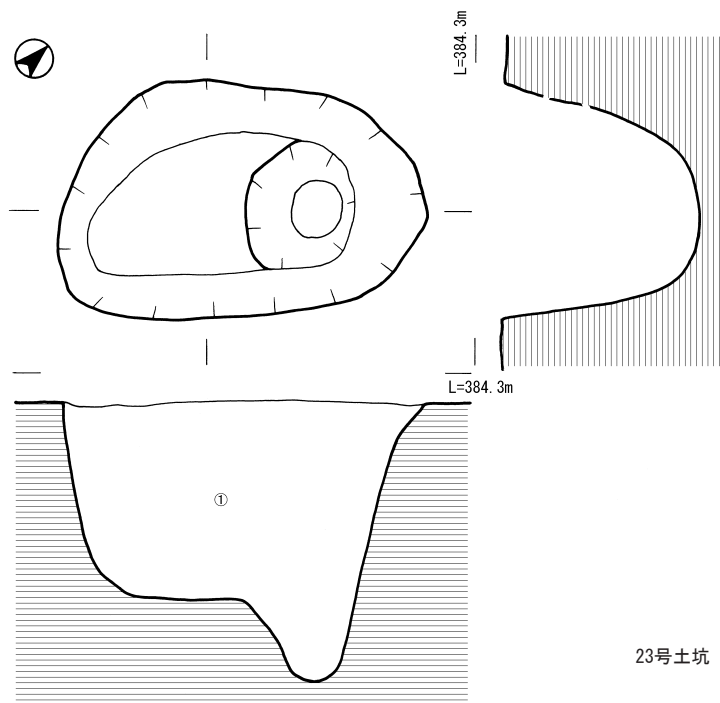


22号土坑

①	黄褐色軽石混青灰色土。Ⅷ~ⅩI層の混土と思われる。
②	黒褐色土。Ⅷ層土に類似する。

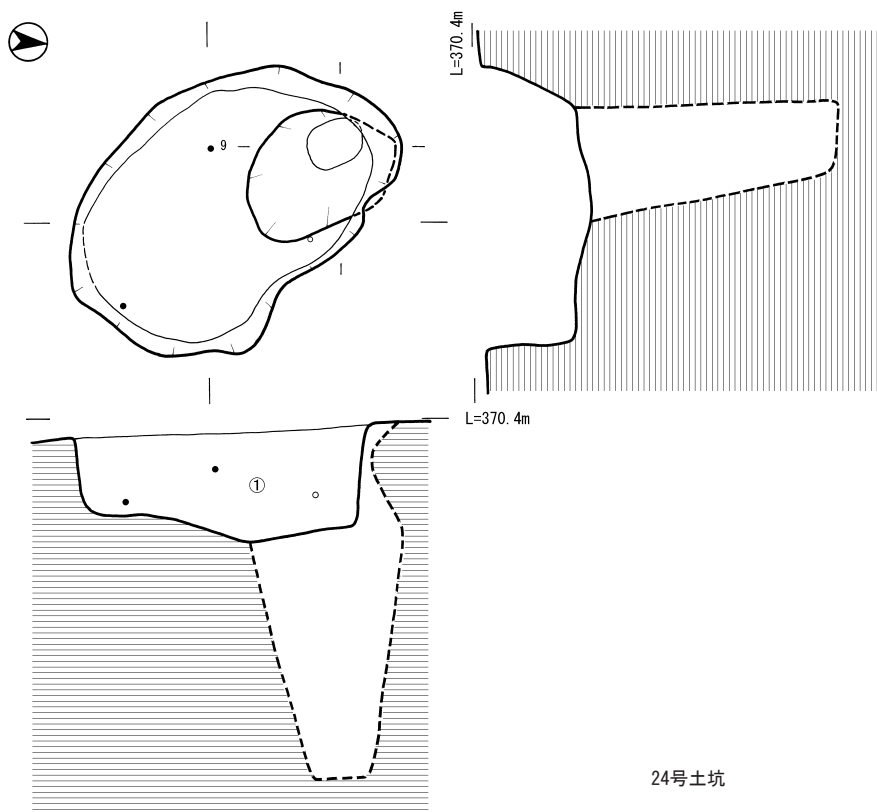


第254図 Ⅷ層土坑 (10)



23号土坑

① 黒褐色土。2mm ほどの黄色バミスが点在する。

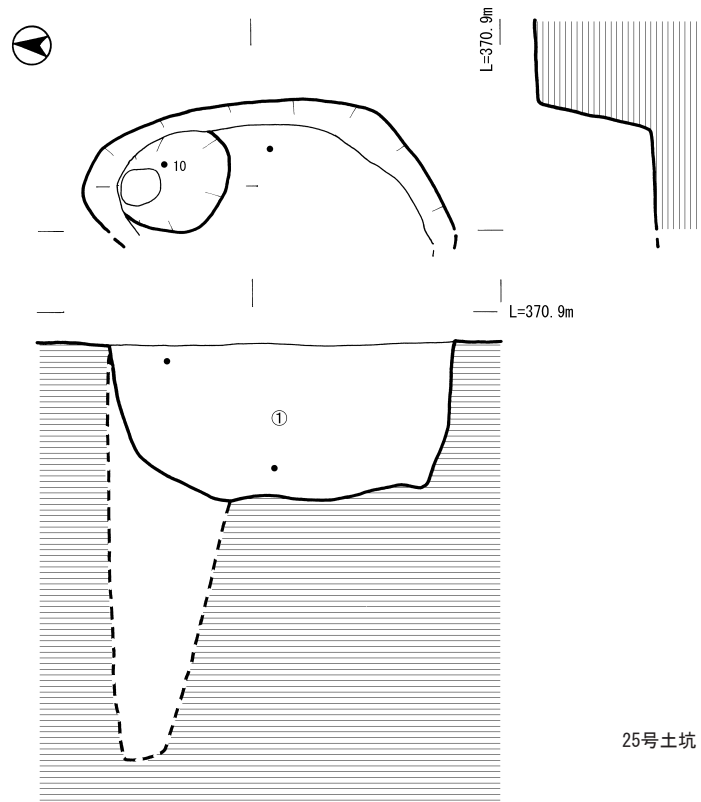


24号土坑

① 黒色土。サツマバミスが混じる。

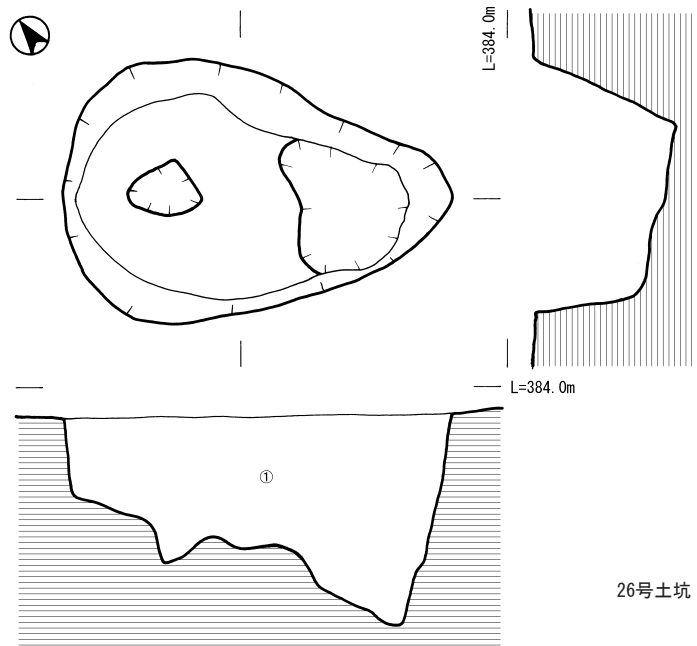


第255図 VIII層土坑 (11)



25号土坑

① 黒褐色土。サツマバミスが混じる

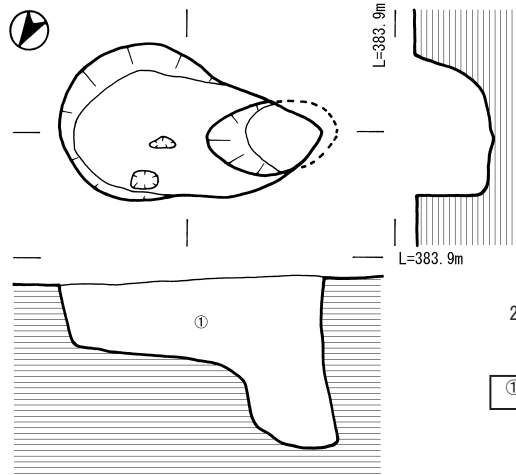


26号土坑

① 黒褐色土。10～20mmの橙色バミスが点在する。

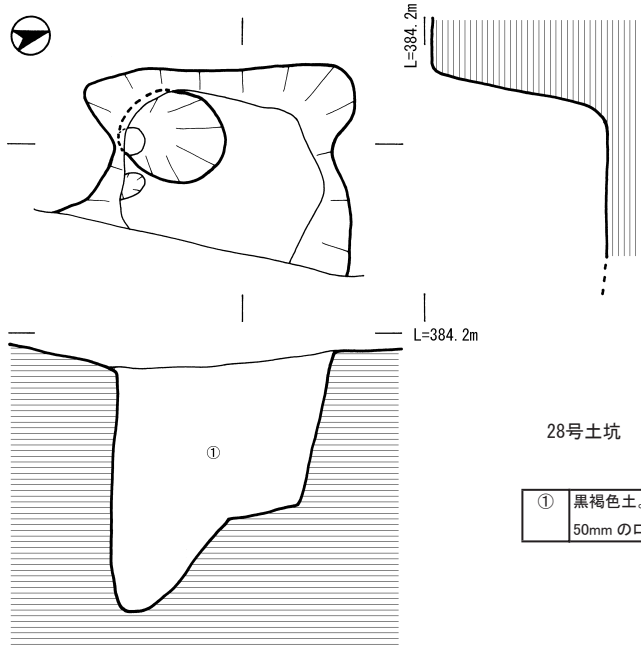


第256図 VIII層土坑 (12)



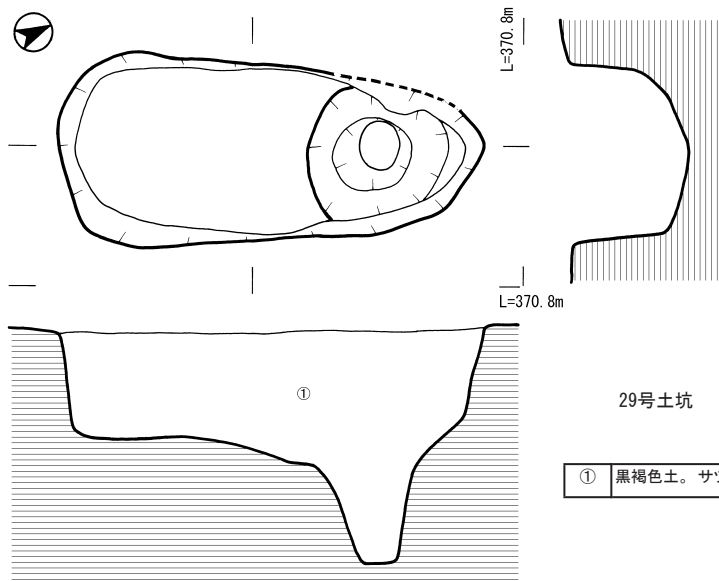
27号土坑

① 黒褐色土。1~3mmの黄色バミスが点在する。



28号土坑

① 黒褐色土。20~30mmのサツマブロックと30~50mmのローム（X I層土）ブロックが混じる。

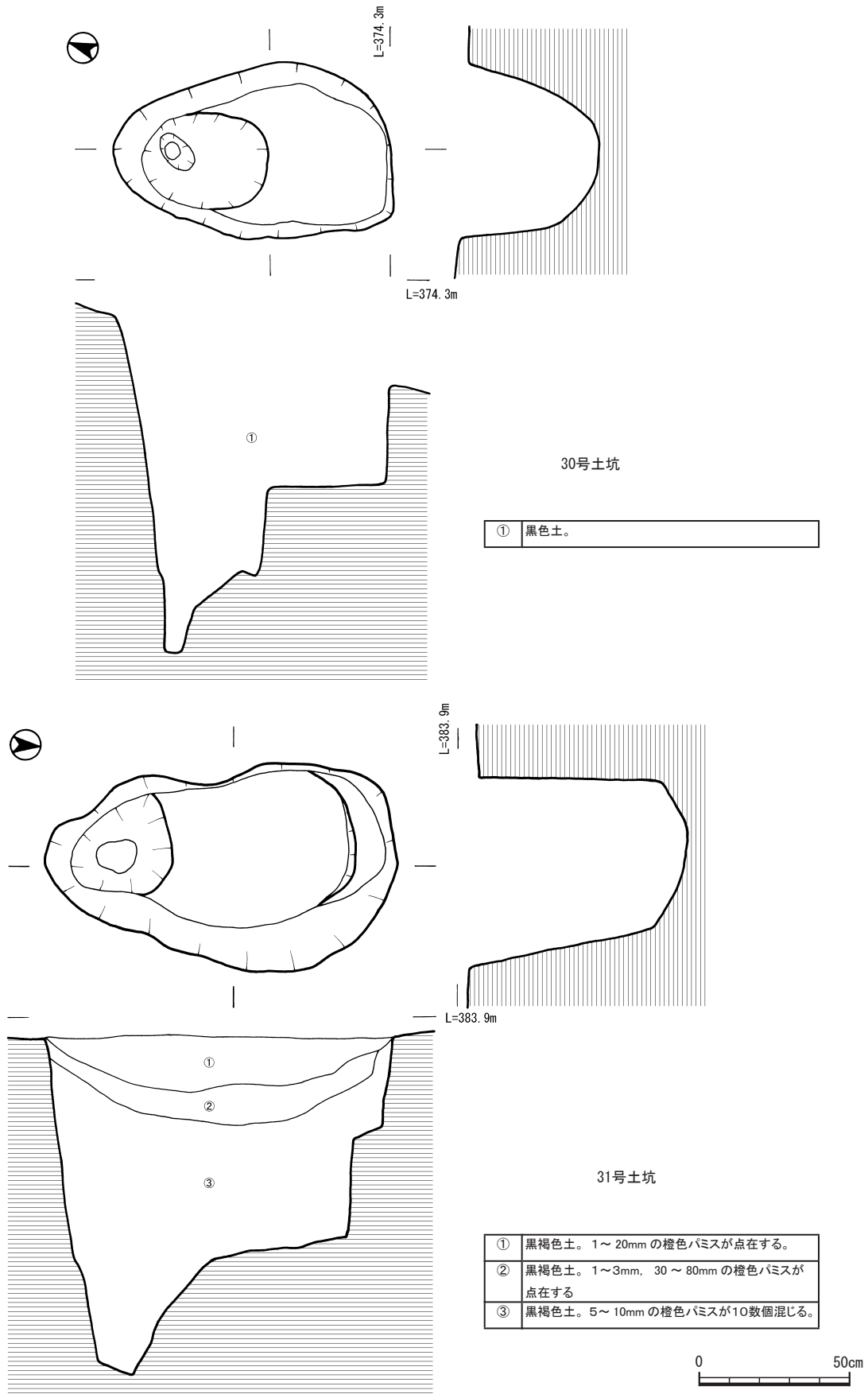


29号土坑

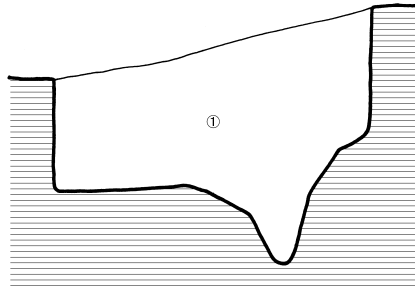
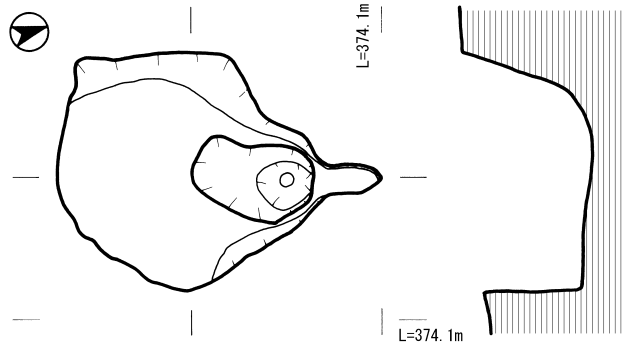
① 黒褐色土。サツマバミスが混じる。



第257図 VIII層土坑 (13)

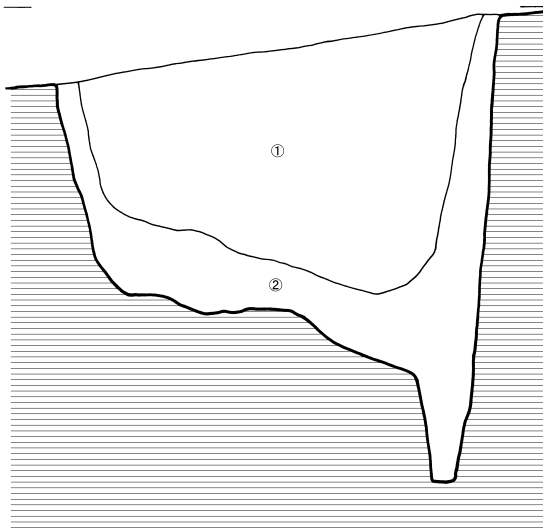
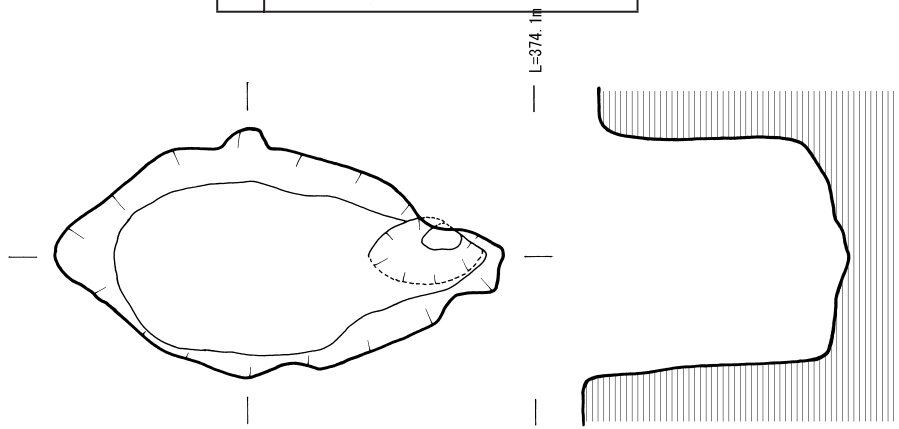


第258図 Ⅷ層土坑 (14)



32号土坑

① 黒色土。黄色バミスが混じる。



L=374.1m

33号土坑

①	黒褐色土。2~3mmの黄白色バミス、20~30mmの黄色バミスが混じる。
②	黒色土。ローム(XI層土)が薄く混じる。



第259図 VIII層土坑(15)

#### 35号土坑 (第260図)

C-5区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸88cm, 短軸49cm, 深さは検出面から28cmである。底面はほぼ平坦で, 長軸南東端に深さ27cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

#### 36号土坑 (第260図)

D-8区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸105cm, 短軸57cm, 深さは検出面から53cmである。底面には細長い段掘りが行われ, 南西側にやや傾斜している。段掘り下部南西端に深さ7cmの小穴がみられる。類別に苦慮するが掘り込み壁に接して小穴が存在することから, ここではⅡ類と判断した。

(土坑Ⅱ類)

#### 37号土坑 (第261図)

E-7区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸72cm, 短軸49cm, 深さは検出面から60cmである。底面は南東側にやや傾斜し, 長軸南東端に深さ17cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

#### 38号土坑 (第261図)

F-9区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸96cm, 短軸51cm, 深さは検出面から38cmである。底面は南西側にやや傾斜し, 長軸南西端に深さ15cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

#### 39号土坑 (第262図)

E-6区, IX層上面で検出した。40号土坑と切り合うため平面プランは確定できないが, おそらく楕円形と思われる。長軸97cm, 短軸77cm, 深さは検出面から63cmである。底面はほぼ平坦である。

(土坑Ⅰ類)

#### 40号土坑 (第262図)

E-6区, IX層上面で検出した。39号土坑と切り合うため平面プランは確定できないが, おそらく不定形であると思われる。長軸136cm, 短軸不明, 深さは検出面から41cmである。底面はほぼ平坦で, 掘り込み南端に深さ84cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

#### 41号土坑 (第263図)

F-3区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸80cm, 短軸60cm, 深さは検出面から22cmである。底面はほぼ平坦で, 掘り込み端に深さ56cmの小穴がみられる。小穴の掘り込み縦軸はやや内側を向く。方位記載漏

れのため長軸方向等は不明である。

(土坑Ⅱ類)

#### 42号土坑 (第263図)

E-7区, IX層上面で検出した。平面プランは不定形で, 長軸141cm, 短軸58cm, 深さは検出面から60cmである。底面はほぼ平坦で, 掘り込み端に深さ26cm, 47cmの小穴が2か所みられる。切り合いの可能性も考えられるが, 埋土が同一であることから1基と判断した。

(土坑Ⅱ類)

#### 43号土坑 (第264図)

D-7区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸116cm, 短軸72cm, 深さは検出面から23cmである。底面はほぼ平坦で, 長軸南東端と短軸北東端に深さ15cmと5cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅲ類)

#### 44号土坑 (第264図)

F-16区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸186cm, 短軸58cm, 深さは検出面から50cmである。底面は南東側にやや傾斜し, 長軸南東端と北西端に深さ46cm, 48cmの小穴がみられる。切り合いの可能性も考えられるが, 埋土が同一であることから1基と判断した。

(土坑Ⅲ類)

#### 45号土坑 (第265図)

B-6区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸93cm, 短軸73cm, 深さは検出面から14cmである。底部はほぼ平坦で, 掘り込み端に3か所の小穴がみられる。西側の小穴は深さ14cmで, その他については不明である。

(土坑Ⅲ類)

#### 46号土坑 (第265図)

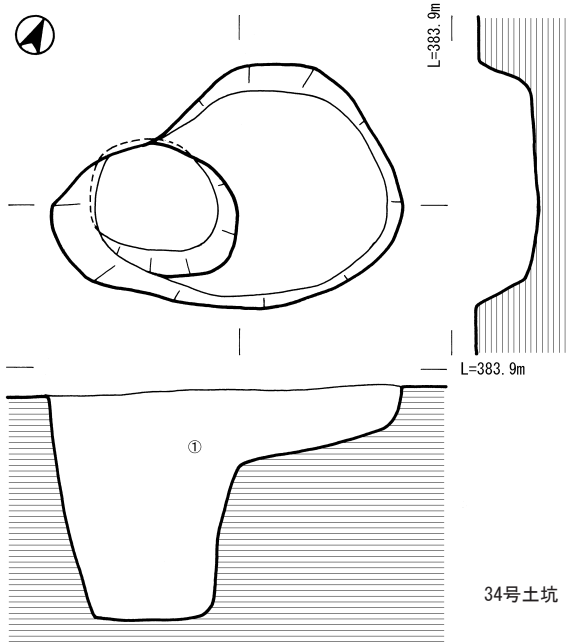
B-14区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸82cm, 短軸62cm, 深さは検出面から7cmである。底部はほぼ平坦で, 掘り込み端に2か所の小穴がみられる。南西端の小穴は深さ17cmで, もう一方は不明である。

(土坑Ⅲ類)

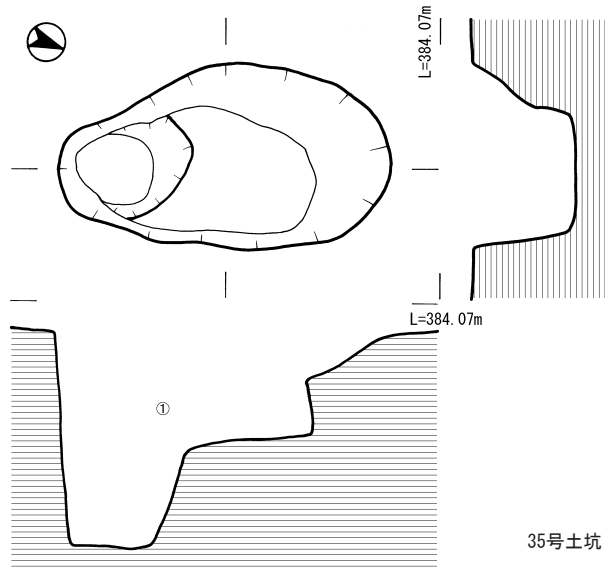
#### 47号土坑 (第265図)

D-7区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸172cm, 短軸59cm, 深さは検出面から25cmである。底部はほぼ平坦で, 掘り込み端部に3か所の小穴がみられる。断面にみられる小穴は深さ16cmで, ほか2か所については不明である。底面中央よりも数カ所の浅い窪みがみられるが, 人為的なものではないと考え, ここではⅢ類と判断した。

(土坑Ⅲ類)



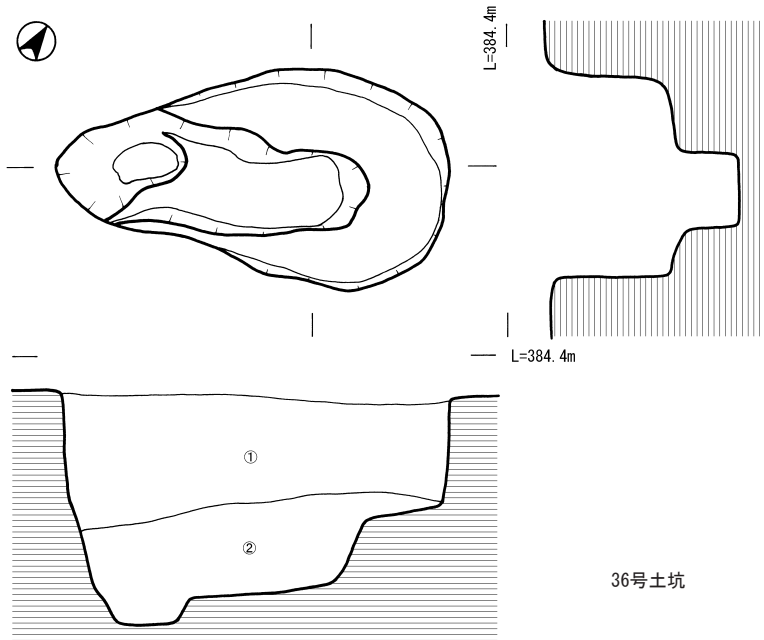
34号土坑



35号土坑

① 黒褐色土。1~3mmの黄色バミスが点在する。

① 黒褐色土。2~40mmの橙色バミスが点在する。



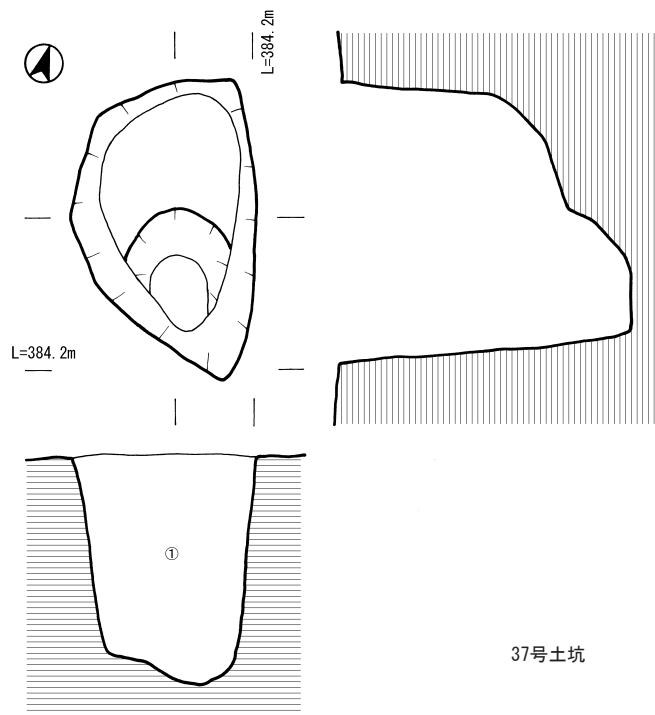
36号土坑

① 黒褐色土。詳細の記載なし。  
② 黒褐色土。詳細の記載なし。

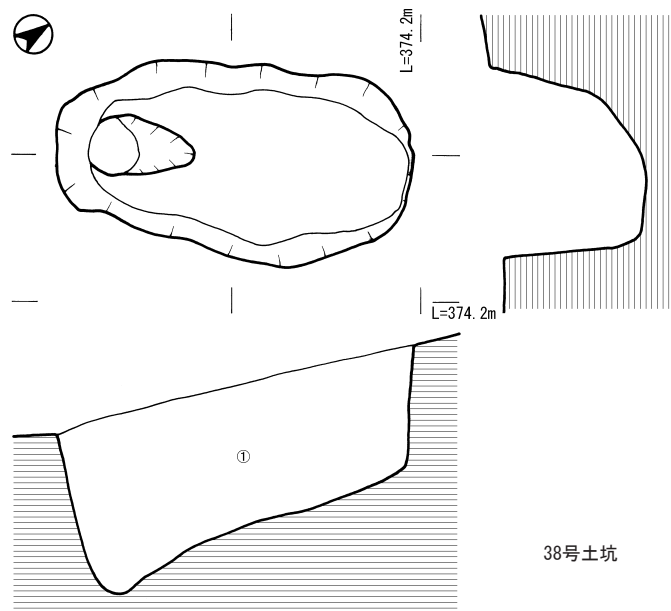


第260図 VIII層土坑 (16)





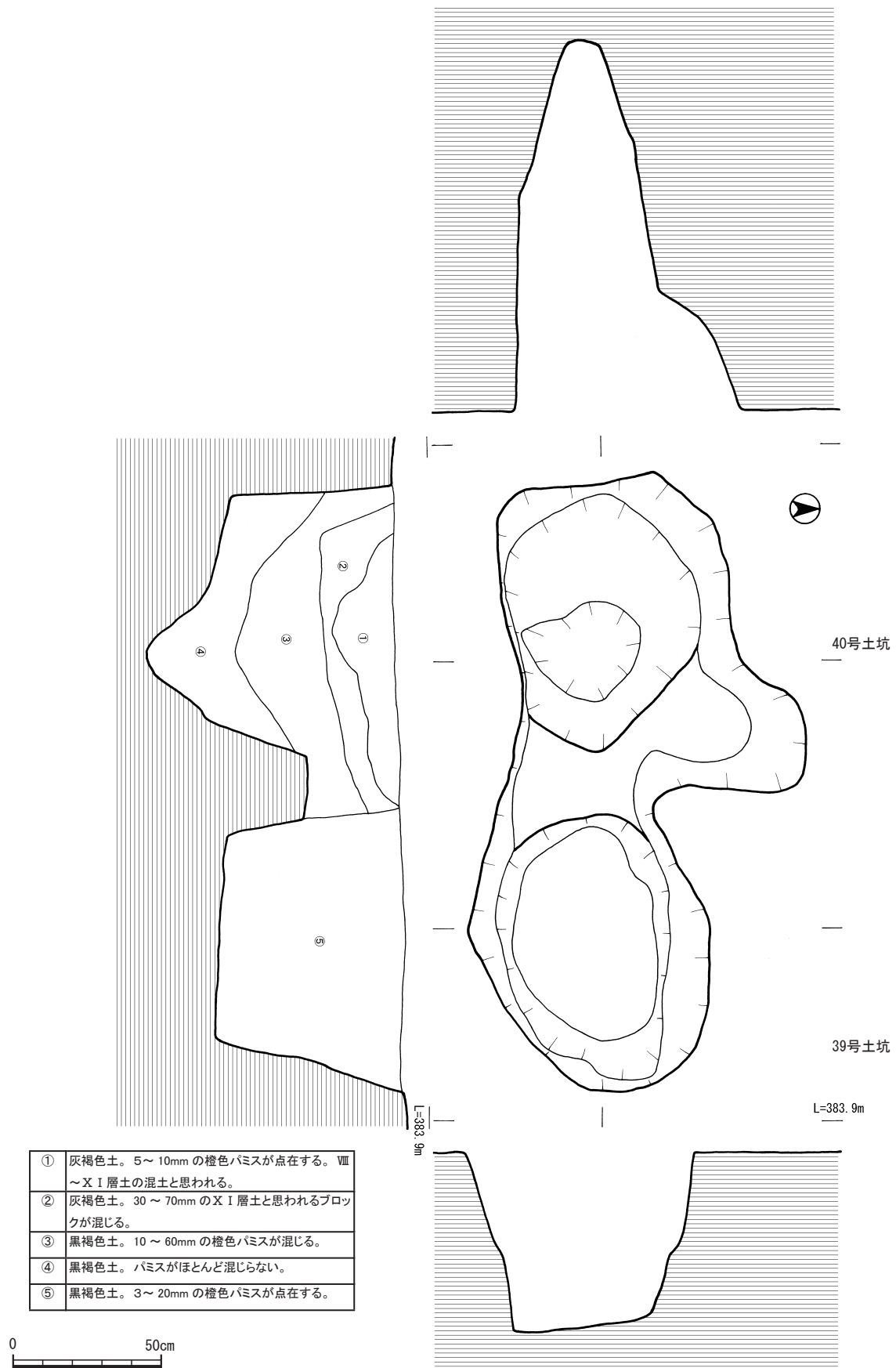
① 黒褐色土。1~4mmの橙色バミスが点在し、1mmほどの白色バミスも混じる。



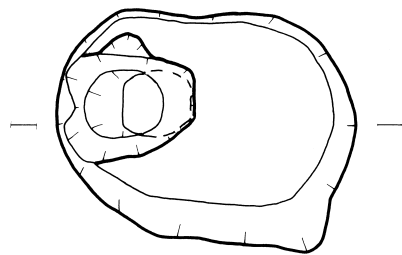
① 黒色土。黄色バミスが混じる。



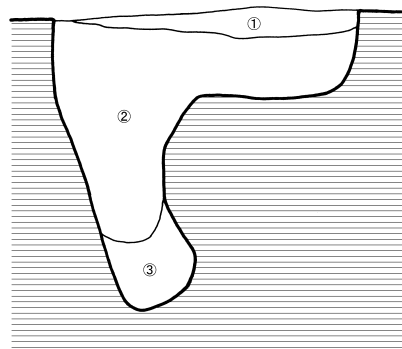
第261図 VIII層土坑 (17)



第262図 Ⅶ層土坑 (18)

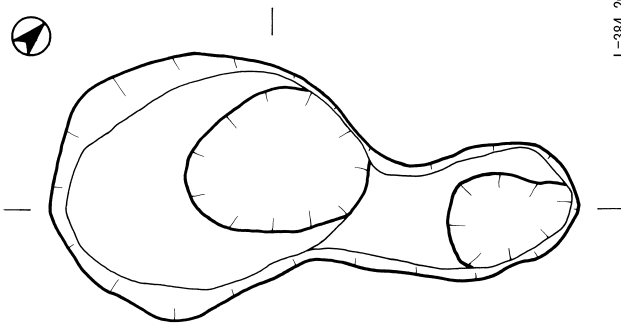


L=382.7m

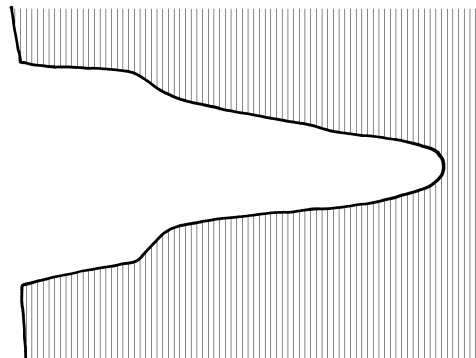


41号土坑

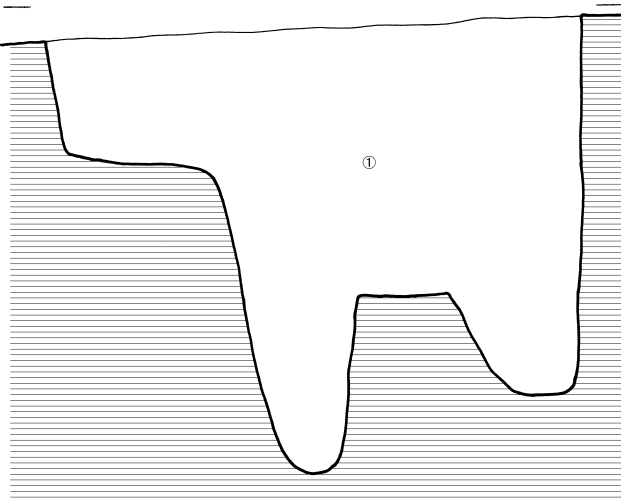
①	黒褐色土。硬質で1mmほどのバミスが点在する。
②	黒褐色土。1より軟質。
③	灰褐色土。バサバサしている。X II層土が攪乱を受けたものと思われる。



L=384.2m



L=384.2m

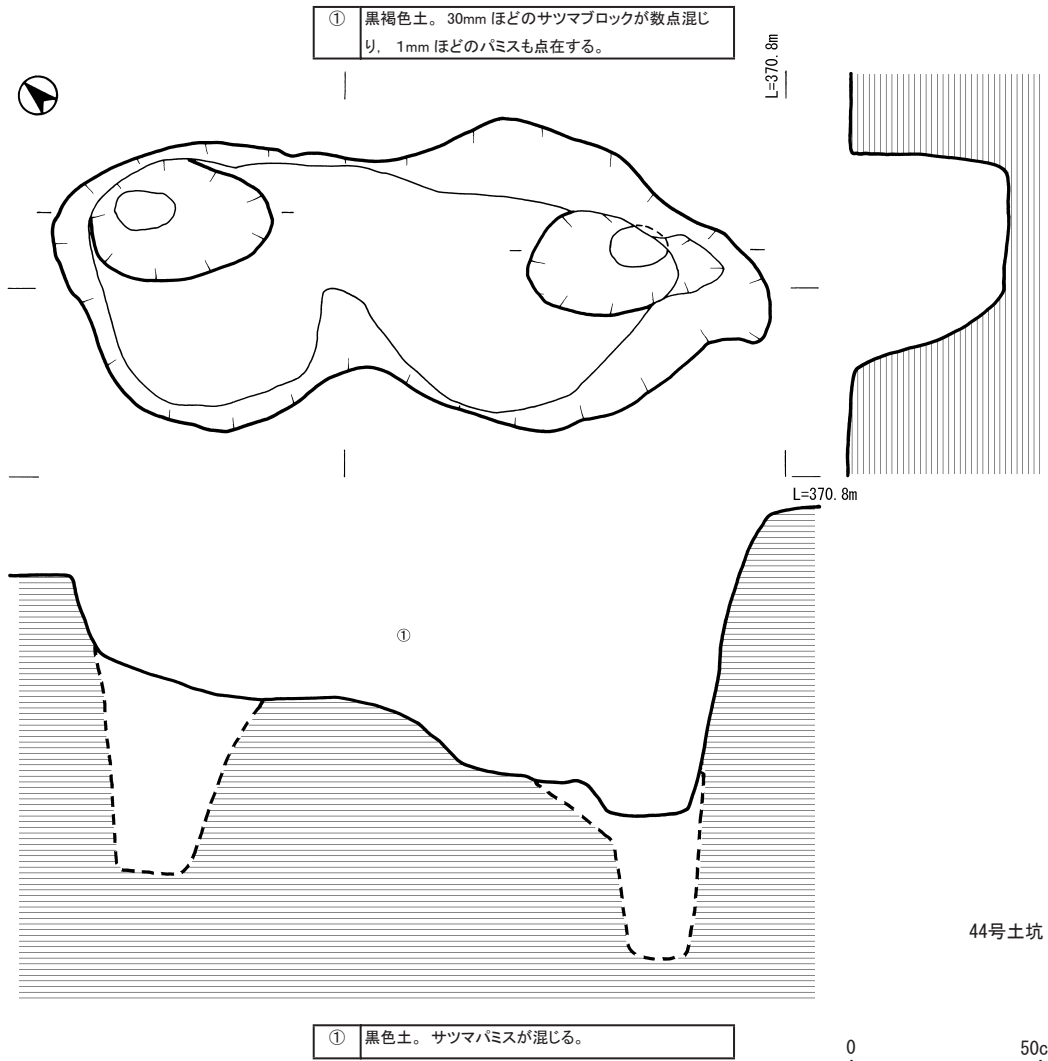
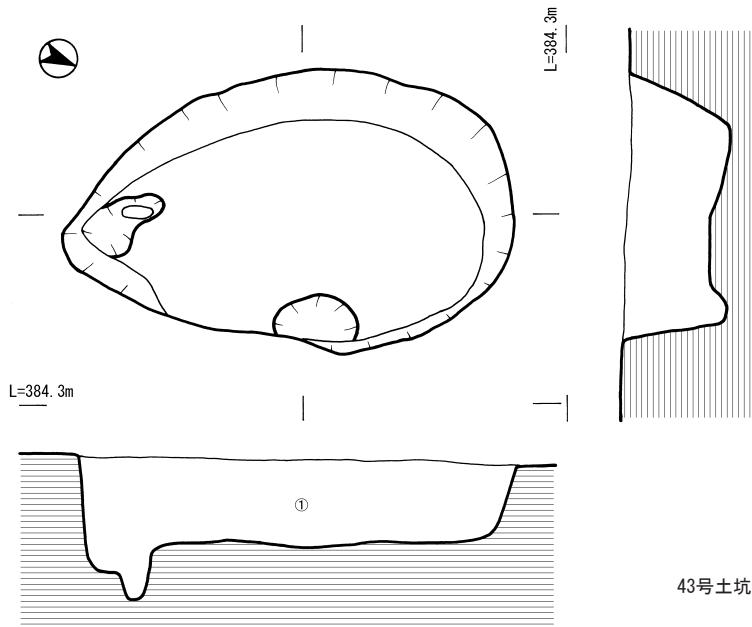


42号土坑

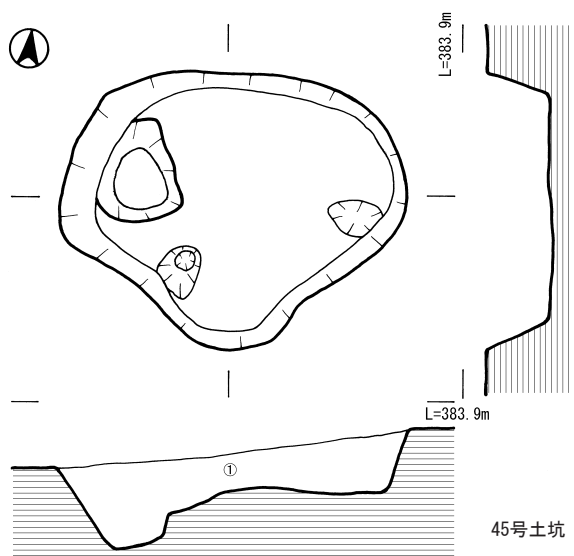
①	黒褐色土。2~5mmの橙色バミスが点在する。
---	------------------------



第263図 VIII層土坑 (19)

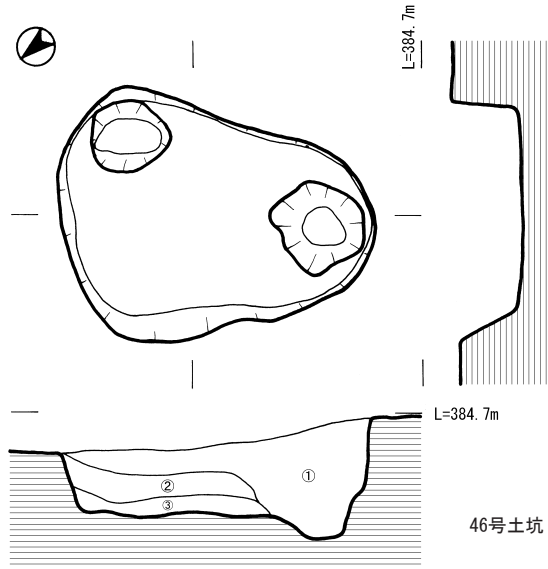


第264図 Ⅷ層土坑 (20)



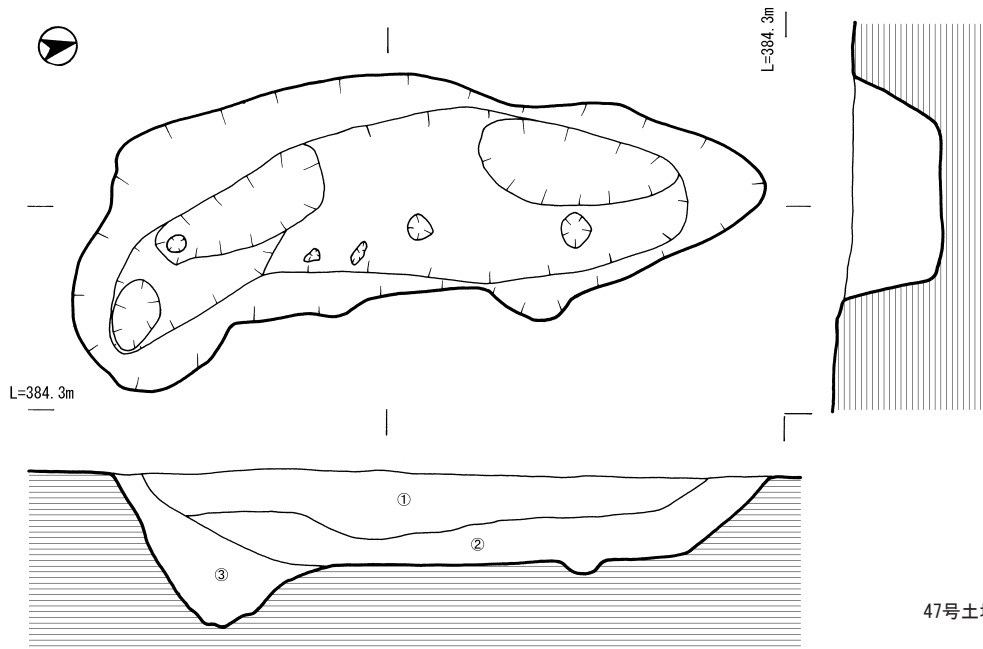
45号土坑

①	黒褐色土。1~3mmの黄色バミスが点在する。
---	------------------------



46号土坑

①	黒褐色土。2~3mmのバミスが混じる。
②	黒褐色土。掘りすぎと思われる。
③	明茶褐色弱粘質土。掘りすぎと思われる。

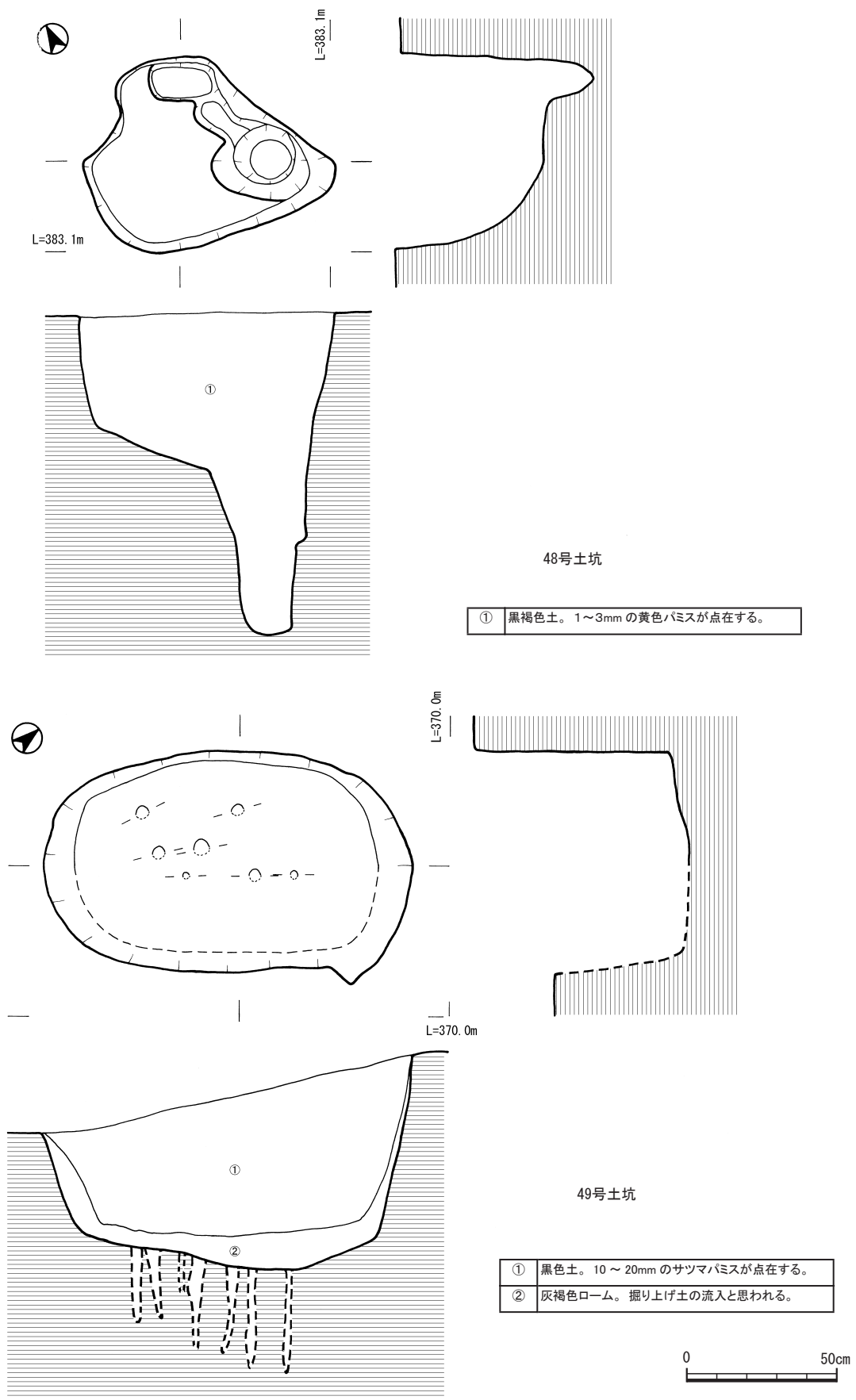


47号土坑

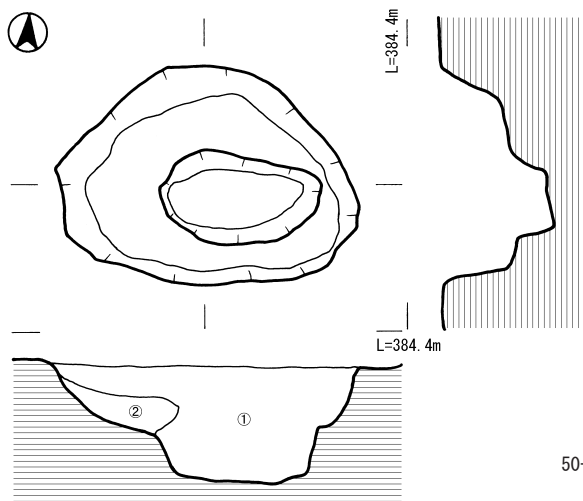
①	黒褐色土。2~3mmのバミスが点在する。
②	黒褐色土。ローム (X I 層土) のブロックが若干混じる。
③	黒褐色土。50mmほどのサツマブロックが混じる。



第265図 VIII層土坑 (21)

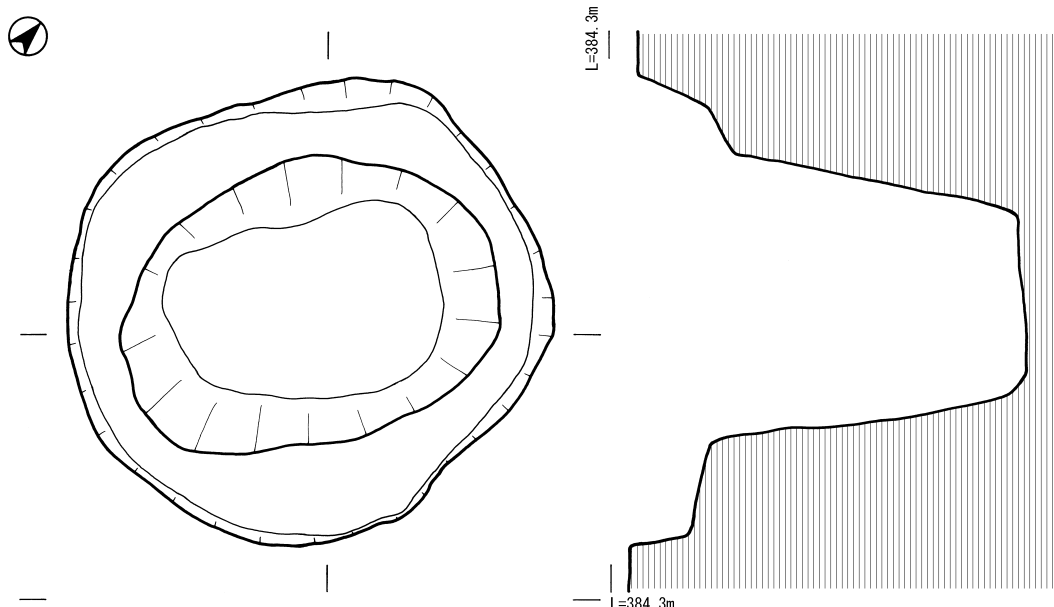


第266図 VIII層土坑 (22)



50号土坑

①	黒褐色土。パミスが少量混じる。
②	茶褐色土。サツマ火山灰が混じる。Ⅶ～Ⅹ I 層の混土で遺構壁面の崩落土と思われる。

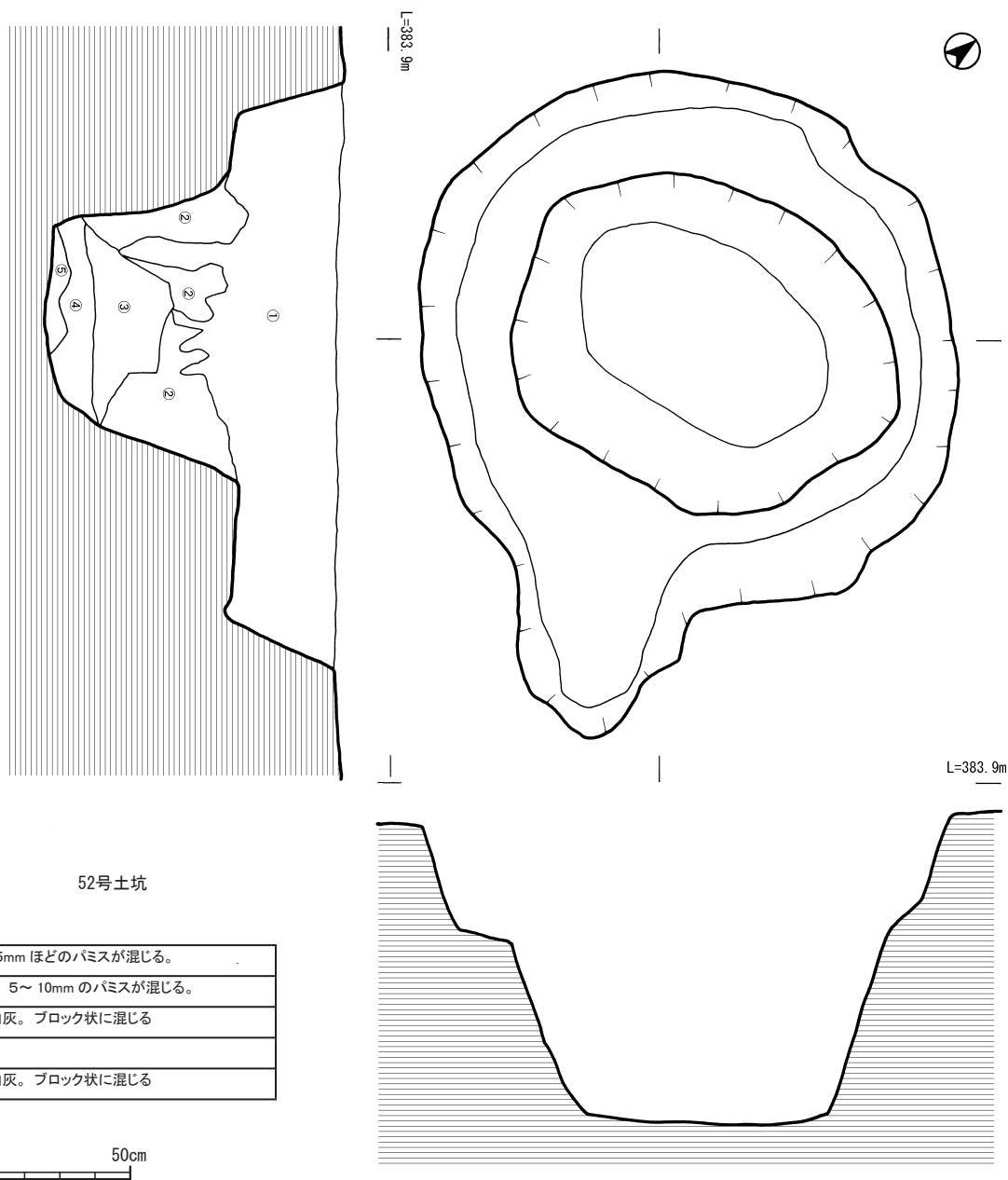


51号土坑

①	黒褐色土。1～2mmの白色パミス、橙白色パミスが点在する。
②	黒褐色土。5～10mmの橙白色パミスが10数個点在する。
③	黒褐色土。10～30mmの橙白色パミスが点在する。



第267図 Ⅶ層土坑 (23)



52号土坑

①	黒色土。5mmほどのバミスが混じる。
②	黒褐色土。5～10mmのバミスが混じる。
③	サツマ火山灰。ブロック状に混じる
④	黒褐色土。
⑤	サツマ火山灰。ブロック状に混じる



第268図 Ⅷ層土坑 (24)

48号土坑 (第266図)

B-5区, IX層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸84cm, 短軸65cm, 深さは検出面から49cmである。底部は東側にやや傾斜し, 南東端と北東端の2か所に小穴がみられる。深さは55cm, 15cmである。

(土坑Ⅲ類)

49号土坑 (第266図)

E-18区, X I層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸123cm, 短軸75cm, 深さは検出面から60cmである。掘り込み壁はやや傾斜する部分もみられるがほぼ直立する。底部はほぼ平坦で, 底面に7ヶ所の小穴がみられる,

径は小さく, 深さは15cmから35cmであり, 落し穴状遺構に特有の逆茂木痕の可能性が考えられる。

(土坑Ⅳ類)

50号土坑 (第267図)

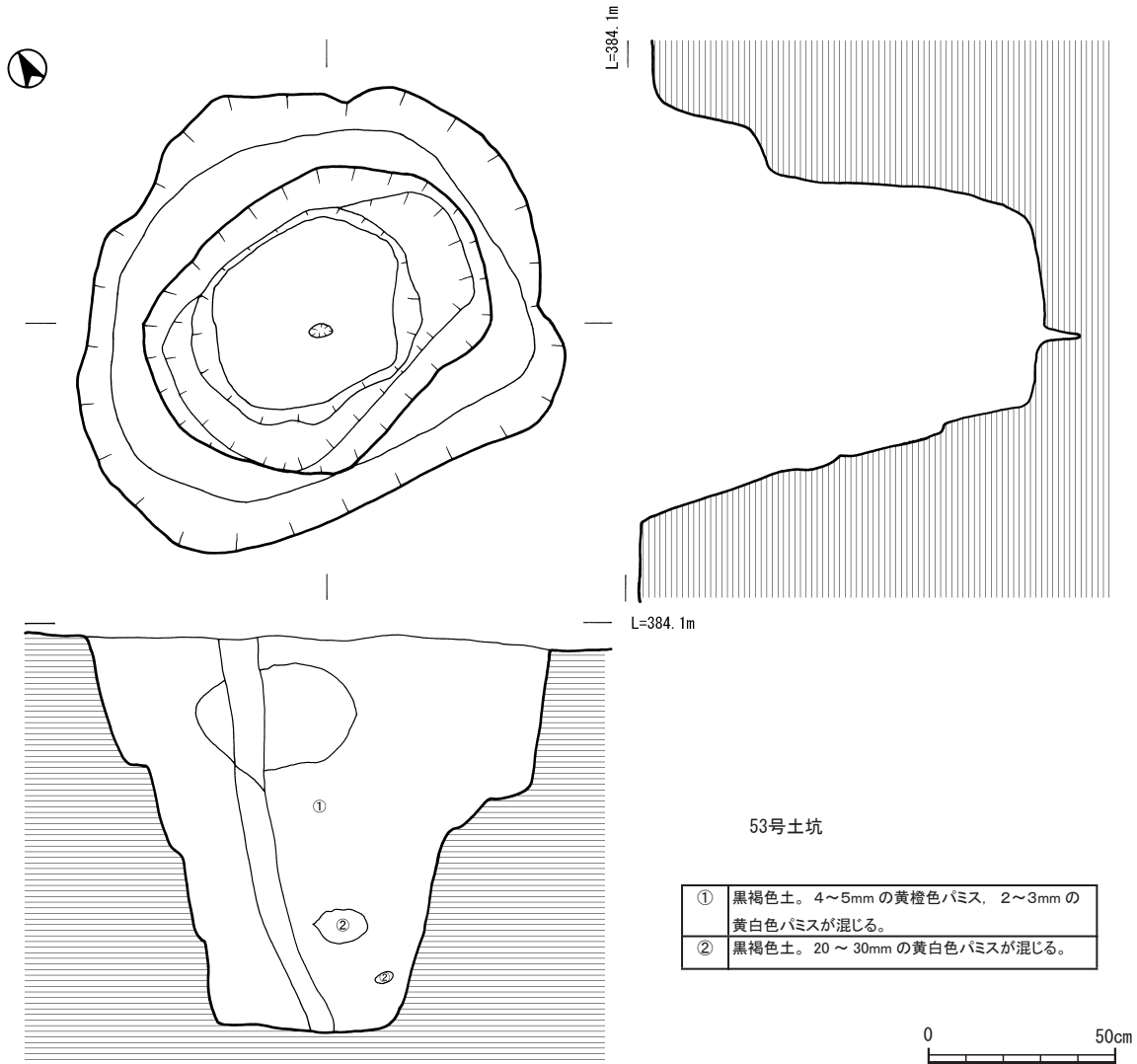
C-11区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸77cm, 短軸58cm, 深さは検出面から18cmである。中央に深さ12cmの小穴がみられ, 2段掘の形状を示す。

(土坑Ⅵ類)

51号土坑 (第267図)

D-7区, IX層上面で検出した。平面プランは円形で長





第269図 Ⅷ層土坑 (25)

軸129cm, 短軸123cmを測る。検出面から21cmのところ段掘を行い、深さ83cmの楕円形の掘り込みがみられる。深さは検出面から104cmである。  
(土坑Ⅵ類)

52号土坑 (第268図)

E-6区, Ⅸ層上面で検出した。平面プランは一部突出がみられるため不定形であるが、本来は円形であった可能性が高いと思われる。長軸171cm, 短軸152cm, 検出面から29cmのところ段掘を行い、深さ55cmの楕円形の掘り込みがみられる。深さは検出面から84cmである。形態的に51号土坑と類似する。  
(土坑Ⅵ類)

53号土坑 (第269図)

B-10区, Ⅸ層上面で検出した。平面プランは円形状で長軸125cm, 短軸115cmを測る。検出面から約41cmのところ段掘を行い、深さ55cmの楕円形の掘り込みがみられ

る。深さは検出面から96cmを測る。形態的に51号土坑と類似する。  
(土坑Ⅵ類)

73号土坑 (第295図)

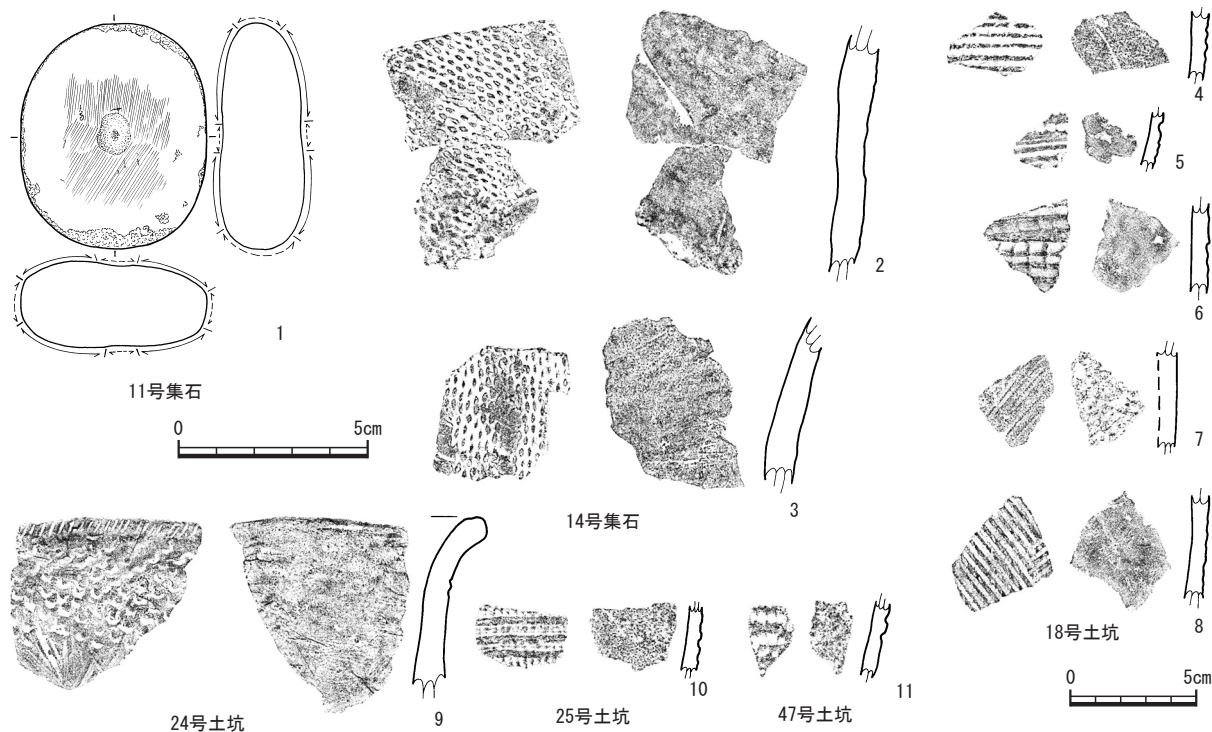
D-6区, Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸140cm, 短軸103cmを測り、深さは検出面から75cmである。掘り込みは先細りのすり鉢状を呈する。この形態は73号1基のみである。72号土坑と切り合う。

遺構内出土遺物 (第270図)

Ⅷ層では集石(11号と14号), 土坑(18号, 24号, 25号, 47号)の周辺及び埋土中から遺物が出土している。

1は11号集石に共伴した砂岩製の磨石である。表裏面に研磨痕, 側縁部に敲打痕がみられ, 表裏面中央に敲打による浅い窪みもみられる。

2, 3は14号集石に共伴した。Ⅴ類土器胴部である。器壁が厚く, 外面には楕円形押型文が施される。4～8



第270図 VIII層 遺構内出土遺物

は18号土坑埋土中から出土した。

4～6はⅡ類土器胴部である。4，6は押引文が施される。5は貝殻条痕と刺突がみられる。7，8はⅢ類の胴部である。羽状の貝殻条痕が施される。

9は24号土坑埋土中から出土した。Ⅲ類土器の口縁部である。口唇部に斜位の刻み，口縁部直下に貝殻復縁による刺突が施される。

10は25号土坑埋土中から出土した。Ⅱ類土器胴部である。丁寧な押引文が施される。

11は47号土坑埋土中から出土した。Ⅵ類土器胴部である。横位の刺突文が施され，器壁は薄い。

第70表 VIII層遺構内出土土器観察表

挿入No	図No	取上番号	出土地点	出土遺構	器種	部位	外面調整	内面調整	焼成	外面色調	内面色調	胎土	備考
270	2	一括1	E-18	14号集石	深鉢	胴部	楕円押型	ナデ	良好	茶褐色	茶褐色	石英，角閃石，金雲母，細礫	
	3	一括2	E-18	14号集石	深鉢	胴部	楕円押型	ナデ	良好	茶褐色	茶褐色	石英，角閃石，金雲母，細礫	
	4	63号4	F-16	18号土坑	深鉢	胴部	押引	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英，長石，角閃石	
	5	63号2	F-16	18号土坑	深鉢	口縁付近？	貝殻条痕，刺突	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英，角閃石	
	6	63号7	F-16	18号土坑	深鉢	胴部	貝殻条痕，押引	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英，長石，角閃石	
	7	63号5	F-16	18号土坑	深鉢	胴部	貝殻条痕	不明	良好	明茶褐色	不明	石英，長石，角閃石	
	8	63号6	F-16	18号土坑	深鉢	胴部	貝殻条痕	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英，角閃石	
	9	70号2	E-16	24号土坑	深鉢	口縁部	貝殻刺突，貝殻条痕	ナデ	良好	暗茶褐色	茶褐色	石英，角閃石，長石，小礫	口唇部刻み
	10	66号1	F-15	25号土坑	深鉢	胴部	押引	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英，長石，角閃石	
	11	一括	D-7	47号土坑	深鉢	不明	刺突	ナデ	良好	明茶褐色	灰褐色	石英，長石，角閃石	

第71表 VIII層遺構内出土土器観察表

挿入No	図No	取上番号	出土地点	出土遺構	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石材	備考
270	1	一括	D-17	11号集石	磨石	117.5	96	42.5	787.0	SS	

## 2 VII層の遺構

### 土器埋設遺構(土坑)

埋設土坑は、4基発見されている。A地区のC-10, 11区, C-6区に位置し、第VII層での検出である。

土坑には完形土器が配置され、1号土坑からは深鉢形土器が、2号～4号土坑からは壺形土器が発見されている。

1号土坑はC-10区、2号土坑はC-11区、3号土坑と4号土坑はC-6区で検出した。なお、1号と2号の間隔は約5mで、3号と4号は約1mと隣接する位置にある。なお、土坑周辺からの出土遺物は極端に少なく、同時期の他の遺物とは検出位置を異にしている。

土坑の配された位置は最高位に当たり、遺跡で最も眺望の確保できる一角である。

### 1号土器埋設遺構(第273図)

C-10区, VII層で検出した。

ほぼ完形と思われる土器(Ⅸ類深鉢)を検出してから、土坑の有無を確認するため土坑平面プラン検出を目指したが、埋土と周辺土との色調が類似するため確認は困難を極めた。そのため、切り切りを行い土坑有無の確認を実施した。

土坑の存在した根拠は、Ⅸ層に掘り込んだ皿状の底面の確認と土坑掘り込みラインがほぼ垂直に立ち上がることが確認できたことによる。

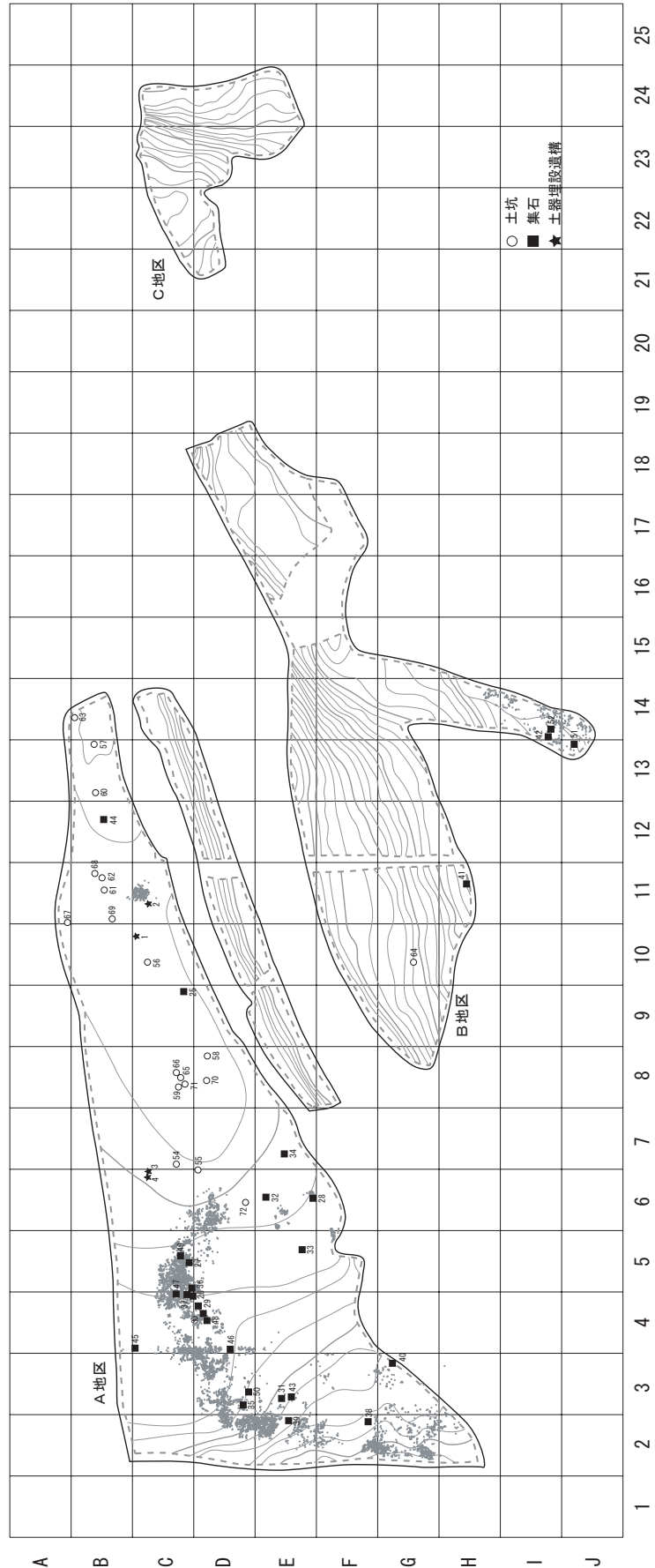
切り切りによる断面観察で、Ⅸ層に底面を持つ、U字状で最大33cmの土坑の存在を確認した。確認した土坑は、内包する深鉢形土器よりわずかに大きい程度である。

土坑と土器の間隙を埋めた埋土は、土坑が掘り込まれたⅧ層土を主成分とするため、明確な色別は難しい。なお、土器を取り上げた最終段階では、掘り込み面で円形の平面プランを確認している。

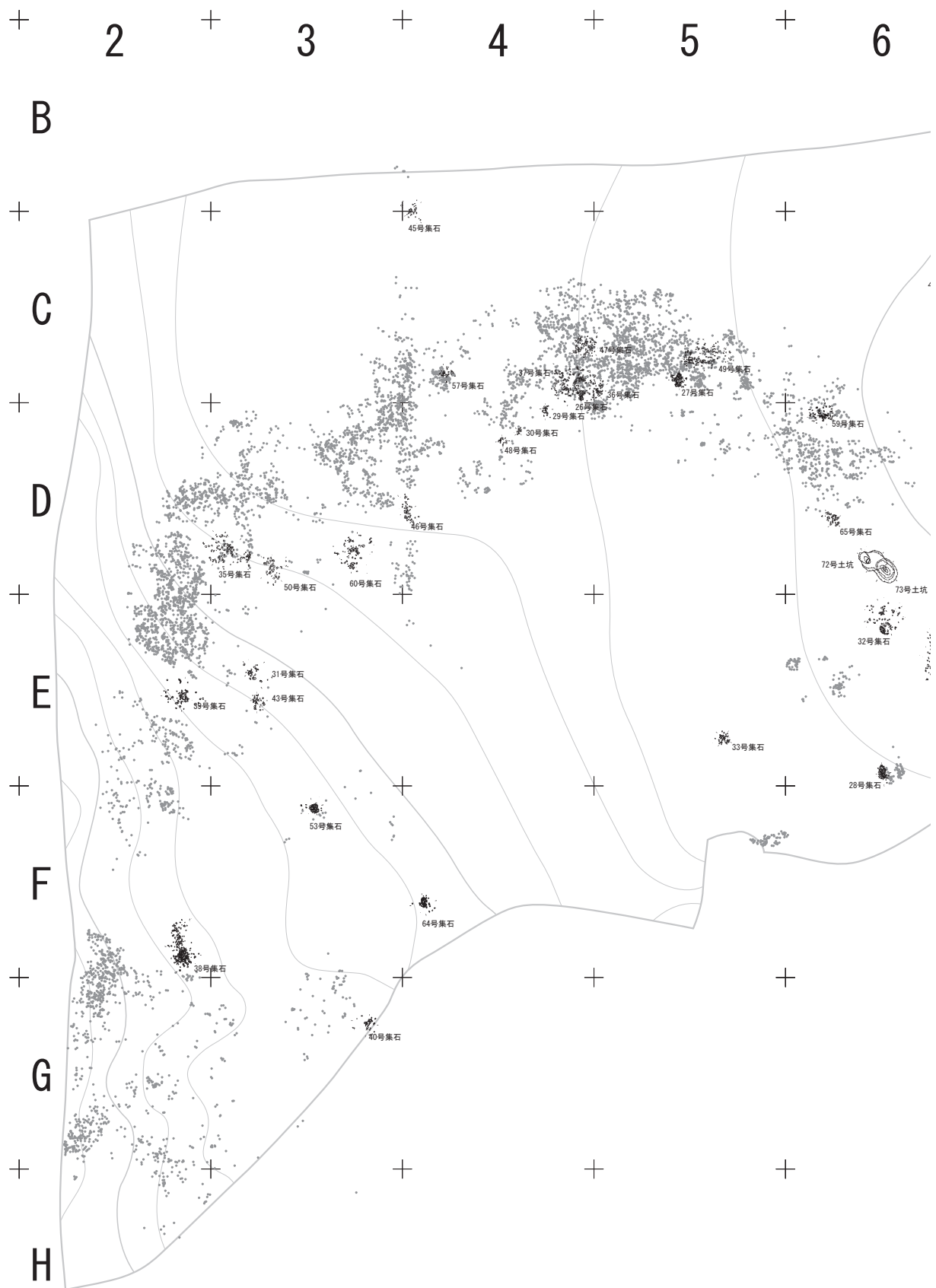
土坑の確認位置、埋設土器の口径と土坑の大きさから判断して、土器の土坑内への設置状況を推測すると、土器を土坑内に完全に挿入することはかなり困難であることが予測された。したがって、地表面から土器口縁が一部露出した状態が想定され、土器を埋設したと判断した。

### 2号土器埋設遺構(第273図)

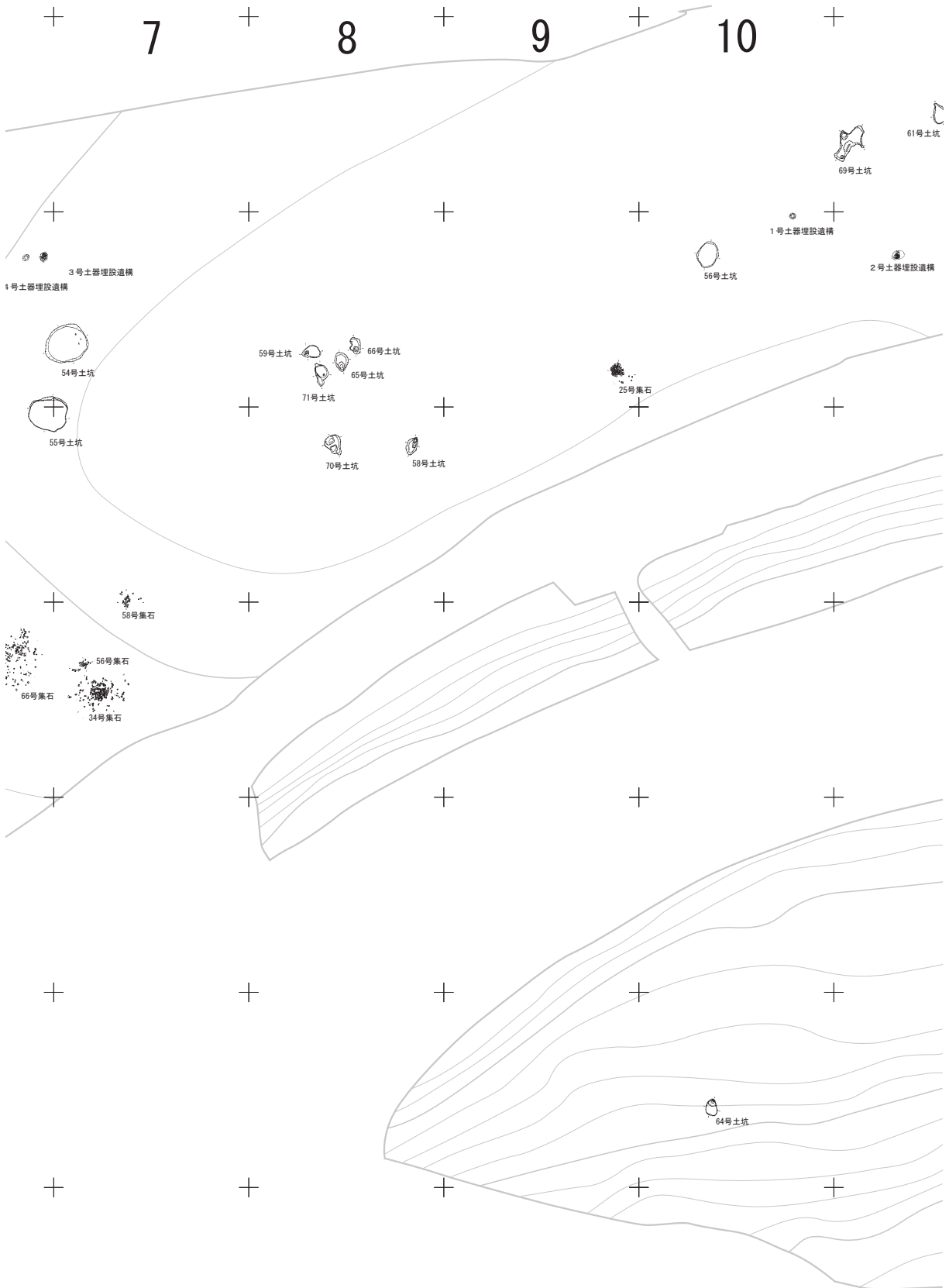
C-11区, VII層で検出した。完形に復元できるとされる土器(Ⅸ類壺)を検出後、土坑

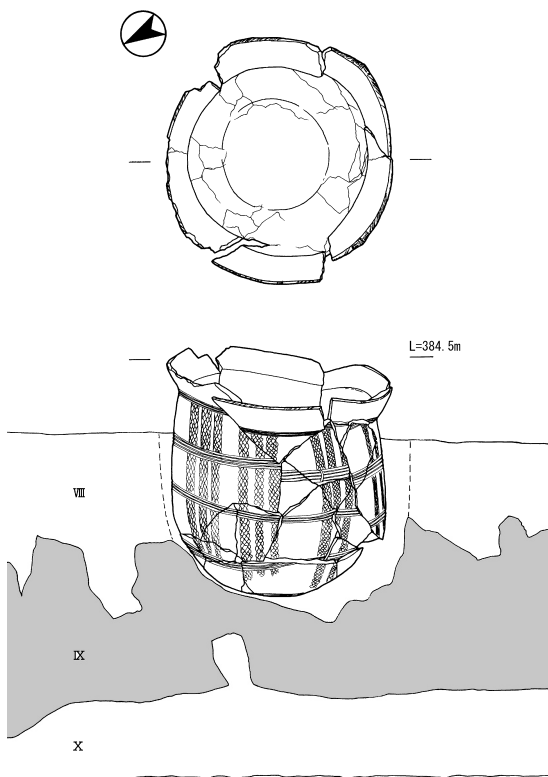


第271図 VII層 遺構位置及び散石検出状況図

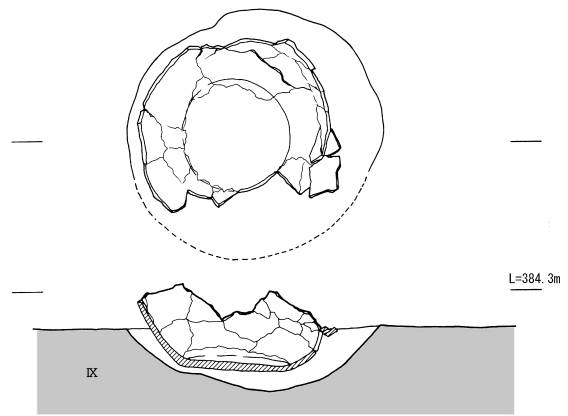


第272図 VI, VII層遺構配置及び散石検出状況

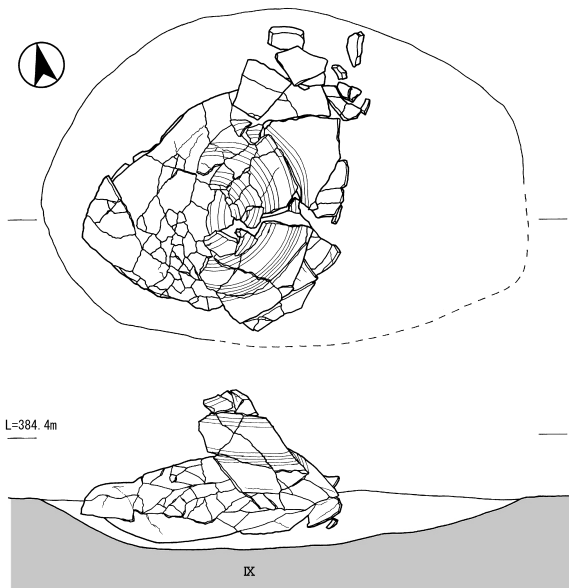




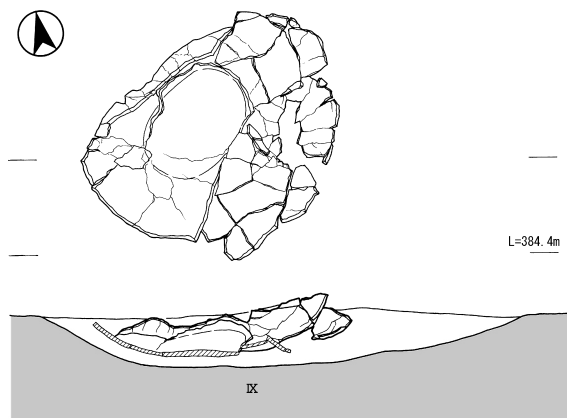
1号土器埋設遺構



1号底部付近断面



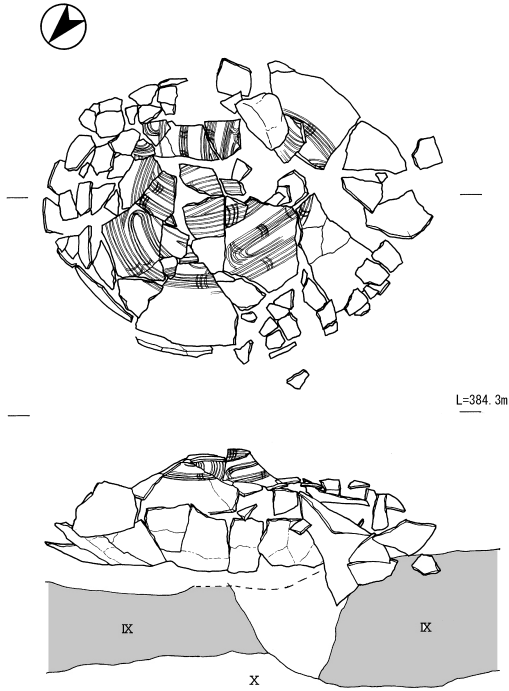
2号土器埋設遺構



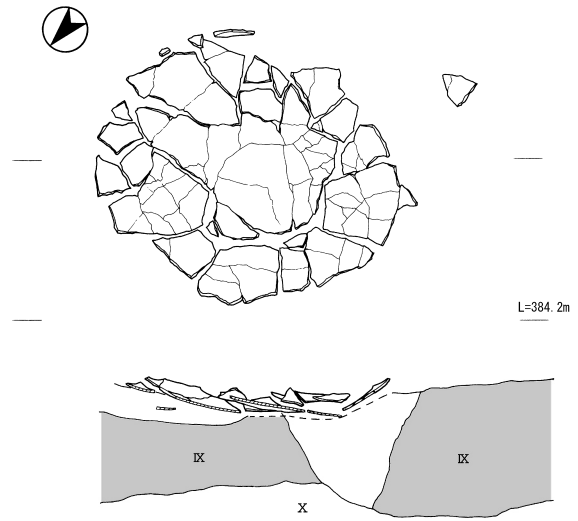
2号底部付近断面



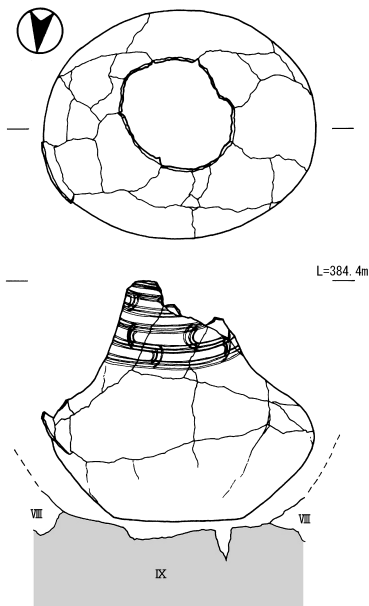
第273図 土器埋設遺構検出状況



3号土器埋設遺構



3号底部付近断面



4号土器埋設遺構

第274図 土器埋設遺構検出状況

の有無を確認するため土坑平面プラン検出を繰り返したが、埋土と周辺土との色調が類似するため確認には困難を極めた。そこで、IX層上面まで掘り下げ、平面プラン及び断面観察による土坑ラインの確認を行った。

遺構内埋土は黒色土で、周辺土と極めて類似する。平面プランは内包する土器の器形を意識しているのか楕円形を呈する。その規格は長軸約68cm、短軸約45cmである。

断面は皿状を呈する。土坑は1号と比較すると大型で、土器をかかえ設置するときの余裕をもたせているものと推測される。

内包される土器の器高と1号土器埋設遺構の出土状況から考えて、2号についても地表面から土器口縁部が一部露出し、土器が埋設された遺構と判断した。ちなみに、復元した壺形土器の口縁部の大部分は失われている。

3号土器埋設遺構（第274図）

C-6区、VII層で検出した。完形に復元できると思われる土器（IX類壺）を検出後、土坑平面プラン検出、埋土と周辺土との色調区分に至らず、IX層上面まで掘り下げを行い、平面プラン及び断面観察による土坑ラインの確認を行った。しかしIX層への掘り込みがほとんどみられず平面プラン、断面ともに土坑ラインの確認には至らなかった。

土器の出土状況、復元した土器の器高、ほか類似の遺構から考えて、3号も地表面から土器口縁部が一部露出し、土器が埋設された遺構と判断した。

4号土器埋設遺構（第274図）

C-6区、VII層で検出した。ほぼ完形と思われる土器（IX類壺）を検出後、土坑平面プランを確認できなかったため、IX層上面まで掘り下げ、平面プラン及び断面観察による土坑ラインの確認を目指した。しかし、IX層での具体的確認もつかめなかった。

Ⅷ層にわずかに残る斜めのラインと、土器の接地ラインを手がかりに推定復元を行った。

内包される土器の器高、他の類似遺構と照らし合わせて、4号も地表面から土器口縁部が一部露出した状態で埋設されたと判断した。

#### 集石

Ⅶ層では28基の集石を検出した。集石はA地区、B地区において検出し、A地区においては西よりに南側に開く半円状に分布し、B地区においてはI, J-13, 14区にまとまる傾向がうかがえた。

#### 25号集石 (第275図)

C-9区で検出した。中型から小型の礫を使用する。一部の礫は被熱により赤化している。礫の密集具合と遺構断面から掘り込みを有する可能性が高い。

(集石Ⅰ類)

#### 26号集石 (第275図)

C-5区で検出した。安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。一部の礫は被熱により赤化し、周辺に炭化物粒も確認できた。検出面の記載漏れ、標高計算の誤りのため、検出状況写真から層位を判断した。

(集石Ⅰ類)

#### 27号集石 (第275図)

C-5区で検出した。安山岩、砂岩を使用し、小型の礫が多い。一部の礫は被熱により赤化し、黒変している。検出面の記載漏れ、標高計算の誤りのため、検出状況写真から層位を判断した。

(集石Ⅰ類)

#### 28号集石 (第275図)

E-6区で検出した。安山岩、砂岩を使用し、中型から小型の礫が多い。わずかに被熱により赤化した礫がみられる。東側に土層横転がからみ礫の一部は失われている。

(集石Ⅰ類)

#### 29号集石 (第275図)

D-4区で検出した。砂岩を使用し、小型の礫が多い。半数以上の礫は被熱により赤化し、一部熱破碎している。検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。

(集石Ⅱ類)

#### 30号集石 (第275図)

D-4区で検出した。小型の安山岩を使用する。礫数が少なくコンパクトである。

(集石Ⅱ類)

#### 31号集石 (第276図)

E-3区で検出した。安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。小型の礫は礫集中部に多く、中型の礫は周囲に分散する傾向が見える。礫は被熱により赤化し、小型の礫は熱破碎している。

(集石Ⅲ類)

#### 32号集石 (第276図)

E-6区で検出した。安山岩、砂岩を使用し中型から小型の礫が多い。赤化した礫はほとんどみられない。南側の礫集中部は断面がややレンズ状を呈し、掘り込みを持つ可能性が高い。

(集石Ⅳ類)

#### 33号集石 (第277図)

E-5区で検出した。安山岩を使用し、砂岩が若干混じる。小型の礫が多く、被熱により赤化し、一部は熱破碎している。礫集中部と散らばりの境界は明瞭ではない。

(集石Ⅱ類)

#### 34号集石 (第277図)

E-7区で検出した。安山岩、砂岩を使用し、中型から小型の礫が多い。礫は被熱により赤化し、一部は熱破碎している。礫集中部は断面がややレンズ状を呈し、掘り込みを有した可能性が高い。検出面の記載漏れのため、検出状況写真から層位を判断した。

(集石Ⅳ類)

#### 35号集石 (第278図)

D-3区で検出した。安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。比較的大きな礫が中心にまとまり、被熱により赤化している。周囲の礫はやや小型化する傾向がある。

(集石Ⅲ類)

#### 36号集石 (第279図)

C-5区で検出した。中型から小型の礫を使用する。南側に礫のまとまりがうかがえる。検出面の記載漏れのため、検出状況写真から層位を判断した。

(集石Ⅱ類)

#### 37号集石 (第279図)

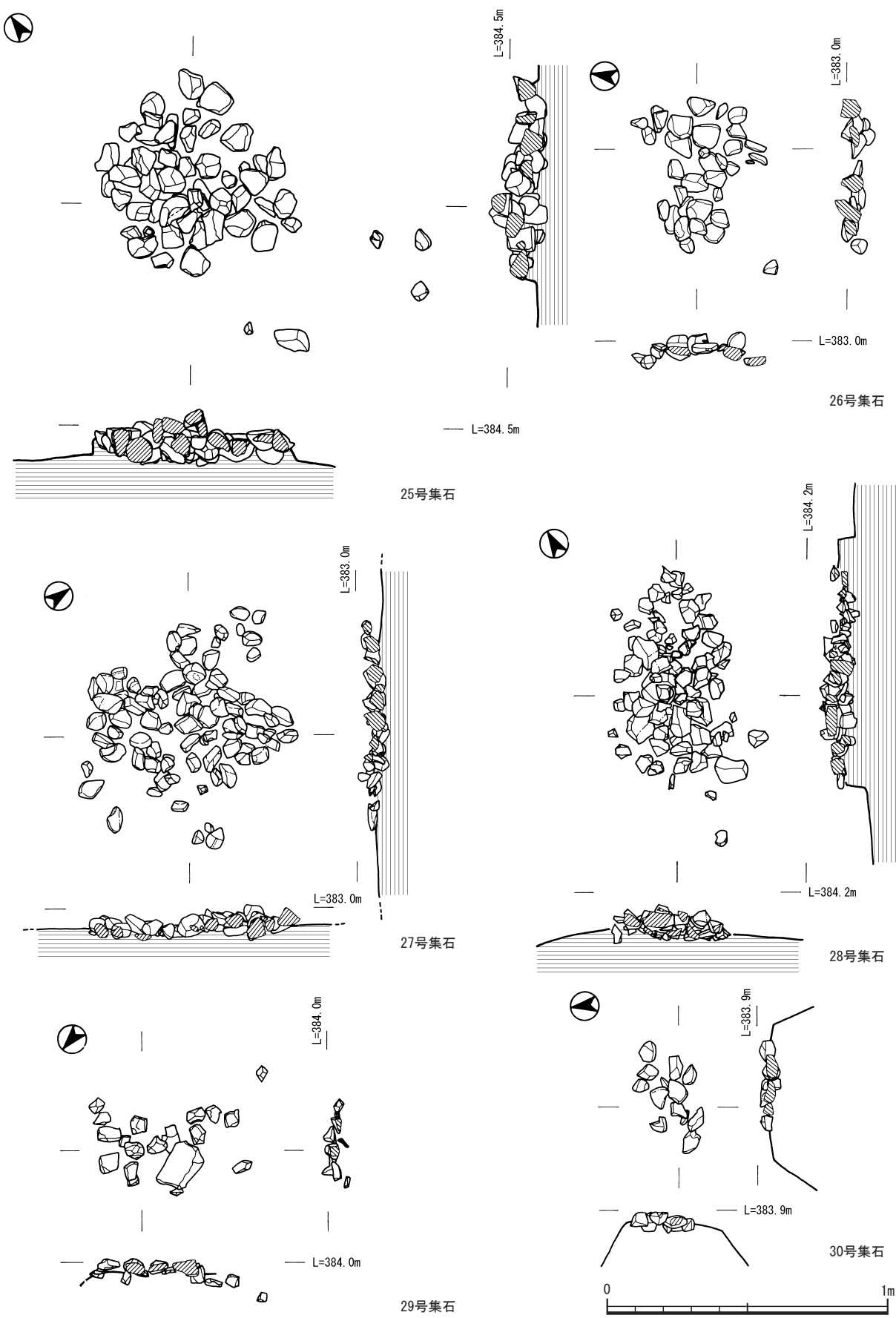
C-4区で検出した。砂岩、安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。東側に礫の集中傾向もみられる。200cm×200cmの広範囲に展開し、周辺部と集中下位に被熱により赤化し、破碎した小型礫がみられる。検出面の記載漏れのため、検出状況写真から層位を判断した。

(集石Ⅴ類)

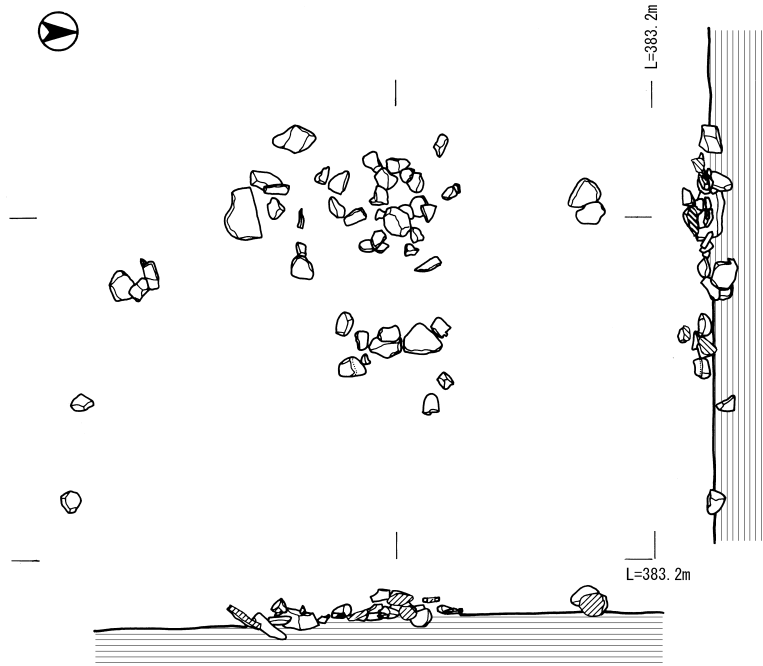
#### 38号集石 (第280図)

F-2区で検出した。小型の礫を使用する。100cm×250cmの帯状に広がり、南側に60cm×70cmの集中

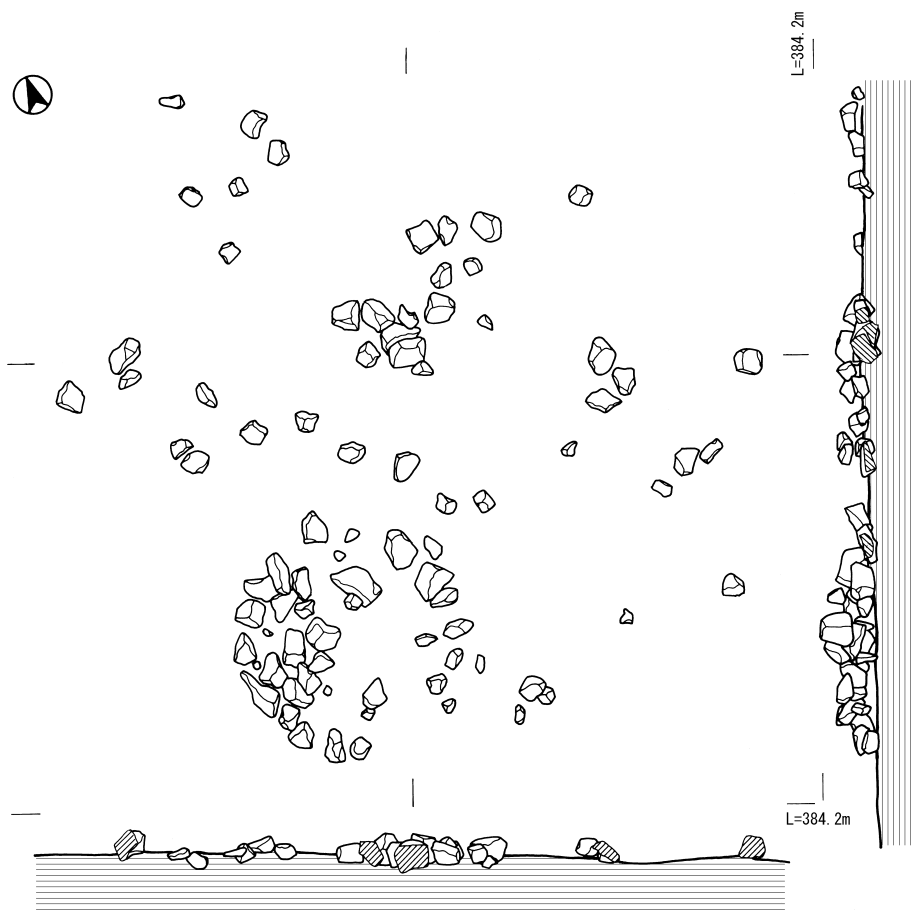




第275图 VII層集石 (1)



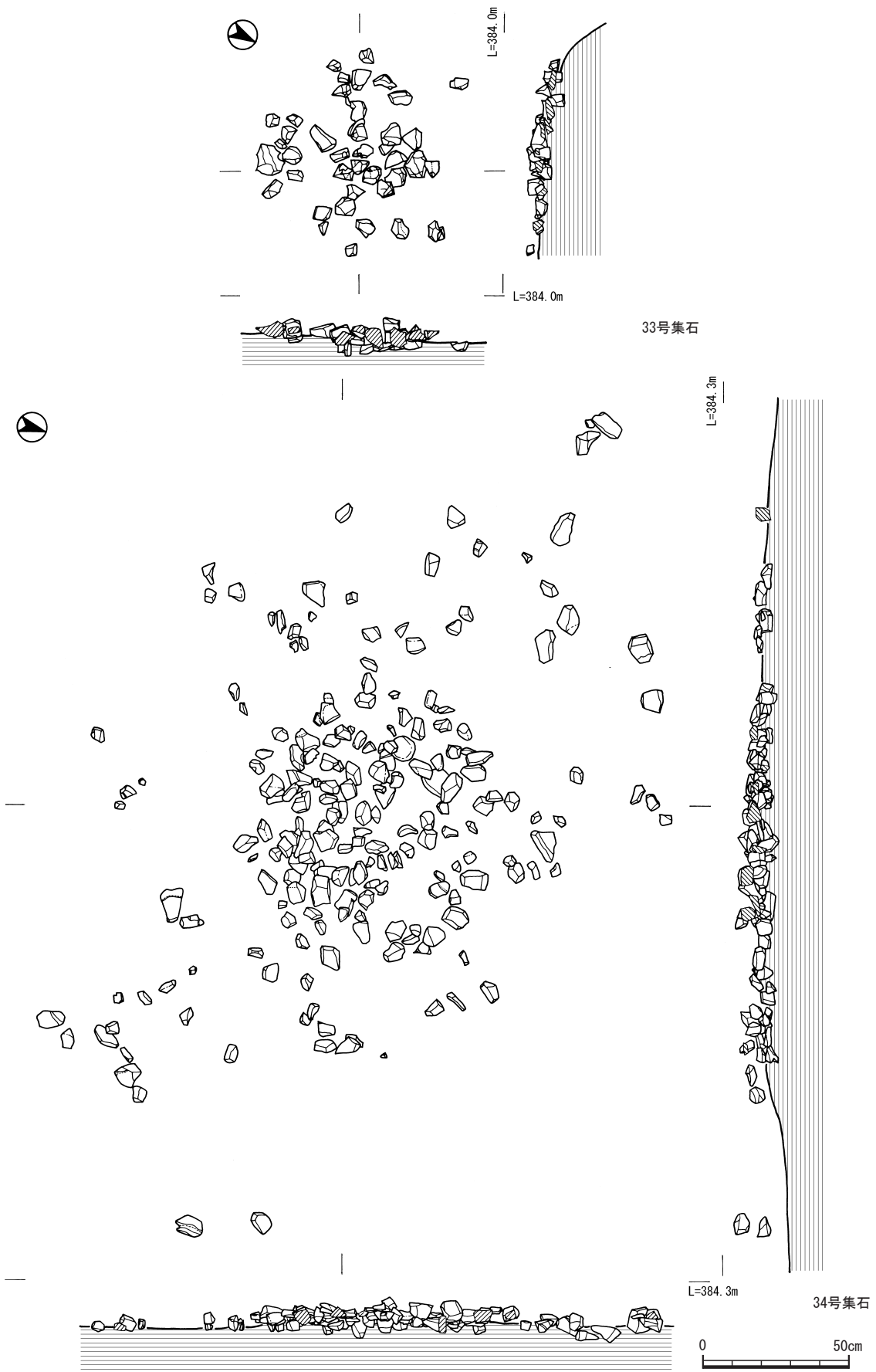
31号集石



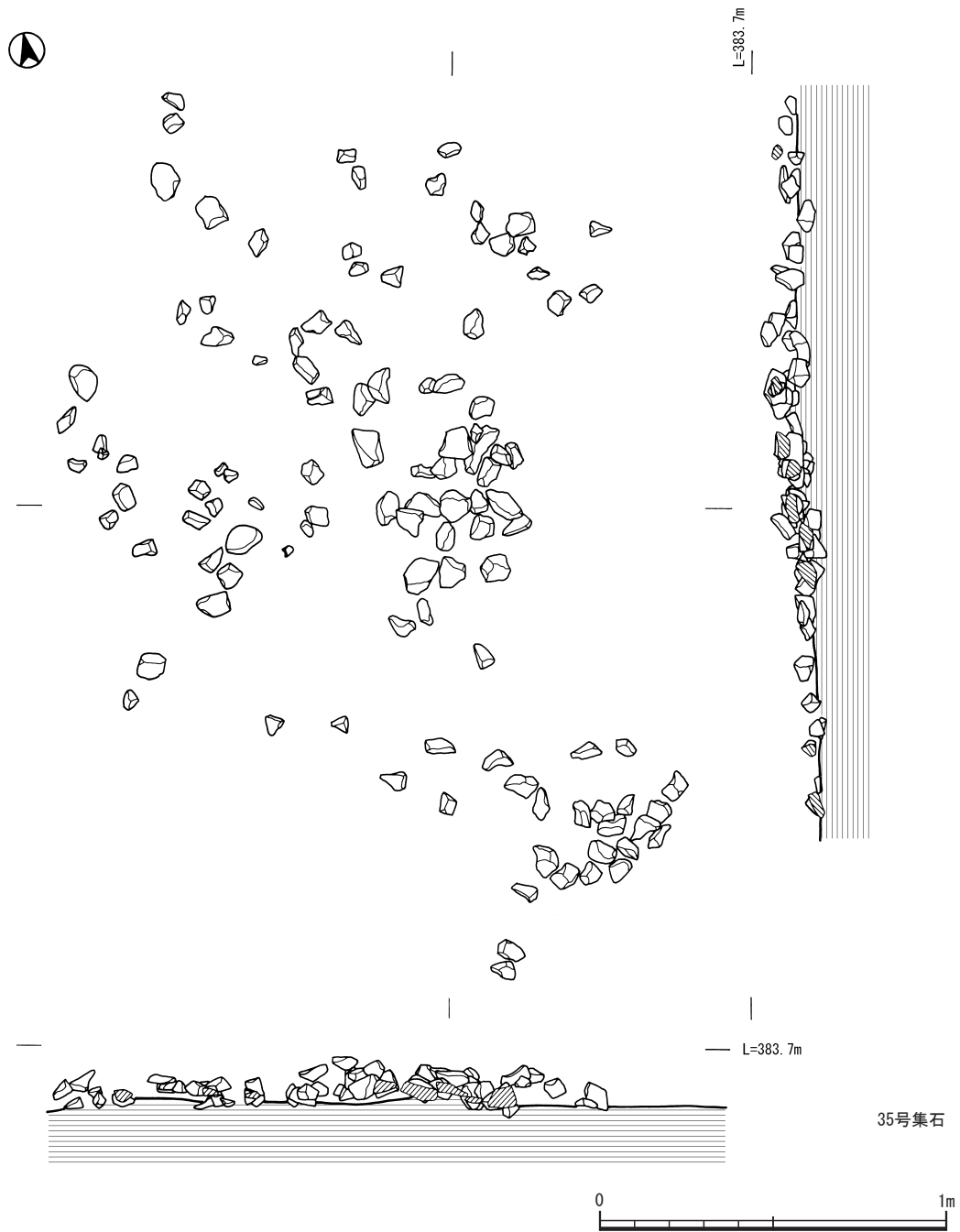
32号集石



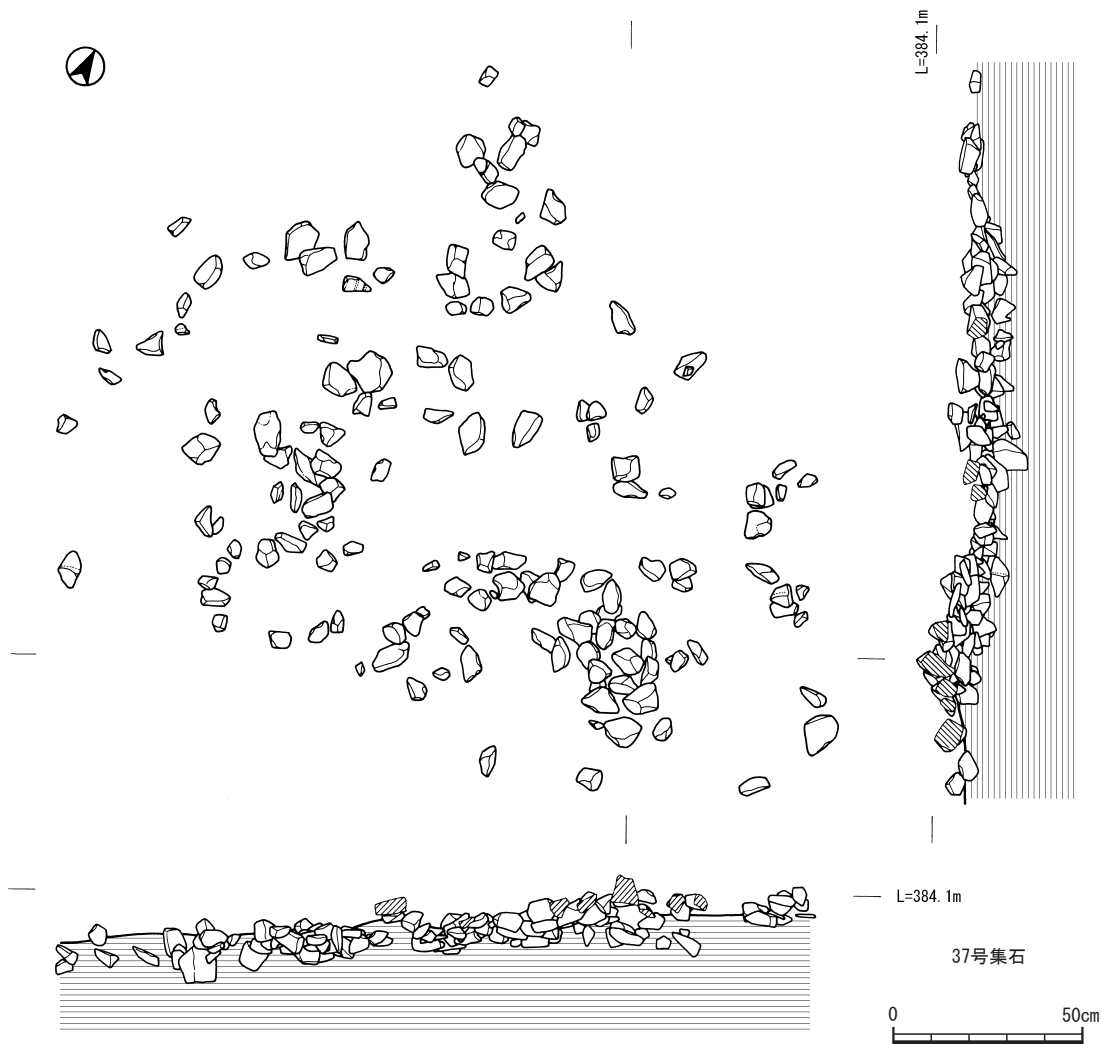
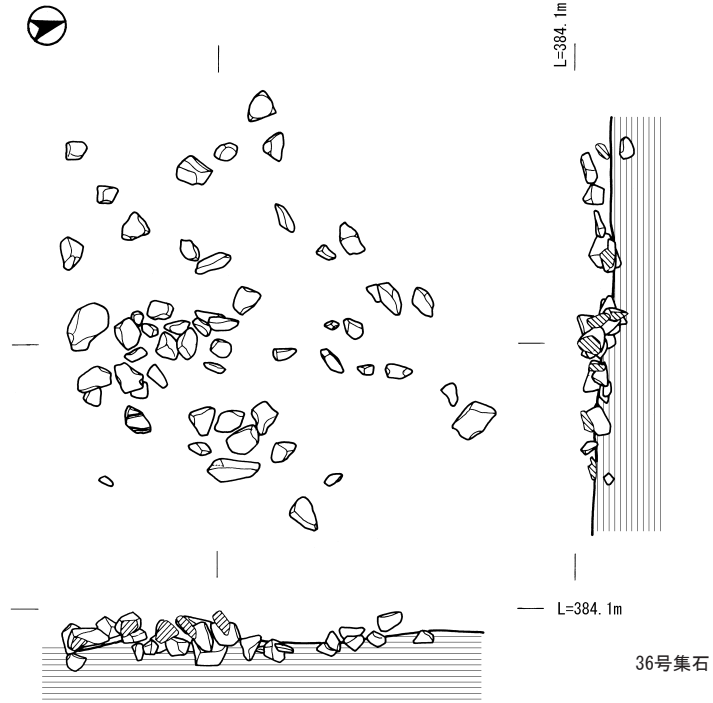
第276图 VII層集石 (2)



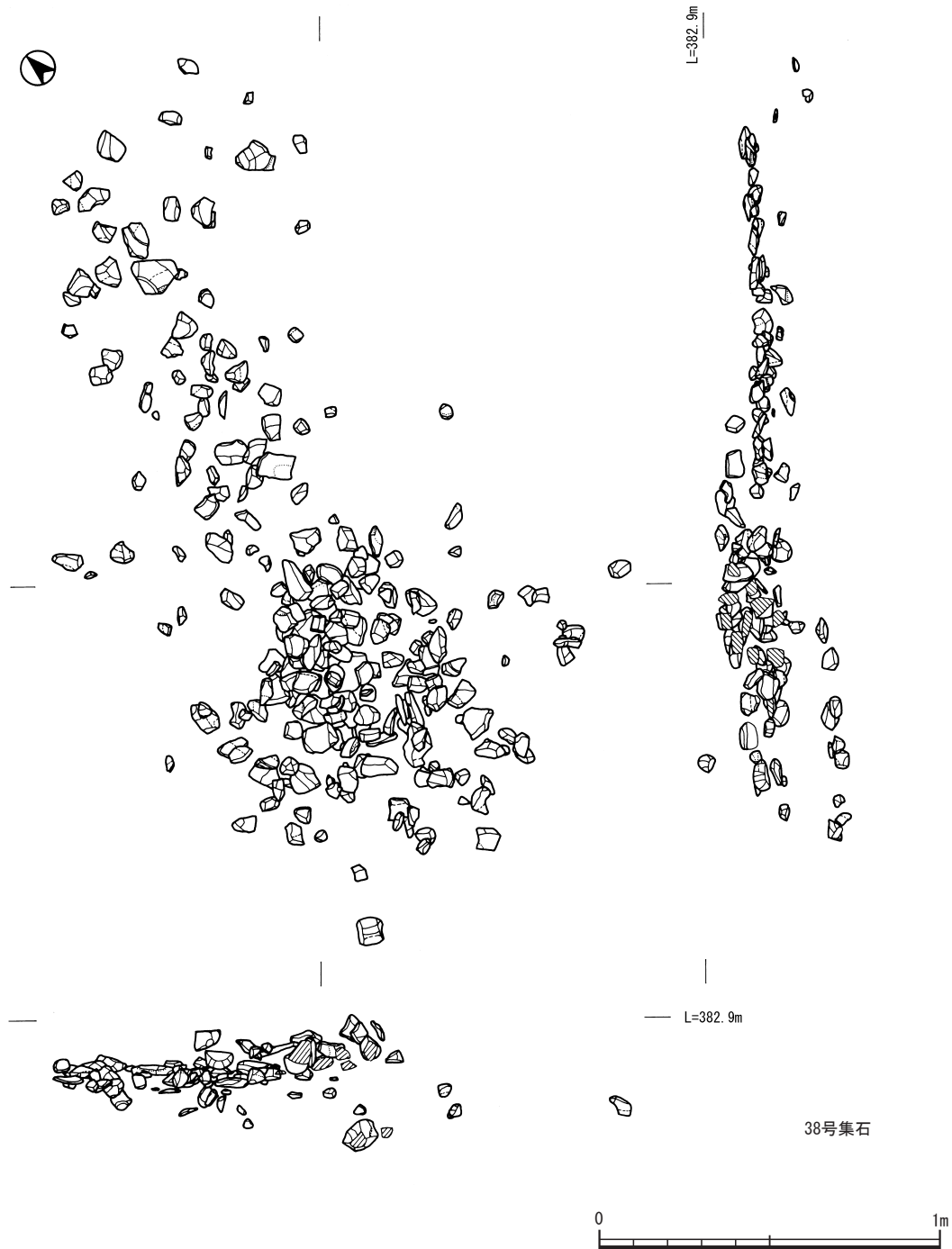
第277图 VII層集石 (3)



第278图 VII層集石 (4)



第279图 VII層集石 (5)



第280図 VII層集石 (6)

か所が見られ、断面観察から掘り込みを伴う可能性が高い。一方、集中カ所とは逆の北側には、散在する礫のエリアが見られる。

集中部の礫の一部に被熱による赤化がみられる。  
(集石IV類)

**39号集石 (第281図)**

E-2区で検出した。安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。礫は被熱により赤化している。

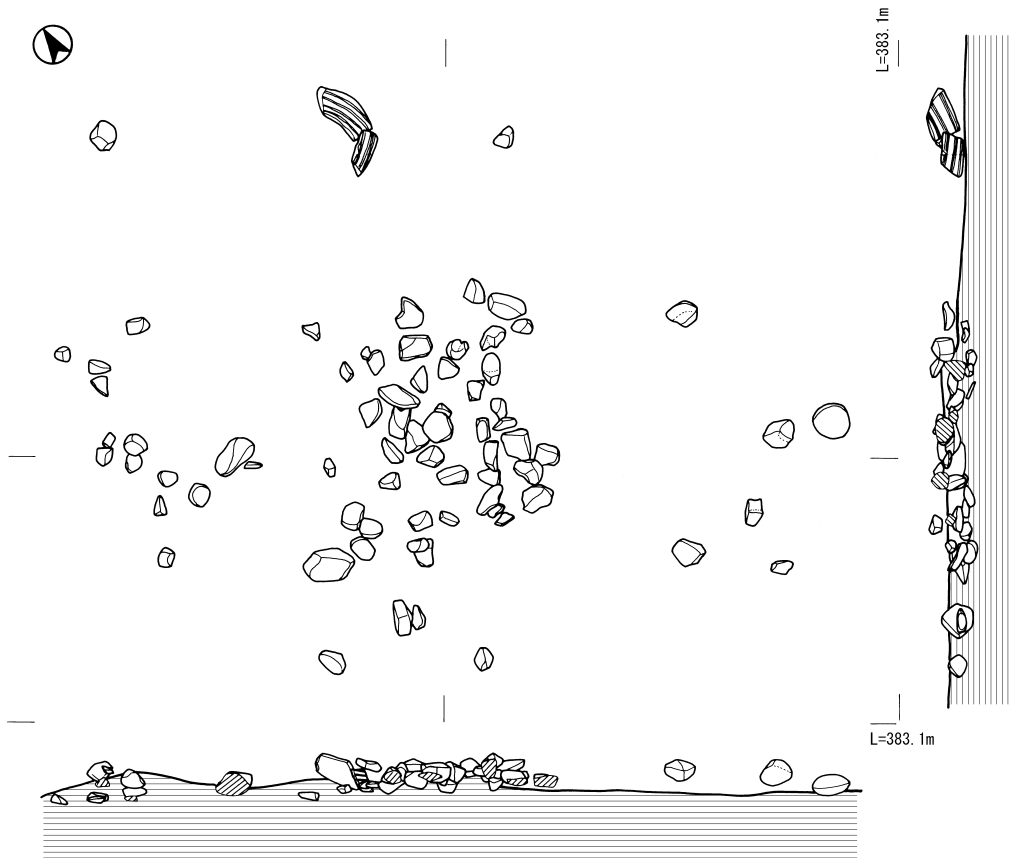
約100cm×200cmの範囲に分布し、2カ所にまとまる状況も見られる。

(集石V類)

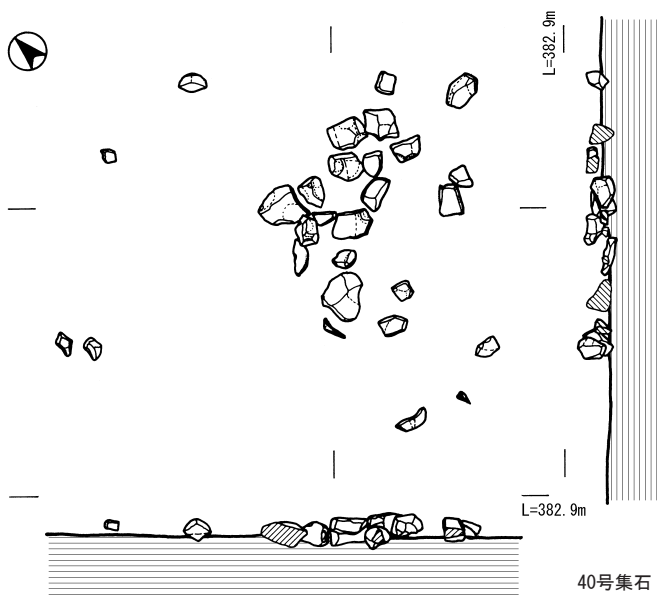
**40号集石 (第281図)**

G-3区で検出した。安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。60cm×60cm程の集中化傾向が見られ、中心付近の礫は被熱により赤化している。

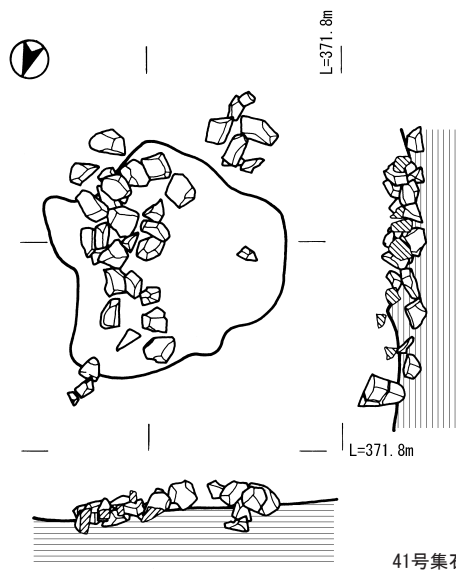
(集石II類)



39号集石



40号集石



41号集石



第281図 VII層集石 (7)

#### 41号集石 (第281図)

H-11区で検出した。安山岩を使用し、若干砂岩が混じる。小型礫が多く、一部は被熱のため赤化している。中心部には径50cmほどの炭化物粒の広がりがあり、礫と重なる状況で確認された。

(集石Ⅱ類)

#### 42号集石 (第282図)

I-14区で検出した。中型から小型の角礫を使用している。一部の礫は被熱により赤化している。

50cm×80cmの範囲を成し、中央部に礫の存在しない空き地が見られる。

(集石Ⅱ類)

#### 43号集石 (第282図)

E-3区で検出した。安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。

50cm×80cmのエリアを成し、中心付近には被熱により赤化した礫がみられる。検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。

(集石Ⅱ類)

#### 44号集石 (第282図)

B-12区で検出した。安山岩を使用し、中型の礫が多い。一部の礫は被熱により赤化している。

50cm×50cmとコンパクトなエリアを成し、中央部が粗で上下幅のある残存状況がみられる。また、掘り込みを有した可能性もある。

(集石Ⅰ類)

#### 45号集石 (第282図)

C-4区で検出した。安山岩、砂岩を使用し、小型の礫が多い。礫の一部は被熱により赤化、黒変がみられる。検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。砂岩製の磨石 (第302図) が共伴する。

(集石Ⅱ類)

#### 46号集石 (第282図)

D-4区で検出した。安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。礫の一部には被熱による黒変がみられ、炭化物粒もわずかに分布する。

50cm×160cmの帯状の範囲を成す。

(集石Ⅲ類)

#### 47号集石 (第283図)

C-4区で検出した。砂岩、安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。周辺部に被熱により赤化し、熱破碎した安山岩礫が分布する。120cm×130cmのエリアを成す。

検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。

(集石Ⅱ類)

#### 48号集石 (第283図)

D-4区で検出した。安山岩を使用し、小型の礫が多い。50cm×50cmの円形を成し、中央部は礫が粗と成る。

(集石Ⅱ類)

#### 49号集石 (第283図)

C-5区で検出した。砂岩、安山岩を使用し、中型から小型の礫が多い。一部の礫は被熱により赤化し、安山岩は熱破碎しているものが多い。150cm×250cmの広範囲を構成し、不規則に分布する。

検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。

(集石Ⅲ類)

#### 50号集石 (第284図)

D-3区で検出した。安山岩、砂岩を使用し大型から中型の礫が多い。

(集石Ⅲ類)

#### 51号集石 (第284図)

J-13区で検出した。安山岩を使用し、わずかに砂岩が混じる。中型から小型の角礫が多く、被熱により赤化している。

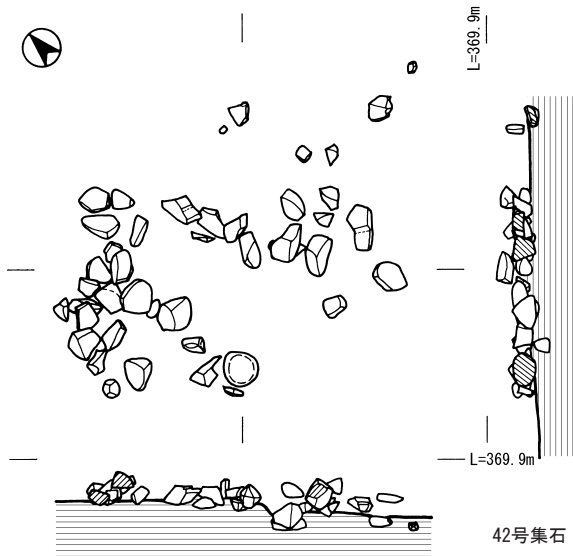
(集石Ⅲ類)

#### 52号集石 (第285図)

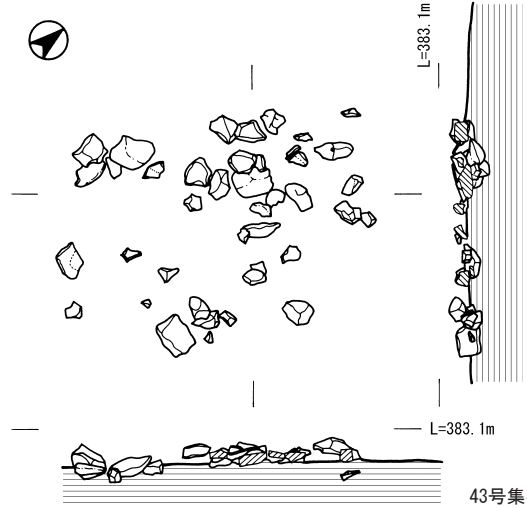
I-14区で検出した。小型の角礫を使用する。半数ほどの礫が被熱のため赤化し、一部熱破碎している。

(集石Ⅲ類)

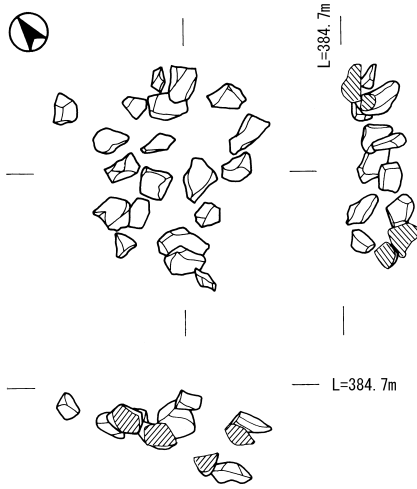




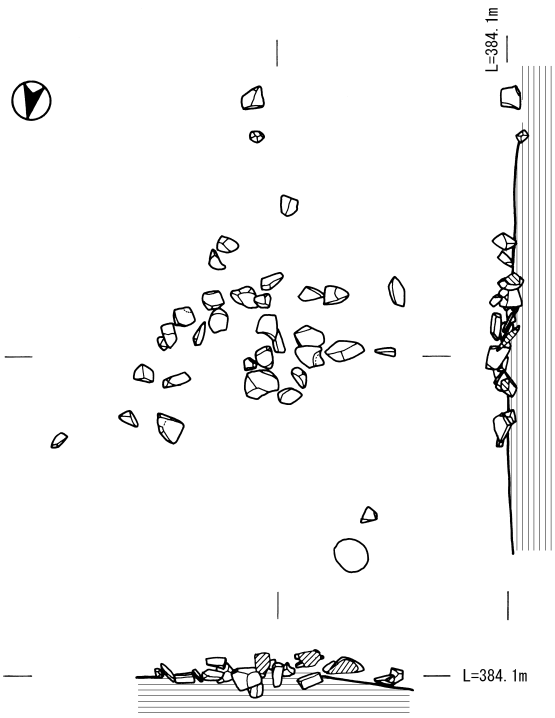
42号集石



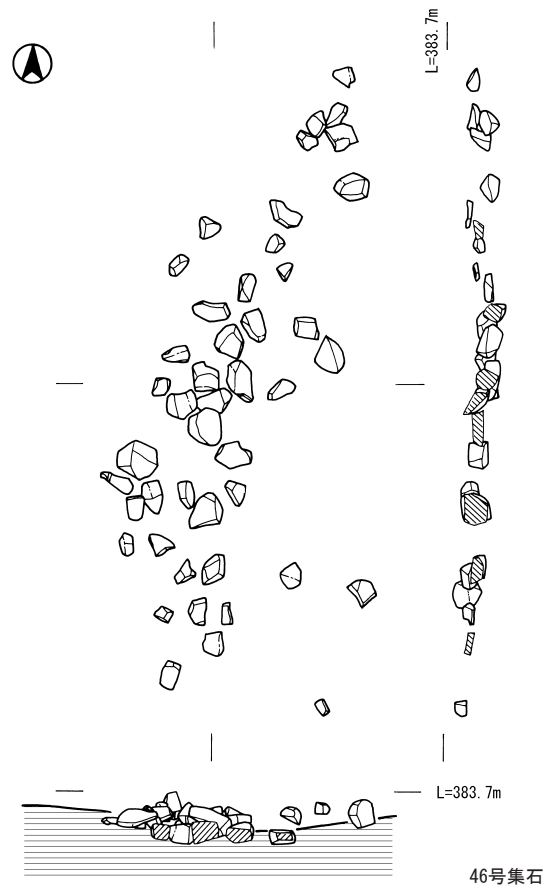
43号集石



44号集石



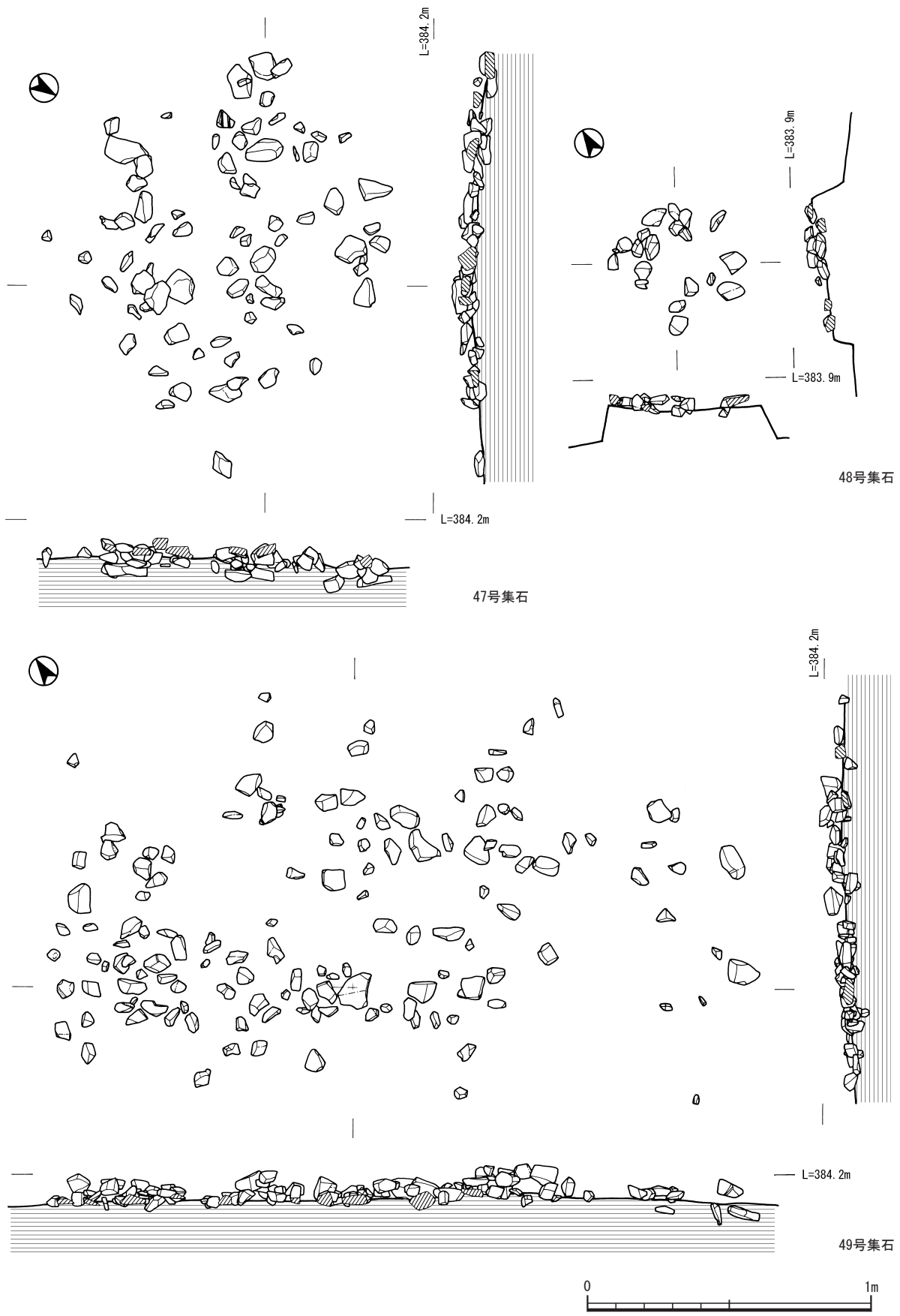
45号集石



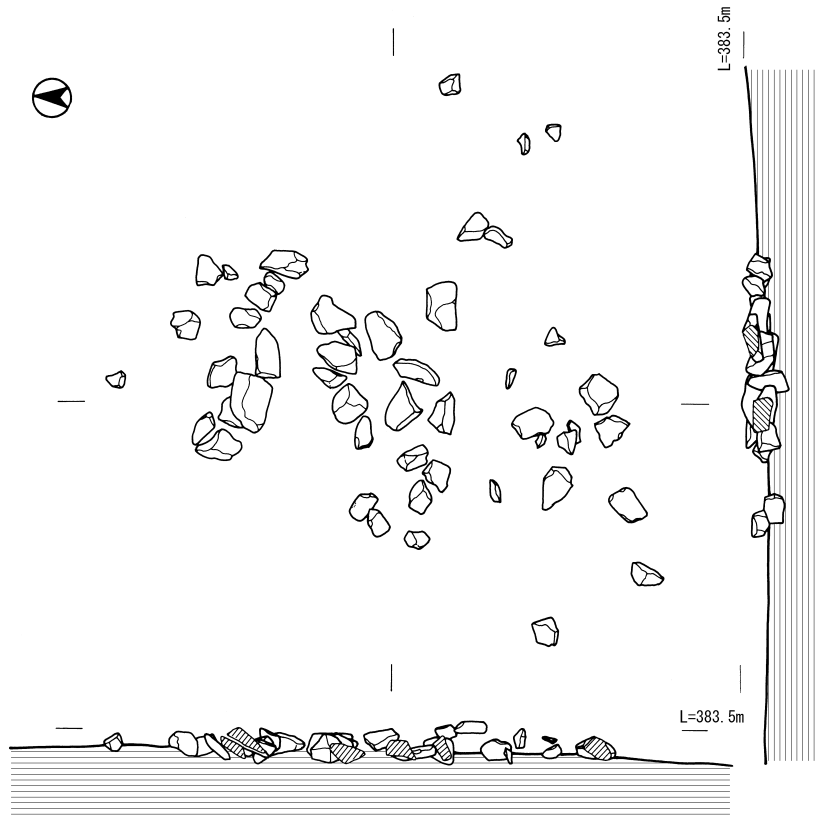
46号集石



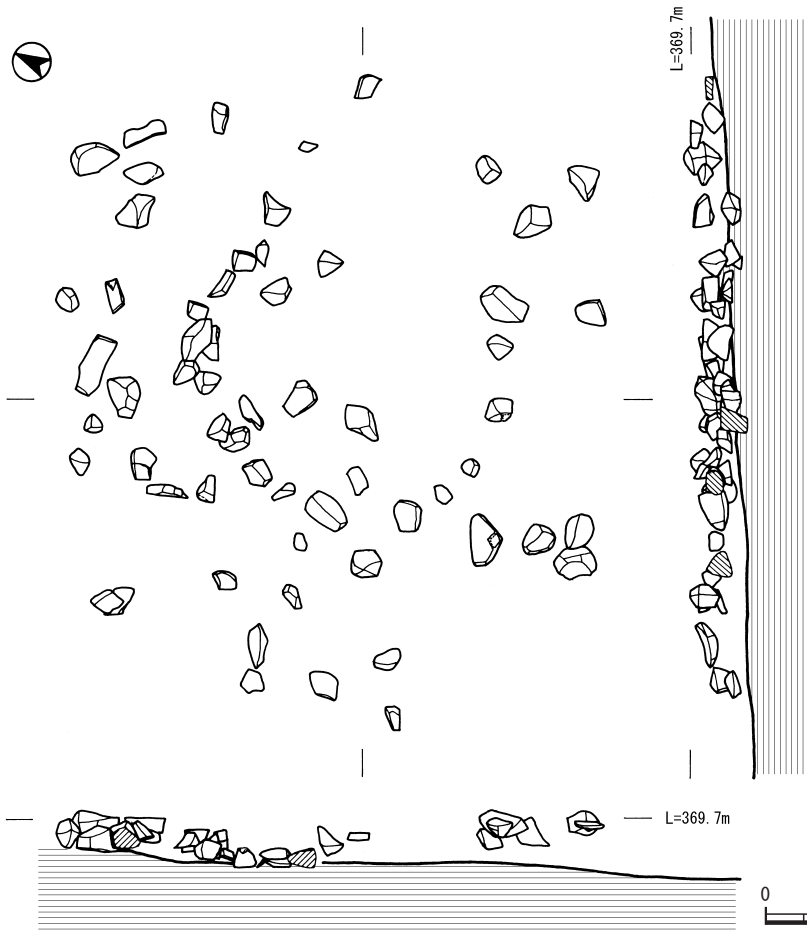
第282图 VII層集石 (8)



第283图 VII层集石 (9)



50号集石



51号集石



第284図 VII層集石 (10)



第285図 VII層集石 (11)

#### 土坑

VII層では19基の土坑を検出した。土坑は、同一層の集石とは分布域を異にしA地区東側に分布する傾向がうかがえる。

#### 54号土坑 (第286図)

C-7区, IX層上面で検出した。平面プランは円形で長軸222cm, 短軸191cm, 深さは検出面から57cmである。底面は平坦で, 掘り込み壁は垂直に立ち上がる。

埋土は4枚に区分でき, 詳細は第286図に示した。それぞれの埋土は遺物を含み, 特に, 埋土4の上面では, 北端(楕円形)と南端(円形)に2か所の焼土跡を検出している。

遺構内からは耳栓状土製品3点(16~18), 土器片27点(19~27), 挟入石器2点(28, 29), 石鏃8点(30~37), 二次加工のある剥片1点(38)が出土している。その他, ギョクズイ, 黒曜石, チャート, 安山岩等の剥片, チップが多数あり, 礫も68点含まれていた。

埋土からの出土遺物には偏りが見られ, 埋土1と埋土3, 埋土4に集中している。

埋土1には, 土器片, 礫が多数含まれ, ほぼ全域で均一に出土している。

埋土3, 4には, 石器, 耳栓状土製品が包含され, 特に, 耳栓状土製品は埋土3と4の境界の埋土4から出土している。また, 遺構の東側に耳栓状土製品が集中し, やや分布範囲は広いが石器も東側に集中する傾向がみえる。

#### 55号土坑 (第287図)

D-6区, IX層上面で検出した。平面プランは円形で長

軸188cm, 短軸172cm, 深さは検出面から35cmである。底面は平坦で, 掘り込み壁の立ち上がりはほぼ垂直である。規模, 形態的に54号土坑と非常に類似する。

3枚の埋土を確認しているが, 遺物は発見されていない。

#### 56号土坑 (第288図)

C-10区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸136cm, 短軸107cm, 深さは検出面から24cmである。底面は平坦で, 掘り込み壁の立ち上がりはほぼ垂直である。

規模が異なるが54号土坑と形態が非常に類似する。

遺物の出土は, 確認されていない。

#### 57号土坑 (第288図)

B-13区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸110cm, 短軸65cm, 深さは検出面から12cmである。底面は平坦で, 掘り込み壁の立ち上がりは緩やかに傾斜する。

(土坑I類)

#### 58号土坑 (第289図)

D-8区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸88cm, 短軸53cm, 深さは検出面から32cmである。底面はやや北東側に傾斜する。底面にみられる落ち込みは人為的なものでないと考え, ここではI類と判断した(土坑I類)

#### 59号土坑 (第289図)

C-8区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸95cm, 短軸47cm, 深さは検出面から27cmである。底面は平坦で, 一部落ち込みがみられるが人為的なものではないと考え, ここではI類と判断した。

(土坑I類)

#### 60号土坑 (第289図)

B-13区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸113cm, 短軸62cm, 深さは検出面から19cmである。底面は平坦で, 壁はほぼ垂直に立ち上がる。

(土坑I類)

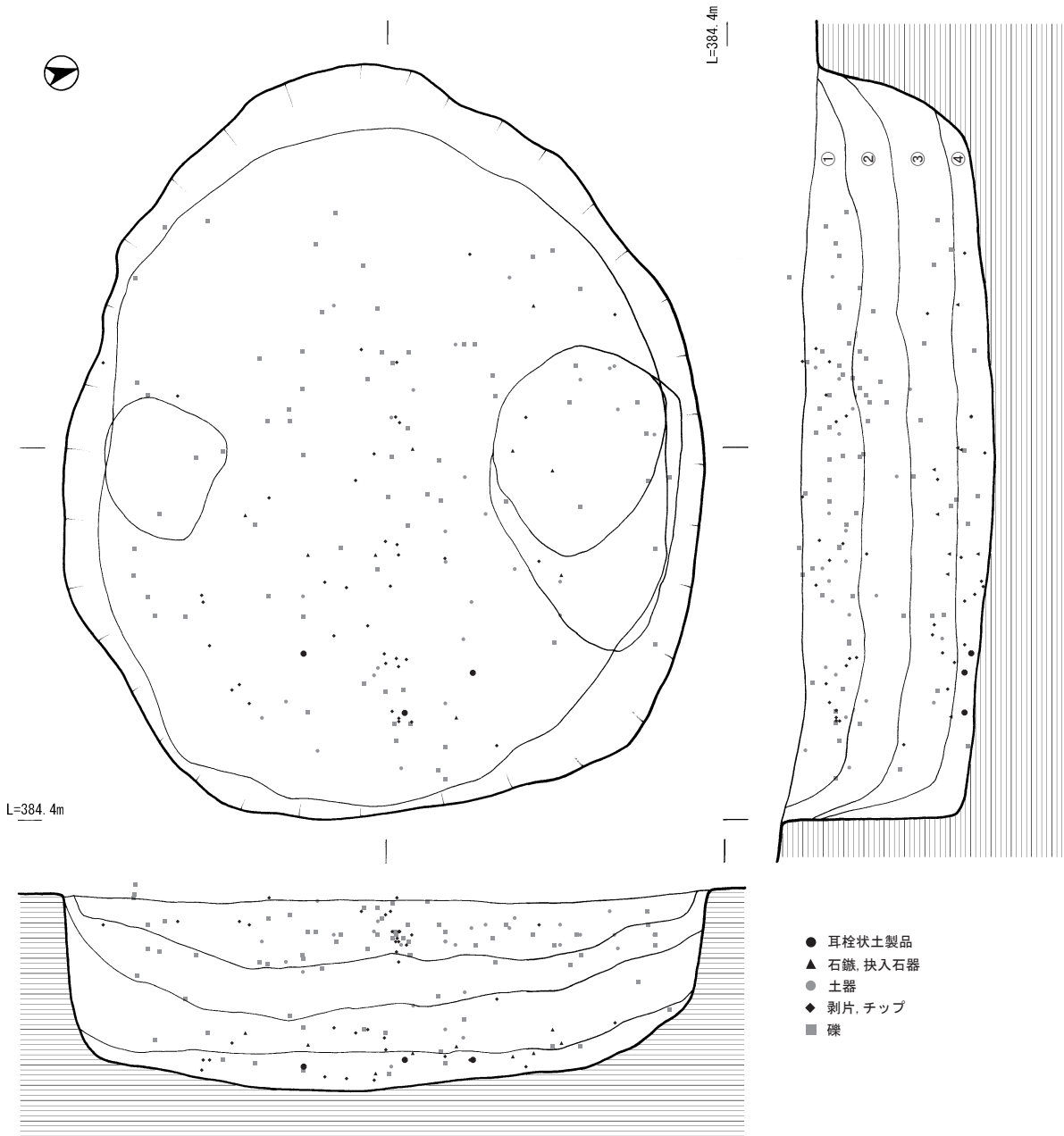
#### 61号土坑 (第290図)

B-11区, IX層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸104cm, 短軸68cm, 深さは検出面から30cmである。底面は平坦で, 壁は垂直に立ち上がる。

(土坑I類)

#### 62号土坑 (第290図)

B-11区, IX層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸126cm, 短軸62cm, 深さは検出面から25cmである。

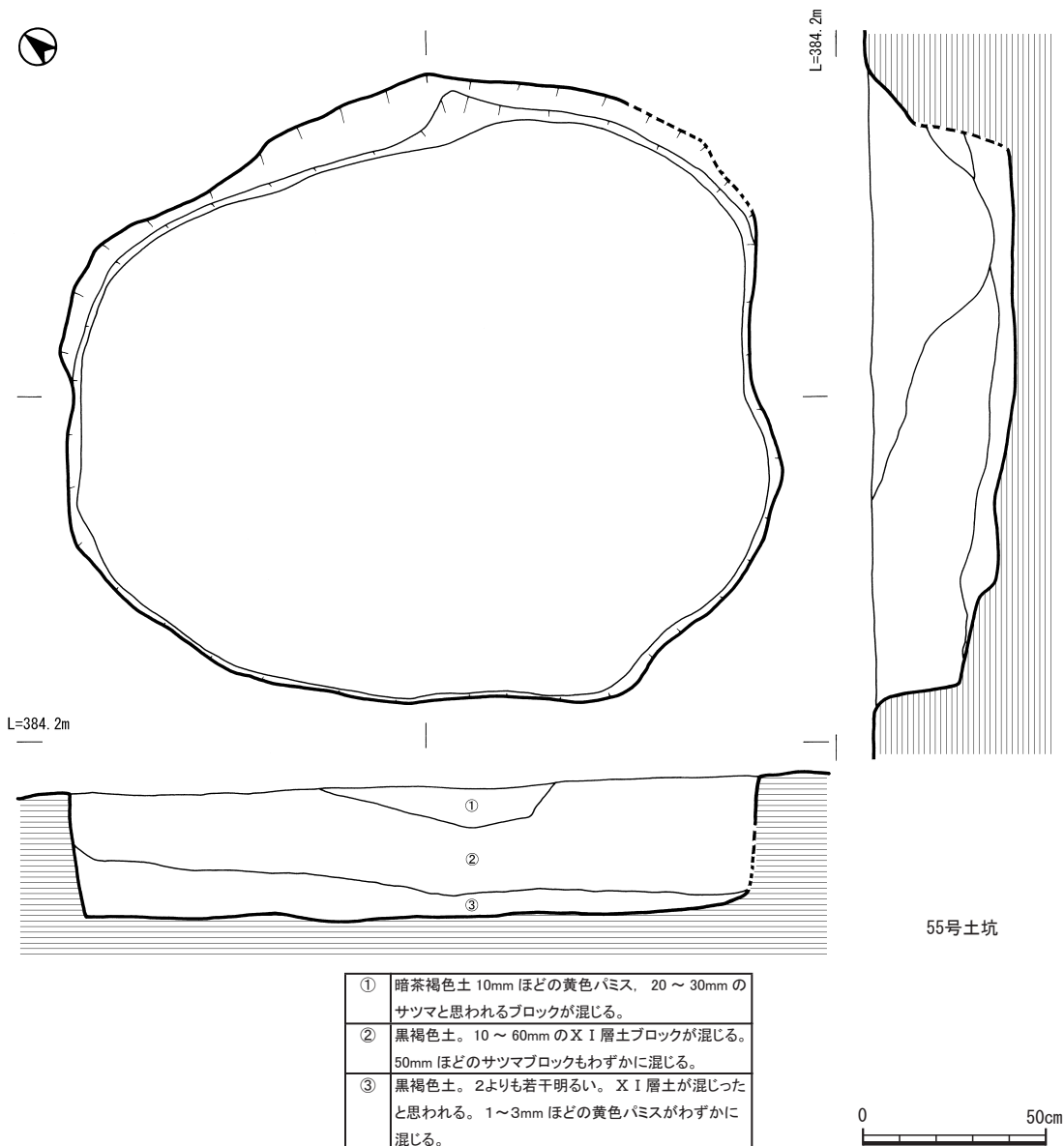


54号土坑

①	暗茶褐色土。サツマ小バミスが混じる。
②	暗茶褐色土。1より黒っぽい。大きめのサツマバミスが混じる。
③	暗茶褐色土。2より黒っぽい。サツマバミスがほとんど混じらない。
④	暗茶褐色土。黒っぽく締まっている。ロームが混じる。

0 50cm

第286図 VII層土坑 (1)



第287図 VII層土坑 (2)

底面はほぼ平坦で、掘り込み壁の立ち上がりはやや傾斜している。

(土坑Ⅰ類)

#### 63号土坑 (第290図)

B-14区、IX層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸114cm、短軸70cm、深さは検出面から22cmである。底面はほぼ平坦で、掘り込み壁の立ち上がりはかなり傾斜している。

(土坑Ⅰ類)

#### 64号土坑 (第291図)

G-10区、X I層で検出した。平面プランは楕円形状で長軸83cm、短軸63cm、深さは検出面から25cmである。底面はやや起伏をもち北東側に傾斜する。掘り込み壁の立

ち上がりは緩やかで、長軸北東端に深さ62cmで先細りの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

#### 65号土坑 (第291図)

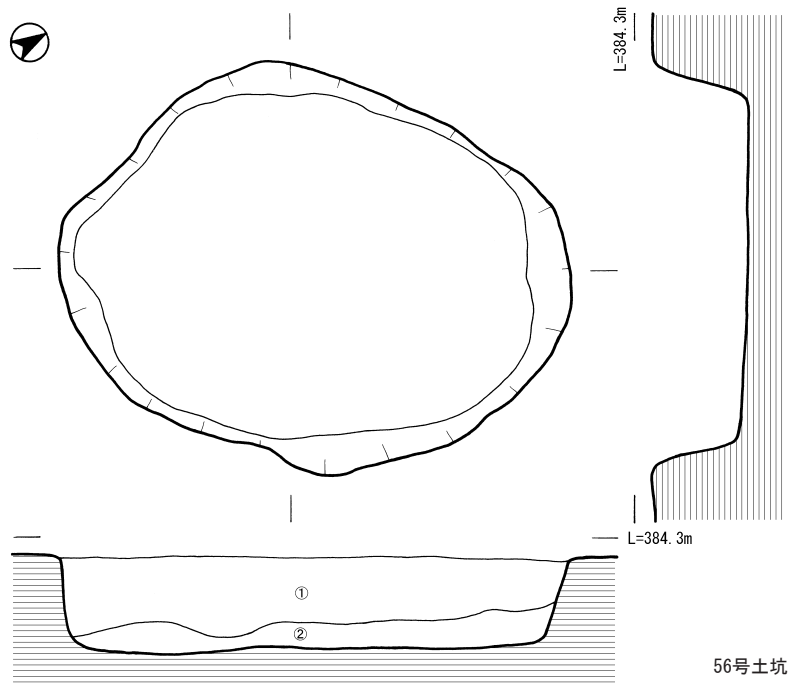
C-8区、IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸99cm、短軸71cm、深さは検出面から36cmである。底面は平坦で、長軸南西端に深さ38cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)

#### 66号土坑 (第292図)

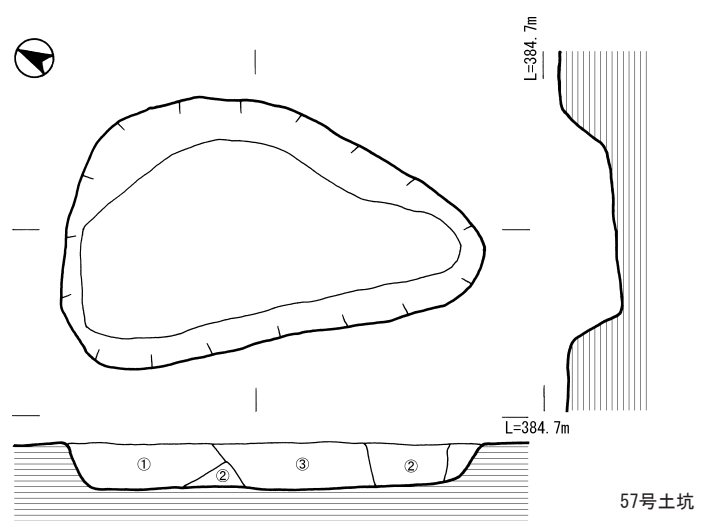
C-8区、IX層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸85cm、短軸52cm、深さは検出面から37cmである。底面は平坦で、長軸南端に深さ29cmの小穴がみられる。

(土坑Ⅱ類)



56号土坑

①	暗茶褐色土。3~4mmの黄白色バミスが全体的に混じる。
②	黒褐色土。

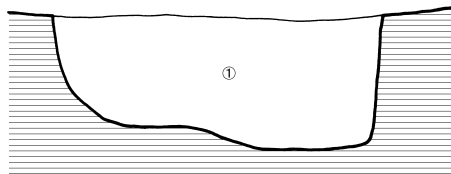
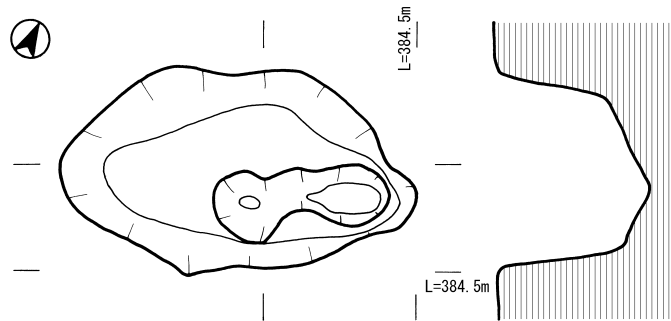


57号土坑

①	暗茶褐色土。2~3mmの黄白色バミスが少量混じる。
②	黒褐色土。2~3mmの黄白色バミスが少量混じる。
③	明茶褐色土。2~3mmの黄白色バミスが少量混じる。

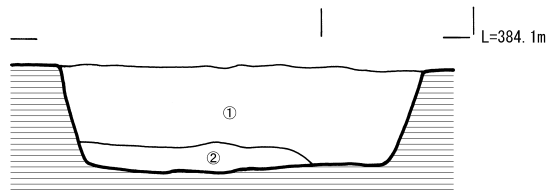
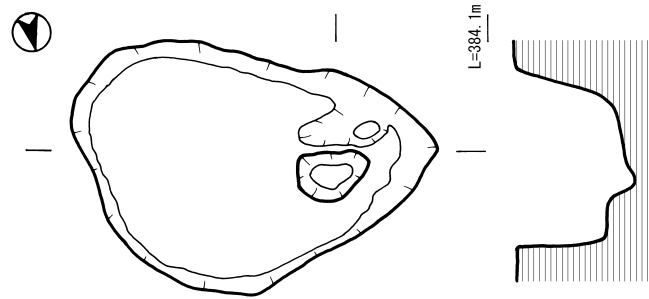


第288図 VII層土坑 (3)



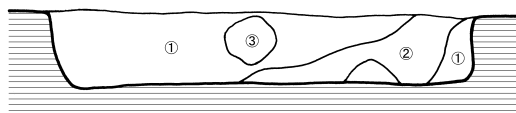
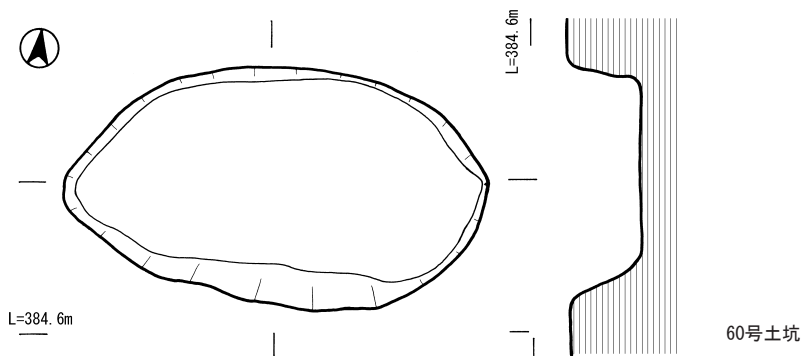
58号土坑

①	暗茶褐色土。
---	--------



59号土坑

①	暗茶褐色土。黄橙色パミスが少量混じる。
②	明茶褐色土。



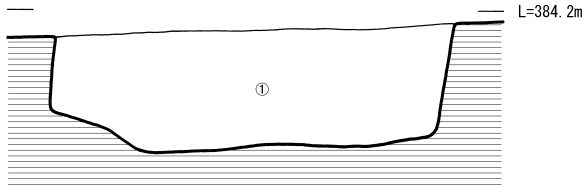
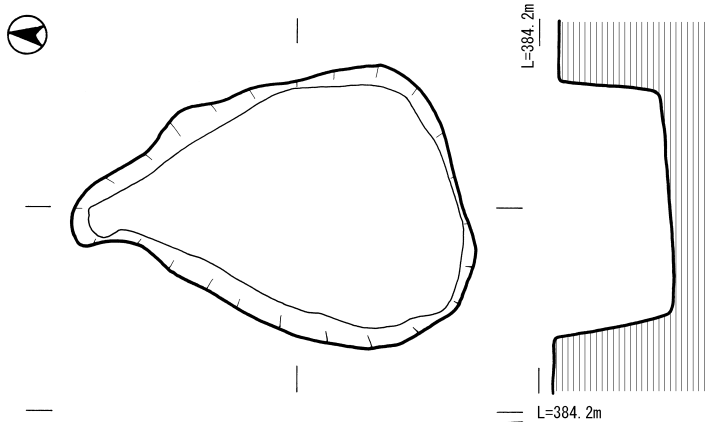
60号土坑

①	暗茶褐色土。パミスが少量混じる。
②	サツマ火山灰
③	暗茶褐色土。パミスが混じる。



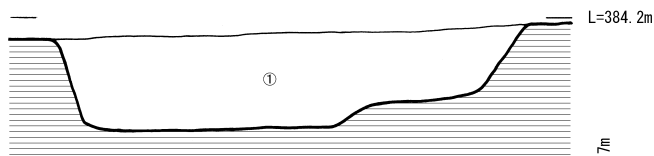
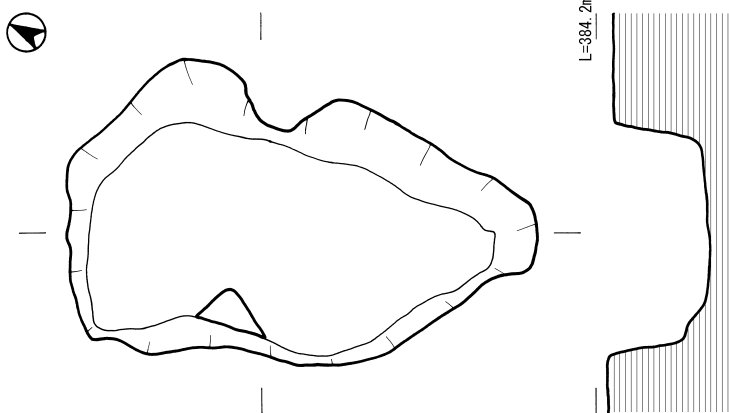
第289図 VII層土坑(4)





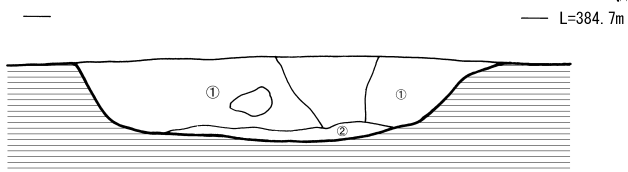
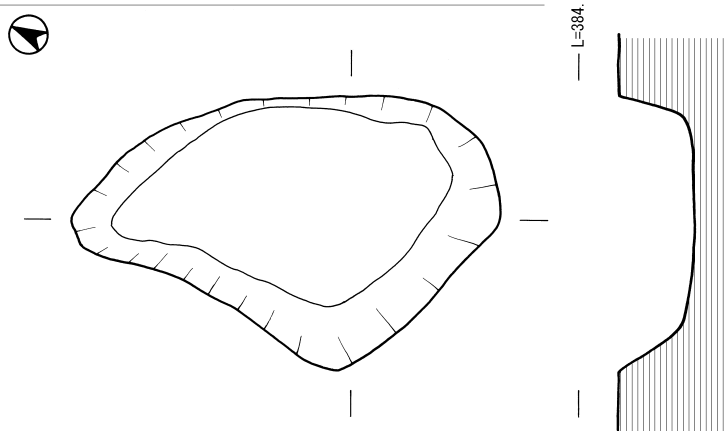
61号土坑

①	暗茶褐色土。2~3mmの黄橙色パミスが混じる。
---	-------------------------



62号土坑

①	暗茶褐色土。3~4mmの黄橙色パミスが全体的に混じる。
---	-----------------------------

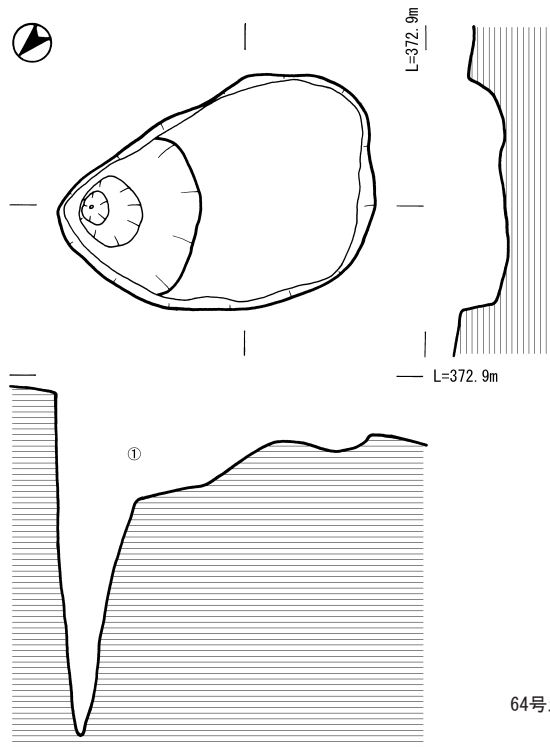


63号土坑

①	暗茶褐色土
②	明茶褐色土。掘りすぎと思われる。

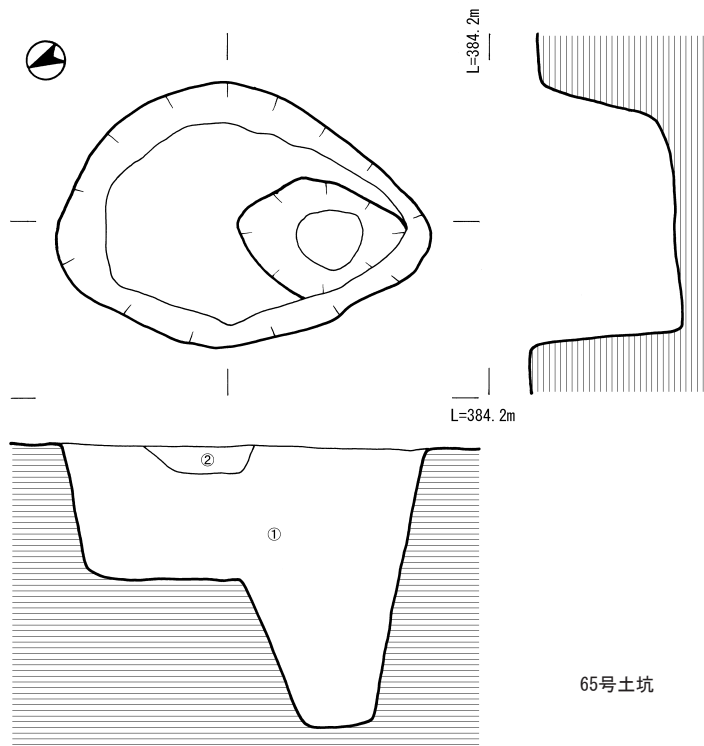


第290図 VII層土坑 (5)



64号土坑

①	茶褐色土。パミスが混じる。
---	---------------

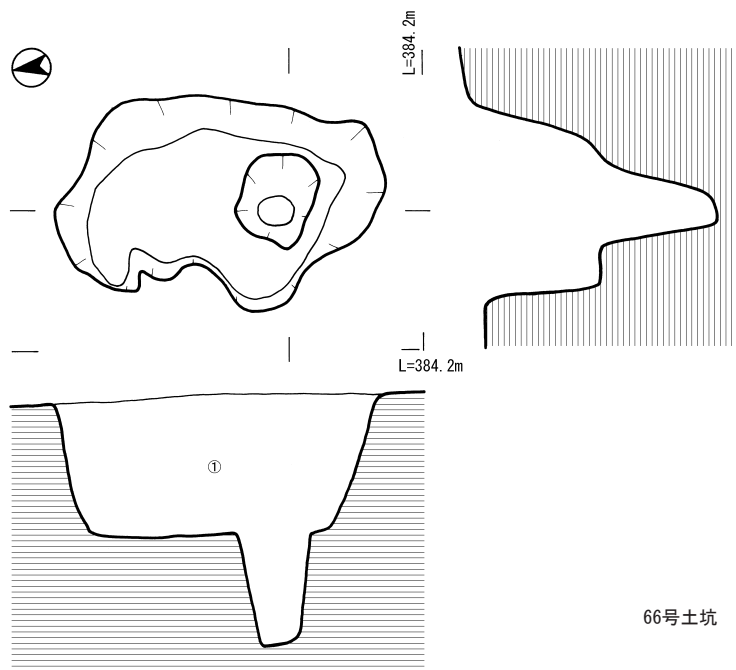


65号土坑

①	暗茶褐色土。黄橙色パミスが全体的に点在する。
②	明茶褐色土。

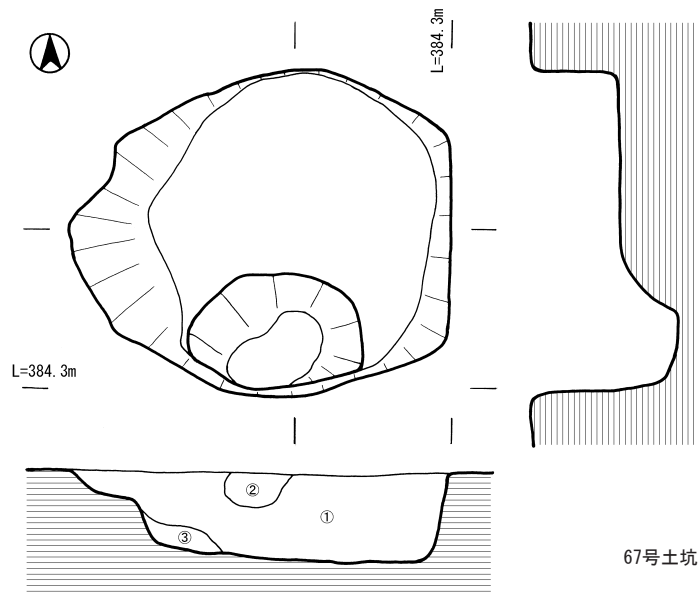


第291図 VII層土坑 (6)



66号土坑

① 暗茶褐色土。黄橙色バミスが全体的に点在する。

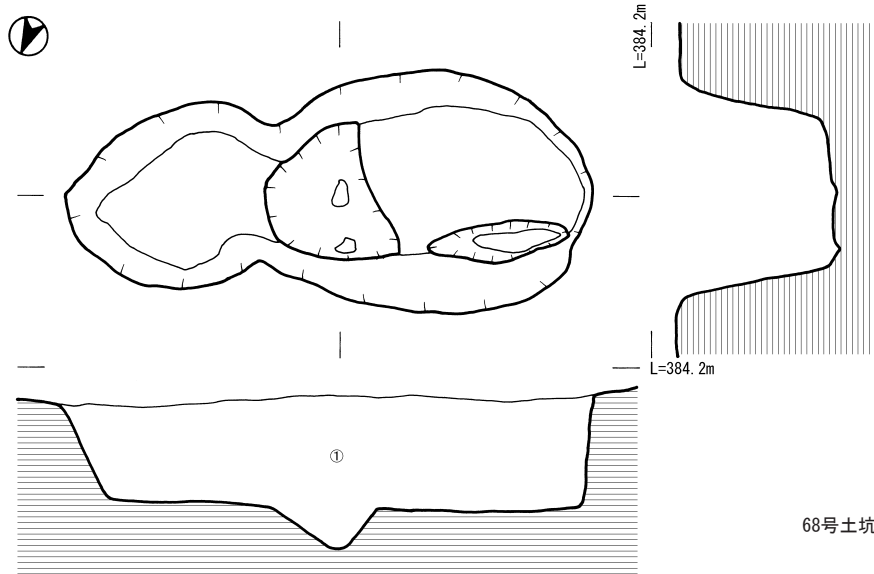


67号土坑

- |   |                           |
|---|---------------------------|
| ① | 暗茶褐色土。2～3mmの黄白色バミスが混じる。   |
| ② | 暗茶褐色土。20mmほどの黄白色バミスが混じる。  |
| ③ | 暗茶褐色土。30～40mmの黄橙色バミスが混じる。 |

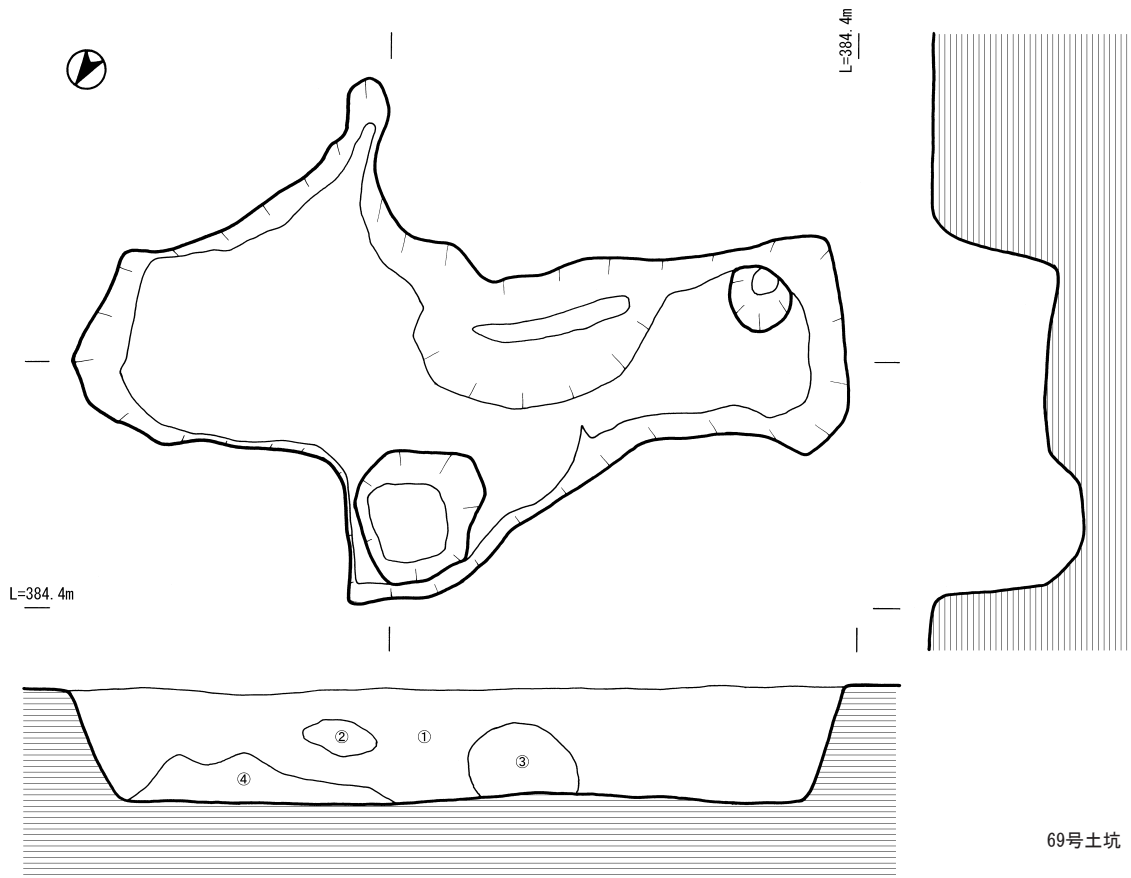


第292図 VII層土坑 (7)



68号土坑

① 暗茶褐色土。3~4mmの黄橙色パミス、1mmほどの白色パミスが少量混じる。

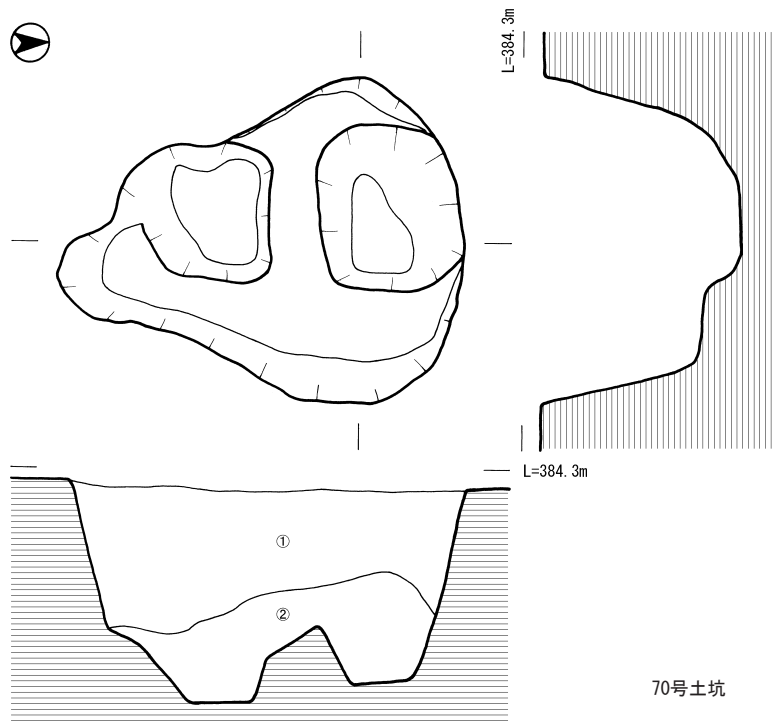


69号土坑

①	暗茶褐色土。10~30mmほどの黄橙色パミスが混じる。
②	暗茶褐色土。薄黄色パミスが混じる。
③	暗茶褐色土。20~80mmのパミスが多く混じる。
④	明茶褐色土。

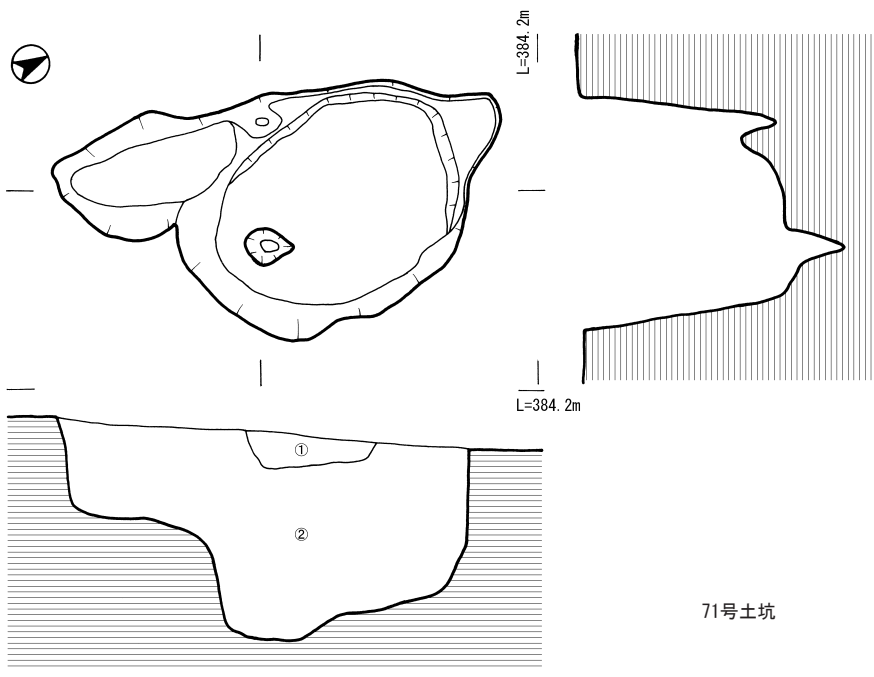


第293図 VII層土坑(8)



70号土坑

①	暗茶褐色土。5～10mmの黄橙色バミスが散在する。
②	茶褐色土。50～70mmの大きなバミスが少量混じる。

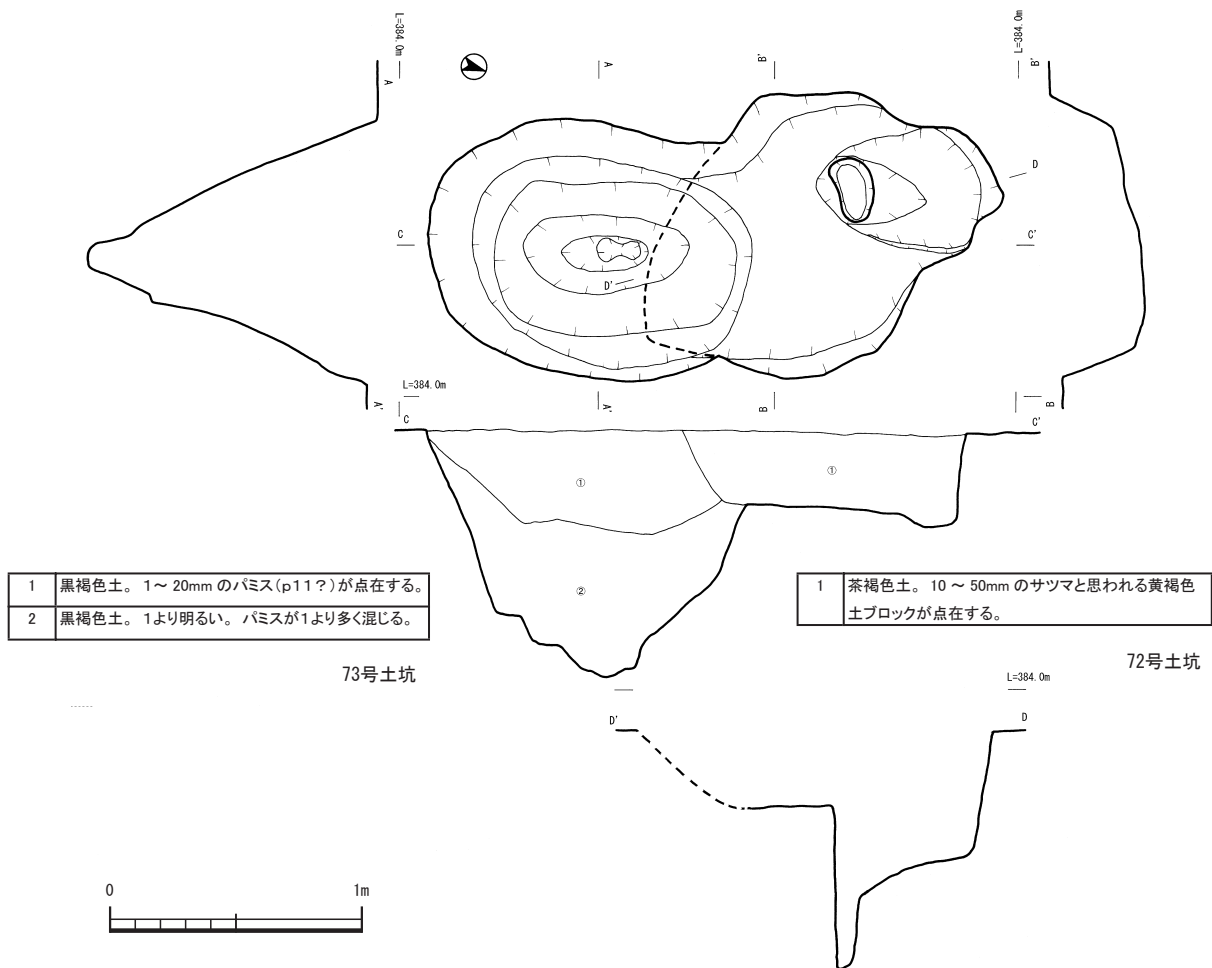


71号土坑

①	茶褐色土。1～2mmの黄橙色バミスが混じる。
②	暗茶褐色土。黄橙色バミスが点在する。



第294図 VII層土坑 (9)



第295図 VII層土坑 (10)

**67号土坑 (第292図)**

A-11区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸102cm, 短軸87cm, 深さは検出面から22cmである。底面は平坦で, 南端に深さ15cmの小穴がみられる。(土坑Ⅱ類)

**68号土坑 (第293図)**

B-11区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸側に1か所くびれがみられる。長軸141cm, 短軸56cm, 深さは検出面から30cmである。底面は平坦で, 中央と南西端に小穴がみられる。深さは中央が10cm, 南西端は不明である。(土坑Ⅱ類)

**69号土坑 (第293図)**

B-11区, IX層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸206cm, 短軸102cm, 深さは検出面から30cmである。底面は平坦で, 3か所に小穴がみられる。深さは北端が10cmで, 残りについては不明である。(土坑Ⅲ類)

**70号土坑 (第294図)**

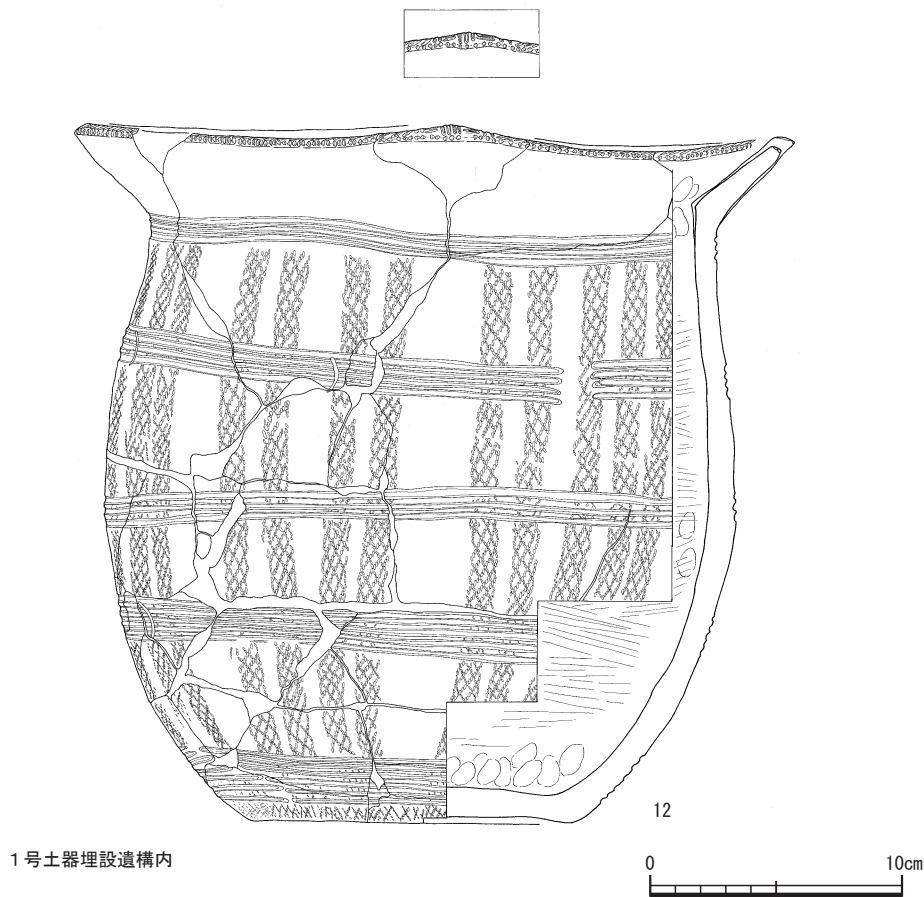
D-8区, IX層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸104cm, 短軸87cm, 深さは検出面から36cmである。底面はやや南側に傾斜する。北端と南西端に小穴がみられ, 深さは14cm, 20cmである。(土坑Ⅲ類)

**71号土坑 (第294図)**

C-8区, IX層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸108cm, 短軸62cm, 深さは検出面から55cmである。底面はやや南側に傾斜する。南よりと西端の2か所に小穴がみられる。小穴の深さは14cm, 10cmである。(土坑Ⅳ類)

**72号土坑 (第295図)**

D-6区, IX層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸144cm, 短軸111cm, 深さは検出面から35cmである。底面はほぼ平坦で, 北西側に深さ66cmの小穴がみられる。小穴はやや中心よりに最深部がみられる。73号土坑と切り合う。埋土中から土器片が1点出土した。(土坑Ⅱ類)



1号土器埋設遺構内

第296図 VII層 遺構内出土遺物 (1)

#### 遺構内出土遺物

VII層では1~4号土器埋設遺構, 54号, 72号土坑, 45号集石の周辺及び埋土中から遺物の出土がみられる。

#### 1号埋設遺構出土遺物 (第296図)

器高30.7cm, 口径30.3cm, 底径13.9cmのIX類深鉢形土器である。

焼成は良好で, 外面はナデ調整を行った後, 施文を施す。内面は若干貝殻条痕を残すものの丁寧なナデ調整が施される。器形は底部が若干上げ底を呈し, 胴部はやや内湾しながら立ち上がり胴部中で最大径に達し口縁屈曲部に向かって若干狭くなる。

口縁部は外側に開き, 屈曲部内面の稜線は明瞭に残る。口縁部は器高に比較して短い。口縁部は4か所の突起をもつ波状口縁をなす。

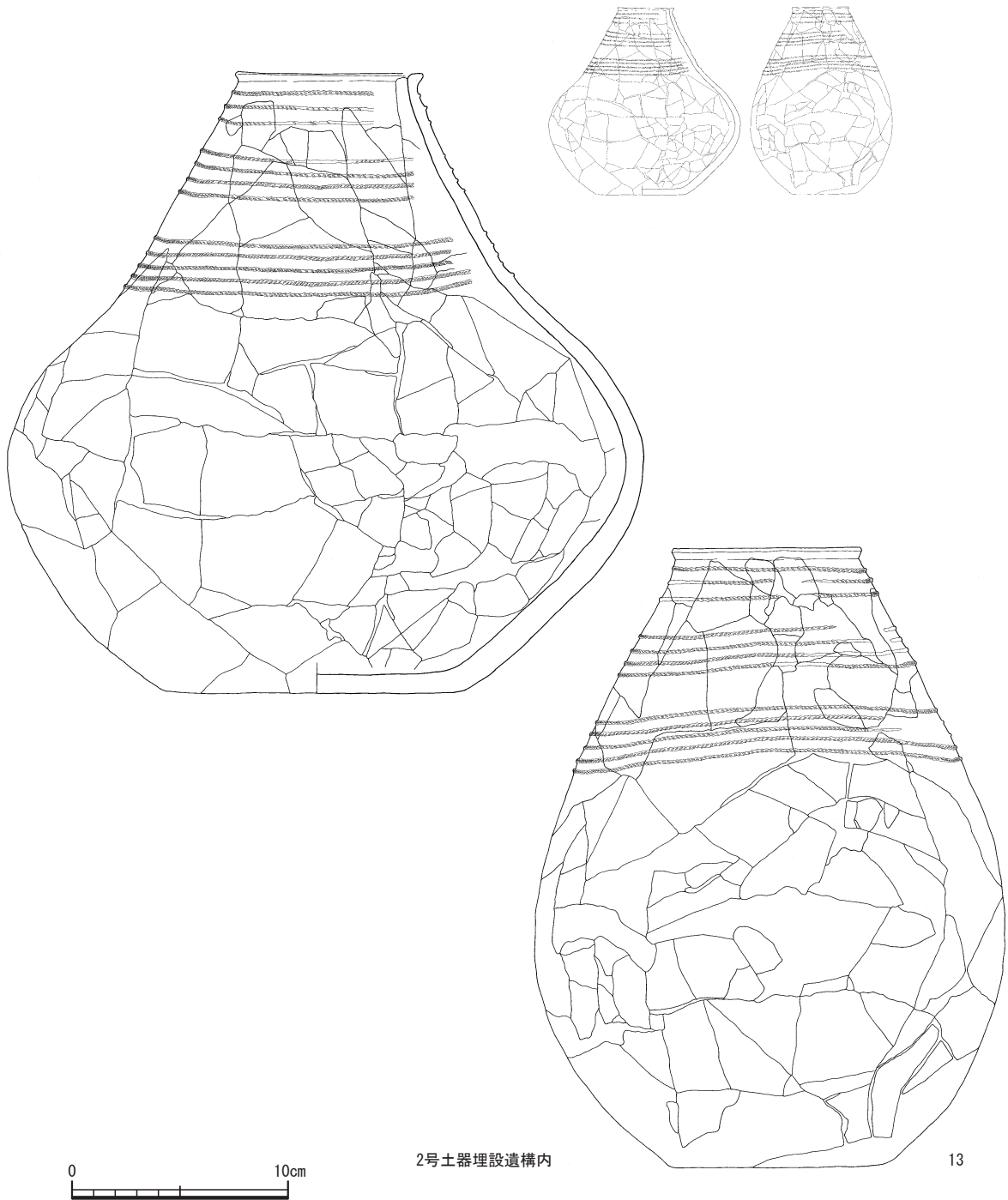
文様は口唇部外面側に縦位, 内面側に斜位の刻み目を施し, 波状口縁突起部には中央に縦位3条, その両側に横位2条, さらにその外側に縦位2条の沈線が施される。口縁部は無文で, 口縁屈曲部下位から横位の平行沈線文と縦位の網目状燃糸文が施される。

平行沈線文は屈曲部, 胴部最大径部, 底部, その中間部の5か所に施される。上から3条, 4条, 3条, 5条, 6条である。

網目状燃糸文は, 2条1組と3条1組の施文手法があり, 2条で構成される面と, 3条で構成される面の2面で構成される。施文順位は網目状燃糸文施文の後, 平行沈線文を施文する。

付着物は口縁部外面と胴部上半にスス, 底部内面付近に炭化物の付着が認められ, 有機物を煮沸した可能性を示している。また, 胴部外面下半の赤化現象と表面の微細な亀裂や剥落, 底部内面の赤化が著しいことから煮沸具として機能している。

埋設後の被熱の可能性は考えられず, 煮沸具としての機能を終え, 埋設することで新たな機能と役割を担ったのであろう。



第297図 VII層 遺構内出土遺物 (2)

2号埋設遺構出土遺物 (第297図)

器高32.1cm, 口径9.6cm, 底径は11.3~15.2cmで, IX類土器である。焼成は良好で, 外面はナデ調整を行った後施文を施す。器壁が3mm程度と極めて薄い部分もあり, 丁寧にヘラケズリを行ったと思われる。

底部は楕円形を呈し, 胴部下半は底面形を保ちながら膨らみつつ立ち上がり, 胴部は左右に大きく張り出す楕円形となる。胴部上半からは直線的に内傾し, 壺の頸部を形成しながら正円形の口縁部へと続く。

頸部には, 刻みを施す微隆起線が施される。微隆起線は3か所に集約して施され, 上から3条, 4条, 5条となる。最上位の3条の微隆起線には, 右下がりのヘラ刻みが施される。中位の4条の微隆起線は上から左下がり, 右下がり, 左下がり, 右下がり, 左下がり, 右下がり, 左下がり, 右下がりと交互のヘラ刻みが施される。下位の5条の微隆起線にも交互に右下がり, 左下がり, 右下がり, 左下がり, 右下がりのヘラ刻みが施される。

付着物は胴部最大部付近にススの付着が見られ, 内面



には炭化物等の付着はみられない。このことから有機物以外の物質、水などの液体を煮沸した可能性も考えられる。また胴部外面下半に器壁の剥落が認められ、被熱の痕跡を明瞭に伝えている。

この壺形土器も1号埋設土器同様、埋設することで新たな機能と役割が与えられたのであろう。

### 3号埋設遺構出土遺物(第298, 299図)

C-6区, VII層で検出した。器高は現存長で35.4cm, 口径は欠損のため不明, 底径は11.9cm~15cmのIX類土器である。焼成は良好で, 外面は丁寧なナデ調整の後, 施文が施される。内面は横位の細かな貝殻条痕の後, 丁寧にナデ調整している。

底部は楕円形で, 胴部下半は底面形そのままにふくらみをもち立ち上がり, 胴部が左右に張り出す楕円形となる。胴部最大径は胴部上位にあり2号, 4号と比較して大きく肩の張る形態である。やや平坦な肩部を形成した後, ほぼ直線的に内傾し口縁部へと向かう。胴部の張り具合をイメージとして表すと2号, 4号がなで肩で3号はいかり肩といった感じである。

施文は口縁部から頸部にかけて施される。まず, 5~6条1組の横位の平行沈線文を頸部の上部と下部に巡らす。次に, その平行沈線間を繋ぎながら, 同じように5~6条1組の平行曲線文を充填し, 施文を施している。その後, 平行沈線文に2~3本の半月形状の短沈線文を重ねている。なお, 失われた口縁部付近にも施文されていた可能性が残される。

付着物は壺3個体中最も顕著で, 胴部最大部直下付近にススの付着がみられる。濃淡で図示した部分にススが残され, 濃く表示した部分は特に激しく残されている。一方, 内面には炭化物は残されず, 2号と同様水などの液体を煮沸した可能性を示している。

胴部下半から底部にかけ, 器面の赤化と剥落, 微細な亀裂が見られ, 強く被熱している。

### 第4号埋設遺構出土遺物(第300図)

C-6区, VII層で検出した。器高は現存長で32.8cm, 口径は欠損のため不明, 底径は13.9cm~15.6cmのIX類土器である。焼成は良好で, 外面は丁寧なナデ調整の後, 施文が施される。内面は丁寧なナデ調整が施される。

底部は楕円形で, 胴部下半は底面形そのままにふくらみをもち立ち上がり, 胴部が左右に張り出す楕円形となる。頸部は内傾しながら, 楕円形の胴部最大部から口縁部へと直線的に立ち上がる。

胴部下半から底部接地面にかけ器壁は厚くなり, 壺形土器3個体中最も厚く1.5cm程である。

文様は口縁部から頸部にかけて施される。3条1組横位の平行沈線文を6段施し, 平行沈線文は3段が1組になり, 曲線文で繋がれている。

付着物は胴部外面中位から下位にかけてススの付着が

認められ, 内面には炭化物の付着はみられない。2号同様有機物以外の物質, 水などの液体を煮沸した可能性が考えられる。また胴部下半に器壁の剥落や微細な亀裂が見られ, 激しく煮沸を受けた痕跡を残している。

### 54号土坑出土遺物(第301図)

16~18は耳栓状土製品である。3個体とも環状を呈し表裏面の径が若干異なる。16は張り出した外面端部に, 斜位の刻みを施す。表裏面, 刻みの一部に赤色顔料が残る。外径は57mm~64mmで, 内径約28mm, 高さ約37mmを測る。17は外傾66mm~70mm, 内径約45mm, 高さ45mmを測る。文様等は施されない。18は大半を欠損する。推定外径72mm, 内径36mm, 高さ34mmを測る。17同様文様等は施されない。

19, 20はVIII類土器である。19は口唇部に刻みが, 外面に連続した刺突文と短沈線文が施される。20は口唇部を欠損するが, 19同様の施文を持つ。

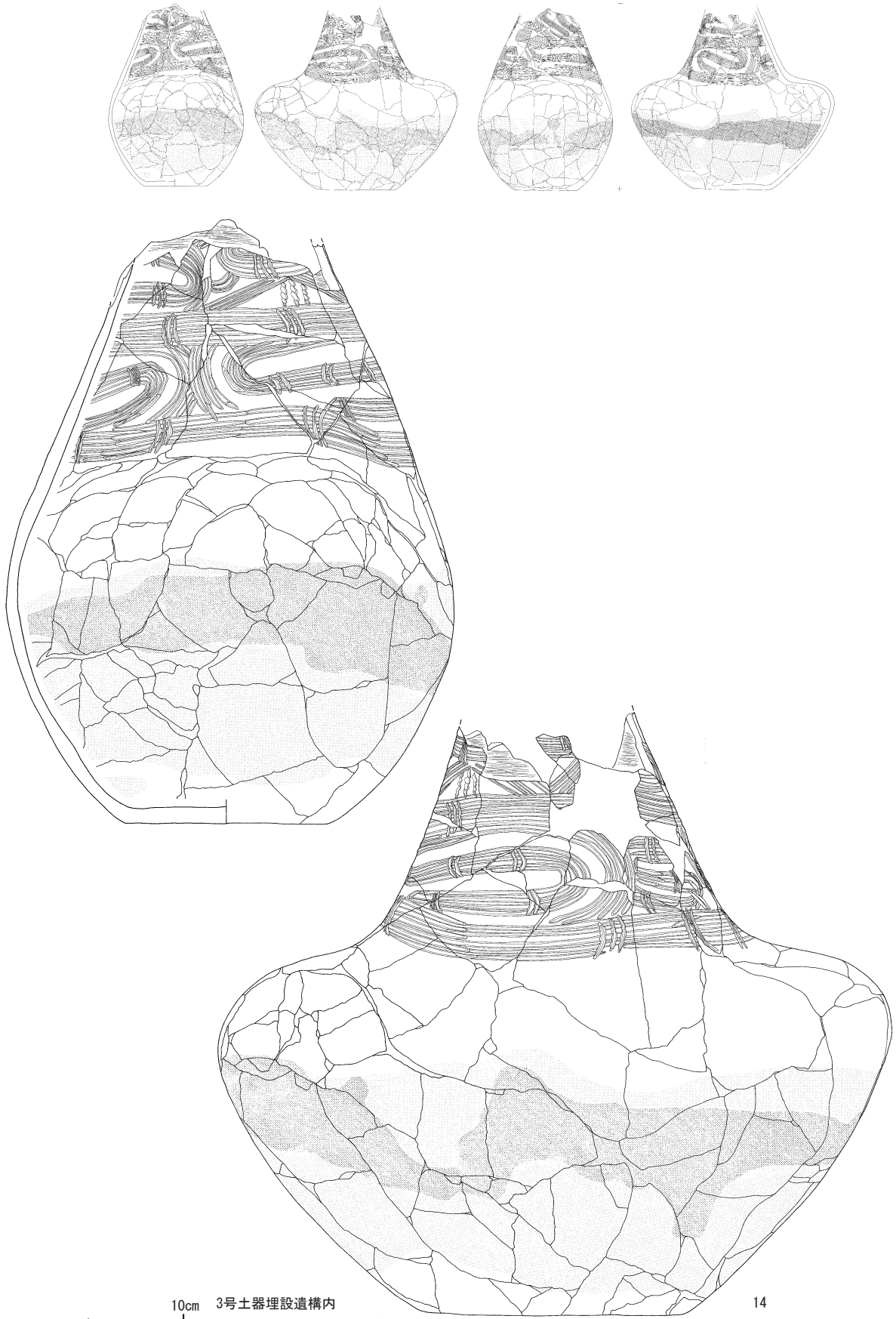
21~27はIX類土器で, 21~26は深鉢形土器, 27は壺形土器である。21は口縁部で外面に細かい刻みを行う微隆起線と沈線文を施す。22は胴から口縁にかけての屈曲部で胴部に撚糸文が施文され, 口縁はきつく外反する。23は無文の口縁部で, 口唇部が一部肥厚し波状口縁を呈す。24, 25は撚糸文の施文される胴部である。26は無文のやや内湾する胴部である。27は壺の口縁部あるいは直下の内傾する頸部と思われる。外面に縦位の撚糸文が施される。

28, 29は定型化する抉入石器である。28は黒色のチャート製で, 両側縁及び下端部の3カ所に丁寧な調整による抉りを施す。29は緑色のチャート製で両側縁に簡単な抉りを施す。

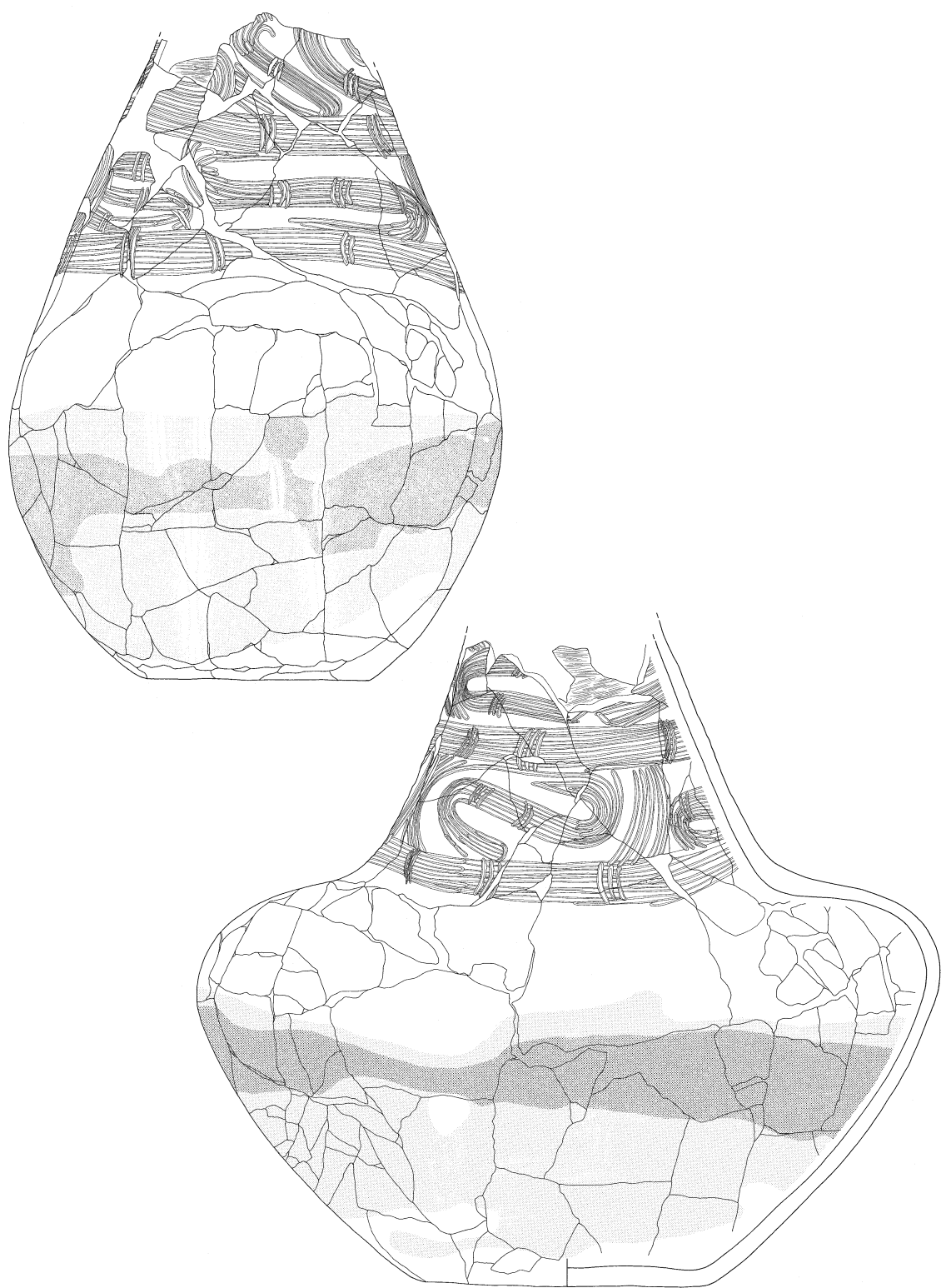
30~37は打製石鎌である。

30は灰色の安山岩製で先端部と逆刺が欠損する。31は黒色の頁岩製で基部が欠損する。調整は比較的粗く, 厚手で裏面に素材剥片の剥離面を多く残す。32は灰色の安山岩製で, 先端部, 基部を欠損するが, 薄手で両面から丁寧に調整されている。33は灰色の安山岩製で両逆刺を欠損する。両面から交互剥離調整を施し丁寧に仕上げている。34は灰色の安山岩製で逆刺の一方と先端部を欠損する。35はギョクズイ製で先端部, 基部を欠損する。側縁部はやや内湾している。36は明灰色の安山岩製で, 先端部, 逆刺の一部が欠損している。側縁は両面からの丁寧な交互剥離調整で, 基部は深く抉りを施す。37は灰色の安山岩製で, 逆刺の一方を欠損する。側縁部は直線状で縦長の形態である。

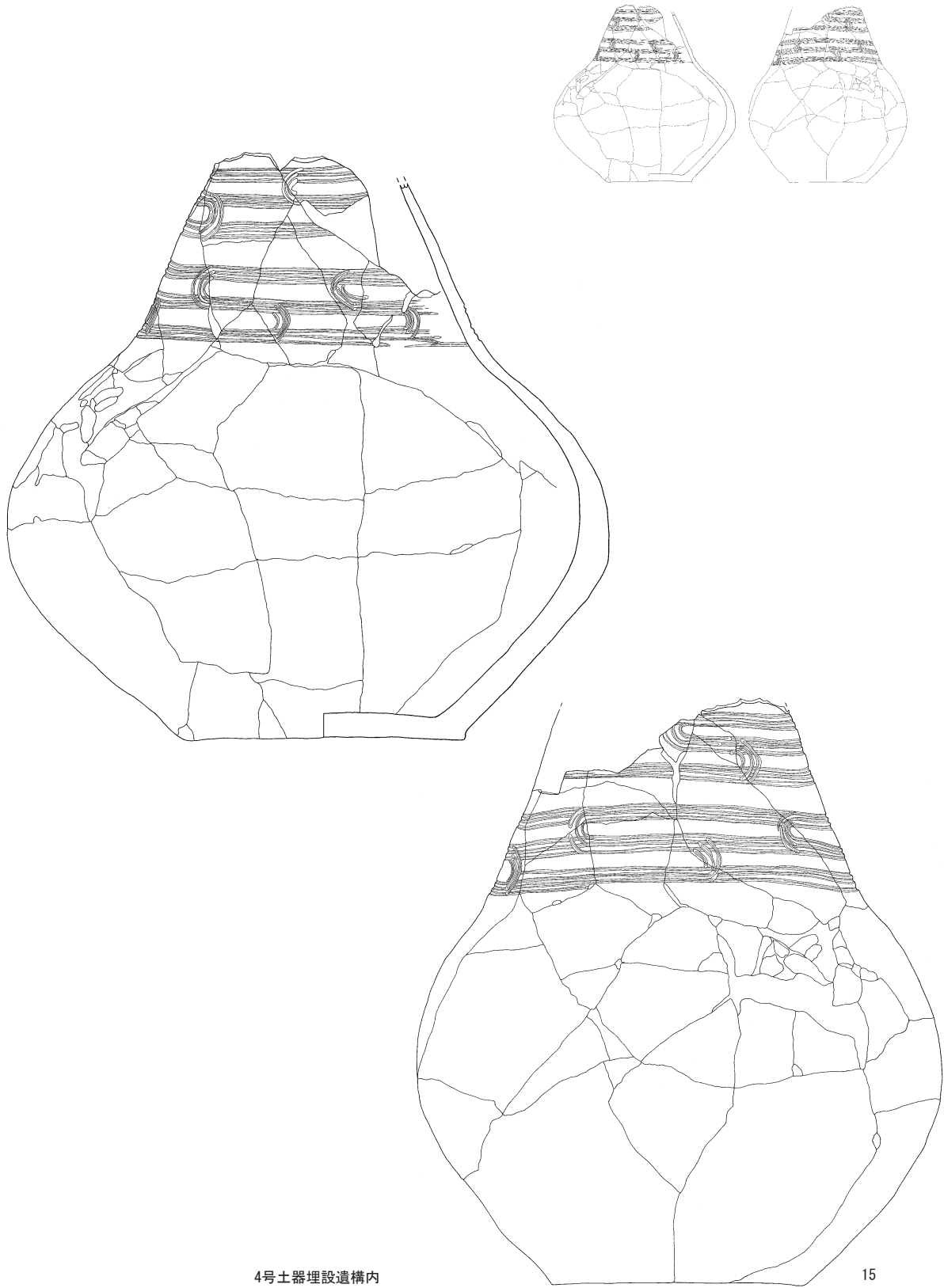
38は二次加工痕のある剥片である。灰色の安山岩製で, 側縁部両面に微細な剥離痕が認められる。



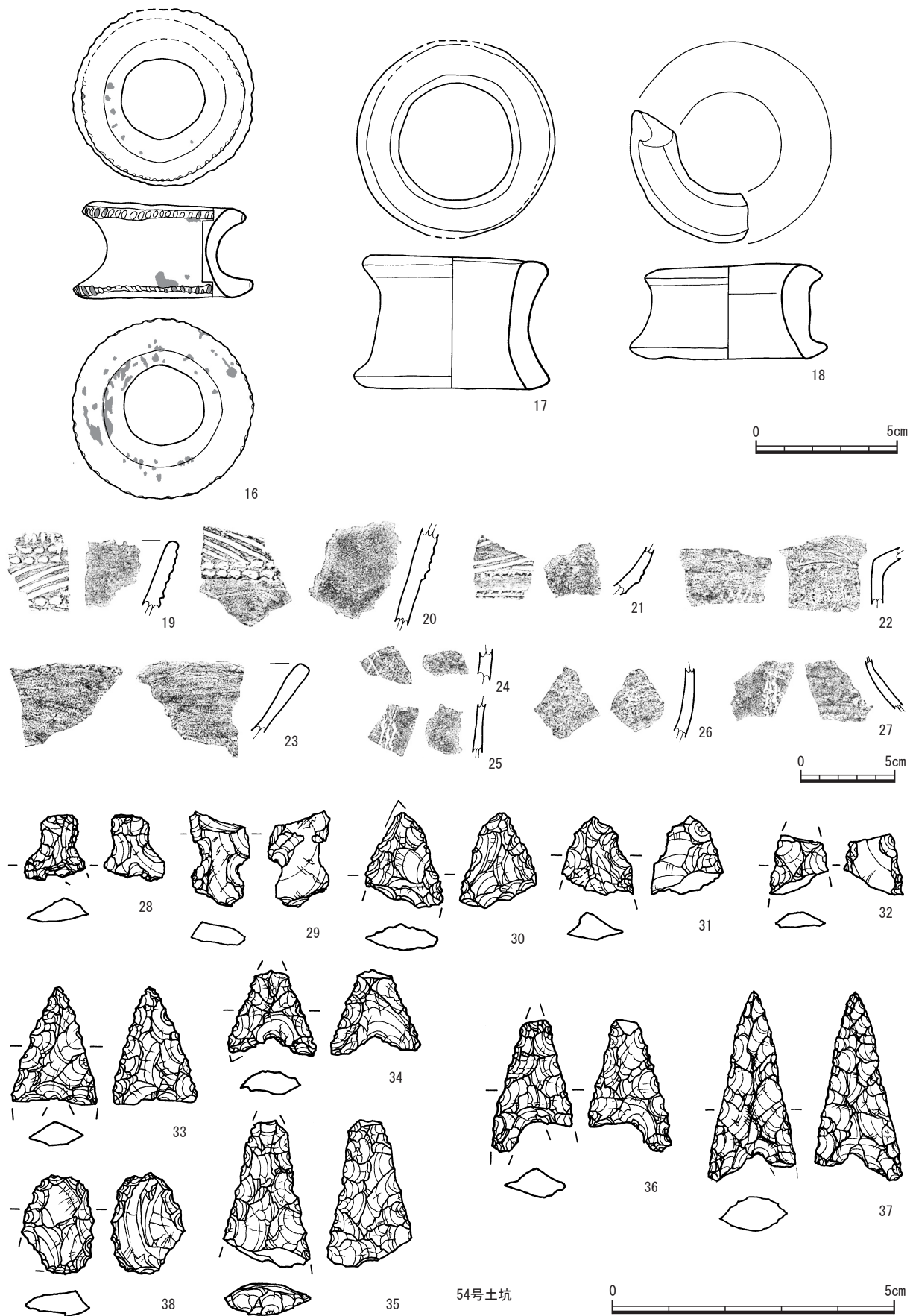
第298図 VII層 遺構内出土遺物 (3)



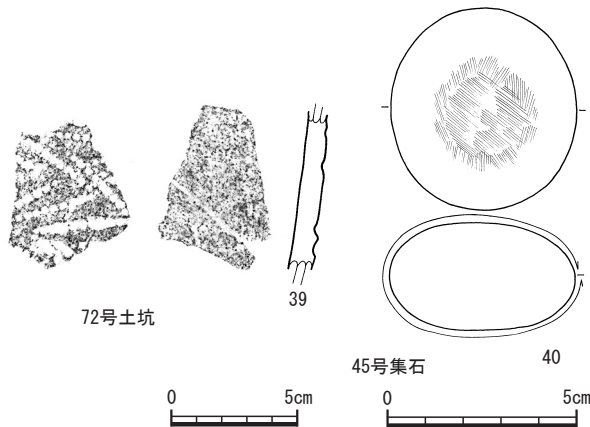
第299図 VII層 遺構内出土遺物 (4)



第300図 VII層 遺構内出土遺物 (5)



第301图 VII层 遺構内出土遺物 (6)



72号土坑出土遺物 (第302図)

39はVI類土器胴部で、外面に貝殻刺突文を施す。

45号集石遺構出土遺物 (第302図)

40は45号集石に共伴した磨石である。円形を呈し、全体的によく研磨されている。

第302図 VII層 遺構内出土遺物 (7)

第72表 VII層遺構内出土土器観察表

挿図No	図No	取上番号	出土地点	出土遺構	器種	部位	外面調整	内面調整	焼成	外面色調	内面色調	胎土	備考
301	19	28号44	C-7	54号土坑	深鉢	口縁部	刺突、沈線	ナデ	良好	明茶褐色	明灰褐色	石英、長石、角閃石	口唇部刻み
	20	28号34	C-7	54号土坑	深鉢	口縁付近?	沈線、刺突	ナデ	良好	茶褐色	茶褐色	石英、長石、角閃石	
	21	28号48	C-7	54号土坑	深鉢	屈曲部付近	貝殻条痕	ナデ	良好	茶褐色	暗灰褐色	石英、長石、角閃石	微隆帯貼付刻み目
	22	28号45	C-7	54号土坑	深鉢	屈曲部	擦糸	ナデ	良好	暗灰褐色	暗灰褐色	石英、角閃石	
	23	28号33	C-7	54号土坑	深鉢	口縁部	ナデ	ナデ	良好	明茶褐色	茶褐色	石英、角閃石	
	24	28号27	C-7	54号土坑	深鉢	胴部	擦糸	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英、角閃石	
	25	28号50	C-7	54号土坑	深鉢	胴部	擦糸	ナデ	良好	明茶褐色	灰褐色	石英、長石、角閃石	
	26	28号23	C-7	54号土坑	深鉢	胴部?	ナデ	ナデ	良好	灰褐色	明灰褐色	石英、角閃石	
	27	28号94	C-7	54号土坑	壺?	頸部付近?	擦糸	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	石英、角閃石	
302	39	一括	D-6	72号土坑	深鉢	胴部	刺突	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	石英、長石、角閃石	

第73表 VII層遺構内出土土製品観察表

挿図No	図No	取上番号	出土地点	出土遺構	器種	外径(mm)	内径(mm)	高さ(mm)	重量(g)	胎土	色調	焼成	備考
301	16	28号121	C-7	54号土坑	耳栓状土製品	57~64	28~29	35~37	59	石英、長石、角閃石	茶褐色	良好	赤色顔料付着
	17	28号131	C-7	54号土坑	耳栓状土製品	66~70	41~45	45	84	長石、角閃石	白みがかかった明灰茶褐色	良好	
	18	28号143	C-7	54号土坑	耳栓状土製品	72φ	36φ	34	27	石英、長石、角閃石	明茶褐色	良好	

第74表 VII層遺構内出土石器観察表

挿図No	図No	取上番号	出土地点	出土遺構	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石材	備考	
301	28	28号129	C-7	54号土坑	挟入石器	12.0	10.5	3.3	0.38	CH		
	29	28号130	C-7	54号土坑	挟入石器	12.0	11.2	2.5	0.63	CH		
	30	28号126	C-7	54号土坑	石鏃	17.1	14	4.5	0.94	AN		
	31	28号115	C-7	54号土坑	石鏃	14.2	12.9	5.8	0.75	SH		
	32	28号123	C-7	54号土坑	石鏃	10.7	10.5	2.5	0.28	AN		
	33	28号139	C-7	54号土坑	石鏃	21.2	15.3	4.1	1.05	AN		
	34	28号133	C-7	54号土坑	石鏃	15.4	15.8	3.9	0.7	AN		
	35	28号124	C-7	54号土坑	石鏃	26	15.5	5.3	1.78	CC		
	36	28号144	C-7	54号土坑	石鏃	23.4	14.5	5.4	1.22	AN		
	37	28号55	C-7	54号土坑	石鏃	33.5	15.5	5.5	2.09	AN		
	38	28号148	C-7	28号土坑	二次加工痕のある剥片	17.7	13.2	4.7	1.01	AN		
	302	40	一括	C-4	45号集石	磨石	106.5	98	56.5	858.0	SS	

### 3 VI層の遺構

#### 集石

VI層では14基の集石を検出した。集石はVII層同様、A地区西より南側に開く半円状に分布する傾向が顕著である。またB地区においてはI、J-13、14区に集中する傾向が伺える。

#### 53号集石 (第304図)

F-3区で検出した。安山岩を使用し、わずかに頁岩、砂岩が混じる。中型から小型の礫が多い。

40cm×50cmの円形に良くまとまり、中心部の礫は被熱により赤化している。黒色土の入り込む浅い掘り込みを確認している。

(集石I類)

#### 54号集石 (第304図)

I-14区で検出した。安山岩、砂岩を使用し、中型から小型の礫が多い。

65cm×70cmの円形を成し、大型礫が中心部に置かれ礫は被熱により黒変している。礫集中部の中央が窪み、掘り込みを備えた可能性が高い。

(集石I類)

#### 55号集石 (第304図)

J-14区で検出した。安山岩を使用し、わずかに砂岩が混じる。中心部下部の礫は被熱により赤化している。実測観察所見に掘り込みがあるとの記載があり、断面においてもややレンズ状の礫堆積を示す。

(集石I類)

#### 56号集石 (第304図)

E-7区で検出した。安山岩を使用し、小型の礫が多い。被熱の様子はほとんどうかがえない。検出面の記載漏れのため隣接遺構レベルとの対比で層位を判断した。

(集石II類)

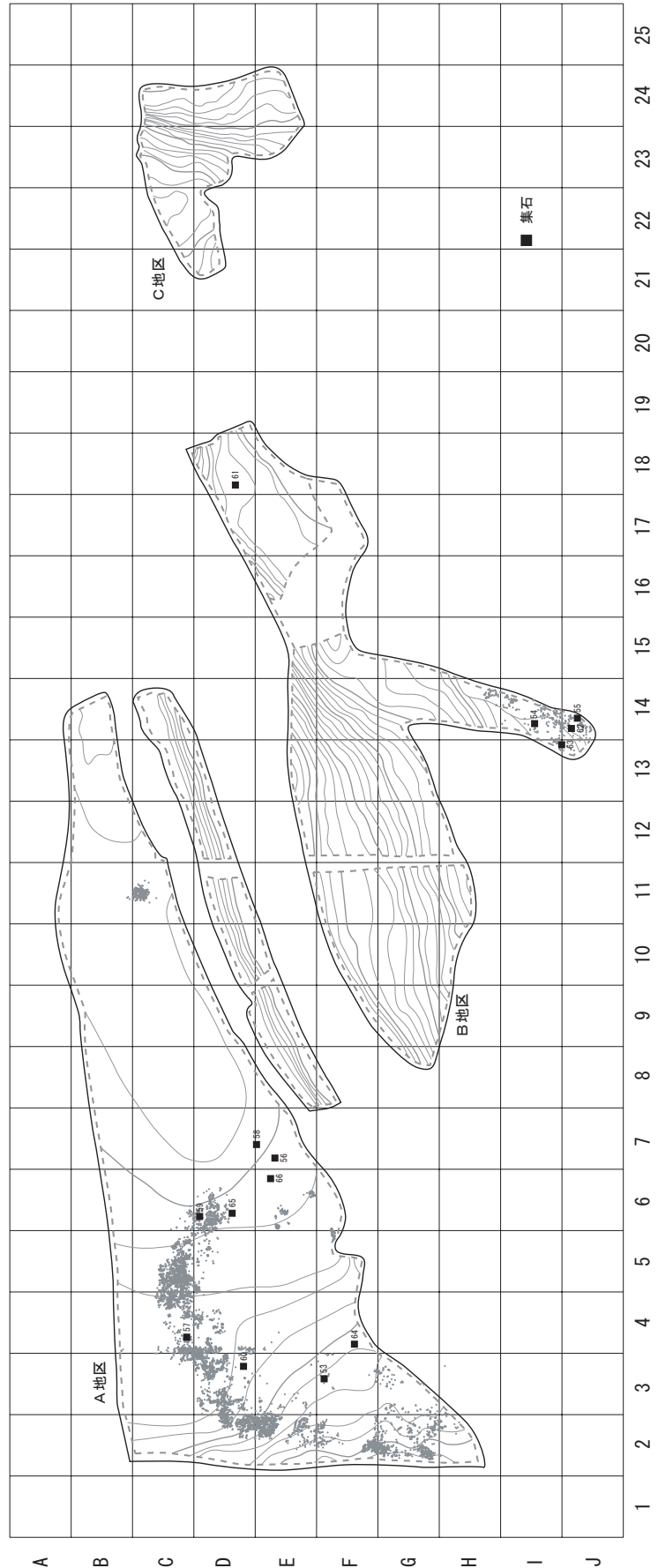
#### 57号集石 (第304図)

C-4区で検出した。安山岩、砂岩を使用、小型の礫が多い。一部の礫に被熱による赤化がみられる。検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。

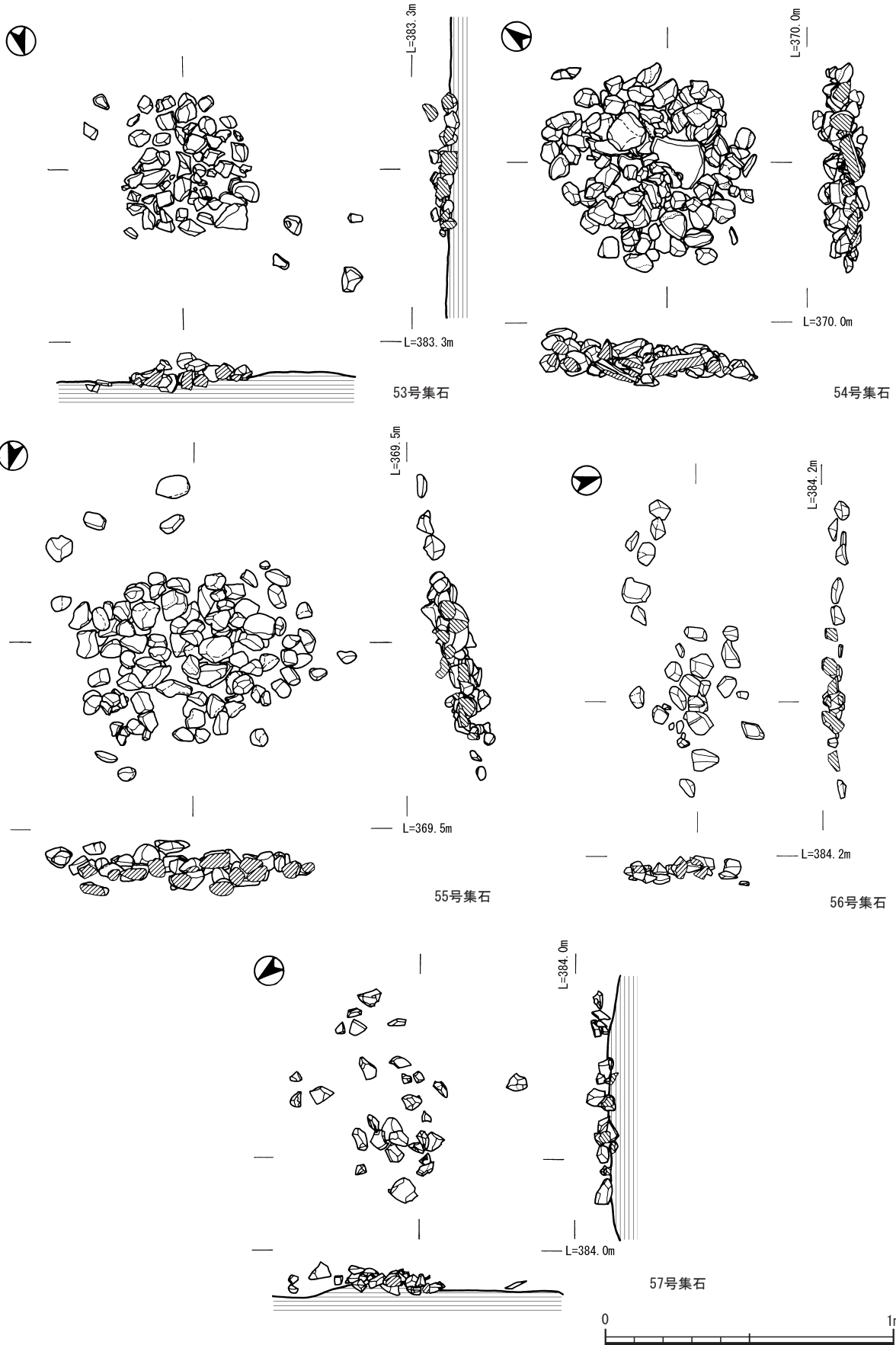
(集石II類)

#### 58号集石 (第305図)

E-7区で検出した。安山岩を使用し、小型

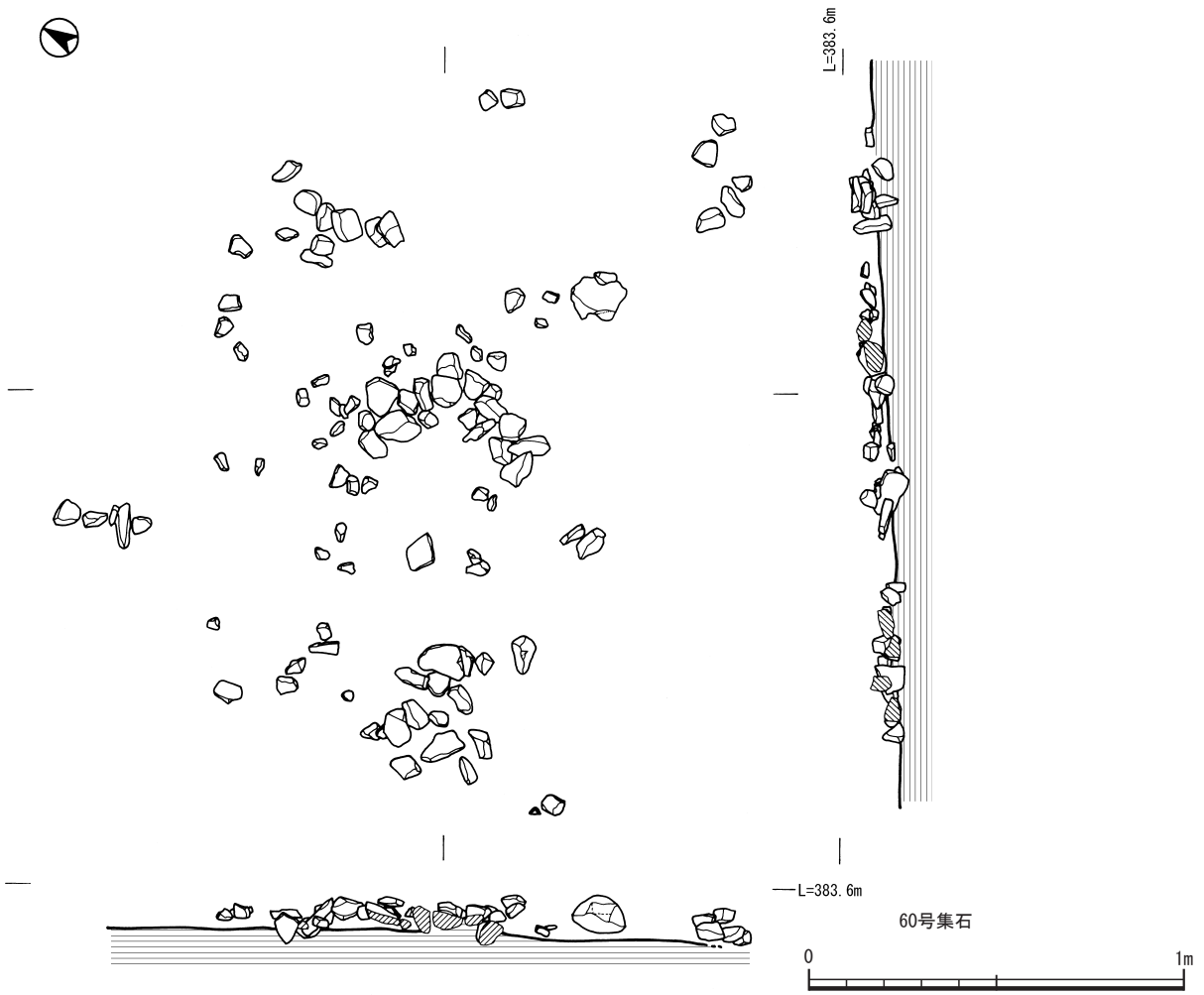
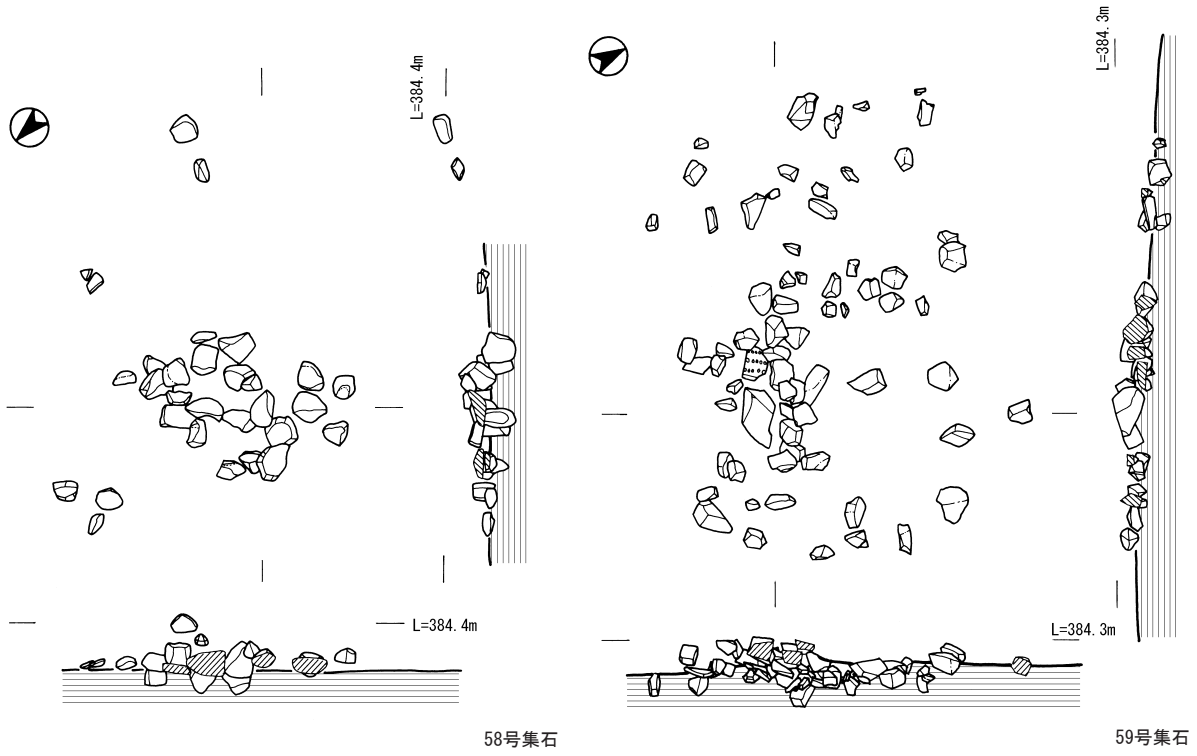


第303図 VI層 遺構位置及び散石検出状況図

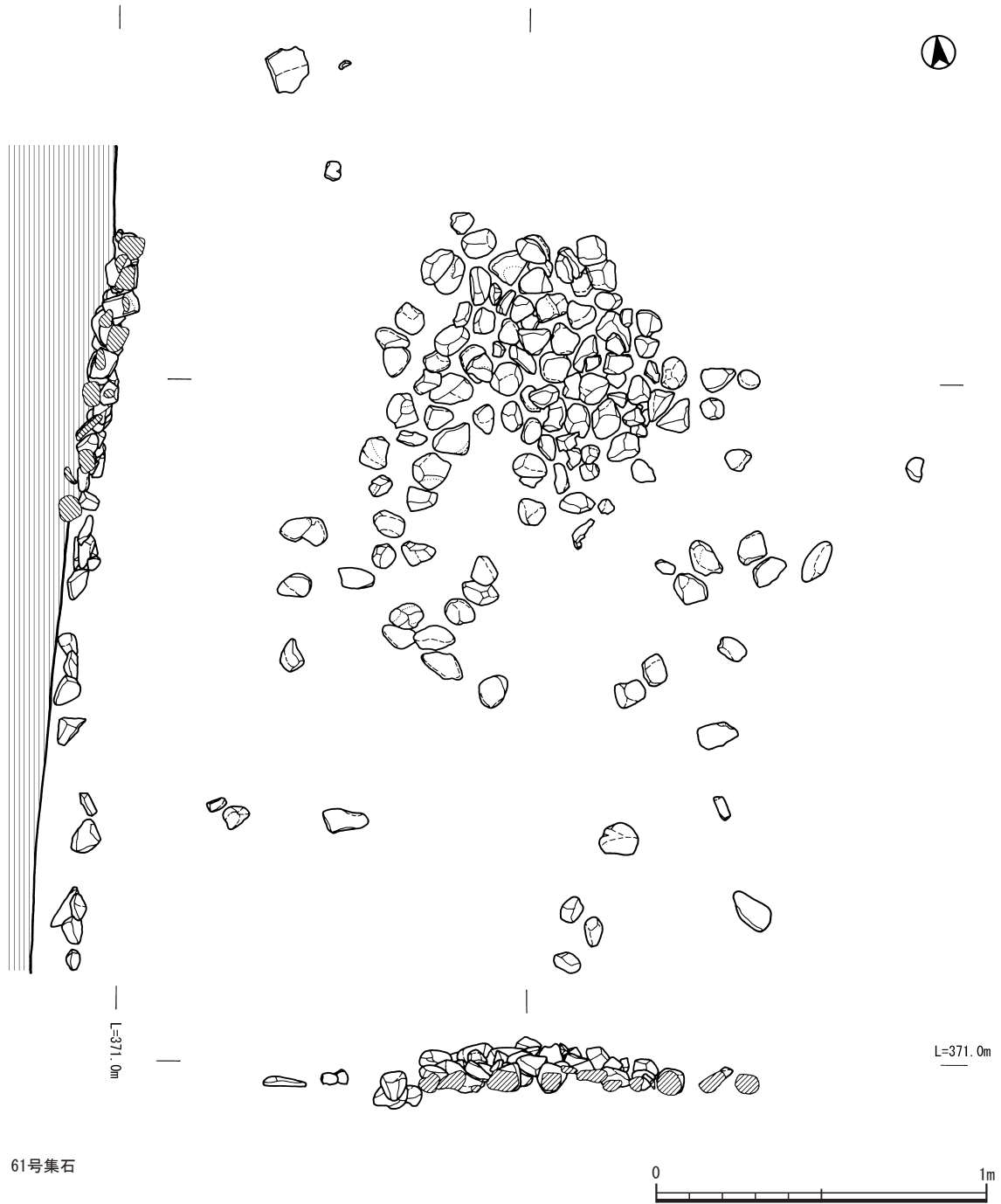


第304图 VI層集石 (1)





第305图 VI層集石 (2)



61号集石

第306図 VI層集石 (3)

の礫が多い。礫の一部には被熱による赤化がみられる。検出面の記載漏れのため隣接遺構レベルとの対比で層位を判断した。  
(集石II類)

写真から層位を判断した。  
(集石II類)

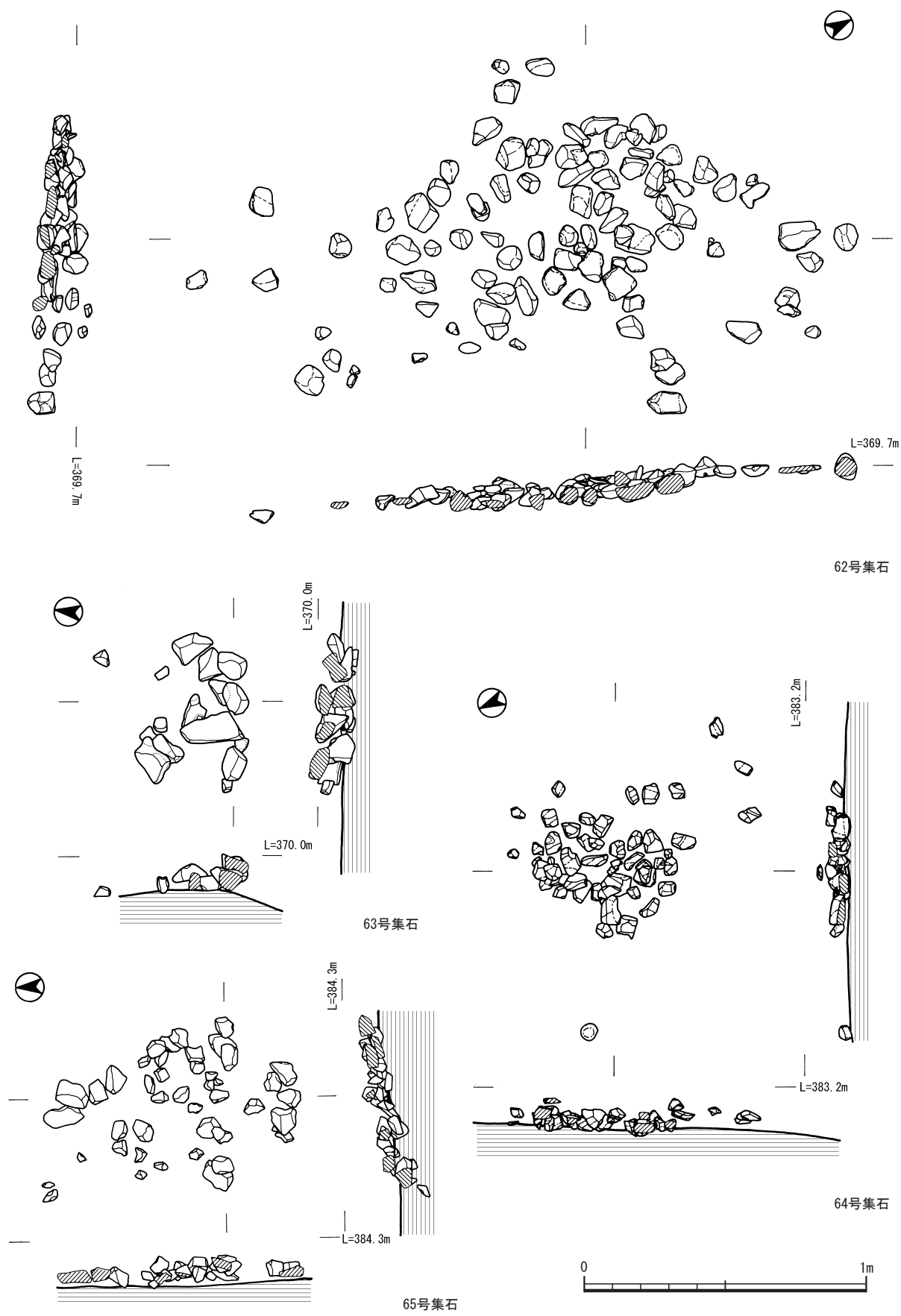
59号集石 (第305図)

D-6区で検出した。砂岩を使用し、若干堆積岩系の礫が混じる。礫のほとんどは被熱により赤化、黒変し、一部は熱破砕している。検出面の記載漏れのため検出状況

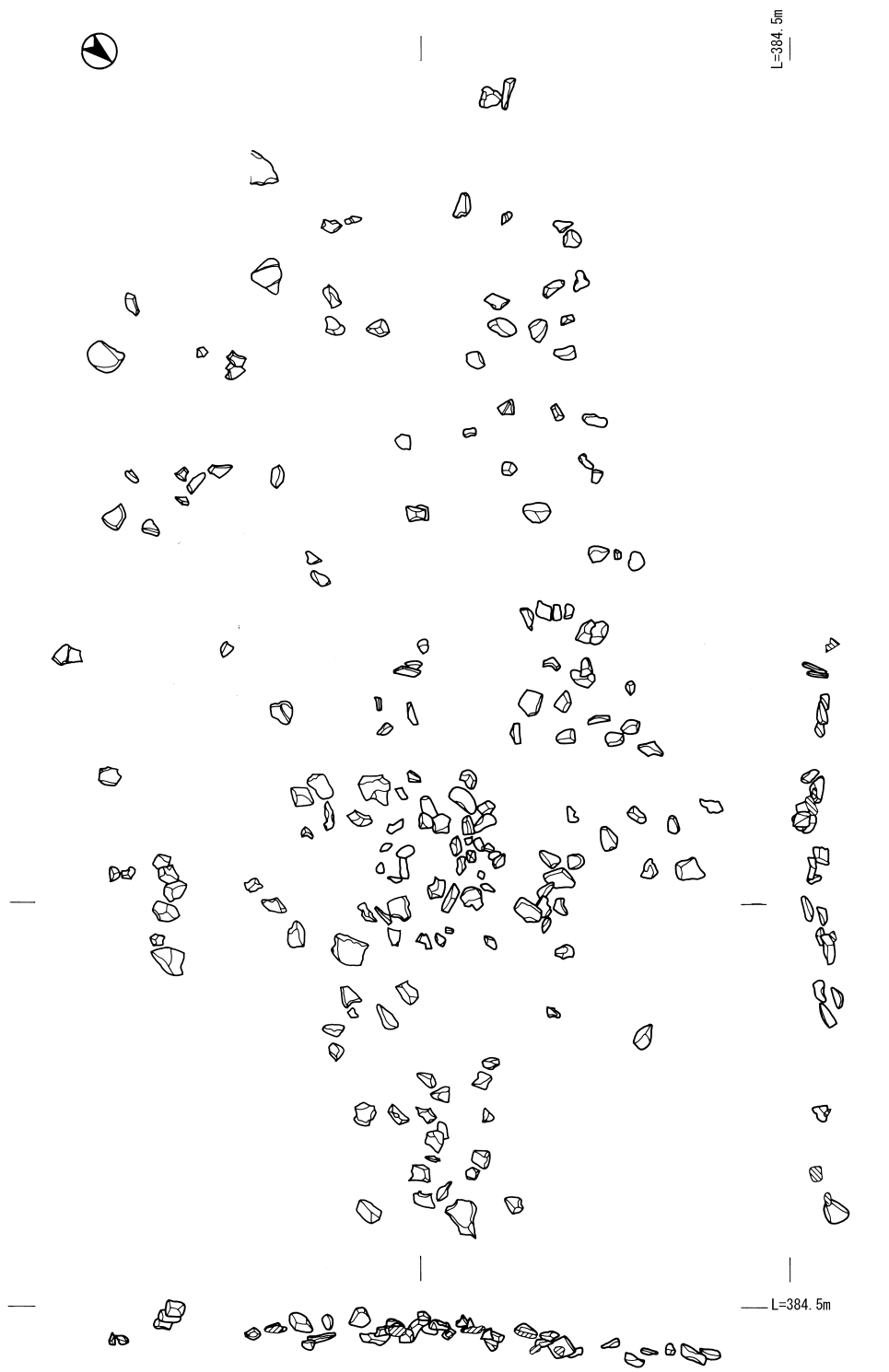
60号集石 (第305図)

D-3区で検出した。安山岩、砂岩を使用し中型から小型の礫が多い。礫はほとんど被熱を受け赤化している。特に中心付近の礫は赤化が著しい。

160cm×170cmと広く散布するが、中央部に集石(50cm)の痕跡が見られ、集石を起点に拡散した状況が読みとれ



第307图 VI層集石 (4)



第308图 VI層集石 (5)

る。検出面の記載漏れのため、検出状況写真から層位を判断した。

(集石V類)

#### 61号集石 (第306図)

D-18区で検出した。安山岩を使用し、若干砂岩が混じる。中型の礫が多く、一部の礫は被熱により赤化している。砂岩は赤化が著しく、熱破碎しているものが多い。170cm×200cmの広範囲に展開するが、北側に集石(70cm×70cm)が残る。したがって、南側に散在する礫は、拡散と解される。集中部中心に若干の炭化物粒がみられる。検出面の記載漏れのため、検出状況写真から層位を判断した。

(集石V類)

#### 62号集石 (第307図)

J-14区で検出した。安山岩、砂岩を使用し、中型の礫が多い。

150cm×200cmと広がるが、中心よりやや北側に礫の集中が見える。礫集中部の礫は被熱により赤化し、熱破碎しているものが多い。

(集石V類)

#### 63号集石 (第307図)

J-13区で検出した。安山岩、砂岩を使用し、やや大型の礫が多い。中心の大型の礫には被熱による黒変がみられる。

(集石II類)

#### 64号集石 (第307図)

F-4区で検出した。安山岩の角礫を使用し、小型の礫が多い。集中部中心付近の礫に被熱による赤化がみられる。

50cm×50cmに集中し、遺構断面は中心がやや窪み、掘り込みを備えた可能性が高い。

(集石I類)

#### 65号集石 (第307図)

D-6区で検出した。安山岩を使用し、若干堆積岩系の礫が混じる。中型から小型の礫が多く、ほとんどの礫は被熱により赤化し、熱破碎している。

検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。

(集石II類)

#### 66号集石 (第308図)

E-6区で検出した。安山岩、砂岩を使用し、小型の礫が多い。一部の礫は被熱により赤化している。

160cm×330cmと広範囲に分布する。

(集石III類)

#### 4 V層の遺構

##### 集石

V層では3基の集石を検出した。集石は、まとまりを見せず分布する。A地区においては中央付近に1基、B地区においては緩傾斜面に2基検出した。

##### 67号集石 (第310図)

G-13区で検出した。安山岩を使用し、小型の礫が多い。礫は被熱により赤化し、一部は熱破碎している。

長径78cm, 短径70cm, 礫上面から11cmのほぼ円形の掘り込みが確認された。礫は掘り込み内に集中して、中央部が窪んでいる。(集石I類)

##### 68号集石 (第310図)

G-15区で検出した。安山岩を使用し、わずかに砂岩が混じる。大型と小型の礫が多く、一部は被熱により黒変している。炭化物粒もわずかにみられる。

(集石II類)

##### 69号集石 (第310図)

C-7区で検出した。小型の角礫を使用し、一部の礫は被熱により赤化している。

(集石II類)

##### 土坑

V層では5基の土坑を検出した。土坑は、A地区西側において、ほぼ直線上に分布する。

##### 74号土坑 (第311図)

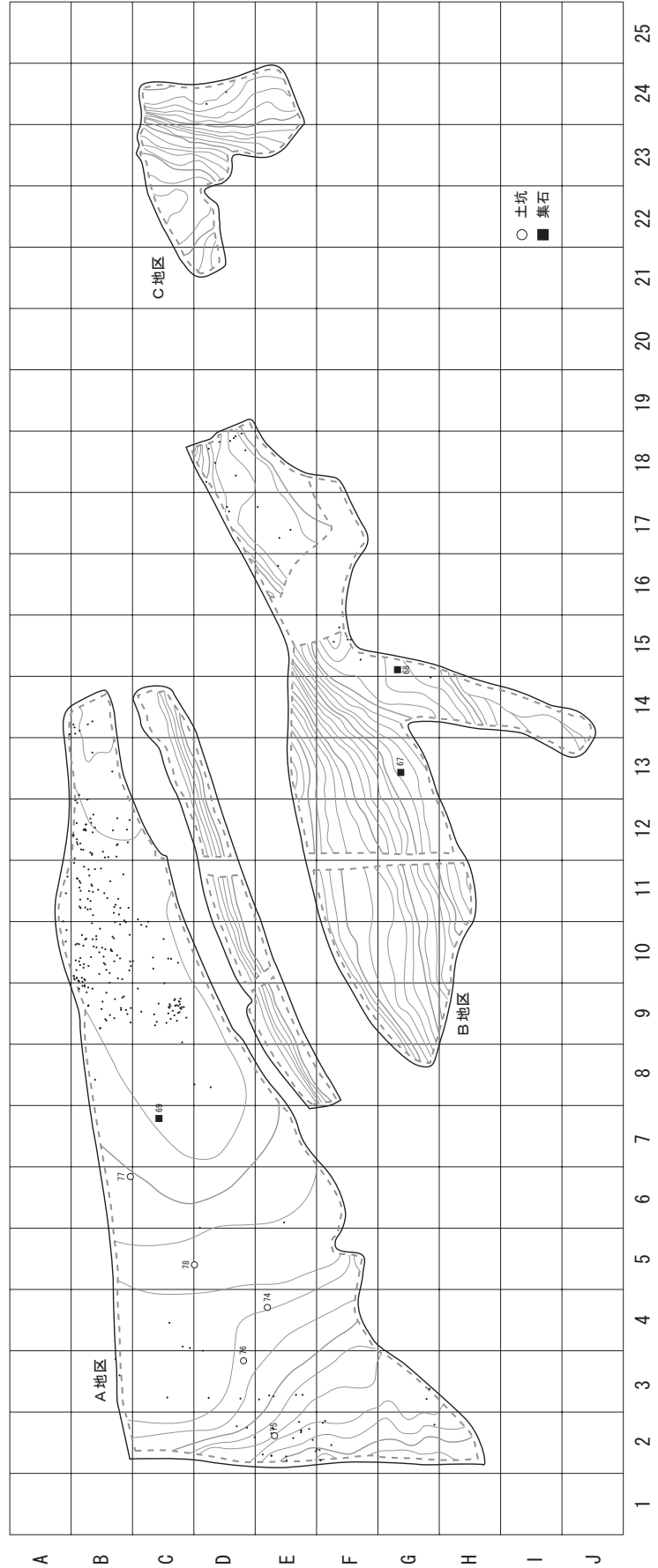
E-4区, VIII層上面で検出した。平面プラン円形で長軸83cm, 短軸68cm, 深さは検出面から65cmである。底面はほぼ平坦で、わずかな窪みがみられる。掘り込み壁の立ち上がりはやや傾斜している。

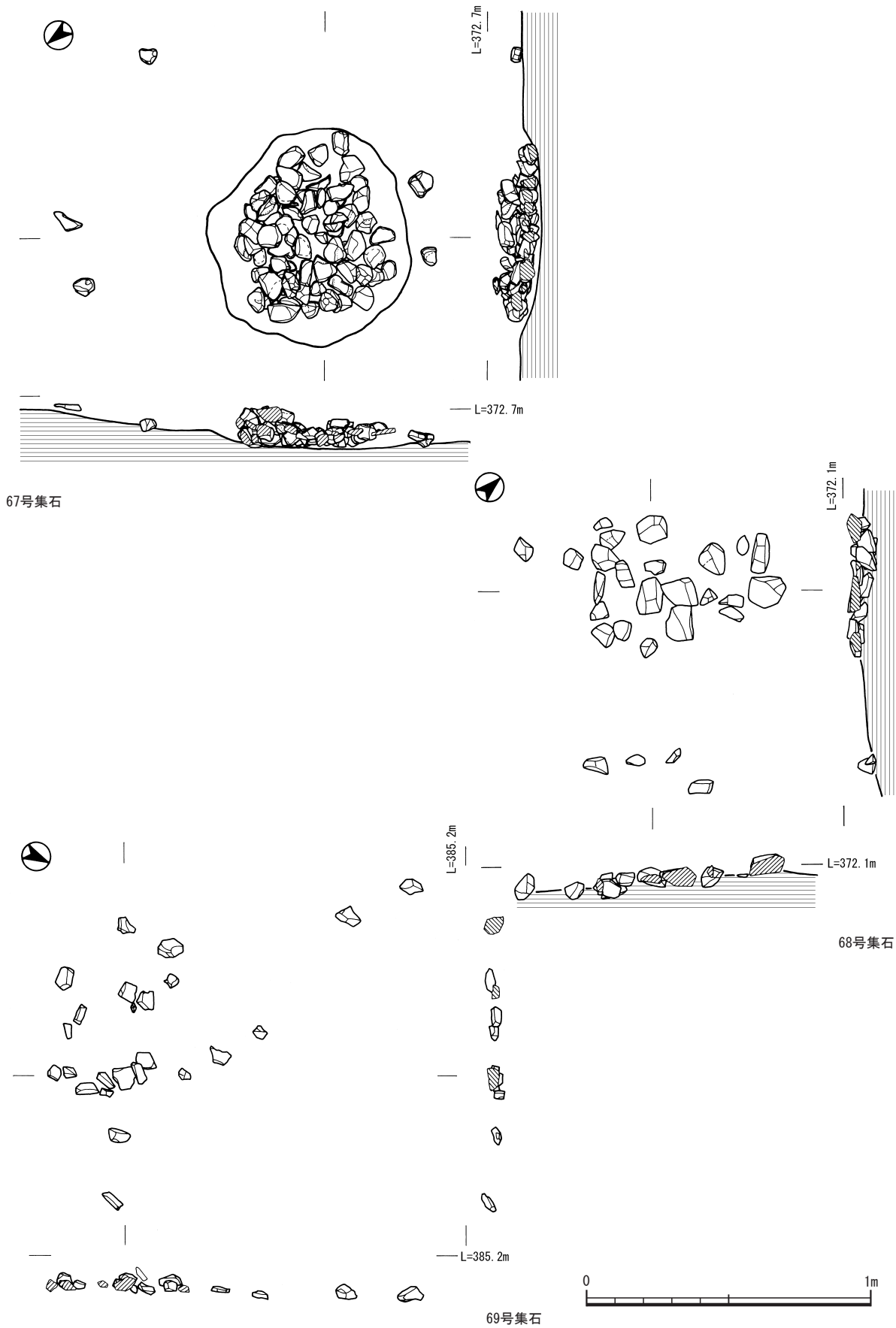
(土坑I類)

##### 75号土坑 (第311図)

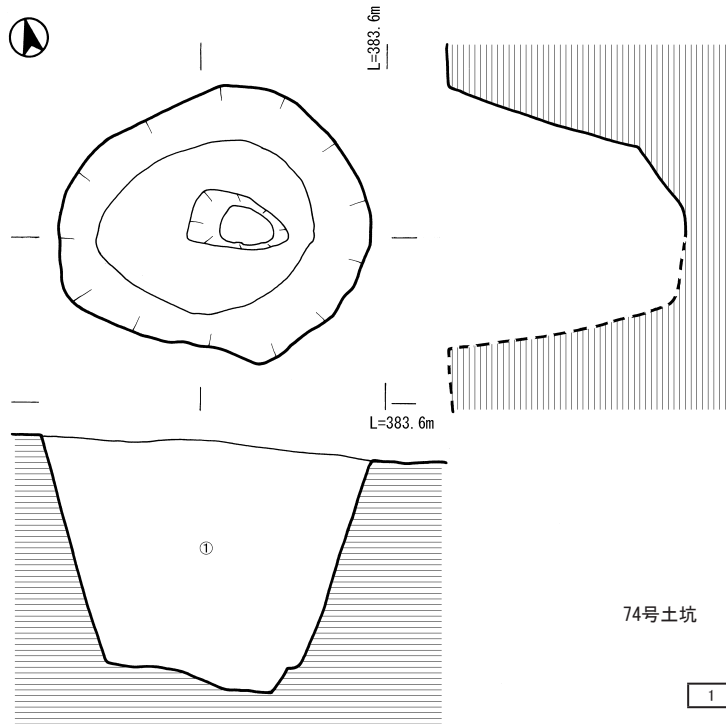
E-2区, VII層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸143cm, 短軸92cm, 深さは検出面から57cmである。底面は平坦で、掘り込み壁の立ち上がりは垂直である。埋土中から土器片4点が出土した。

(土坑I類)



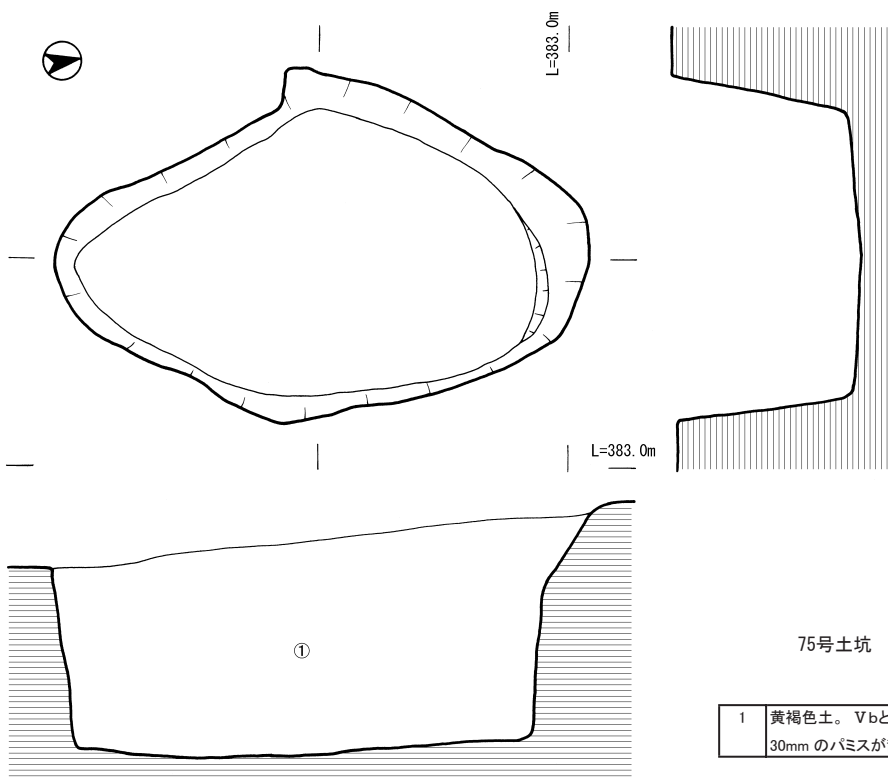


第310图 V層集石



74号土坑

1	黄褐色土。VbとVI層土の混土と思われる。
---	-----------------------



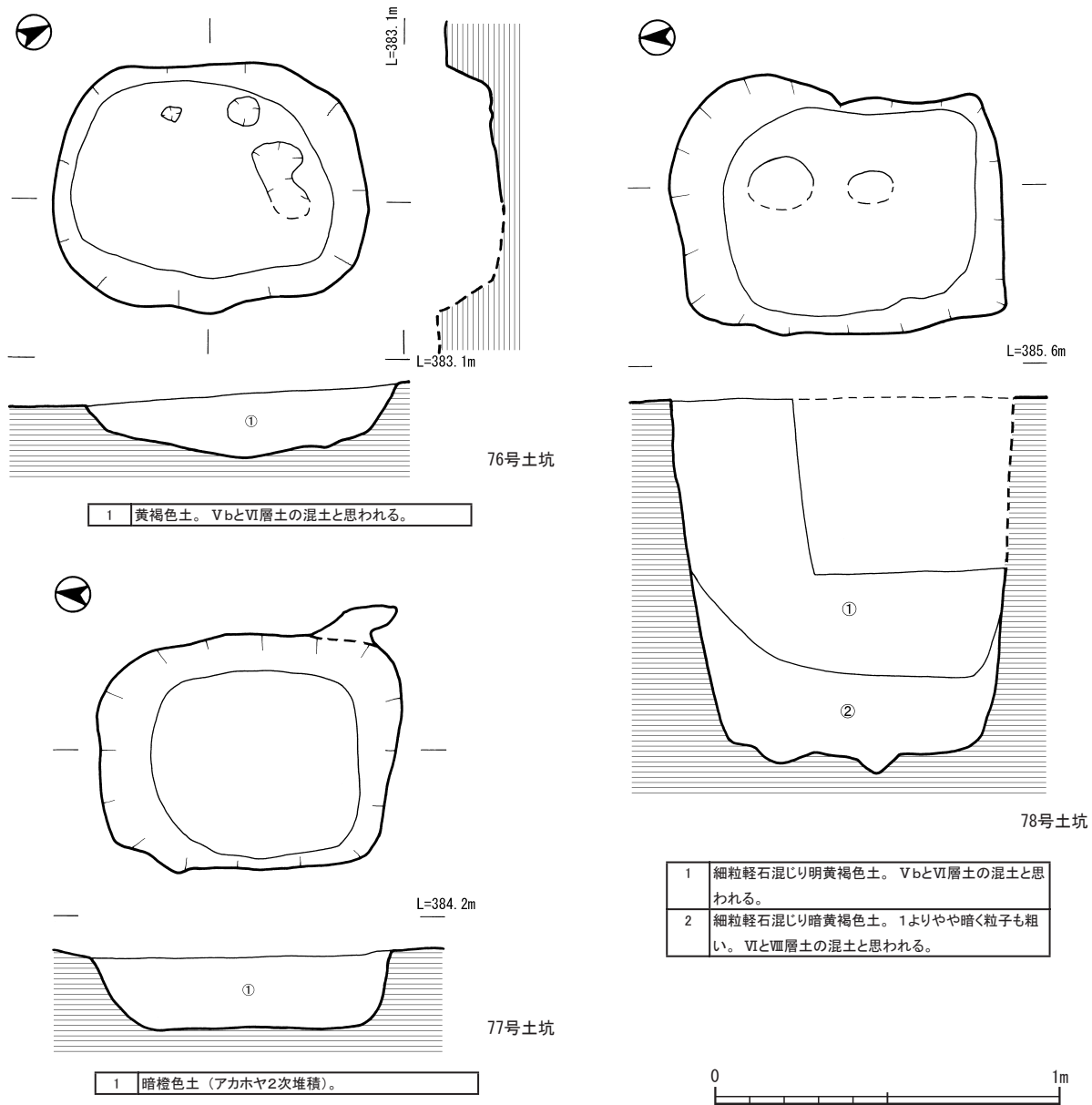
75号土坑

1	黄褐色土。VbとVI層土の混土と思われる。5~30mmのバミスが散在する。バサバサしている。
---	--



第311図 V層土坑 (1)





第312図 V層土坑 (2)

76号土坑 (第312図)

D-3区, VIII層上面で検出した。平面プラン楕円形で長軸92cm, 短軸73cm, 深さは検出面から18cmである。底面はやや皿状を呈し, 掘り込み壁の立ち上がりも緩やかである。

(土坑I類)

77号土坑 (第312図)

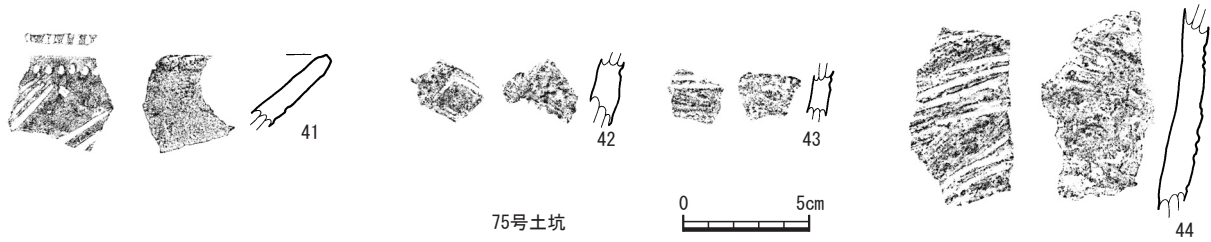
B-6区, VIII層上面で検出した。平面プランは方形で長軸86cm, 短軸69cm, 深さは検出面から20cmである。底面はほぼ平坦で, 掘り込み壁の立ち上がりはほぼ垂直である。

(土坑I類)

78号土坑 (第312図)

C-5区, Vb層上面で検出した。平面プランは方形で長軸97cm, 短軸67cm, 深さは検出面から103cmである。底面はほぼ平坦でわずかな窪みが2か所みられる。掘り込み壁ほぼ垂直に立ち上がる。

(土坑I類)



第313図 V層 遺構内出土遺物

遺構内出土遺物

75号土坑出土遺物(第313図)

41～44はX類土器である。

41は口縁部で、口唇部に刻み口唇直下外面に一条の貝

殻刺突、その下に斜位の貝殻条痕を施す。42～44は胴部である。外面に貝殻条痕を施す。44は特に粗い条痕が施される。

第75表 V層遺構内出土土器観察表

挿図 No	図 No	取上 番号	出土 地点	出土遺構	器種	部位	外面調整	内面 調整	焼成	外面 色調	内面 色調	胎土	備考
313	41	一括2	E-2	75号 土坑	深鉢	口縁部	刺突、沈線	ナデ	良好	茶褐色	茶褐色	石英、金雲母、 白色粒	口唇部刻み
	42	一括3	E-2	75号 土坑	不明	不明	沈線	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英、角閃石、 金雲母	
	43	一括4	E-2	75号 土坑	不明	不明	貝殻条痕、沈線	ナデ	良好	茶褐色	暗茶褐色	石英、長石、 角閃石	
	44	一括1	E-2	75号 土坑	深鉢	胴部	貝殻条痕	ナデ	良好	明茶褐色	灰褐色	石英、長石、 角閃石、細礫	

## 5 IV層の遺構

### 土坑

IV層では4基の土坑を検出した。土坑は、A地区西側に3基、B地区に1基、散在する状況で分布する。

#### 79号土坑 (第315図)

B-3区、V b層上面で検出した。削平のため平面プランの確定はできないがおそらく楕円形であったろうと思われる。長軸100cm、短軸不明、深さは検出面から65cmである。底面はやや東側に傾斜し、中央に深さ15cmの小穴がみられる。埋土中から土器片が4点出土した。

(土坑IV類)

#### 80号土坑 (第315図)

H-2区、VIa層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸96cm、短軸92cm、深さは検出面から76cmである。底面はほぼ平坦で、やや北よりに径の小さい深さ27cmのピットを確認し、逆茂木と判断した。

(土坑IV類)

#### 81号土坑 (第315図)

F-3区、Va層上面で検出した。一部削平を受けているため平面プランは確定できないが、おそらく円形であろうと思われる。長軸97cm、短軸86cm、深さは検出面から103cmである。

底面は平坦で、中央にやや径の大きい深さ48cmの小穴がみられる。

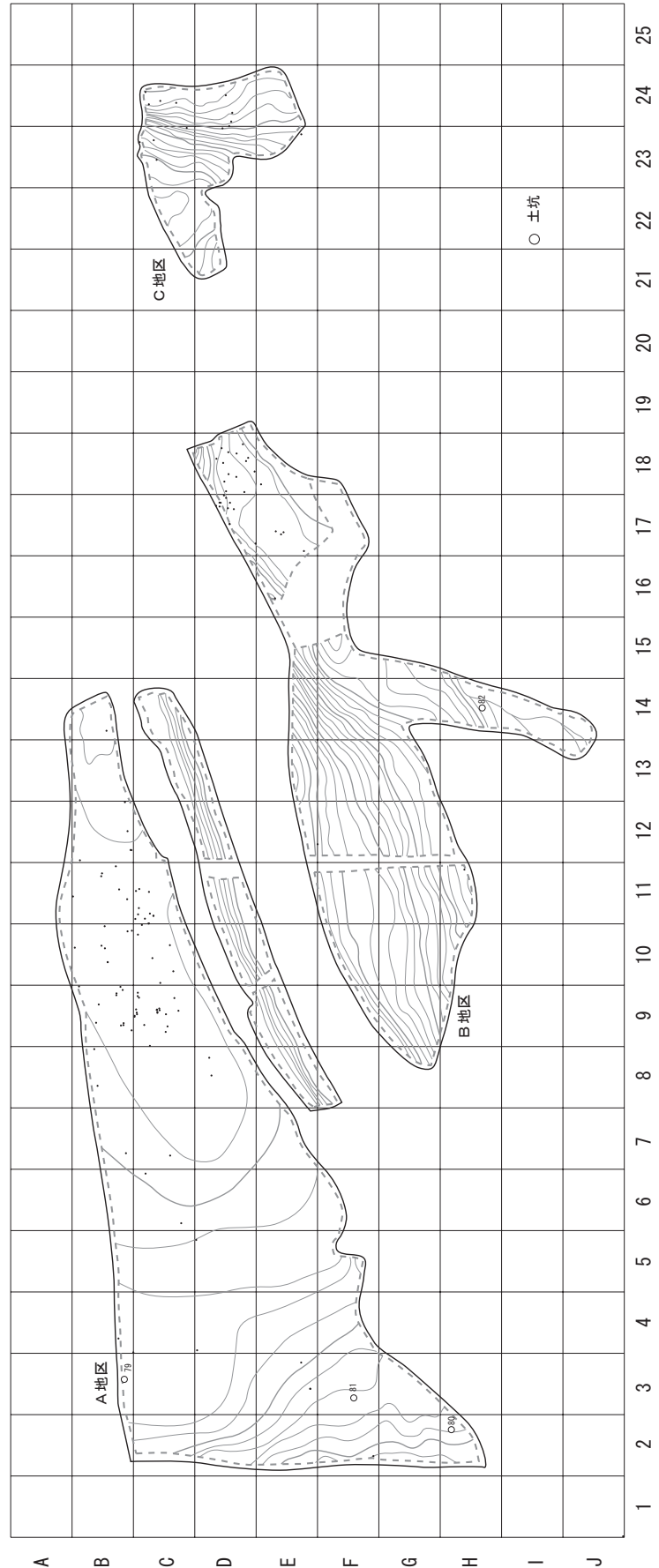
(土坑IV類)

#### 82号土坑 (第315図)

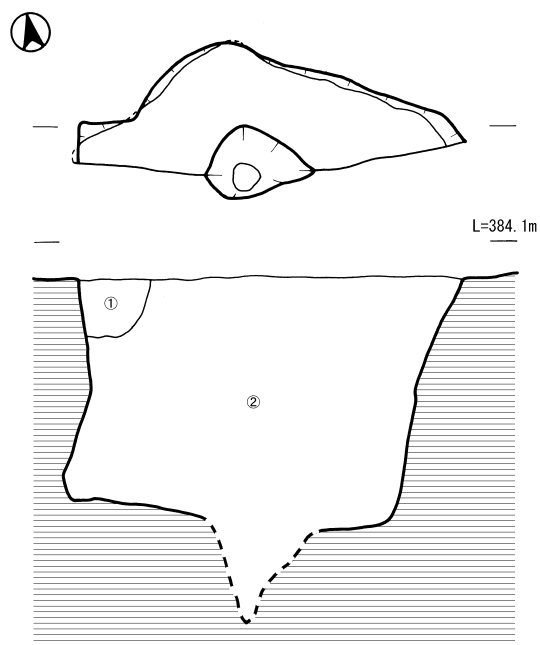
H-14区、VIa層上面で検出した。平面プランは楕円形状で一部突出部がみられる。長軸140cm、短軸62cm、深さ34cmである。

底面にはやや起伏があり、小穴が5か所にみられる。深さは4cmから11cmと浅く、やや斜め方向である。

(土坑IV類)

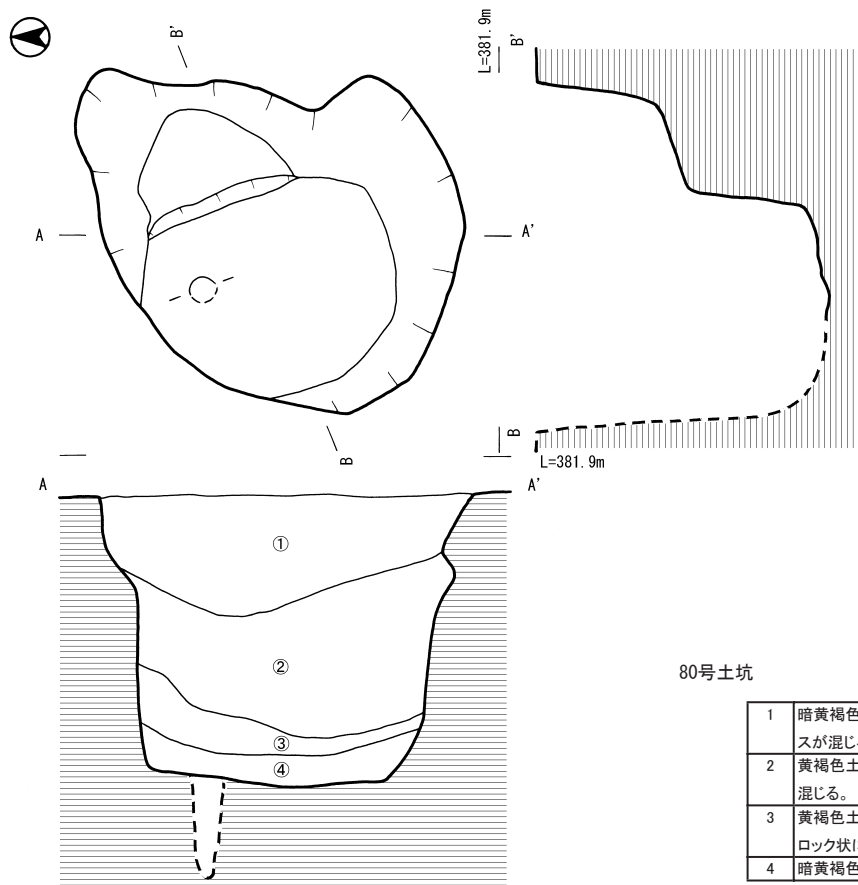


第314図 IV層 遺構位置図



79号土坑

1	明橙色火山灰（アカホヤ）。御池パミス若干含みや粘質がある。ブロック状に落ち込んだものと思われる。
2	細粒軽石混じり黄褐色硬質土。やや粘性がある。御池パミスが混じる。

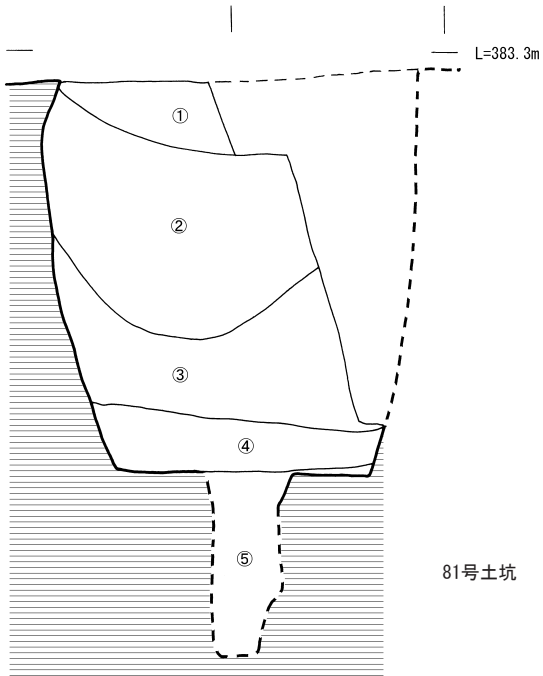
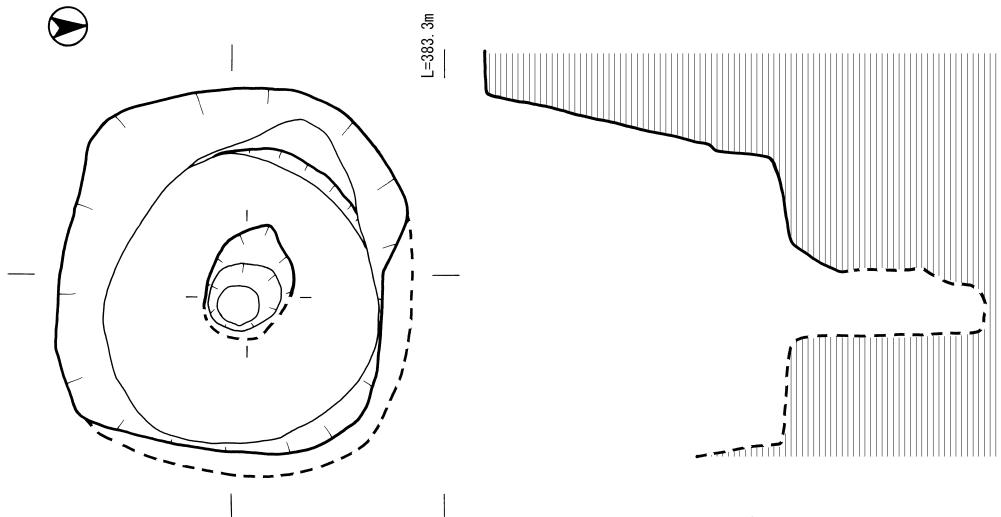


80号土坑

1	暗黄褐色土。IV～V層土の混土。5mmほどのパミスが混じる。
2	黄褐色土。IV層土より暗い。5～20mmのパミスが混じる。
3	黄褐色土。2より若干明るい。アカホヤ火山灰がブロック状に混ざる。
4	暗黄褐色土。1より若干明るい。

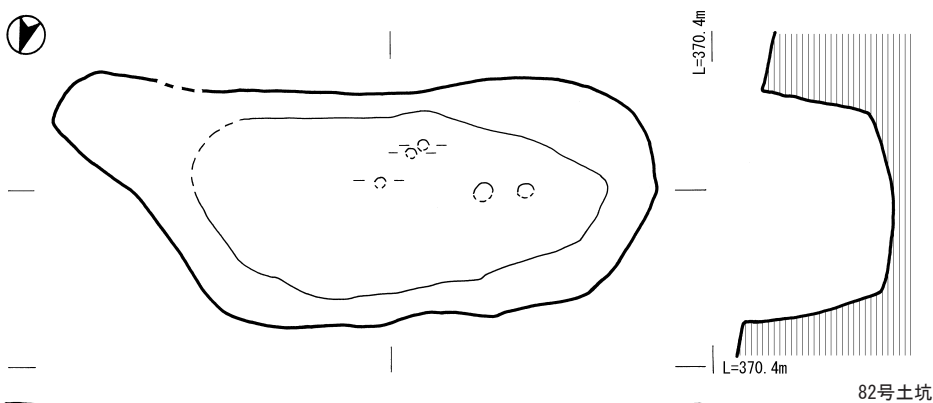


第315図 IV層土坑（1）

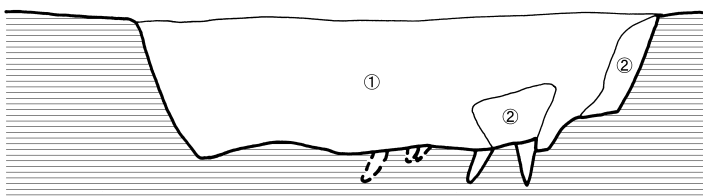


81号土坑

1	黄褐色土。
2	IV～VI層土の混土。10～20mmのバミスが混じる。
3	IV～V層土の混土。5mmほどのバミスが若干混じる。
4	VII層土のに類似している。5mmほどのバミスが若干まじりややバサつく。
5	4より暗い。



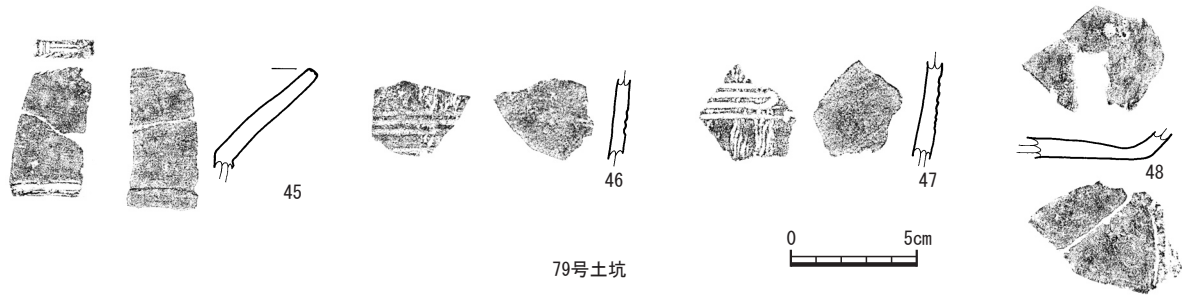
82号土坑



1	黄褐色土。御池火山灰が混じる。
2	黄褐色土。IVとVI層土の混土。



第316図 IV層土坑 (2)



第317図 IV層 遺構内出土遺物

遺構内出土遺物

79号土坑出土遺物(第317図)

45~48はIX類土器である。

45は口縁部から屈曲部にかかるもので、口唇部に2本1対の沈線が縦位、横位に施される。外面屈曲部には横位の沈線が認められ、内面の屈曲部稜線は明瞭に残され

る。46, 47は胴部で、外面に縦位の撚糸文と横位の沈線文を施す。48は底部で外面に横位の沈線が施される。撚糸の痕跡もわずかにみられる。

第76表 IV層遺構内出土土器観察表

挿図No	図No	取上番号	出土地点	出土遺構	器種	部位	外面調整	内面調整	焼成	外面色調	内面色調	胎土	備考
317	45	一括3	C-3	79号土坑	深鉢	口縁~屈曲部	沈線	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	石英, 角閃石	
	46	一括1	C-3	79号土坑	深鉢	胴部	沈線, 撚糸	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	石英, 長石, 角閃石	
	47	一括4	C-3	79号土坑	深鉢	胴部	沈線, 撚糸	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	石英, 長石, 角閃石	
	48	一括2	C-3	79号土坑	深鉢	底部	沈線	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英, 長石, 角閃石	

### 第3節 縄文時代の土器

発掘調査で出土し、縄文時代に該当する土器の総点数は3356点である。

この3356点の中で、出土遺物の部位や文様が識別困難な小片を除き、接合を経て型式として確認ができたものは833点である。これらの833点について、型式分類及び細別を行い本報告書に記載した。

取り扱った833点については、I類～XV類の各類型として分類している。

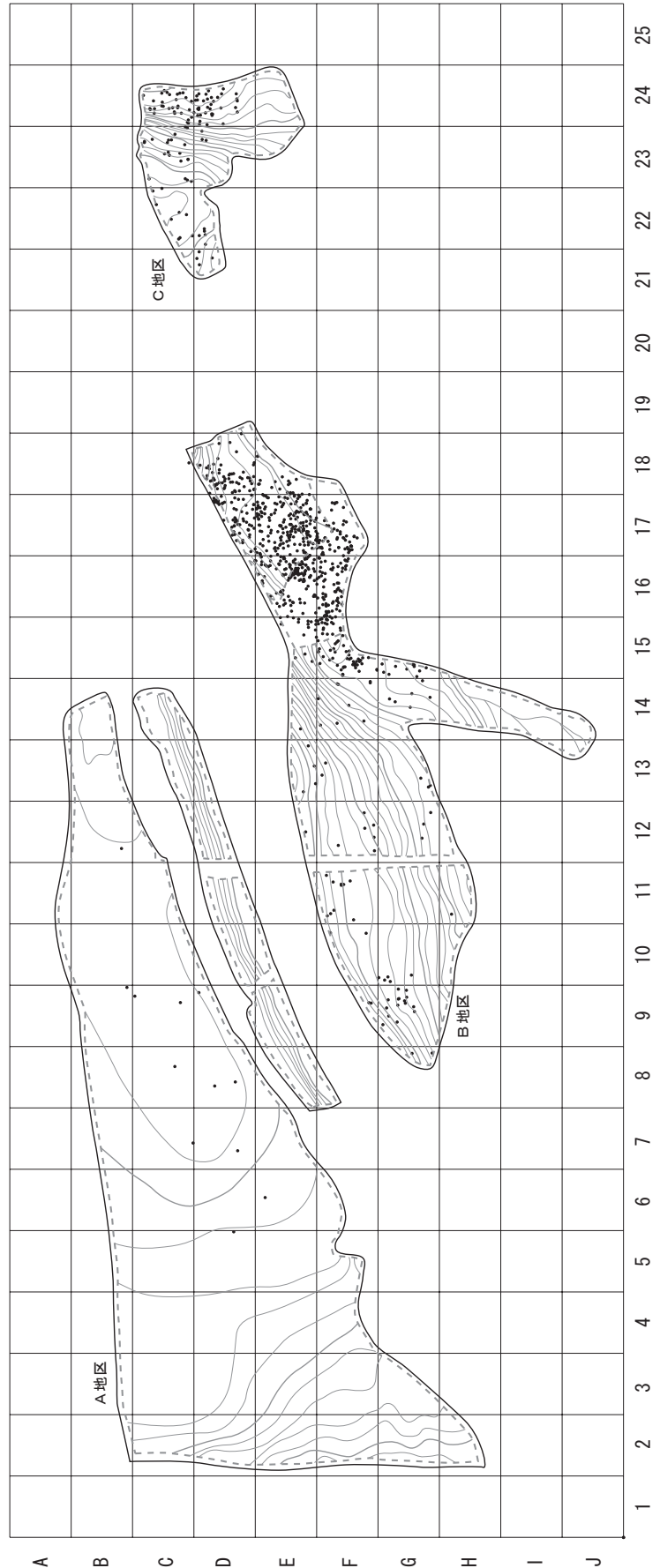
出土層位は、Ⅷ層～Ⅳ層出土及び表土一括の土器として処理されており、南九州縄文時代早期～晩期の時期に該当し、この間の層中でI類土器からXV類土器が出土している。

Ⅷ層～Ⅵ層は縄文時代早期に相当し、I類からX類土器が出土している。

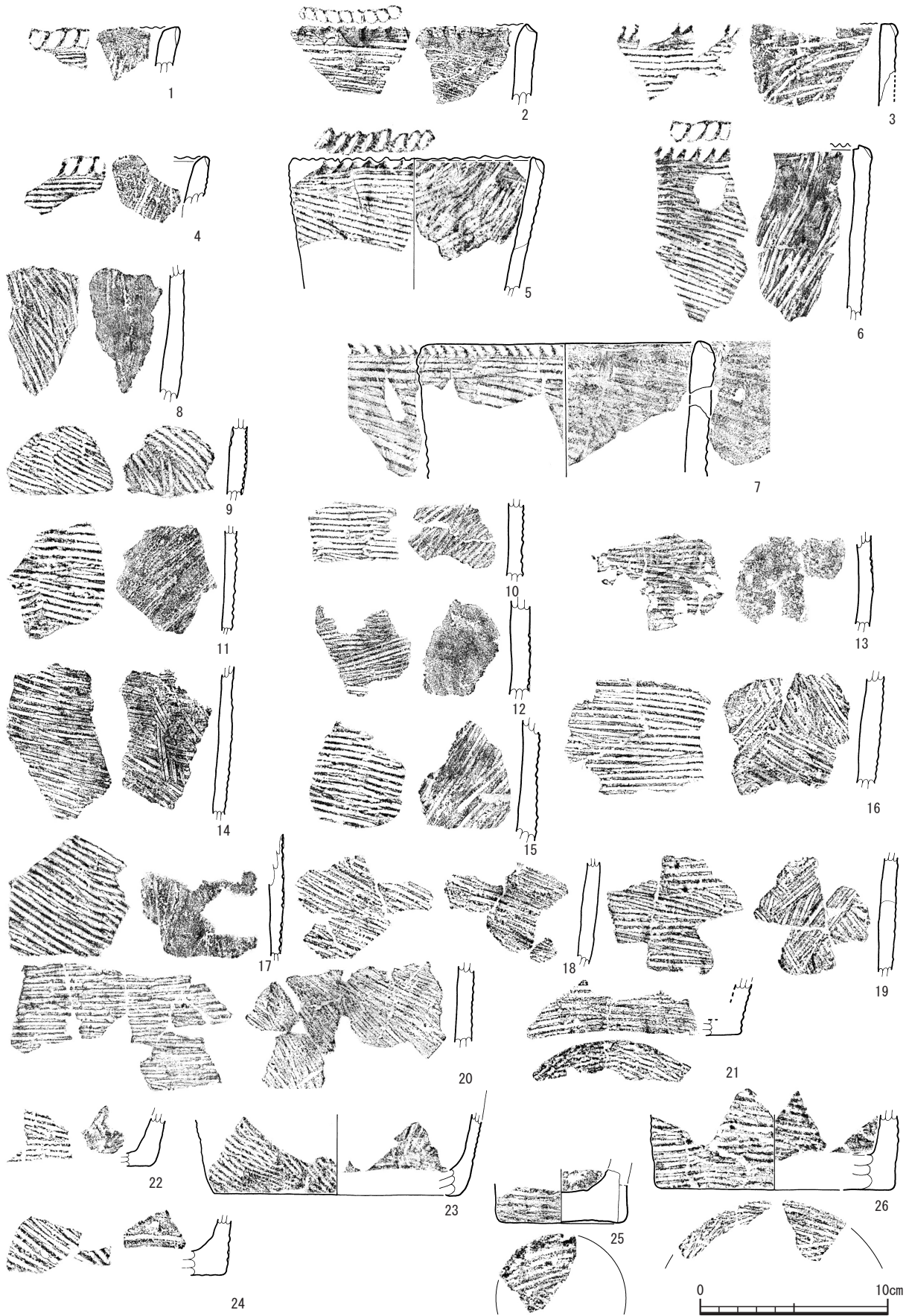
V層は縄文時代前期、中期に相当し、XI類土器からXIII類土器が出土している。

Ⅳ層は縄文時代後期、晩期に相当し、XIV類、XV類土器が出土している。

なお、各類型とそれぞれの概要については以下の通りである。

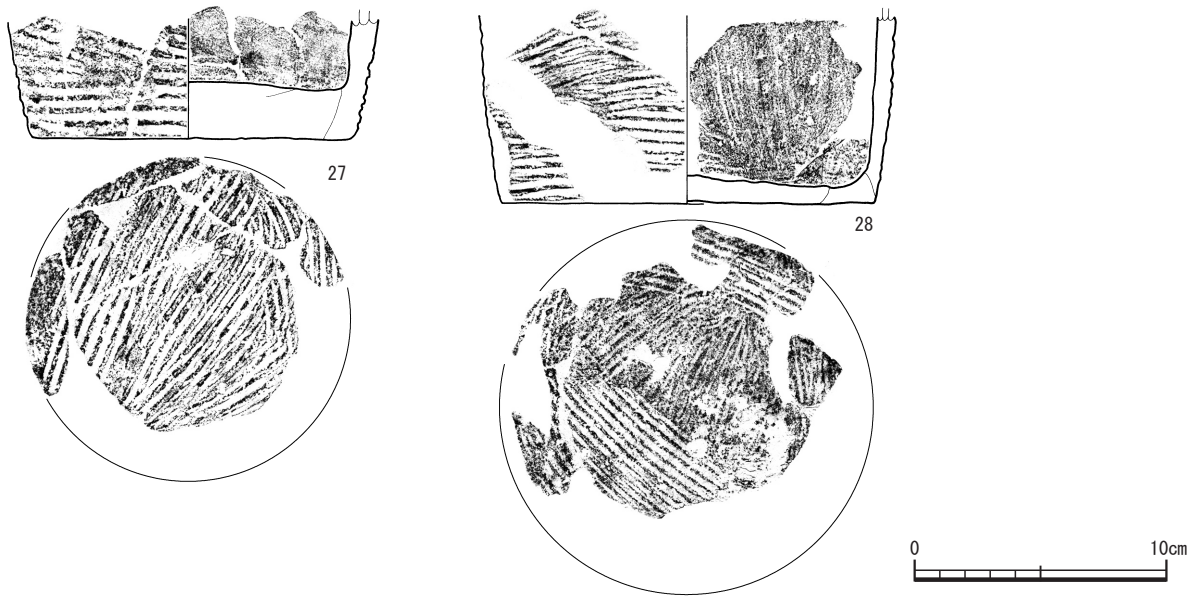


第318図 I類～Ⅲ類土器出土状況図



第319图 I類土器実測図(1)





第320図 I類土器実測図(2)

1 I類土器 前平式土器(第318, 319図)

平底の底部から直線的に立ち上がり、若干外反する口縁部を持つ円筒形貝殻条痕文土器で、前平式土器に分類される一群である。

口唇端部に刻み目を有し、口唇部の直下より底部にかけての全域は、横位ないし斜位の貝殻条痕文を施している。内面は、条痕整形(3, 5, 6)、条痕整形後ナデ(1, 2, 4等)や工具ナデ(7)で仕上げ、胴部から底面にかけては貝殻条痕仕上げ(9, 16, 20, 23等)が普遍化している。また、底部接地面も貝殻条痕で整形される。

口唇部の刻みは、貝殻腹縁(3, 5, 7)と棒状工具(1, 2, 4)を使用している。

口縁部から胴部の器壁は7~10mm、底部は15mm~20mm

で、底部が厚く作られることが一般的である。なお、底部接地面は正円形をなすが、これは貝殻円筒形土器に共通する特徴でもある。

7は口縁部付近の補修孔で、外面から縦長に穿孔され、穿たれた穴の形状は外面では楕円形を呈している。

胴部と底部の接着に関し、21および25~28の観察からは、筒状の胴部と底部を別々に製作し、円盤状の底部を筒状の胴部に入れ込み(底部を胴部で包み込む)、接着する行為がみられる。特に、27, 28の底部円盤を断面で観察すると、内底面が長く、地に接する接地面が短く作られ、逆台形状を呈している。このことから、底部を胴部で包み込む製作が行われたことが読みとれる。

第77表 I類土器観察表(1)

挿図 No	図 No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考
319	1	8063(F-16/VIII層)	Hue5YR2/1 (黒褐色)	Hue5YR5/4 (にぶい赤褐色)	ナデ	貝条痕	長, 角, 石	口縁部, 口唇部刻み有り
	2	7830(D-17/VIII層)	Hue5YR5/4 (にぶい赤褐色)	Hue5YR4/6 (赤褐色)	ナデ	貝条痕	長, 角, 石	口縁部, 口唇部刻み有り
	3	8573(E-18/VIII層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙褐色)	Hue7.5YR6/6 (橙褐色)	貝条痕	貝条痕	長, 角, 石	口縁部, 口唇部刻み有り
	4	8017(E-17/VIII層)	Hue7.5YR2/2 (黒褐色)	Hue7.5YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝条痕	長, 角, 石	口縁部, 口唇部刻み有り
	5	7840(D-18/VIII層) 7851(D-18/VIII層) 7987(D-18/VIII層)	Hue10YR6/4 (にぶい黄橙褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	貝条痕	貝条痕	長, 角, 石	口縁部, 口唇部刻み有り
	6	8080(D-18/VIII層) 8085(D-18/VIII層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙褐色)	Hue7.5YR6/6 (橙褐色)	貝条痕	貝条痕	長, 角, 石	口縁部, 口唇部刻み有り
	7	7643(E-17/VIII層) 7653(E-17/VIII層) 7655(E-17/VIII層) 7666(E-17/VIII層) 7800(E-17/VIII層) 8004(E-17/VIII層)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	Hue7.5YR5/6 (明褐色)	ナデ 貝条痕	貝条痕	長, 角, 石	口縁部, 口唇部刻み有り 補修孔2
	8	7832(D-17/VIII層)	Hue2.5YR3/2 (暗赤褐色)	Hue5YR4/3 (にぶい赤褐色)	ナデ	貝条痕	長, 角, 石	胴部
	9	7707(E-17/VIII層)	Hue10YR6/4 (にぶい黄橙褐色)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	貝条痕	貝条痕	長, 角, 石	胴部
	10	8018(E-17/VIII層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	貝条痕	貝条痕	長, 角, 石	胴部

2 II類 吉田式土器(第320図～第326図)

平底の底部から直線的に立ち上がり、口縁端部が外反する口縁部(29, 30, 73, 80, 105等)と、直立する口縁部(85, 87)を持つものがあり、前者が卓越する。

器形は円筒形と角筒形をなす貝殻条痕文系の土器で、胴部文様は貝殻腹縁の押引文を専らとし、吉田式土器に分類される。

円筒形土器の中には口縁部直下の貝殻刺突線文の下に、楔形の突帯文を持つもの(29, 30, 31, 32, 33, 34)もあるが、角筒形土器ではみられない。

平坦に整形した狭い口唇部に規則的なヘラ刻みを施し、口縁部端には横位の貝殻刺突線文を1条(1, 2, 3, 48, 72, 105等)、2条(38, 40, 60, 104等)、3条(77, 82, 85, 87)、5条(81, 83, 86)巡らす。

貝殻刺突線文の下位には縦位の楔形の貼付文(29, 30, 31, 32, 33, 34)を行ったものと、密接な縦位の貝殻刺突文を施すもの(35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42)、(43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50)の様に貝殻施文具のロッキング手法によって楔形文様を表現しているものもある。

円筒形土器では、胴部から底部の施文は横位の貝殻押

引文を基調とするが、個体によりバリエーションがみられる。貝殻刺突線文の下位に縦位の貝殻腹縁刺突文を密に1列(70)ないし2列(40, 72等)施すものや、やや粗に1列(77)、2列(71, 75)あるいは斜めに(79)施すもの等がみられる。また、(101, 103, 104, 105)の様に、半裁竹管文を配するものもある。

角筒形土器(52, 53, 54)では、貝殻腹縁のロッキング手法で楔形突帯文を表現する。

底部端には129～155のいずれも縦位の刻み目を有している。また、底部は正円形をなし、接地面は丁寧に磨かれており総じて、薄く作られている。

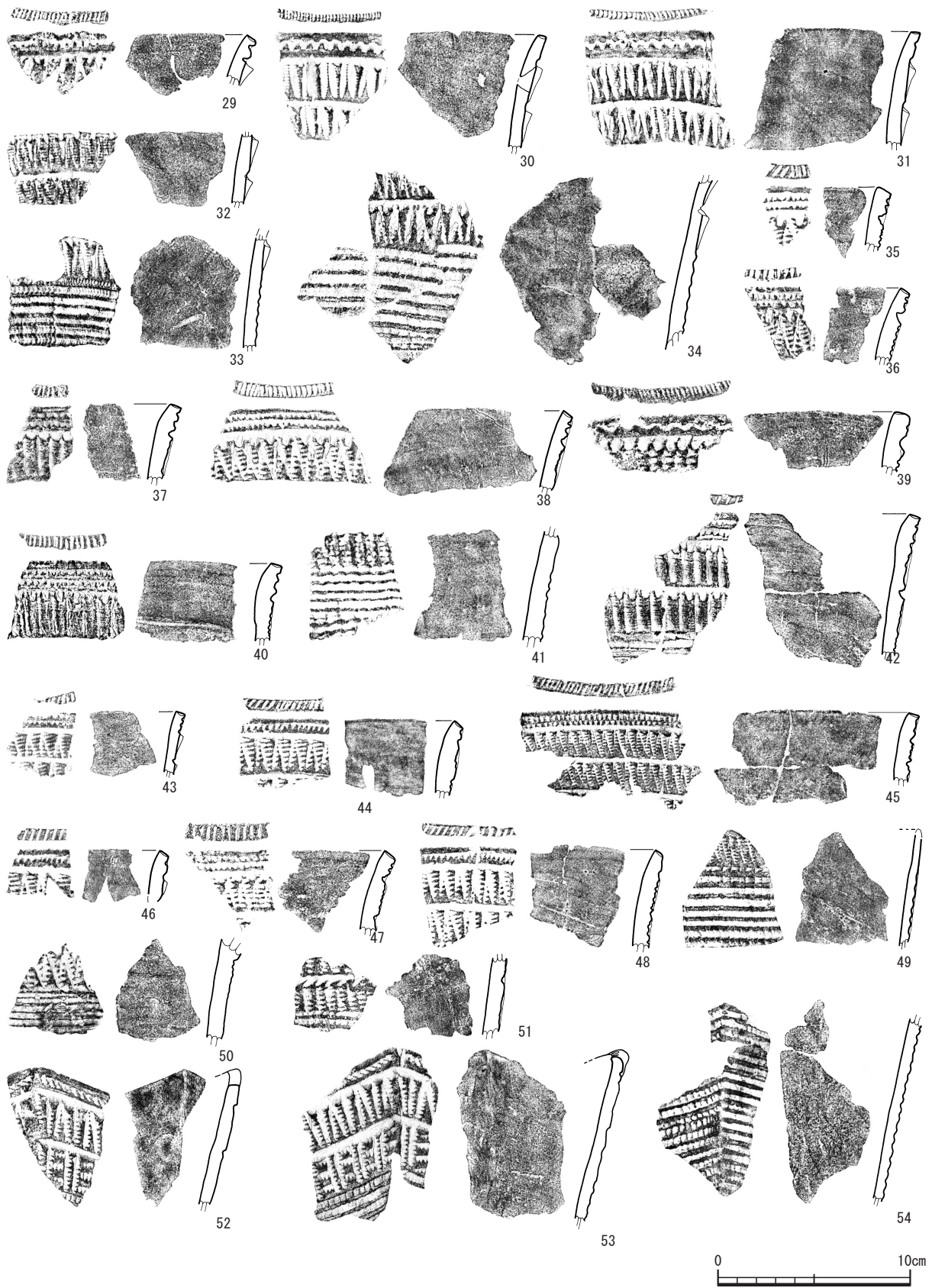
30の楔形突帯文間に補修孔が見られ、外面から縦長に穿孔され、穿たれた穴の形状は外面では楕円形を呈している。

胴部の押引文の施文具とした貝殻腹縁は、1cm前後と2cm前後の規格が存在する。

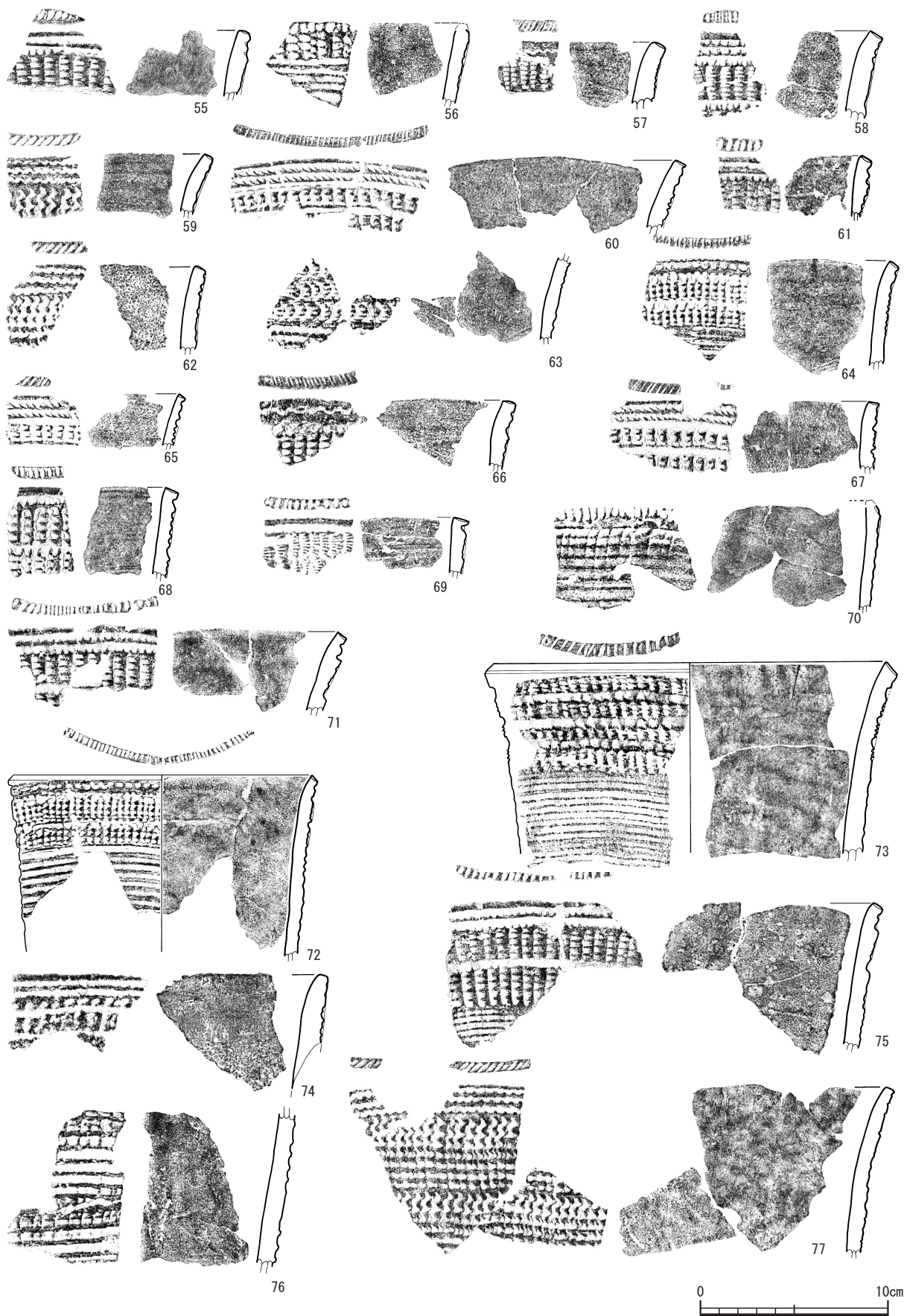
内面整形は、底部から胴部中央付近まではヘラの縦ケズリが残されるが、上位は丁寧にナデて仕上げている。

第78表 I類土器観察表(2)

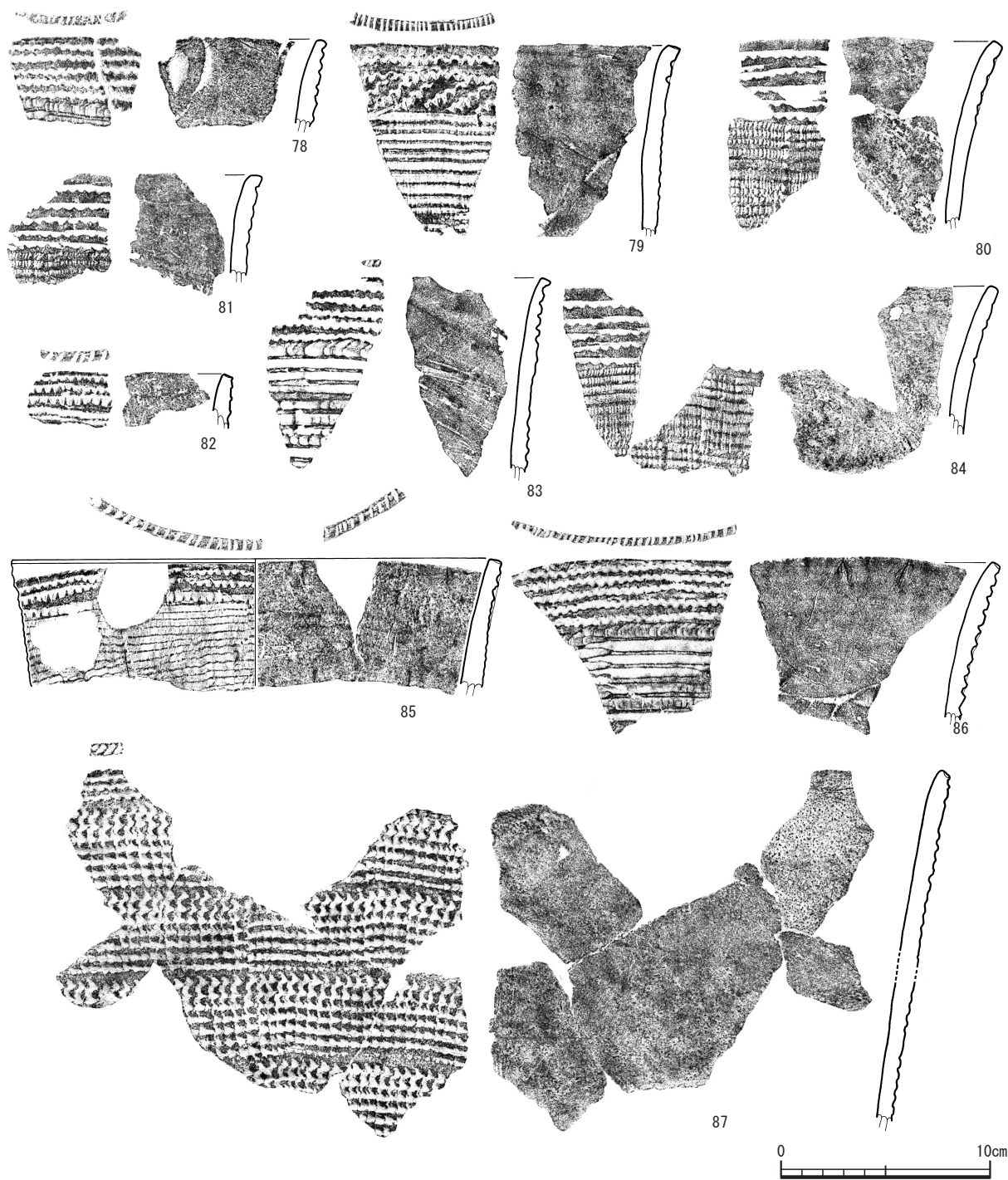
挿図 No	図 No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考	
319	11	7822(E-17/VIII層)	Hue10YR7/4 (にぶい黄橙色)	Hue10YR8/3 (浅黄橙色)	貝条痕	貝条痕	長, 角, 石	胴部	
	12	7680(E-17/VII層)	Hue5YR4/2 (灰褐色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝条痕	長, 角, 石	胴部	
	13	11968(F-16/VII層)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	Hue10YR5/2 (灰黄褐色)	ナデ	貝条痕	長, 角, 石	胴部, (外)あばた状剥落	
	14	8069(D-17/VIII層)	Hue10YR3/2 (黒褐色)	Hue7, 5YR4/2 (灰褐色)	貝条痕	貝条痕	長, 角, 石	胴部	
	15	8083(D-18/VIII層)	Hue7, 5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue7, 5YR5/4 (にぶい褐色)	貝条痕	貝条痕	長, 角, 石	胴部	
	16	7662(E-17/VIII層) 7827(D-17/VIII層) 7828(D-17/VIII層)	Hue5YR4/6 (赤褐色)	Hue7, 5YR4/2 (灰褐色)	貝条痕	貝条痕	長, 角, 石	胴部	
	17	8058(E-17/VIII層)	Hue5YR5/4 (にぶい赤褐色)	Hue7, 5YR5/4 (にぶい褐色)	貝条痕	貝条痕	長, 角, 石	胴部, (内)剥落	
	18	8098(D-18/VIII層)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	Hue5YR4/4 (にぶい赤褐色)	貝条痕	貝条痕	長, 角, 石	胴部	
	19	7789(D-18/VIII層) 8073(D-18/VIII層)	Hue7, 5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue5YR4/6 (赤褐色)	貝条痕	貝条痕	長, 角, 石	胴部	
	20	7676(E-17/VIII層) 7752(D-17/VIII層) 8093(D-18/VIII層) 8094(D-18/VIII層)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	Hue5YR3/4 (暗赤褐色)	貝条痕	貝条痕	長, 角, 石	胴部	
	21	8005(E-17/VIII層)	Hue2, 5YR5/4 (にぶい赤褐色)	Hue2, 5YR4/4 (にぶい赤褐色)	貝条痕	貝条痕	長, 角, 石	底部, (内)剥落	
	22	8088(D-18/VIII層)	Hue10YR6/4 (にぶい黄橙色)	Hue7, 5YR6/6 (橙色)	貝条痕	貝条痕	長, 角, 石	底部	
	23	7975(E-17/VIII層) 8055(E-17/VIII層)	Hue10YR4/3 (にぶい黄褐色)	Hue7, 5YR6/4 (にぶい褐色)	貝条痕	貝条痕	長, 角, 石	底部	
	24	8059(E-17/VIII層)	Hue7, 5YR5/3 (にぶい褐色)	Hue7, 5YR6/4 (にぶい褐色)	貝条痕	貝条痕	長, 角, 石	底部	
	25	7801(E-17/VIII層)	Hue2, 5YR5/4 (にぶい赤褐色)	Hue2, 5YR5/4 (にぶい赤褐色)	貝条痕	貝条痕	長, 角, 石	底部, (外)剥落	
	26	8007(E-17/VIII層) 8008(E-17/VIII層) 8037(E-17/VIII層)	Hue2, 5YR5/4 (にぶい赤褐色)	Hue2, 5YR4/4 (にぶい赤褐色)	ナデ 貝条痕	貝条痕	長, 角, 石	底部, (内)底部剥落	
	320	27	8001(D-17/VIII層)	Hue7, 5YR4/2 (灰褐色)	Hue5YR6/4 (にぶい褐色)	ナデ	貝条痕	長, 角, 石	口縁部, 口唇部刻み有り
		28	7729(E-16/VIII層) 7821(E-17/VIII層) 7936(E-17/VIII層) 7976(E-17/VIII層)	Hue10YR7/4 (にぶい黄橙色)	Hue10YR6/4 (にぶい黄褐色)	ナデ	貝条痕	長, 角, 石	底部



第321图 II类土器实测图(1)



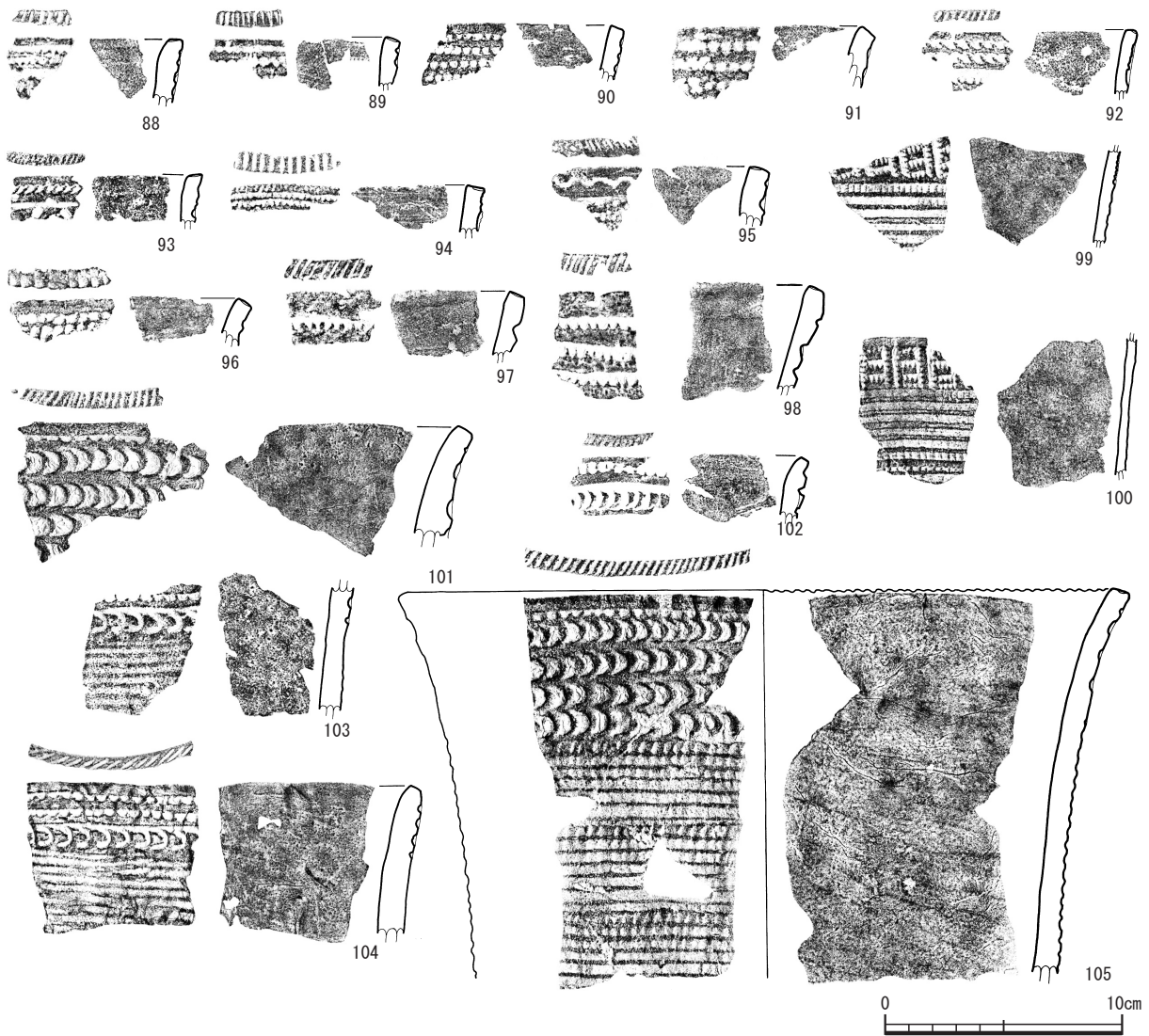
第322图 II类土器实测图(2)



第323図 II類土器実測図(3)

第79表 II類土器観察表(1)

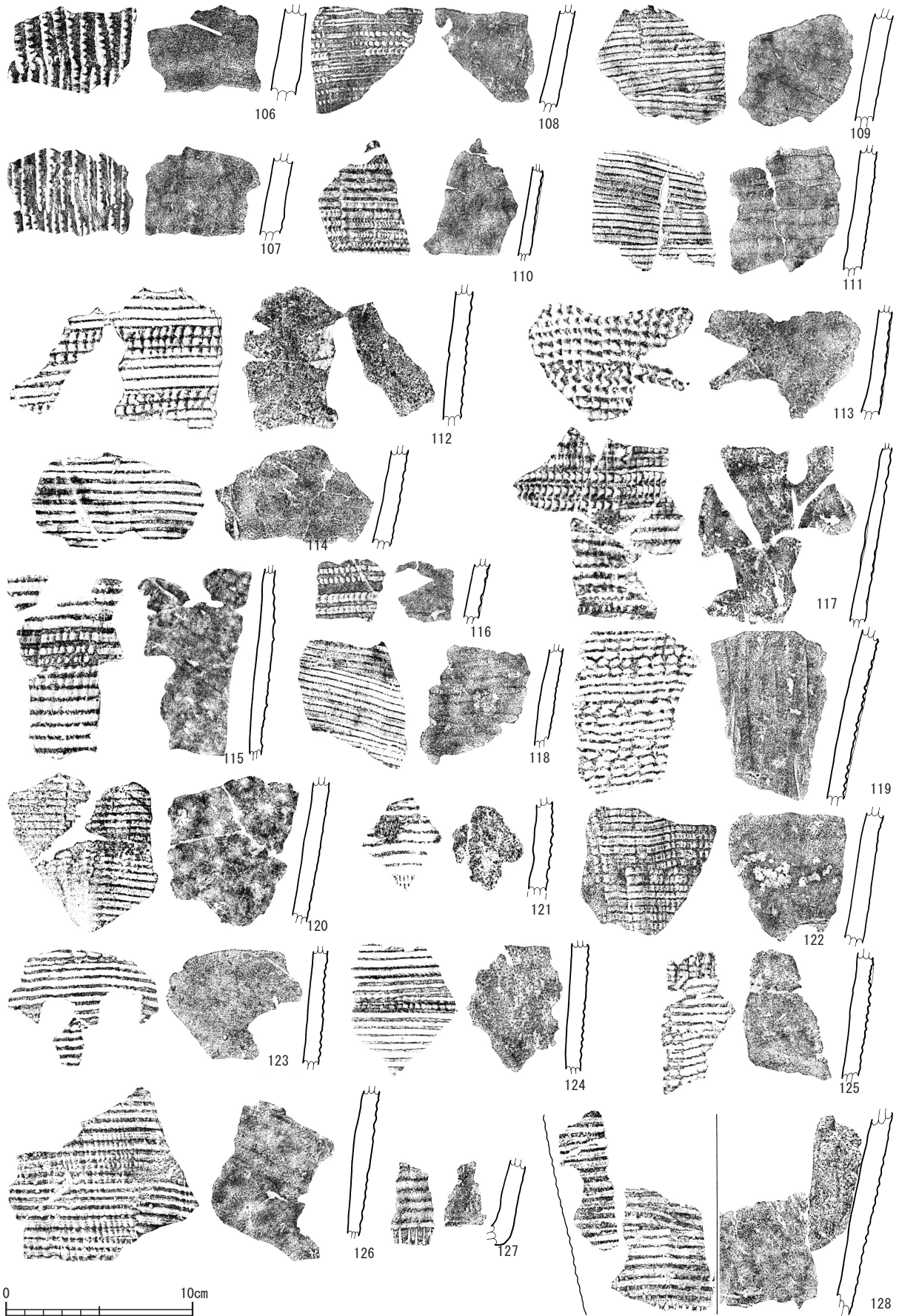
挿図 No	図 No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考
321	29	8123(D-24/VIII層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue10YR5/3 (にぶい黄褐色)	ナデ	貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長,角,石	口縁部,貼付クサビ
	30	7297(C-22/VIII層)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	Hue10YR3/3 (暗褐色)	ナデ	貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長,角,石	口縁部,貼付クサビ,補修孔
	31	7359(D-23/VIII層)	Hue10YR6/3 (にぶい黄橙色)	Hue10YR7/3 (にぶい黄褐色)	ナデ	貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長,角,石	口縁部,貼付クサビ 32と同一か?
	32	7408(D-24/VIII層)	Hue10YR6/4 (にぶい黄褐色)	Hue10YR6/3 (にぶい黄褐色)	ナデ	貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長,角,石	口縁部付近,貼付クサビ 31と同一か?



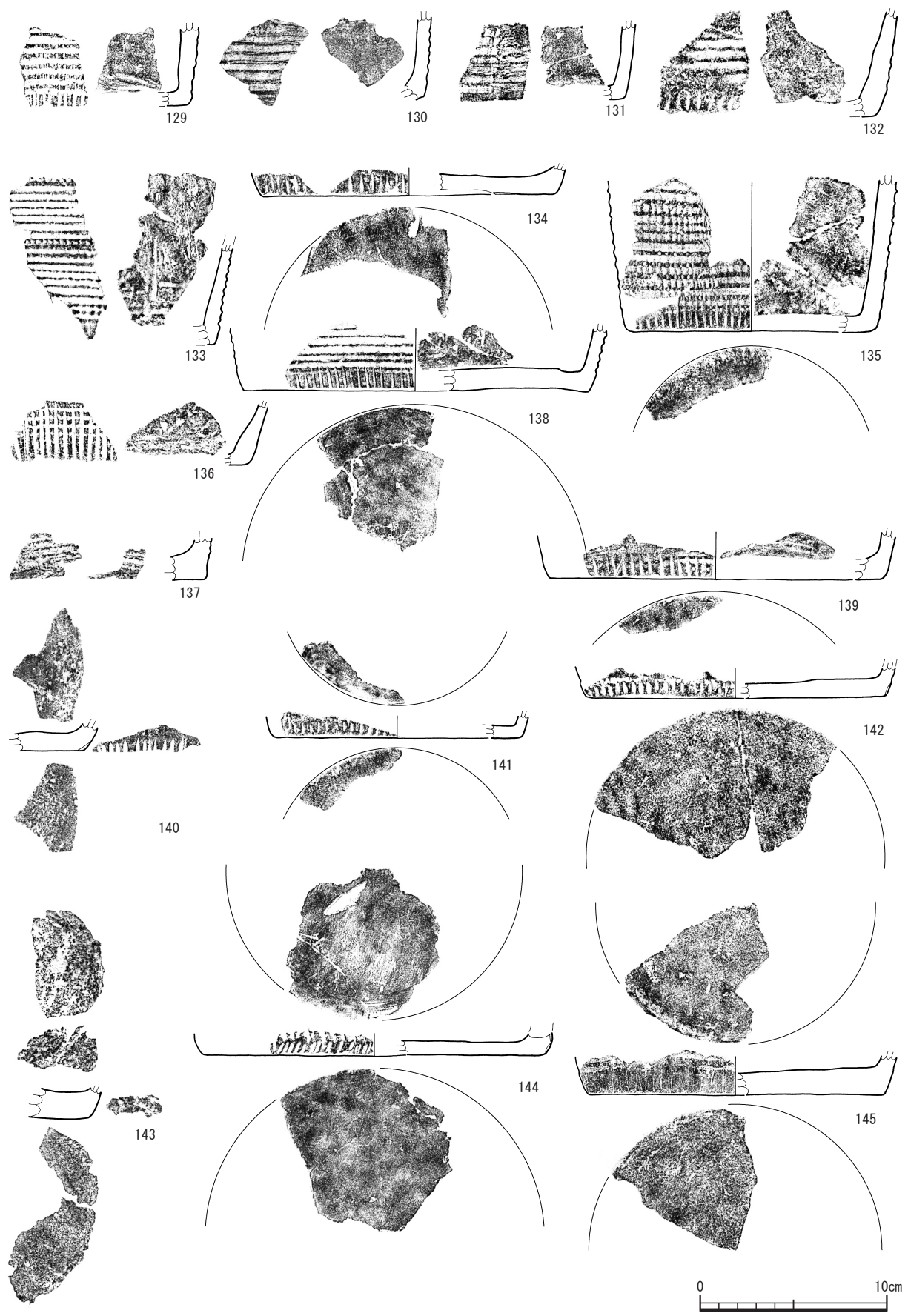
第324図 II類土器実測図(4)

第80表 II類土器観察表(2)

挿図 No	図 No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考
321	33	8907(C-23/VIII層)	Hue10YR7/4 (にぶい黄橙色)	Hue10YR7/4 (にぶい黄橙色)	ナデ	貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長, 角, 石	口縁部付近, 貼付クサビ
	34	7380(D-24/VIII層) 8101(D-21/VIII層) 8132(D-24/VIII層)	Hue10YR5/3 (にぶい黄褐色)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長, 角, 石	口縁部付近, 貼付クサビ
	35	7409(D-24/VIII層)	Hue10YR7/4 (にぶい黄橙色)	Hue7.5YR6/6 (橙色)	ナデ	貝刺突(縦横) 貝押引(横)	長, 角, 石	口縁部, ロッキング刺突
	36	8929(C-24/VIII層)	Hue7.5YR7/6 (橙色)	Hue7.5YR6/6 (橙色)	ナデ	貝刺突(縦横)	長, 角	口縁部, ロッキング刺突
	37	7270(D-22/VII層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	貝刺突(横), 貝押引(横)	長, 角, 石	口縁部, 縦位刺突
	38	7322(C-24/VIII層)	Hue10YR6/3 (にぶい黄橙色)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	貝刺突(縦横)	長, 角, 石	口縁部, ロッキング刺突
	39	8417(F-15/VIII層)	Hue10YR2/1 (黒色)	Hue10YR6/6 (明黄褐色)	ナデ	貝刺突(横), 貝押引(横)	長, 角, 石	口縁部付近, 縦位刺突
	40	7365(D-24/VIII層)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	貝刺突(縦横)	長, 角, 石	口縁部, 縦位刺突
	41	4764(D-5/VII層)	Hue10YR7/4 (にぶい黄橙色)	Hue10YR7/4 (にぶい黄橙色)	ナデ	貝刺突(縦横)	長, 角, 石	口縁部付近, (内)炭化物付着 縦位刺突
	42	7357(C-23/VII層)	Hue5YR4/4 (にぶい赤褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	貝刺突(横), 貝押引(横)	長, 角, 石	口縁部, 縦位刺突
	43	7389(D-24/VIII層)	Hue10YR6/4 (にぶい黄橙色)	Hue10YR6/4 (にぶい黄橙色)	ナデ	貝刺突(横), 貝押引(横)	長, 角, 石	口縁部, ロッキング刺突

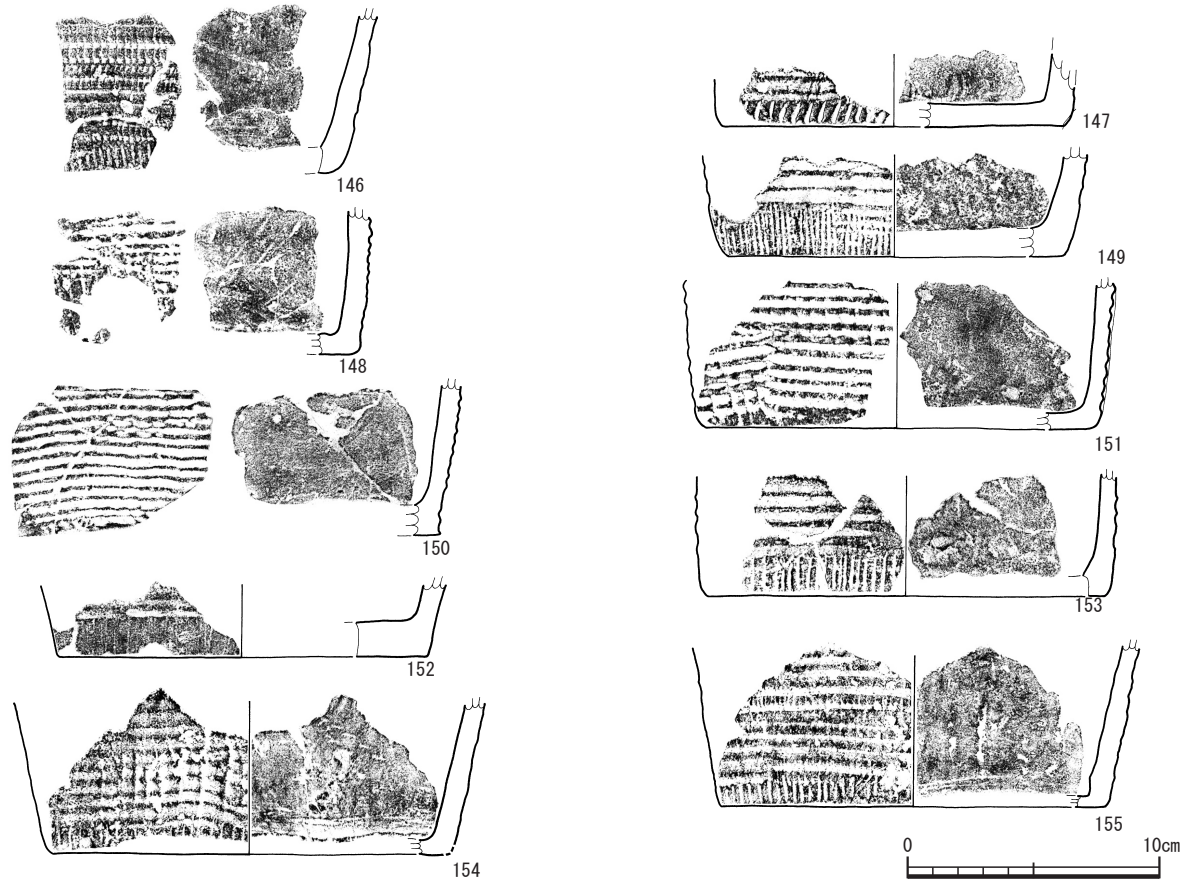


第325图 II類土器実測图(5)



第326图 II類土器実測図(6)





第327図 II類土器実測図(7)

第81表 II類土器観察表(3)

挿図 No	図 No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考	
321	44	11023(F-17/VII層)	Hue10YR7/4 (にぶい黄橙色)	Hue10YR7/4 (にぶい黄橙色)	ナデ	貝刺突(横), 貝押引(横)	長, 角, 石	口縁部付近, ロッキング刺突	
	45	1977(B-9/VI層) 1980(C-9/VI層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	貝刺突(横), 貝押引(横)	長, 角, 石	口縁部, ロッキング刺突	
	46	12015(E-16/VIII層)	Hue10YR7/4 (にぶい黄橙色)	Hue7.5YR7/6 (橙色)	ナデ	貝刺突(横), 貝押引(横)	長, 角, 石	口縁部, ロッキング刺突 補修孔	
	47	7882(E-18/VIII層)	Hue10YR2/1 (黒色)	Hue10YR4/3 (にぶい黄褐色)	ナデ	貝刺突(横), 貝押引(横)	長, 角, 石	口縁部, ロッキング刺突	
	48	11114(E-16/VIII層)	Hue10YR2/1 (黒色)	Hue7.5YR6/6 (橙色)	ナデ	貝刺突(縦横)	長, 角, 石	口縁部, ロッキング刺突	
	49	1989(D-9/VI層)	Hue10YR5/4 (にぶい黄褐色)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長, 角, 石	口縁部付近, ロッキング刺突	
	50	7354(C-23/VII層)	Hue10YR6/4 (にぶい黄橙色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	貝押引(横), 貝刺突(縦)	長, 角, 石	口縁部付近, ロッキング刺突	
	51	8128(D-24/VII層)	Hue10YR6/4 (にぶい黄橙色)	Hue10YR5/3 (にぶい黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横) 貝刺突(横)	長, 角, 石	口縁部付近, 縦位刺突	
	52	7404(C-24/VIII層)	Hue2.5Y3/1 (黒褐色)	Hue10YR3/3 (暗褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横) 貝刺突(縦)	長, 石, 雲	口縁部, 角筒, ロッキング刺突	
	53	7335(D-24/VII層)	Hue10YR6/4 (にぶい黄橙色)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横) 貝刺突(縦)	長, 角, 石, 雲	口縁部, 角筒, ロッキング刺突	
	54	7323(C-24/VIII層) 7391(D-24/VIII層)	Hue7.5YR6/6 (橙色)	Hue10YR2/1 (黒色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長, 角, 石, 雲	口縁部付近, 角筒	
	322	55	7714(E-16/VIII層)	Hue10YR5/4 (にぶい黄褐色)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	ナデ	貝刺突(横), 貝押引(横)	長, 角, 石	口縁部, 縦位刺突
		56	8276(G-12/VIII層)	Hue7.5YR7/6 (橙色)	Hue7.5YR6/6 (橙色)	ナデ	ナデ, 貝押引(縦)	長, 角, 石	口縁部付近, 縦位刺突
		57	11644(F-15/VIII層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝刺突(横), 貝押引(横)	長, 角, 石	口縁部, 縦位刺突, 雲母
58		7347(C-23/VII層)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	Hue10YR6/3 (にぶい黄橙色)	ナデ	貝刺突(横), 貝押引(横)	長, 角, 石	口縁部, 縦位刺突, 砂粒多い	
59		19109(F-9/VIII層)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	ナデ	ナデ, 貝刺突(横) 貝押引(横)	長, 角	口縁部, (内)(外)炭化物付着 縦位刺突	

第82表 II類土器観察表(4)

挿図 No	図 No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考	
322	60	7384(D-24/VIII層) 8110(C-23/VII層) 8117(D-24/VIII層)	Hue7. 5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue7. 5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	貝刺突(横), 貝押引(横)	長, 角, 石	口縁部, 縦位刺突, 金雲母	
	61	7956(F-17/VIII層)	Hue7. 5YR7/6 (橙色)	Hue5YR6/6 (橙色)	ナデ	貝刺突(横), 貝押引(横)	長, 角	口縁部, 縦位刺突	
	62	16510(G-10/VIII層)	Hue10YR7/3 (にぶい黄橙色)	Hue10YR6/4 (にぶい黄橙色)	ナデ	ナデ, 貝刺突(横) 貝押引(横)	長, 角	口縁部, 縦位刺突, 59と同一か?	
	63	8165(F-15/VII層) 8348(F-15/VIII層)	Hue7. 5YR6/6 (橙色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	ナデ, 貝刺突(横) 貝押引(横)	長, 角, 石	口縁部付近, 縦位刺突, 小型	
	64	11956(F-17/VIII層)	Hue7. 5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝刺突(横), 貝条痕(横)	長, 角, 石	口縁部, (外)炭化物付着 縦位刺突	
	65	7328(C-24/VII層)	Hue7. 5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue7. 5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	貝刺突(横), 貝押引(横)	長, 角, 石	口縁部, 縦位刺突, 砂粒多い	
	66	8346(F-15/VIII層)	Hue10YR7/4 (にぶい黄橙色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝刺突(縦横)	長, 角, 石	口縁部, 縦位刺突	
	67	7381(D-24/VII層)	Hue5YR6/6 (橙色)	Hue7. 5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	貝刺突(横), 貝押引(横)	長, 角, 石	口縁部, 縦位刺突	
	68	8391(F-15/VIII層)	Hue7. 5YR6/6 (橙色)	Hue7. 5YR6/6 (橙色)	ナデ	貝刺突(横), 貝押引(横)	長, 角, 石	口縁部, 縦位刺突	
	69	11664(E-16/VIII層)	Hue10YR7/4 (にぶい黄橙色)	Hue10YR7/4 (にぶい黄橙色)	ナデ	貝刺突(横), 貝押引(横)	長, 角, 石	口縁部, 縦位刺突, 小型	
	70	11205(F-16/VIII層) 12053(F-15/VIII層)	Hue7. 5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue7. 5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横) 貝刺突(横)	長, 角, 石	口縁部付近, 縦位刺突	
	71	8374(F-15/VIII層) 8567(D-18/VIII層)	Hue10YR6/4 (にぶい黄橙色)	Hue7. 5YR6/6 (橙色)	ナデ	貝刺突(横), 貝押引(横)	長, 角, 石	口縁部, 縦位刺突	
	72	7696(E-17/VIII層) 7698(E-17/VIII層) 11957(F-17/VIII層)	Hue7. 5YR6/6 (橙色)	Hue7. 5YR6/6 (橙色)	ナデ	貝刺突(横), 貝条痕(横)	長, 角, 石	口縁部, ロッキング刺突	
	73	7174(G-13/VII層) 8194(F-14/VII層) 8217(F-13/VII層) 8233(E-12/VIII層) 8244(F-12/VIII層) 8254(F-12/VIII層) 8257(F-12/VIII層) 8361(F-15/VIII層) 8421(E-13/VIII層) 16433(F-11/VII層) 16434(F-11/VII層) 16454(F-11/VIII層) 16467(F-10/VII層) 16563(F-11/VIII層)	Hue10YR5/6 (黄褐色)	Hue10YR5/6 (黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長, 角, 石	口縁部, 横位刺突 貝押引(横)	
	74	8042(F-17/VIII層)	Hue7. 5YR7/6 (橙色)	Hue5YR6/6 (橙色)	ナデ	ナデ, 貝刺突(縦横)	長, 角, 石	口縁部, 縦位刺突	
	75	7620(E-17/VIII層)	Hue10YR6/4 (にぶい黄橙色)	Hue10YR6/4 (にぶい黄橙色)	ナデ	貝刺突(横), 貝押引(横) 貝条痕(横)	長, 角, 石	口縁部, 縦位刺突	
	76	16418(F-17/V層)	Hue7. 5YR6/6 (橙色)	Hue7. 5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長, 角, 石	胴部, 落ち込み	
	77	16507(G-9/VIII層) 16679(G-10/VIII層)	Hue10YR6/3 (にぶい黄橙色)	Hue10YR8/4 (浅黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝刺突(横) 貝押引(縦)	長, 角, 石	口縁部, (内)炭化物付着, 横位刺突	
	323	78	7320(C-23/VIII層)	Hue10YR6/4 (にぶい黄橙色)	Hue7. 5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	ナデ, 貝刺突(横) 貝押引(横)	長, 角	口縁部, 横位刺突
		79	7712(E-16/VIII層)	Hue7. 5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue10YR6/4 (にぶい黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝刺突(横斜) 貝押引(横)	長, 角, 石	口縁部, (内)炭化物付着, 斜位刺突
		80	11209(F-15/VII層) 12068(F-15/VIII層)	Hue10YR5/3 (にぶい黄褐色)	Hue10YR5/3 (にぶい黄褐色)	ナデ	貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長, 角, 石	口縁部, 横位刺突81, 84と同一 か?
81		11028(F-17/VII層)	Hue10YR5/3 (にぶい黄褐色)	Hue10YR5/3 (にぶい黄褐色)	ナデ	貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長, 角, 石	口縁部, 横位刺突, 80, 84と同一 か?	
82		16681(G-10/VIII層)	Hue7. 5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue7. 5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	ナデ, 貝刺突(横)	長, 角, 石	口縁部, 横位刺突	
83		7282(C-22/VII層)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長, 角, 石	口縁部, 横位刺突	
84		11186(F-16/VII層) 7674(E-17/VIII層)	Hue10YR5/3 (にぶい黄褐色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長, 角, 石	口縁部, 横位刺突, 80, 81同一か?	
85		16451(F-11/VIII層) 16503(G-9/VIII層)	Hue7. 5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長, 角, 石, 雲	口縁部, 横位刺突, 雲母	
86		7273(C-22/VII層)	Hue10YR3/2 (黒褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長, 角, 石	口縁部, 横位刺突	
87		1650(B-12/VII層) 16441(F-11/VIII層) 16504(G-9/VIII層) 16678(G-10/VIII層)	Hue10YR7/3 (にぶい黄橙色)	Hue2. 5Y3/1 (黒褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長, 角, 石	口縁部, 横位刺突	
324	88	8911(C-24/VII層)	Hue5YR4/6 (赤褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	ナデ, 貝刺突(横)	長, 角	口縁部, 口唇部刻み有り	
	89	12069(F-16/VIII層)	Hue7. 5YR6/6 (橙色)	Hue7. 5YR6/6 (橙色)	ナデ	ナデ, 貝刺突(横)	角, 石	口縁部, 口唇部刻み有り	

第83表 II類土器観察表(5)

挿図 No	図 No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考	
324	90	11646(F-15/Ⅷ層)	Hue10YR5/4 (にぶい黄褐色)	Hue7.5YR5/6 (明褐色)	ナデ	ナデ,貝刺突(横)	長,角,石	口縁部	
	91	5716(E-6/Ⅷ層)	Hue5YR6/6 (橙色)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り	
	92	8119(D-24/Ⅷ層)	Hue10YR5/3 (にぶい黄褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	ナデ,貝刺突(横) 貝押引(横)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り	
	93	8876(E-17/Ⅷ層)	Hue5YR6/6 (橙色)	Hue5YR6/6 (褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り	
	94	11207(F-15/Ⅷ層)	Hue2.5Y3/2 (黒褐色)	Hue10YR6/3 (にぶい黄褐色)	ナデ	ナデ,貝刺突(横)	長,角	口縁部,口唇部刻み有り	
	95	8352(F-15/Ⅷ層)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	ナデ	ナデ,貝刺突(横)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り	
	96		Hue10YR6/4 (にぶい黄褐色)	Hue7.5YR6/4 (にぶい褐色)	ナデ	ナデ,貝刺突(横)	長,角	口縁部,口唇部刻み有り	
	97	7663(E-17/Ⅷ層)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	Hue7.5YR5/6 (明褐色)	ナデ	ナデ,貝刺突(横)	長,角	口縁部,口唇部刻み有り	
	98	8191(E-14/Ⅷ層)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	ナデ,貝刺突(横)	長,角	口縁部,口唇部刻み有り	
	99	7317(C-23/Ⅷ層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(縦横)	長,角,石	口縁部付近	
	100	8111(C-23/Ⅷ層)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	Hue5YR4/3 (にぶい赤褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角	口縁部付近	
	101	12038(E-16/Ⅷ層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り 105と同一か?	
	102	8370(F-15/Ⅷ層)	Hue2.5Y3/1 (黒褐色)	Hue10YR6/4 (にぶい黄褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長,角,石	口縁部,炭化物付着	
	103	7678(E-17/Ⅷ層)	Hue10YR6/4 (にぶい黄褐色)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長,角,石	口縁部付近,104と同一か?	
	104	7795(D-18/Ⅷ層)	Hue10YR6/4 (にぶい黄褐色)	Hue10YR6/4 (にぶい黄褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り 103と同一か?	
	105	7684(E-17/Ⅷ層) 8385(E-15/Ⅷ層) 11659(E-16/Ⅷ層) 11660(E-16/Ⅷ層) 11661(E-16/Ⅷ層) 11994(F-16/Ⅷ層) 12041(E-15/Ⅷ層) 12072(E-16/Ⅷ層)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長,角,石	口縁部,(内)金雲母, 口唇部刻み有り,101と同一か?	
	325	106	8277(G-12/Ⅷ層)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(縦)	長,角,石	胴部,縦刺突
		107	11115(E-16/Ⅷ層)	Hue5YR6/6 (褐色)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(縦)	長,角,石	胴部,縦刺突
		108	12315(E-16/Ⅷ層)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	Hue5YR6/6 (褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角,石	底部付近,胎土細かい
		109	8115(D-24/Ⅷ層)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	Hue10YR7/4 (にぶい黄褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角	胴部,砂粒大
110		7309(C-23/Ⅷ層)	Hue10YR7/6 (明黄褐色)	Hue10YR5/3 (にぶい黄褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角,石	胴部,(内)炭化物付着	
111		8114(D-24/Ⅷ層)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	Hue7.5YR7/6 (褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角	胴部,砂粒大	
112		11075(F-16/Ⅷ層) 11076(F-16/Ⅷ層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue10YR2/1 (黒色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角,石	胴部,雲母	
113		16515(G-9/Ⅷ層) 16655(G-9/Ⅷ層)	Hue10YR6/4 (にぶい黄褐色)	Hue2.5Y4/1 (黄灰色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角,石	口縁部,(内)炭化物付着	
114		7262(D-21/Ⅷ層)	Hue10YR7/4 (にぶい黄褐色)	Hue10YR8/4 (浅黄褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角	胴部,胎土密	
115		8386(F-14/Ⅷ層) 11970(F-16/Ⅷ層)	Hue10YR5/3 (にぶい黄褐色)	Hue2.5Y6/4 (にぶい黄色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角,石	胴部	
116		11407(E-16/Ⅷ層)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	Hue5YR6/6 (褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,石	胴部,胎土密	
117		8339(F-15/Ⅷ層) 8417(F-15/Ⅷ層)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角,石	胴部,砂粒多い	
118		7409(D-24/Ⅷ層)	Hue10YR6/4 (にぶい黄褐色)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角,石	胴部,砂粒多い	
119	16490(F-9/Ⅷ層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい褐色)	Hue10YR7/4 (にぶい黄褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角,石	胴部,砂粒多い		
120	8031(E-17/Ⅷ層)	Hue10YR5/4 (にぶい黄褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角,石, 雲	胴部,砂粒多い,樹痕横転		
121	7664(E-17/Ⅷ層)	Hue2.5Y6/3 (にぶい黄色)	Hue10YR7/4 (にぶい黄褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角	底部付近,刻み有り		
122	8389(F-14/Ⅷ層)	Hue7.5YR7/6 (褐色)	Hue7.5YR7/6 (褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角,石	胴部,砂粒多い		
123	12023(E-16/Ⅷ層)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角,石	胴部,(内)炭化物付着		

3 Ⅲ類 石坂式土器 (第327図～第333図)

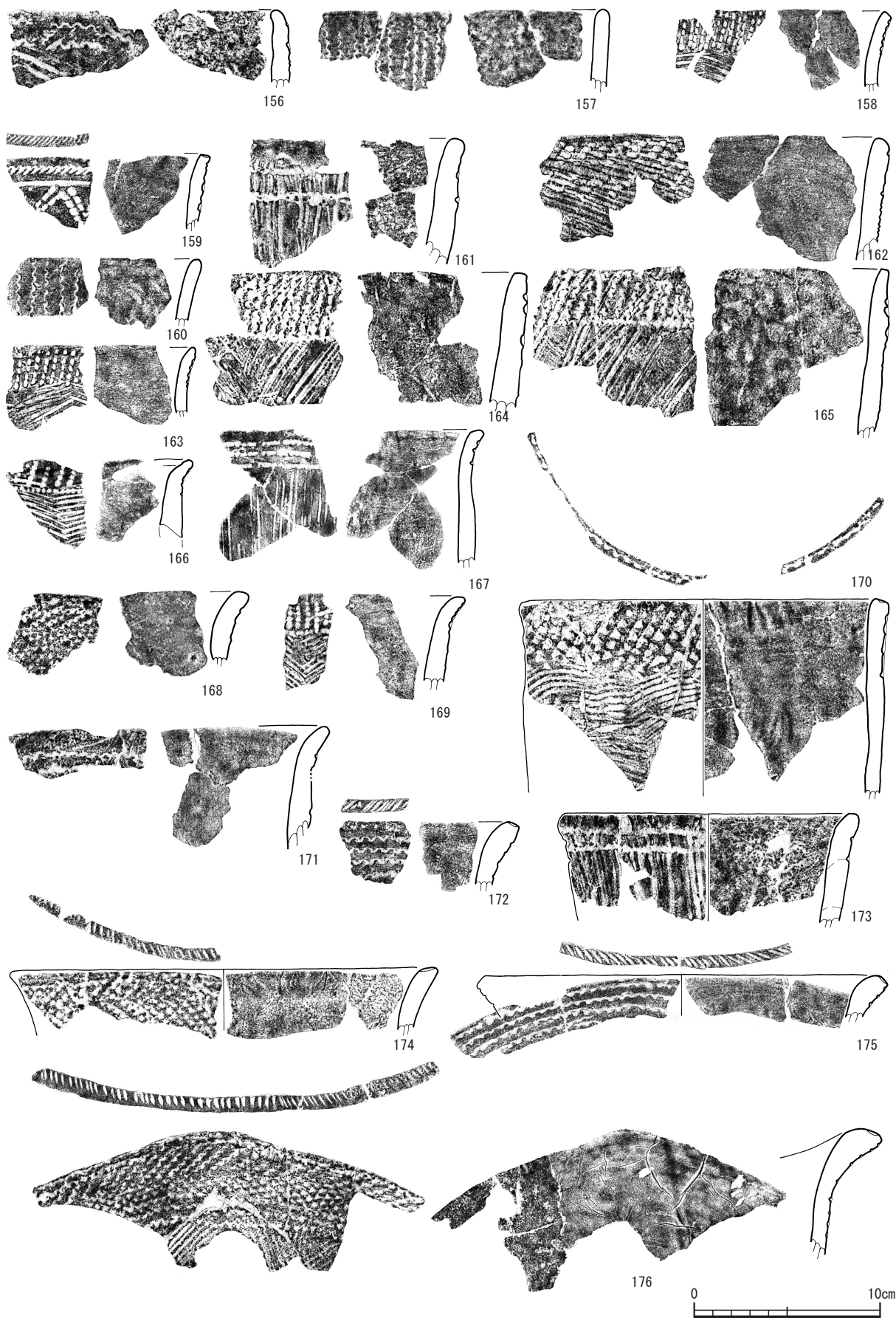
平底の底部をもち、円筒形に立ち上がる器形で口縁部は直立するもの(157, 161, 162, 165, 170)と、外反するもの(166, 167, 176, 177, 178)があり、外反する口縁部が卓越する。器形は口縁部が直立するものは円筒形を呈し、

外反すると胴部の中位から上位でやや膨らむ特性をみせる。また、外反する口縁部を成すものの中には、平縁と4隅が突出する山形口縁の2種類に分かれる。

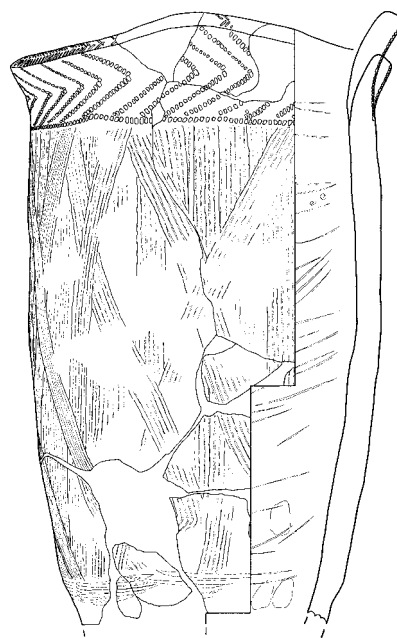
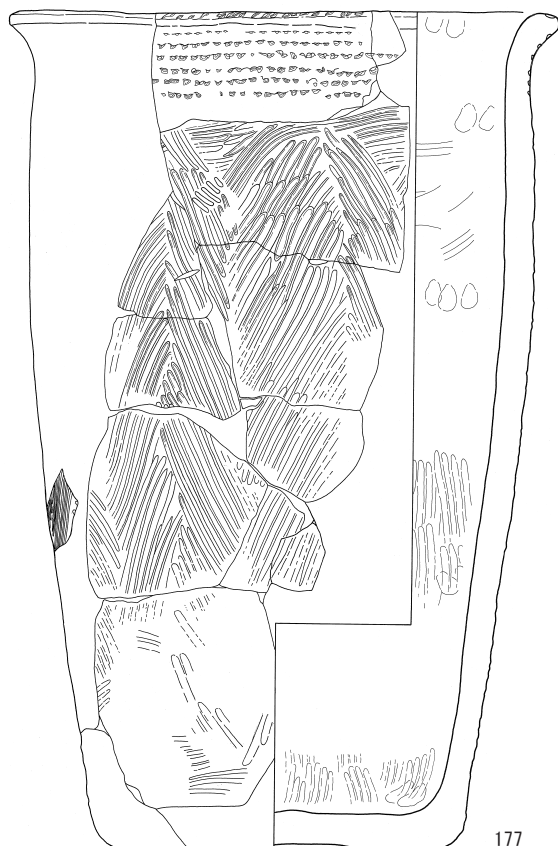
これらは貝殻条痕文土器で、いわゆる石坂式土器に分

第84表 Ⅱ類土器観察表(6)

挿図No	図No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考	
325	124	7378(D-24/Ⅷ層)	Hue10YR5/6 (黄褐色)	ue10YR5/3 (にぶい黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長, 角, 石	胴部, (外) 雲母	
	125	16436(F-11/Ⅷ層)	Hue10YR6/4 (にぶい黄橙色)	Hue10YR7/4 (にぶい黄橙色)	ナデ	貝刺突(縦横)	長, 角, 石	口縁部～胴部, 横位刺突	
	126	11122(F-17/Ⅷ層)	Hue10YR5/6 (黄褐色)	Hue10YR5/3 (にぶい黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長, 角, 石	胴部, (外) 赤化	
	127	8381(F-15/Ⅷ層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue7.5YR7/6 (橙色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長, 角	底部, 刻み有り	
	128	8359(F-15/Ⅷ層) 8371(F-15/Ⅷ層) 11078(F-16/Ⅷ層) 11396(E-15/Ⅷ層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue7.5YR5/3 (にぶい褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長, 角, 石	胴部, 砂粒多い	
326	129	11670(F-16/Ⅷ層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長, 角	底部, 刻み有り, 器壁薄	
	130	8919(C-24/Ⅷ層)	Hue7.5YR5/6 (明褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	ナデ	長, 角, 石	底部, 砂粒多い	
	131	7268(D-22/Ⅷ層)	Hue2.5YR5/6 (明赤褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	ナデ	長, 角	底部, 器壁薄	
	132	7263(D-21/Ⅷ層)	Hue10YR7/4 (にぶい黄橙色)	Hue10YR8/6 (黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長, 角	底部, 刻み有り	
	133	7315(C-23/Ⅷ層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue10YR3/2 (黒褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長, 角, 石	底部, 刻み有り	
	134	16417(F-17/Ⅷ層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(縦)	長, 角, 石	底部, 刻み有り, 落ち込み	
	135	8045(E-17/Ⅷ層) 16420(F-17/Ⅷ層)	Hue2.5Y4/1 (黄灰色)	Hue2.5Y6/3 (にぶい黄色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長, 角	底部, 刻み有り, 砂粒大, 落ち込み	
	136	11098(E-16/Ⅷ層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	ナデ, 貝押引(縦)	長, 角	底部, 刻み有り	
	137	8120(D-24/Ⅷ層)	Hue7.5YR7/6 (褐色)	Hue10YR7/4 (にぶい黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長, 角, 石	底部, 砂粒多い	
	138	7413(C-23/Ⅷ層) 一括(C-24/Ⅷ層)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長, 角	底部, 底部(外)炭化物付着 口唇部刻み有り器壁薄い	
	139	8414(F-15/Ⅷ層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue10YR6/4 (にぶい黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長, 角	底部, 刻み有り	
	140	11000(F-17/Ⅷ層)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	Hue7.5YR7/4 (にぶい褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(縦)	長, 角, 石	底部, 刻み有り	
	141	7272(D-22/Ⅷ層)	Hue5YR6/6 (褐色)	Hue5YR6/6 (褐色)	ナデ	ナデ	長, 角, 石	底部, 刻み有り, 器壁薄	
	142	16521(G-9/Ⅷ層)	Hue10YR7/4 (にぶい黄褐色)	Hue10YR6/4 (にぶい黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(縦)	長, 角, 石	底部, 縦刻み有り	
	143	7295(C-23/Ⅷ層)	Hue10YR5/3 (にぶい黄褐色)	Hue10YR5/2 (灰黄褐色)	ナデ	ナデ	長, 角, 雲	底部, 砂粒多い	
	144	8396(F-14/Ⅷ層)	Hue10YR5/3 (にぶい黄褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(縦横)	長, 角, 石	底部, 底部(外)炭化物付着	
	145	7375(D-24/Ⅷ層) 7419(C-22/Ⅷ層)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	Hue5YR4/6 (赤褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(縦)	長, 角, 石	底部, 縦刻み有り	
	327	146	8410(G-15/Ⅷ層)	Hue10YR5/4 (にぶい黄褐色)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長, 角	底部, 刻み有り
		147	8560(D-18/Ⅷ層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(縦横)	長, 角, 石	底部, 刻み有り
		148	2376(D-8/Ⅷ層)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長, 角	底部, 刻み有り, 赤化
149		7724(E-16/Ⅷ層)	Hue10YR5/3 (にぶい黄褐色)	Hue10YR6/3 (にぶい黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(縦横)	長, 角, 石	底部, 刻み有り	
150		7587(E-16/Ⅷ層) 7716(E-16/Ⅷ層)	Hue5YR6/6 (褐色)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長, 角	底部	
151		8424(E-13/Ⅷ層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue7.5YR6/4 (にぶい褐色)	ナデ	ナデ	長, 角, 石	底部, 砂粒多い	
152		7410(D-24/Ⅷ層) 8930(C-24/Ⅷ層)	Hue2.5YR5/8 (明赤褐色)	Hue2.5YR4/6 (赤褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長, 角, 石	底部, 赤化	
153		7269(D-22/Ⅷ層)	Hue10YR7/4 (にぶい黄褐色)	Hue10YR7/4 (にぶい黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(縦横)	長, 角, 石	底部, 刻み有り	
154		12003(F-15/Ⅷ層)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	Hue10YR6/4 (にぶい黄褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長, 角	底部, 刻み有り	
155		8330(G-15/Ⅷ層)	Hue10YR6/4 (にぶい黄褐色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	ナデ, 貝押引(横)	長, 角, 石	底部, 刻み有り	



第328图 Ⅲ類土器実測図(1)



第329図 Ⅲ類土器実測図(2)

類される。

口唇部の形状は平坦(158, 164, 165), やや尖り気味(163, 166), あるいは丸く(160, 174, 177等)整形し, 丸く整形するものが卓越する。いずれも上面に刻みを施す。

口縁部直下の限られた部分に, 貝殻腹縁刺突文を横位(172, 175, 176, 193等, 貝殻刺突線文)または縦位(157, 158, 160等), あるいは斜位(170, 176, 178, 181等),

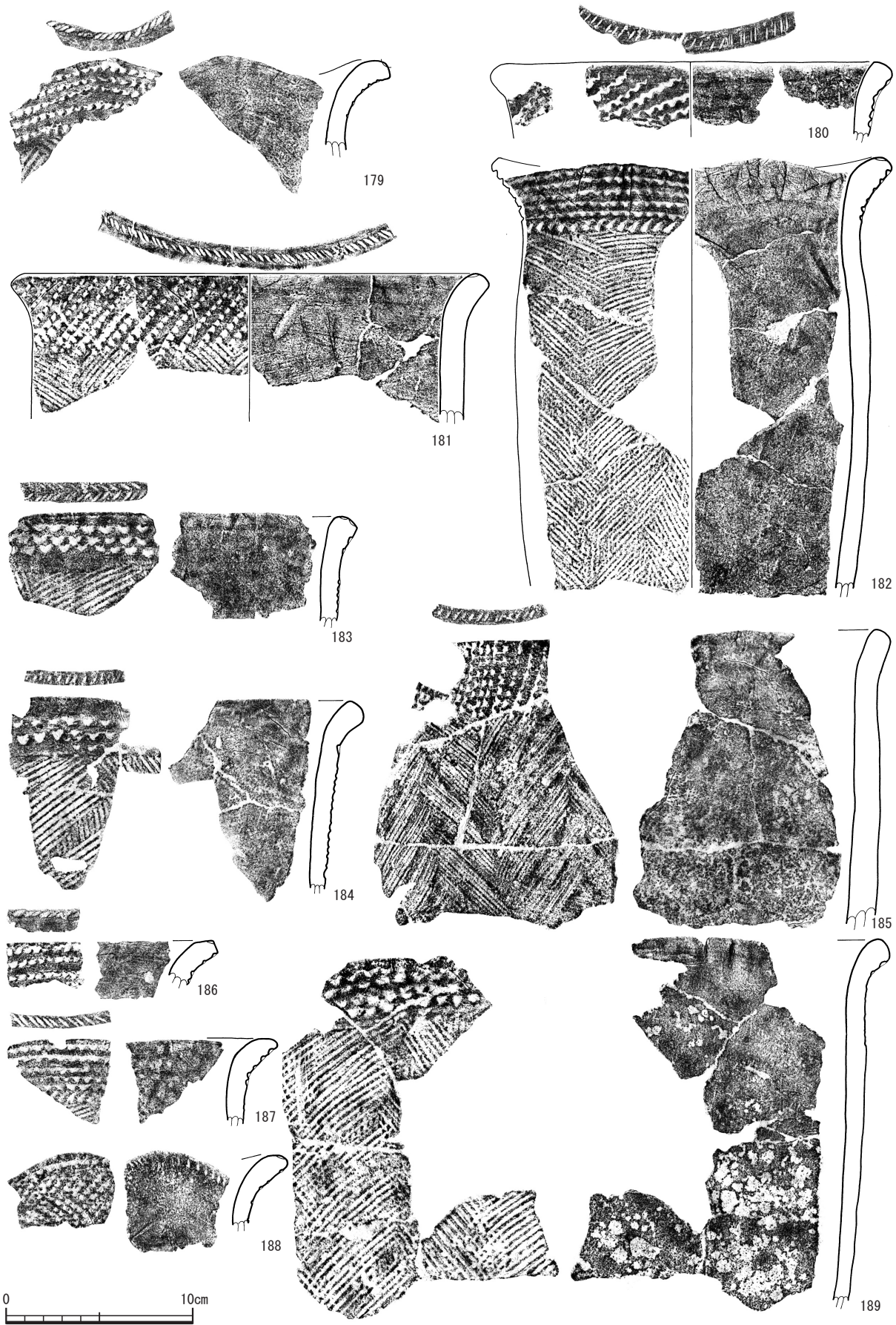
に施し巡らす。胴部には貝殻条痕文による綾杉状条痕が全面に施文され, 内面は丁寧にナデた仕上げが一般的である。器壁は厚め(10~14mm)となる。

胴部施文は綾杉状が一般的であるが, (211, 243)は縦方向, (210, 219)では個性をみせる。

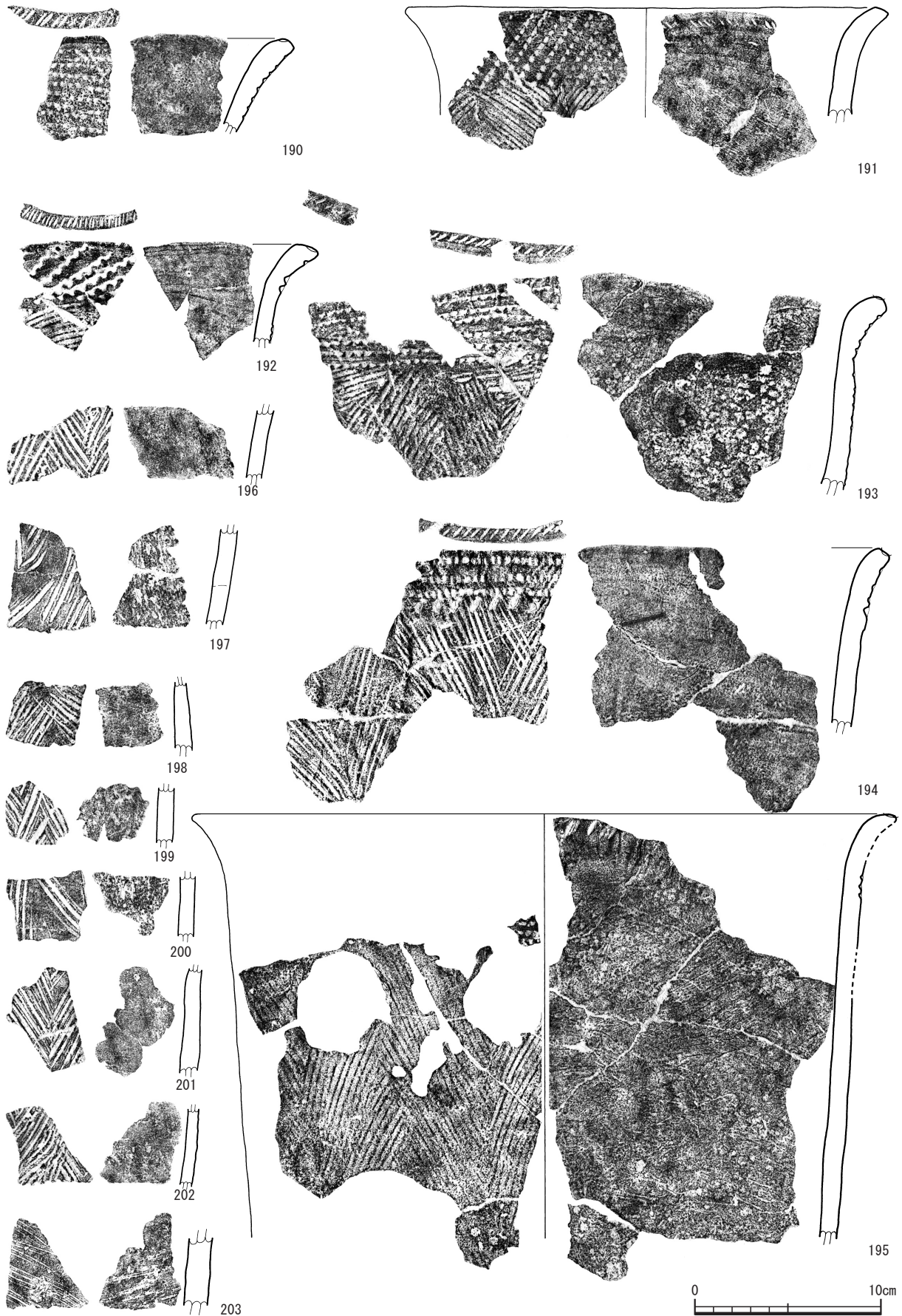
底部の両端は, 鋭角に整形することなく, 少々丸みを成す緩やかな形状を示す。

第85表 Ⅲ類土器観察表(1)

挿図 No	図 No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考
328	156	8561(D-18/VIII層)	Hue2. 5Y6/2 (灰黄色)	Hue2. 5Y3/1 (黒褐色)	ナデ	貝刺突(横)	長, 石	口縁部, 口唇部刻み有り
	157	7763(D-17/VIII層) 7888(E-17/VII層)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	ナデ, 貝刺突(縦)	長, 石	口縁部, 口唇部平坦
	158	7648(D-17/VII層)	Hue7. 5YR4/2 (灰褐色)	Hue7. 5YR4/2 (灰褐色)	ナデ	貝条痕(横), 貝刺突(縦)	長, 角	口縁部, 口唇部平坦
	159	7812(E-16/VIII層)	Hue7. 5YR5/3 (にぶい褐色)	Hue7. 5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	貝刺突(斜)	長, 角, 石	口縁部, 口唇部刻み有り
	160	7682(E-17/VIII層)	Hue10YR6/3 (にぶい黄橙色)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	ナデ	貝刺突(縦)	長, 角, 石	口縁部
	161	7691(E-17/VII層)	Hue7. 5YR1. 7/1 (黒色)	Hue7. 5YR4/3 (褐色)	ナデ	貝条痕(縦)	長, 角, 石	口縁部, 貝殻刺突
	162	7986(D-18/VIII層)	Hue7. 5YR3/1 (黒褐色)	Hue7. 5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	貝条痕(横)	長, 角, 石	口縁部, 口縁部直立
	163	7651(E-17/VII層)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	Hue10YR4/3 (にぶい黄褐色)	ナデ	貝条痕(横), 貝刺突(縦)	長, 角	口縁部
	164	8918(C-24/VII層)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	Hue10YR6/4 (にぶい黄橙色)	ナデ	貝刺突(縦斜), 貝条痕(斜)	長, 角, 石	口縁部, 口唇部平坦
	165	7329(C-24/VIII層) 8915(C-24/VII層)	Hue7. 5YR3/1 (黒褐色)	Hue7. 5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	貝刺突(縦斜), 貝条痕(斜)	長, 角, 石	口縁部, 口唇部平坦
	166	11055(E-16/VII層)	Hue10YR6/3 (にぶい黄橙色)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	ナデ	貝条痕(斜), 貝刺突(縦)	長, 石	口縁部

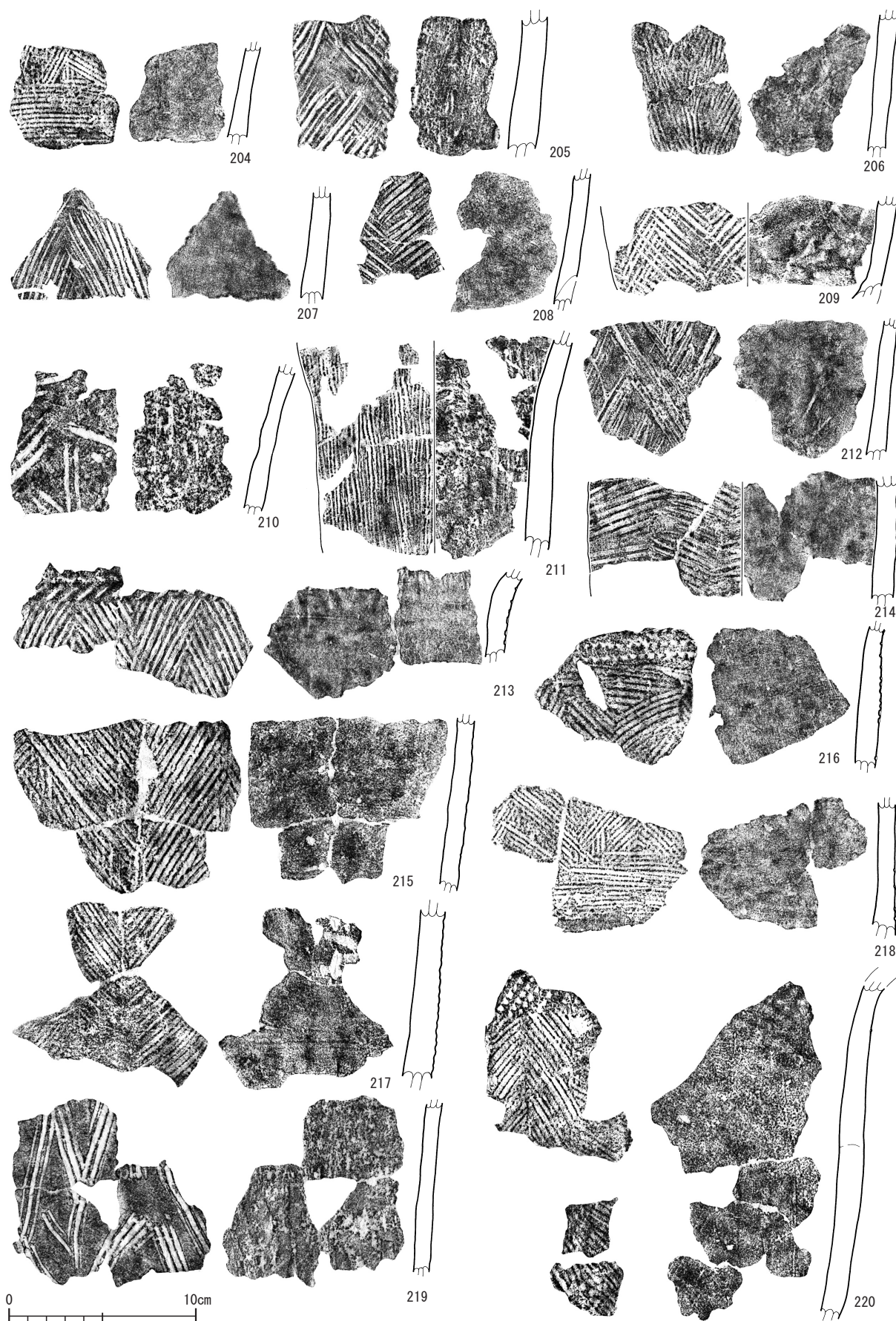


第330图 Ⅲ類土器実測図(3)

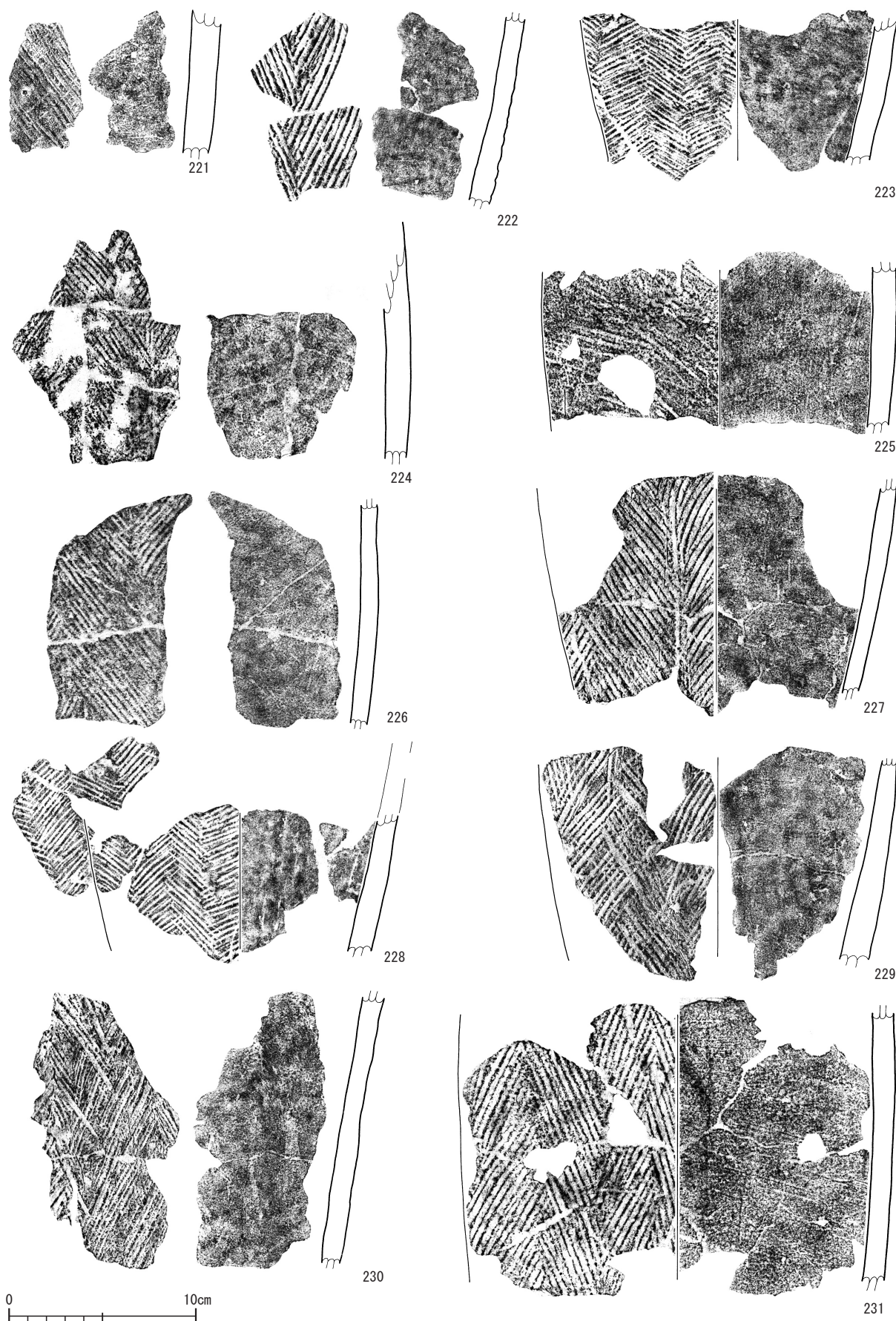


第331图 Ⅲ類土器実測図(4)

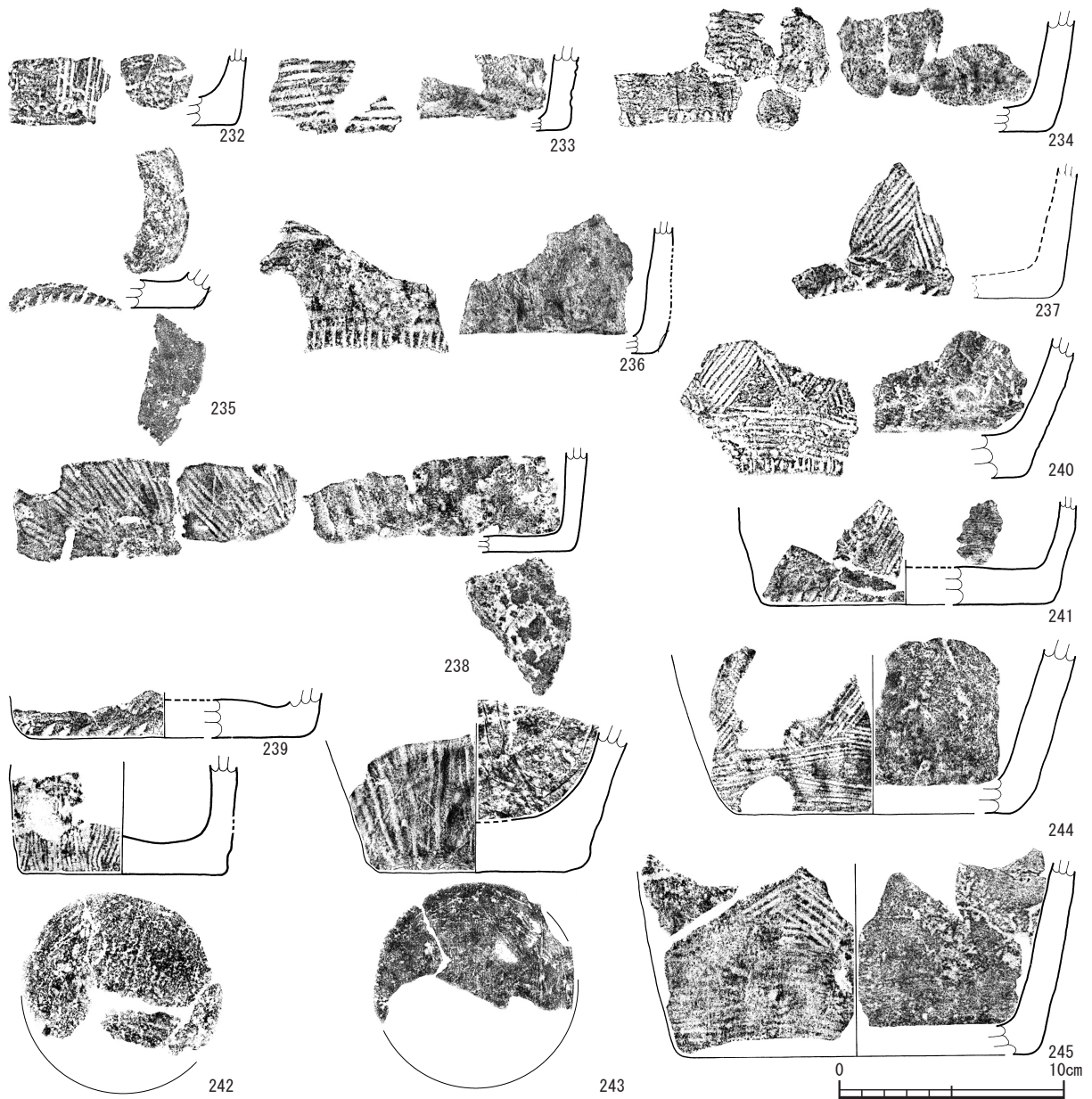




第332図 Ⅲ類土器実測図(5)



第333图 Ⅲ類土器実測図(6)



第334図 Ⅲ類土器実測図(7)

第86表 Ⅲ類土器観察表(2)

挿図 No	図 No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考
328	167	7791 (D-18/VIII層) 8041 (E-17/VIII層)	Hue7. 5YR5/3 (にぶい褐色)	Hue7. 5YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝条痕(縦), 貝刺突(横)	長, 角, 石	口縁部
	168	11032 (E-17/VII層)	Hue7. 5YR4/2 (灰褐色)	Hue7. 5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	貝刺突(斜)	長, 角, 石	口縁部, 口唇部刻み有り
	169	7592 (E-16/VIII層)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	ナデ	貝刺突(縦), 貝条痕(斜)	長, 角, 石	口縁部
	170	7565 (E-17/VIII層) 7683 (E-17/VII層)	Hue7. 5YR2/1 (黒色)	Hue7. 5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	貝条痕(斜), 貝刺突(斜)	長, 角, 石	口縁部, 口唇部貝殻刺突
	171	7945 (E-17/VIII層)	Hue5YR3/1 (黒褐色)	Hue5YR3/2 (暗赤褐色)	ナデ	貝刺突(横)	長, 角, 石, 砂	口縁部
	172	7814 (E-16/VIII層)	Hue7. 5YR2/1 (黒色)	Hue7. 5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	貝刺突(横)	長, 角, 石	口縁部, 口唇部刻み有り
	173	7924 (E-17/VII層) 7925 (E-17/VII層)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	Hue5YR4/3 (にぶい赤褐色)	ナデ	貝条痕(縦), 貝刺突(横)	長, 角, 石	口縁部, 口唇部貝殻刺突
	174	7938 (E-17/VII層) 11963 (F-17/VII層)	Hue7. 5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue7. 5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	貝刺突(斜)	長, 角, 石	口縁部, 口唇部刻み有り

第87表 Ⅲ類土器観察表(3)

挿図 No	図 No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考	
328	175	8571(D-18/VIII層) 11658(F-16/VII層) 11091(F-16/VII層)	Hue7.5YR3/1 (黒褐色)	Hue5YR5/4 (にぶい赤褐色)	ナデ	貝刺突(横)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り	
	176	7526(D-17/VIII層) 11032(E-17/VIII層) 11108(E-16/VIII層)	Hue7.5YR4/1 (褐灰色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	貝刺突(斜)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り	
329	177	7616(E-17/VIII層) 7631(E-17/VIII層) 7905(E-17/VII層) 7934(E-17/VII層) 7935(E-17/VII層) 7937(E-17/VII層) 7953(F-17/VIII層)	Hue7.5YR5/6 (明褐色)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	貝刺突(横),貝条痕(斜)	長,角,石	口縁部~底部, (内)あばた状剥落 (外)下半部あばた状剥落赤化 口唇部刻み有り,綾杉条痕	
	178	7675(E-17/VIII層) 7679(E-17/VIII層) 7703(E-17/VIII層) 7704(E-17/VIII層) 7916(E-17/VIII層) 7960(F-17/VIII層) 7973(E-17/VIII層) 7999(E-18/VII層) 8135(E-18/VIII層) 10997(F-17/VII層)	Hue10YR7/4 (にぶい黄橙色)	Hue10YR7/4 (にぶい黄橙色)	ナデ	貝刺突(横),貝条痕(斜)	長,角,石	口縁部~胴部下半部 (内)炭化物付着あばた状剥落 (外)剥落下半部赤化, 横位貝殻刺突 口唇部刻み有り,綾杉条痕	
330	179	7941(E-17/VII層)	Hue5YR2/1 (黒褐色)	Hue5YR3/3 (暗赤褐色)	ナデ	貝刺突(横)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り	
	180	8043(F-17/VIII層) 11964(F-16/VII層)	Hue5YR4/2 (灰褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	貝刺突(斜)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り	
	181	7747(D-17/VIII層) 8028(E-17/VIII層)	Hue7.5YR3/1 (黒褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	ナデ,貝条痕(斜), 貝刺突(斜)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り	
	182	7715(E-16/VIII層) 8076(D-18/VIII層) 11435(E-16/VII層) 12025(E-16/VIII層)	Hue5YR4/4 (にぶい赤褐色)	Hue7.5YR2/1 (黒色)	ナデ	貝刺突(横),貝条痕(斜)	長,角,石	口縁部~胴部,口唇部刻み有り	
	183	11126(F-17/VI層)	Hue7.5YR7/6 (橙色)	Hue7.5YR7/6 (橙色)	ナデ	貝刺突(横),貝条痕(斜)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り	
	184	11653(F-16/VIII層) 11977(F-16/VII層) 11986(F-16/VII層) 11996(F-16/VIII層)	Hue7.5YR7/6 (橙色)	Hue7.5YR7/4 (にぶい橙色)	ナデ	貝条痕(斜),貝刺突(横)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り	
	185	8342(F-15/VIII層)	Hue7.5YR5/6 (明褐色)	Hue7.5YR6/8 (橙色)	ナデ	貝刺突(縦斜) 貝条痕(斜)	長,角,石	口縁部~胴部,口唇部刻み有り	
	186	7886(E-17/VIII層)	Hue7.5YR3/3 (暗褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	貝刺突(横)	長,角,石	口縁部	
	187	7913(E-17/VIII層)	Hue5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	貝刺突(横)	長,石	口縁部,口唇部刻み有り	
	188	11166(F-16/VII層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue7.5YR5/3 (にぶい褐色)	ナデ	貝刺突(斜)	長,角,石	口縁部	
	189	8336(F-15/VIII層) 8355(F-15/VIII層) 8356(F-15/VII層) 8357(F-15/VIII層) 8366(F-15/VIII層)	Hue7.5YR6/6 (橙色)	Hue7.5YR6/6 (橙色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	口縁部~胴部, (内外)下半部あばた状剥落 口唇部刻み有り	
	331	190	11202(F-16/VIII層)	Hue10YR5/4 (にぶい黄褐色)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	貝刺突(横)	長,石	口縁部,口唇部刻み有り
		191	7615(E-17/VIII層) 7917(E-17/VIII層)	Hue7.5YR4/2 (灰褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	貝条痕(斜),貝刺突(斜)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り
192		11117(E-16/VII層)	Hue7.5YR4/2 (灰褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	貝刺突(斜)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り	
193		7598(E-17/VIII層) 7906(E-17/VII層) 10995(F-17/VII層)	Hue7.5YR3/1 (黒褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	貝刺突(横),貝条痕(斜)	長,角	口縁部,(内)あばた状剥落, 口唇部刻み有り	
194		12056(E-15/VIII層) 12061(F-15/VII層) 12322(F-15/VIII層)	Hue7.5YR6/6 (橙色)	Hue7.5YR6/6 (橙色)	ナデ	貝条痕(斜),貝刺突(横)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り	
195		7772(D-17/VIII層) 11094(E-16/VIII層) 11222(F-16/VIII層) 11647(F-15/VII層) 11648(F-15/VII層) 12007(F-15/VII層) 12052(E-15/VIII層) 12060(F-15/VIII層) 12067(F-15/VIII層) 12321(F-16/13層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue5YR6/6 (橙色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	口縁部~胴部,(外)剥落多い	
196		7887(E-18/VII層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい褐色)	Hue7.5YR2/1 (黒色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	胴部	

第88表 Ⅲ類土器観察表(4)

挿図 No	図 No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考	
331	197	7874(D-18/VIII層) 7873(E-18/VII層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue7.5YR4/1 (褐灰色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	胴部	
	198	7564(E-17/VIII層)	Hue10YR5/3 (にぶい黄褐色)	Hue10YR2/1 (黒色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	胴部	
	199	8024(E-17/VIII層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	胴部	
	200	8563(D-18/VIII層)	Hue7.5YR5/2 (灰褐色)	Hue7.5YR5/2 (灰褐色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	胴部	
	201	7646(D-17/VII層)	Hue7.5YR4/2 (灰褐色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	胴部	
	202	7681(E-17/VIII層)	Hue7.5YR5/2 (灰褐色)	Hue7.5YR2/1 (黒色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	胴部,(内)炭化物付着	
	203	7049(G-9/VI層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石, 砂	胴部	
332	204	7572(E-16/VIII層)	Hue10YR5/3 (にぶい黄褐色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝条痕(横斜)	長,角,石	底部付近,218と同一か?	
	205	7889(F-17/VII層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue10YR3/2 (黒褐色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	胴部	
	206	11119(E-16/VI層)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	Hue10YR6/3 (にぶい黄褐色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	胴部	
	207	12049(E-15/VIII層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	胴部	
	208	7652(E-17/VIII層) 7668(E-17/VIII層)	Hue5YR5/4 (にぶい赤褐色)	Hue7.5YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	胴部	
	209	7997(E-18/VII層)	Hue5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue10YR2/1 (黒色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石, 砂	胴部	
	210	7799(E-18/VII層)	Hue2.5Y6/2 (灰黄色)	Hue2.5Y5/1 (黄灰色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石, 砂	胴部	
	211	7574(E-16/VIII層) 7722(E-16/VIII層) 7723(E-16/VIII層) 7794(D-18/VIII層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	貝条痕(縦)	長,角,石	胴部,縦位条痕	
	212	8917(C-24/VII層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue10YR3/2 (黒褐色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石, 砂	胴部	
	213	7590(E-16/VIII層) 8329(G-15/VIII層)	Hue10YR6/3 (にぶい黄褐色)	Hue10YR6/3 (にぶい黄褐色)	ナデ	貝条痕(斜),貝刺突(斜)	長,角,石	口縁部付近~胴部,指ナデ調整痕	
	214	7561(D-17/VIII層) 7793(D-18/VIII層)	Hue10YR7/4 (にぶい黄褐色)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石, 砂	胴部	
	215	7695(E-17/VIII層) 7808(E-16/VIII層) 7809(E-16/VIII層)	Hue5YR4/4 (にぶい赤褐色)	Hue5YR2/1 (黒褐色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	胴部	
	216	7893(E-18/VII層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue5YR6/6 (橙色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	胴部	
	217	7588(E-16/VIII層) 7635(E-17/VIII層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,砂	胴部	
	218	7437(E-17/VIII層) 7690(E-17/VIII層)	Hue5YR5/3 (にぶい赤褐色)	Hue7.5YR2/1 (黒色)	ナデ	貝条痕(横斜)	長,角,石	胴部,204と同一か?	
	219	7780(D-17/VIII層) 7838(D-17/VIII層) 7873(E-18/VII層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石, 砂	胴部	
	220	7595(E-16/VIII層) 7831(D-17/VIII層) 7848(D-18/VIII層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue10YR6/3 (にぶい黄褐色)	ナデ	貝条痕(斜),貝刺突(斜)	長,角,石	口縁部付近~胴部	
	333	221	7892(E-17/VII層)	Hue7.5YR5/3 (にぶい褐色)	Hue10YR6/4 (にぶい黄褐色)	ナデ	貝条痕(横)	長,角,石	胴部
		222	7807(E-16/VIII層) 12022(E-16/VIII層)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	Hue10YR2/1 (黒色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	胴部,(内)丁寧なナデ
		223	7711(E-17/VIII層) 7900(E-17/VIII層) 11394(E-16/VII層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue10YR3/2 (黒褐色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石, 砂	胴部
224		7711(E-17/VIII層) 7793(D-18/VIII層)	Hue7.5YR5/3 (にぶい褐色)	Hue10YR5/2 (灰黄褐色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石, 砂	胴部,(外)剥落	
225		7725(E-16/8層)	Hue5YR3/1 (黒褐色)	Hue10YR7/4 (にぶい黄褐色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	胴部,(外)摩滅,砂粒細	
226		7759(D-17/VIII層)	Hue10YR3/3 (暗褐色)	Hue10YR5/4 (にぶい黄褐色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	胴部	
227		7856(D-18/VIII層) 7881(E-18/VII層) 8559(D-18/VIII層) 12310(E-15/13層) 12318(E-16/13層)	Hue7.5YR4/2 (灰褐色)	Hue10YR3/2 (黒褐色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	胴部,(内)丁寧なナデ, 縦位区画有り	

第89表 Ⅲ類土器観察表(5)

挿図 No	図 No	取上番号 (出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整 (内)	調整 (外)	胎土	備考
333	228	7991 (D-18/VIII層) 8032 (F-17/VIII層) 8084 (D-18/VIII層)	Hue10YR6/4 (にぶい黄橙色)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	ナデ	貝条痕(斜)	長, 角, 石, 砂	胴部, 砂粒細
	229	7632 (E-17/VIII層) 7891 (E-17/VII層)	Hue10YR6/4 (にぶい黄橙色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝条痕(斜)	長, 角, 石	胴部
	230	7332 (C-24/VIII層) 8916 (C-24/VIII層)	Hue5YR6/6 (橙色)	Hue7.5YR4/1 (褐灰色)	ナデ	貝条痕(斜)	長, 角, 石, 砂	胴部
	231	7573 (E-16/VII層) 7600 (E-16/VIII層) 7751 (D-17/VIII層) 11005 (F-17/VII層) 11039 (E-16/VII層) 11439 (E-16/VII層) 12030 (E-16/VIII層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	ナデ	貝条痕(斜)	長, 角, 石, 砂	胴部, (内)丁寧なナデ
334	232	7694 (E-17/VII層)	Hue5YR4/4 (にぶい赤褐色)	Hue5YR3/2 (暗赤褐色)	ナデ	貝条痕(縦)	長, 角, 石, 砂	底部
	233	一括 (E-18/VI層)	Hue10YR5/2 (灰黄褐色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝条痕(横)	長, 角, 石	底部, 横位条痕
	234	7932 (E-17/VIII層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue7.5YR6/2 (灰褐色)	ナデ	貝条痕(斜)	長, 角, 石	底部, 底部刻み有り
	235	11072 (F-16/VII層)	Hue5YR6/6 (橙色)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	ナデ	貝条痕(縦)	長, 角, 石	底部, 底部刻み有り
	236	7279 (C-22/VIII層)	Hue10YR7/4 (にぶい黄橙色)	Hue10YR4/2 (灰黄褐色)	ナデ	貝条痕(縦)	長, 角, 石	底部, 底部刻み有り
	237	7849 (D-18/VIII層) 7995 (D-18/VIII層)	Hue2.5YR6/6 (橙色)	Hue2.5YR6/6 (褐色)	ナデ	貝条痕(斜)	長, 角, 石, 砂	底部, 底部刻み有り
	238	2557 (D-8/VII層) 11644 (F-15/VIII層)	Hue2.5YR5/4 (にぶい赤褐色)	Hue5YR5/4 (にぶい赤褐色)	ナデ	貝条痕(斜)	長, 石	底部
	239	7844 (D-18/VIII層)	Hue5YR5/4 (にぶい赤褐色)	Hue5YR4/3 (にぶい赤褐色)	ナデ	貝条痕(斜)	長, 角, 石, 砂	底部, 底部刻み有り
	240	7918 (E-17/VIII層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue10YR2/1 (黒色)	ナデ	貝条痕(横斜)	長, 角, 石	底部, 底部刻み有り, 横位条痕
	241	8075 (D-18/VIII層) 8089 (D-18/VIII層)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	貝条痕(斜)	長, 角, 石, 砂	底部, 底部刻み有り
	242	7904 (E-17/VII層) 7914 (E-17/VIII層) 7915 (E-17/VIII層) 8038 (E-17/VIII層)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝条痕(横斜)	長, 角, 石, 砂	底部, 底部(外)白色付着物
	243	7739 (E-17/VIII層) 7939 (E-17/VIII層) 8033 (E-18/VIII層)	Hue5YR5/4 (にぶい赤褐色)	Hue10YR3/3 (暗褐色)	ナデ	貝条痕(縦)	長, 角, 石	底部, 縦位条痕
	244	7778 (D-17/VIII層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue7.5YR6/6 (褐色)	ナデ	貝条痕(横斜)	長, 角	底部, 横位条痕
	245	7740 (E-17/VIII層) 8555 (D-17/VIII層) 8556 (D-17/VIII層)	Hue10YR8/4 (浅黄橙色)	Hue10YR6/3 (にぶい黄橙色)	ナデ	貝条痕(縦)	長, 角, 石, 砂	底部, 横位条痕

#### 4 IV類 円筒形土器 (第336図)

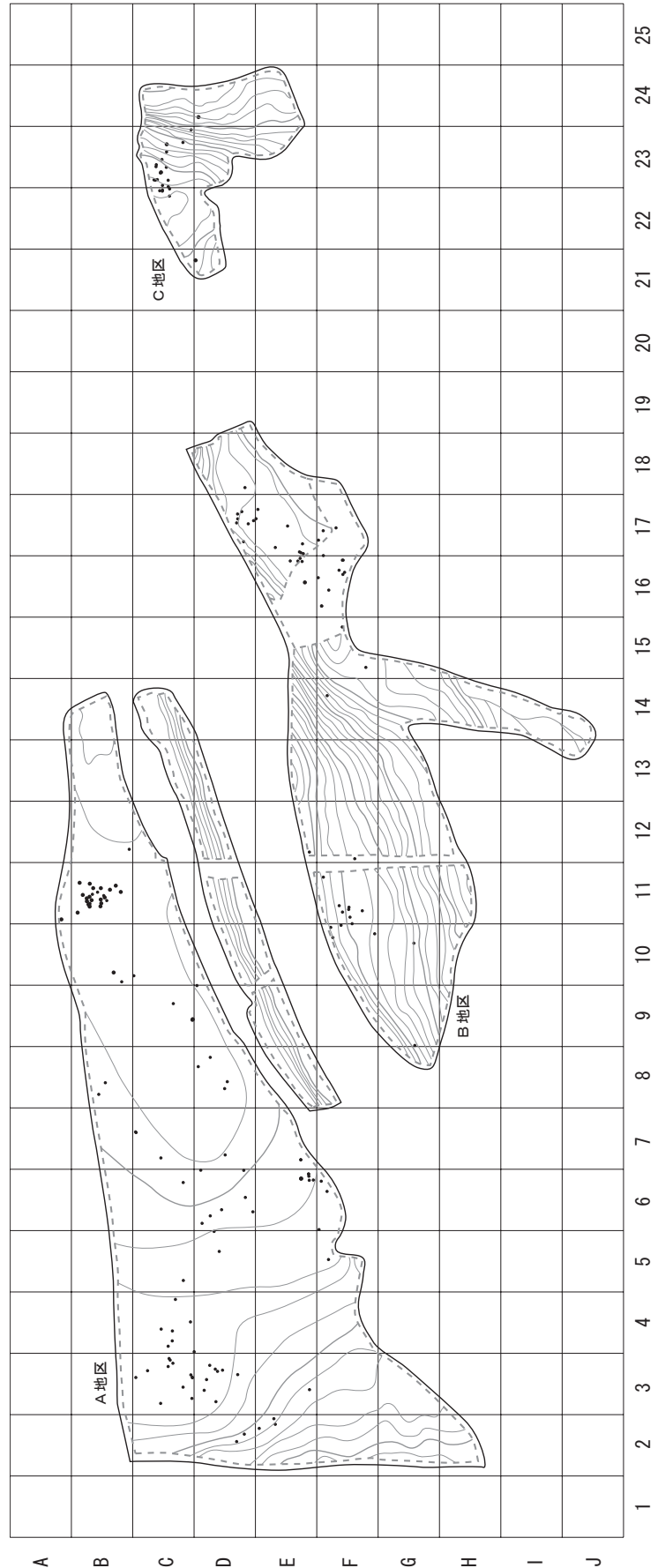
平底の底部で、胴部中央部付近で緩やかに膨らみそのまま直立する器形の貝殻条痕文土器で、いわゆる貝殻状痕円筒形土器に分類される。

器壁が厚くなり、口唇部は厚く丸みをなし、刻みを施すことは無い。文様は外面の口縁部から胴部上半部分に限定し、貝殻押引文を巡らす。出土資料は2分でき、(257, 258)の小型土器とその他の大振りな土器とがある。両方とも、内面はヘラ状工具で入念にナデ仕上げを行い、小型土器では光沢を保っている。

小型土器では肋の細かい貝殻を用い、大振りな土器では肋の大きいものを用いている。260は貝殻刺突線文を巡らしたその下位に押引文を、264では押引文を上下2列並行する施文がみられる。

261の底部は、緩やかに弯曲しながら膨らむ形状を呈している。確認はできていないが、形状や器壁、胎土等の特徴からIV類と判断した。

258で11cm、263で17cm、264で21cm程の口径が復元できる。



第335図 IV類～Ⅷ類土器出土状況図